



# 目次

---

- 1. 改訂情報
- 2. はじめに
  - 2.1. 本書の目的
  - 2.2. 対象読者
  - 2.3. 本書の構成
- 3. 概要
  - 3.1. Accel Studioとは
  - 3.2. Accel Studioでのアプリケーション開発
- 4. テンプレート一覧
  - 4.1. Accel Studioのテンプレート
    - 4.1.1. ベーステンプレート
    - 4.1.2. サンプルアプリケーション
    - 4.1.3. オプションテンプレート
- 5. テンプレート詳細
  - 5.1. ベーステンプレート
    - 5.1.1. マスタメンテナンス
    - 5.1.2. マスタメンテナンス（マスタ参照機能付き）
    - 5.1.3. 新しくエンティティを作成する
    - 5.1.4. エンティティを選択する
    - 5.1.5. Excelファイルを利用する
    - 5.1.6. マスタメンテナンステンプレートに利用できるExcelファイルの詳細
    - 5.1.7. マスタメンテナンステンプレートのローコード仕様書
  - 5.2. サンプルアプリケーションテンプレート
    - 5.2.1. 打刻アプリ
    - 5.2.2. 在庫管理
    - 5.2.3. タスク管理
    - 5.2.4. スプレッドシート回覧ワークフロー
    - 5.2.5. 顧客管理
    - 5.2.6. 社内FAQ管理
    - 5.2.7. 休暇申請ワークフロー
    - 5.2.8. 自己紹介
    - 5.2.9. メール配信ワークフロー
  - 5.3. オプションテンプレート
    - 5.3.1. ファイルアップロード
    - 5.3.2. CSVインポート
    - 5.3.3. CSVエクスポート
    - 5.3.4. ガントチャート
- 6. 付録
  - 6.1. IM-BloomMaker前処理
    - 6.1.1. ユーザコンテンツの権限確認
    - 6.1.2. 画面種別の判別処理



変更年月日	変更内容
2022-06-01	初版
2022-06-30	第2版 下記を追加・変更しました。 <ul style="list-style-type: none"><li>「<a href="#">テンプレート一覧</a>」ページに「Office 365連携テンプレート」を追加。</li></ul>
2022-12-01	第3版 下記を追加・変更しました。 <ul style="list-style-type: none"><li>「<a href="#">テンプレート詳細</a>」ページを追加。</li><li>「<a href="#">テンプレート一覧</a>」ページのテンプレートのカテゴリ名を変更。</li></ul>
2023-04-01	第4版 下記を追加しました。 <ul style="list-style-type: none"><li>「<a href="#">テンプレート詳細</a>」ページに「<a href="#">サンプルアプリケーションテンプレート</a>」ページを追加。</li><li>「<a href="#">付録</a>」ページを追加。</li><li>「<a href="#">IM-BloomMaker前処理</a>」ページを追加。</li><li>「Adobe Sign」の製品名の変更に伴い、ドキュメント内の製品名記載を「Adobe Acrobat Sign」に変更。</li></ul>
2023-10-02	第5版 下記を変更しました。 <ul style="list-style-type: none"><li>「<a href="#">ガントチャート</a>」ページを追加。</li><li>「<a href="#">在庫管理</a>」ページを更新。</li><li>「<a href="#">スプレッドシート回覧ワークフロー</a>」ページを更新。</li><li>「<a href="#">顧客管理</a>」ページを更新。</li></ul>
2023-10-31	第6版 下記を変更しました。 <ul style="list-style-type: none"><li>「<a href="#">テンプレート一覧</a>」ページからAccel-Mart Quick対応テンプレートについての記載を削除。<ul style="list-style-type: none"><li>Accel-Mart Quickで利用可能なテンプレートについては、「<a href="#">Accel-Mart Quick サービス仕様書</a>」を参照してください。</li></ul></li></ul>
2024-04-01	第7版 下記を追加しました。 <ul style="list-style-type: none"><li>「<a href="#">テンプレート詳細</a>」ページに「<a href="#">マスタメンテナンス</a>」ページを追加。</li><li>「<a href="#">テンプレート詳細</a>」ページに「<a href="#">マスタメンテナンステンプレートに利用できるExcelファイルの詳細</a>」ページを追加。</li><li>「<a href="#">テンプレート詳細</a>」ページに「<a href="#">マスタメンテナンステンプレートのローコード仕様書</a>」ページを追加。</li></ul>

## 本書の目的

---

本書は、Accel Studioで利用できるテンプレートの概要の説明を行います。

## 対象読者

---

本書では次の開発者を対象としています。

- Accel Studioで開発を行う方

## 本書の構成

---

本書は次の章で構成されています。

- [概要](#)  
本書およびAccel Studioでのアプリケーション開発の概要について説明します。
- [テンプレート一覧](#)  
Accel Studioで利用できるテンプレートの概要を一覧で紹介します。
- [テンプレート詳細](#)  
Accel Studioで利用できるテンプレートの詳細を説明します。
- [付録](#)  
Accel Studio で利用できるテンプレートについての補足事項です。

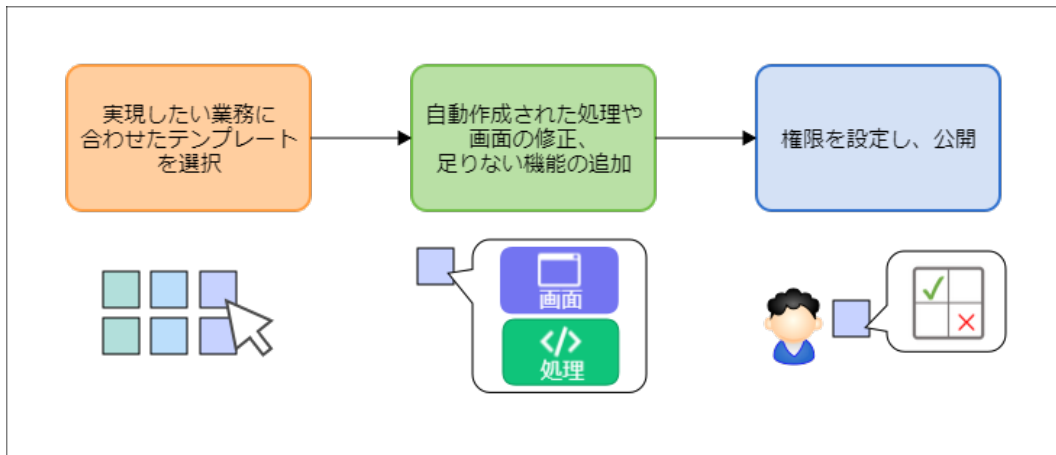
## 概要

### Accel Studioとは

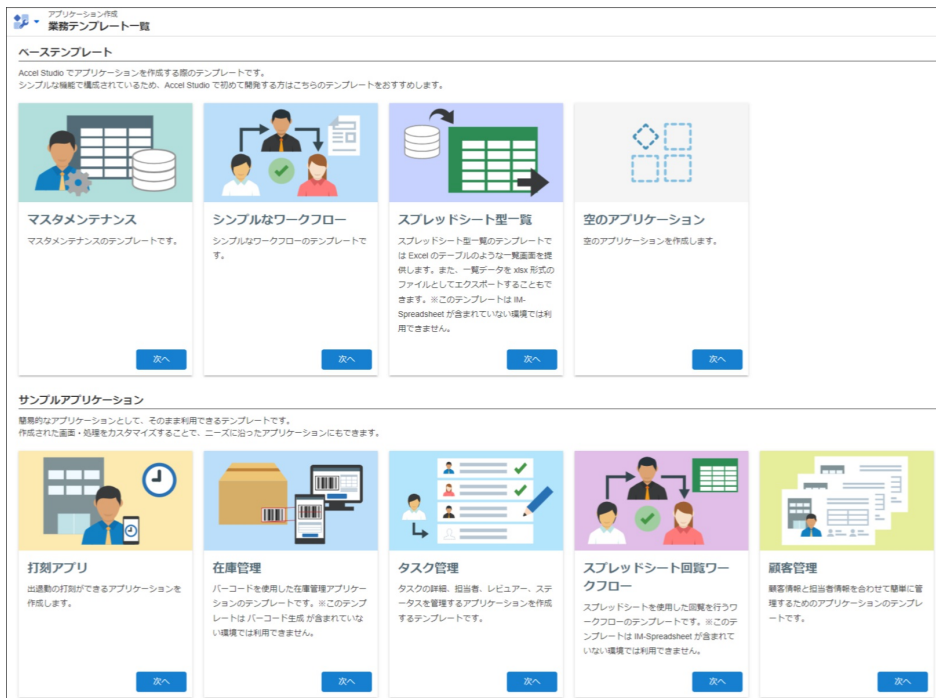
Accel Studioはintra-martの統合的なローコード開発ツールです。  
 テンプレートを元にアプリケーションを自動で作成し、作成した画面や処理を一つのアプリケーションとして管理できます。  
 製品標準では、「サイトマップ」→「Accel Studio」→「アプリケーション一覧」から利用できます。

### Accel Studioでのアプリケーション開発

Accel Studioでのアプリケーション開発は、intra-mart Accel Platform上で動作するIM-BloomMakerやIM-LogicDesignerなどを組み合わせて行います。  
 Accel Studioでのアプリケーション開発の流れは以下の通りです。



テンプレートを利用することにより、アプリケーションに必要なデータベースや処理、画面などが自動で作成されるため、手軽にアプリケーション開発を始められます。  
 テンプレートは、以下の画像のような一覧から選択できます。



## Accel Studioのテンプレート

Accel Studioのテンプレートは、アプリケーションに必要なデータベースや処理、画面などを自動で作成します。

Accel Studioのテンプレートは大きく分けて「ベーステンプレート」、「サンプルアプリケーション」、「オプションテンプレート」の3種類があります。

作成したいアプリケーションに適したテンプレートを選択し、利用してください。

テンプレートは、製品標準では、「サイトマップ」→「Accel Studio」→「業務テンプレート一覧」から利用できます。

### 注意

Accel-Mart Quickで利用可能なテンプレートは、「[Accel-Mart Quick サービス仕様書](#)」を参照してください。

### コラム

初期設定では、「テナント管理者」または「Accel Studio管理者」ロールを持ったユーザのみ、Accel Studioが利用できるように権限設定を行っています。

「Accel Studio管理者」ロールは、2022 Winter(Freesia)から利用可能です。

### コラム

Accel-Mart Quickでは、「Accel-Mart Quick アプリケーション管理者」、およびその上位ロールである「Accel-Mart Quickシステム管理者」がAccel Studioを利用できます。

Accel-Mart Quickのロールについての詳細は、「[Accel-Mart Quick チュートリアルガイド](#)」を参照してください。

## ベーステンプレート

アプリケーションのひな型として利用しやすいテンプレートです。

基本的なデータ操作やワークフローなど汎用性の高いテンプレートですので、様々なアプリケーションに柔軟に対応可能です。

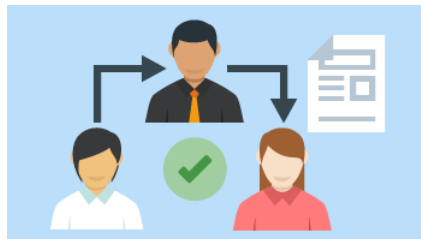
シンプルな機能で構成されているため、Accel Studio で初めて開発する方向けのテンプレートです。

「ベーステンプレート」の一覧は以下の通りです。



### マスタメンテナンス

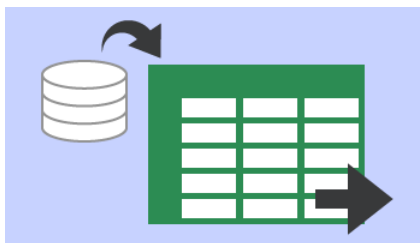
任意のマスタ情報の登録、更新、参照、削除が行えるアプリケーションを作成するテンプレートです。



### シンプルなワークフロー

ワークフローに必要な基本的な設定を備えたアプリケーションを作成するテンプレートです。

ワークフローの開発のひな形としても利用できます。



#### スプレッドシート型一覧

Excelテーブルのような一覧画面を作成するテンプレートです。

※このテンプレートは「IM-Spreadsheet」が含まれていない環境では利用できません。



#### 空のアプリケーション

空のアプリケーションを作成します。

このテンプレートでは画面や処理などの作成は行いません。

### **i** コラム

intra-mart Accel Platform環境においては、各テンプレートは特定のリリースバージョン以降から利用できます。

以下のテンプレートは **2021 Winter(Dandelion)** から利用可能です。

- マスタメンテナンス
- シンプルなワークフロー
- スプレッドシート型一覧
- 空のアプリケーション

## サンプルアプリケーション

そのままでも簡易的なアプリケーションとして利用できるようなテンプレートです。

作成された画面・処理をカスタマイズすることで、ニーズに沿ったアプリケーションにもできます。

「サンプルアプリケーション」の一覧は以下の通りです。



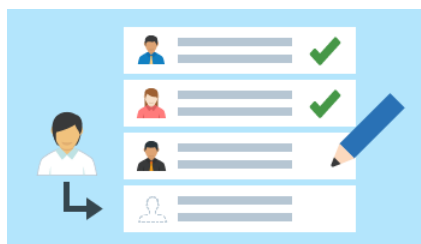
#### 打刻アプリ

モバイル端末やPCから出退勤の打刻を行い、その履歴を参照できるアプリケーションです。



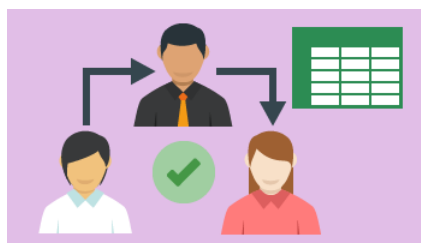
#### 在庫管理

バーコードを利用して商品・備品の在庫管理ができるアプリケーションです。  
 ※このテンプレートは「バーコード生成」が含まれていない環境では利用できません。



#### タスク管理

タスクの登録、担当者への割り振り、レビューの設定、タスクの進捗管理などが行えるアプリケーションです。



#### スプレッドシート回覧ワークフロー

スプレッドシートやExcelで作成した資料等を回覧するワークフローです。  
 ※このテンプレートは「IM-Spreadsheet」が含まれていない環境では利用できません。



#### 顧客管理

顧客情報と担当者情報を合わせて簡単に管理するためのアプリケーションです。



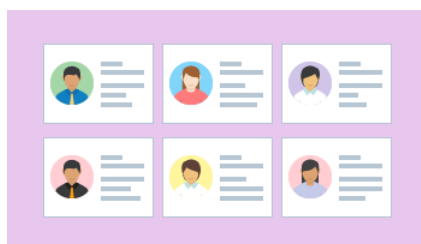
#### 社内FAQ管理

社内によくある質問とその回答を簡単に管理するためのアプリケーションです。



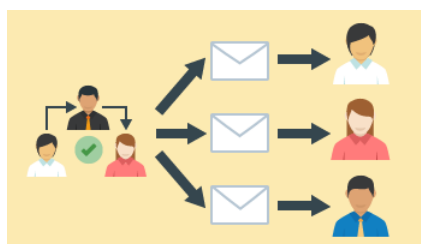
#### 休暇申請ワークフロー

ワークフローで休暇申請を承認し、承認されたメンバーの休暇予定を皆で共有できるアプリケーションです。



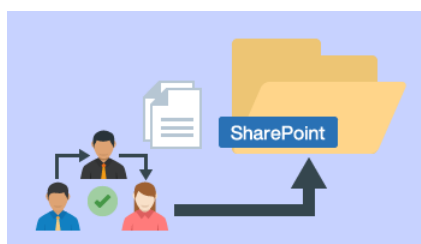
#### 自己紹介

チームメンバーのプロフィールの登録・共有ができるアプリケーションです。



#### メール配信ワークフロー

事前に登録した宛先にメールを配信するアプリケーションです。  
配信前にワークフローによる承認を行います。



#### SharePoint閲覧ワークフロー

周知事項などの文書を、ワークフローで対象者に閲覧させるアプリケーションです。  
閲覧した文書、添付ファイルを、SharePointに自動保存します。

※このテンプレートは「外部システム連携機能 - Office 365 連携」が含まれていない環境では利用できません。

## コラム

intra-mart Accel Platform 環境においては、各テンプレートは特定のリリースバージョン以降から利用できます。

以下のテンプレートは、**2021 Winter(Dandelion)** から利用可能です。

- 打刻アプリ
- 在庫管理
- タスク管理
- スプレッドシート閲覧ワークフロー

以下のテンプレートは、**2022 Spring(Eustoma)** から利用可能です。

- 顧客管理
- 社内FAQ管理
- 休暇申請ワークフロー
- 自己紹介
- メール配信ワークフロー

以下のテンプレートは、**2022 Winter(Freesia)** から利用可能です。

- SharePoint閲覧ワークフロー

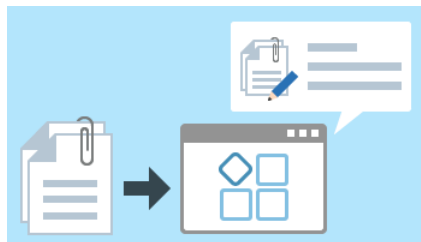
## オプションテンプレート

作成したアプリケーションに機能を追加できるテンプレートです。

このテンプレートからアプリケーションを作成することも可能です。

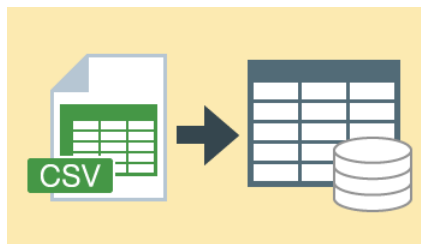
※ 基本的な機能を含まないため Accel Studio での開発経験がある方向けのテンプレートです。

「オプションテンプレート」の一覧は以下の通りです。



### ファイルアップロード

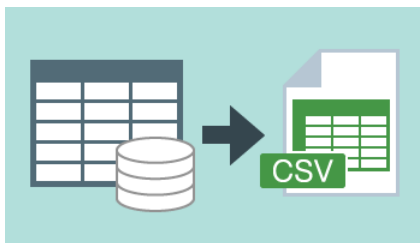
IM-BloomMaker のファイルアップロードエレメントを利用した、ファイルアップロード処理を作成します。  
このテンプレートでは画面資材は作成されません。



### CSVインポート

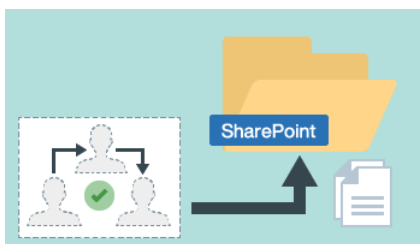
CSV形式のファイルをインポートする処理を作成します。  
このテンプレートでは画面資材は作成されません。





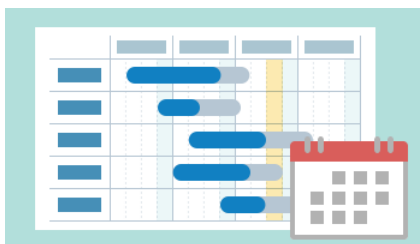
### CSVエクスポート

CSV形式でファイルをエクスポートする処理を作成します。  
このテンプレートでは画面資材は作成されません。



### SharePoint保存ロジック

ワークフロー完了後に SharePoint に添付ファイルを保存する処理を作成します。  
このテンプレートではワークフローは作成されません。  
※このテンプレートは「外部システム連携機能 - Office 365 連携」が含まれていない環境では利用できません。



### ガントチャート

指定した開始・終了日をもとにガントチャートを表示するテンプレートです。  
データの取得部分を変更することで利用できます。※アプリケーション作成時点ではサンプルデータが表示されます。

## **i** コラム

intra-mart Accel Platform 環境においては、各テンプレートは特定のリリースバージョン以降から利用できます。

以下のテンプレートは、**2022 Winter(Freesia)** から利用可能です。

- ファイルアップロード
- CSVインポート
- CSVエクスポート
- SharePoint保存ロジック

以下のテンプレートは、**2023 Autumn(Hollyhock)** から利用可能です。

- ガントチャート

各テンプレートの詳細については、以下のリンクをクリックしてください。

## ベーステンプレート

基本的な機能を備えたアプリケーションを作成できるテンプレートです。

## マスタメンテナンス

このページでは「マスタメンテナンス」テンプレートの概要、アプリケーション作成手順、画面イメージ、操作方法について解説します。

### 目次

- 「マスタメンテナンス」テンプレートとは
- 「マスタメンテナンス」テンプレートの利用方法
  - アプリケーションの作成手順
  - アプリケーションのアクセス手順
  - アプリケーションの画面イメージと操作方法

### 「マスタメンテナンス」テンプレートとは



「マスタメンテナンス」テンプレートは、マスタ情報を登録・編集・参照できるアプリケーションです。

編集	商品コード	商品名	商品カテゴリ	仕入れ先	詳細
	C001	クリアファイル	雑貨	〇〇会社	
	M001	マグカップ	雑貨	〇〇会社	
	P001	パーカー			
	S001	Tシャツ			
	S002	イラストTシャツ			
	S003	半袖Tシャツ			
	T001	トートバッグ			
	T002	スポーツタオル			
	T003	トレーナー			
	U001	うちわ			
	U002	ポーチ			
	U003	キャンディー			

SKU*	色	サイズ	価格
1	白	S	2000
2	白	M	2000
3	白	L	2000

### コラム

「マスタメンテナンス」テンプレートは2021 Winter(Dandelion)からご利用いただけます。  
明細の設定については、2022 Spring(Eustoma)からご利用いただけます。

参照項目設定を行うことで、マスタ参照機能付きのアプリケーションも作成できます。



### コラム

「マスタメンテナンス」テンプレートのマスタ参照機能を活用したアプリケーション作成は2024 Spring(Iris)からご利用いただけます。  
詳しくは「マスタメンテナンス (マスタ参照機能付き)」をご確認ください。

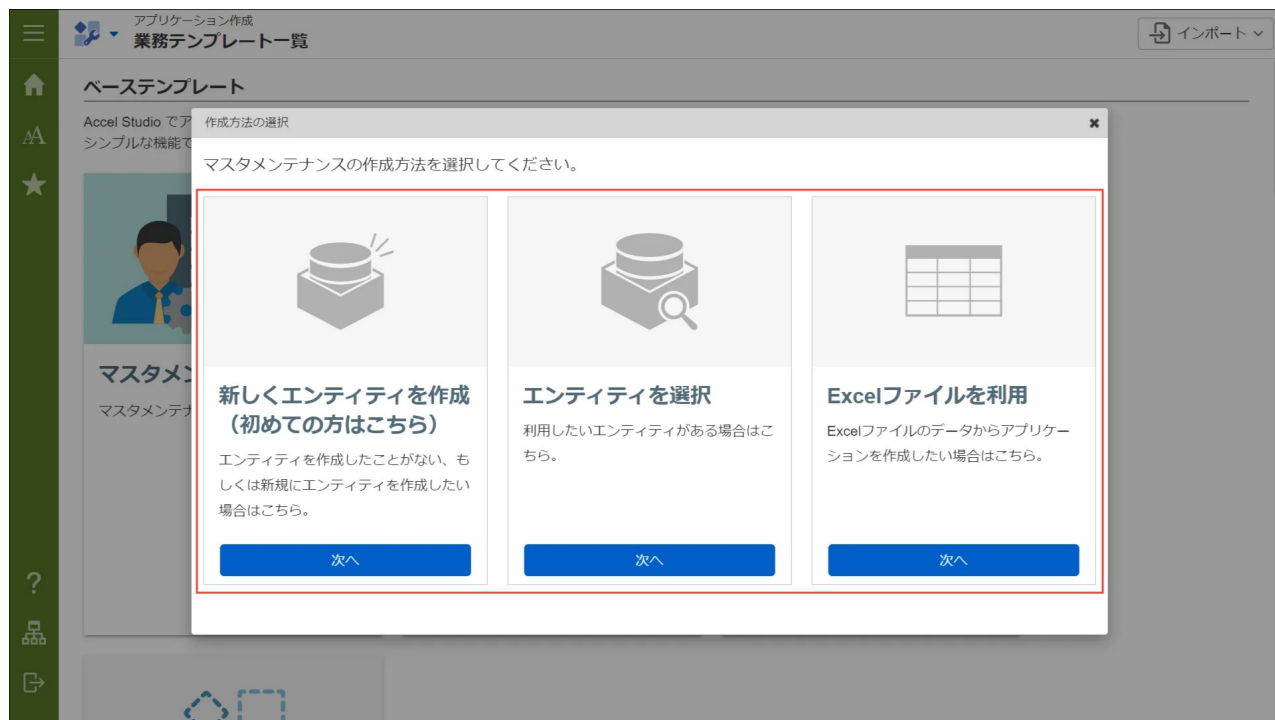
### 「マスタメンテナンス」テンプレートの利用方法

「マスタメンテナンス」テンプレートを利用したアプリケーションの作成手順と「マスタメンテナンス」アプリケーションの操作方法をご紹介します。

#### アプリケーションの作成手順

「マスタメンテナンス」テンプレートを利用してアプリケーションを作成する手順についてご紹介します。

マスタメンテナンスの作成方法は「新しくエンティティを作成」「エンティティを選択」「Excelファイルを利用」のいずれかを選択します。



### コラム

「Excelファイルを利用」は2024 Spring(Iris)からご利用いただけます。

「新しくエンティティを作成」では、エンティティを作成しそれを利用してアプリケーションを作成できます。初めての方や、利用したいエンティティを作成していない方は選択してください。

「エンティティを選択」では、既存のエンティティを利用してアプリケーションを作成できます。利用したいエンティティを作成済みの方は選択してください。

「Excelファイルを利用」では、Excelファイルのデータを元にアプリケーションを作成できます。アプリケーション化したいExcelファイルを持っている方は選択してください。

作成方法を選択し、それぞれの手順に従ってアプリケーションを作成してください。

- [新しくエンティティを作成する場合](#)
- [エンティティを選択する場合](#)
- [Excelファイルを利用する場合](#)

#### アプリケーションのアクセス手順

作成したアプリケーションへアクセスする方法をご紹介します。


「マスタメンテナンス」テンプレートから作成されるアプリケーションは、「一覧画面」を起点として操作することを想定しています。

以下では「一覧画面」へのアクセス手順について説明します。

- [「テンプレートビルドジョブ - 詳細」画面から遷移する](#)
- [画面のURLを取得する](#)

「テンプレートビルドジョブ - 詳細」画面から遷移する

「テンプレートビルドジョブ - 詳細」画面はアプリケーション作成完了後に表示されます。

「テンプレートビルドジョブ - 詳細」画面のステータスが「COMPLETE」と表示されたら、「作成された「一覧画面」へはこちらの詳細アイコンから遷移できます。」の欄にあるをクリックしてください。



ビルドジョブID	8h50coituaxijpi	テンプレート名	マスタメンテナンス
ステータス	● COMPLETE	作成者ユーザコード	tenant
作成日時	2024/03/14 16:33:00		

出力日時	メッセージ	詳細
2024/03/14 16:33:00	生成するリソースのIDを自動設定します。	
2024/03/14 16:33:00	一時ディレクトリに IM-LogicDesigner インポート資材を作成しました。	
2024/03/14 16:33:01	一時ディレクトリに IM-BloomMaker インポート資材を作成しました。	
2024/03/14 16:33:02	自動生成された IM-LogicDesigner 資材をインポートしました。	
2024/03/14 16:33:06	自動生成された IM-BloomMaker 資材をインポートしました。	
2024/03/14 16:33:06	作成された「一覧画面」へはこちらの詳細アイコンから遷移できます。	
2024/03/14 16:33:08	アプリケーションの作成が完了しました。	
2024/03/14 16:33:08	アプリケーション認可設定で テナント管理者,Accel Studio 管理者 にアクセス許可が設定されました。	

#### コラム

「テンプレートビルドジョブ - 詳細」画面は、「サイトマップ」→「Accel Studio」→「アプリケーション作成」→「テンプレートビルドジョブ」に遷移し、作成したアプリケーションの「詳細」をクリックすることで表示できます。

#### 画面のURLを取得する

「マスタメンテナンス」テンプレートから作成したアプリケーションは「一覧画面」「登録画面」「編集画面」「参照画面」のそれぞれに画面URLが定義されています。

「サイトマップ」→「Accel Studio」→「アプリケーション一覧」で、「自動生成されたアプリケーション」カテゴリを選択します。

作成したアプリケーションを選択し、遷移したいカードにホバーをしてください。

表示されたURLアイコンをクリックすることで、URLがクリップボードにコピーされます。

アプリケーション管理  
マスタメンテナンス - 詳細

リソース関連図 | 権限設定 | ログ |

ALL | 画面 | 公開URL | ロジック | ワークフロー | データ定義 | ユーティリティ | + リソースを追加

検索オプション

画面コンテンツ (ID: im-bloommaker://contents/master\_maintenance-list) ...  
**マスタメンテナンス 一覧画面**  
 「マスタメンテナンス」テンプレートから作成された一覧画面のコンテンツです。  
 tenant 2024/03/14 16:33:06

画面コンテンツ (ID: im-bloommaker://contents/master\_maintenance-crud) ...  
**マスタメンテナンス 登録・編集・参照画面**  
 「マスタメンテナンス」テンプレートから作成された登録・編集・参照画面のコンテンツです。  
 tenant 2024/03/14 16:33:06

画面URL (ID: im-bloommaker://routes/master\_maintenance-register) ...  
**マスタメンテナンス 登録画面**  
 「マスタメンテナンス」テンプレートから作成された登録画面のルーティング定義です。  
 tenant 2024/03/14 16:33:06

画面URL (ID: im-bloommaker://routes/master\_maintenance-refer) ...  
**マスタメンテナンス 参照画面**  
 「マスタメンテナンス」テンプレートから作成された参照画面のルーティング定義です。  
 tenant 2024/03/14 16:33:06

画面URL (ID: im-bloommaker://routes/master\_maintenance-list) ...  
**マスタメンテナンス 一覧画面**  
 「マスタメンテナンス」テンプレートから作成された一覧画面のルーティング定義です。  
 tenant 2024/03/14 16:33:06

画面URL (ID: im-bloommaker://routes/master\_maintenance-edit) ...  
**マスタメンテナンス 編集画面**  
 「マスタメンテナンス」テンプレートから作成された編集画面のルーティング定義です。

**コラム**

取得したURLは、初期設定では「テナント管理者」または「Accel Studio管理者」ロールを持ったユーザのみアクセス可能です。任意のユーザに対して、利用を許可したい場合の設定方法は、「[Accel Studio アプリケーション管理機能 仕様書](#)」 - 「[Accel Studio アプリケーション認可設定](#)」をご確認ください。

**コラム**

作成したアプリケーションをグローバルメニューに追加したい場合は、グローバルナビ設定をご利用ください。グローバルナビの設定方法は、「[ファーストステップガイド](#)」 - 「[管理者が一般ユーザ向けのメニューを作成する](#)」をご確認ください。

アプリケーションの画面イメージと操作方法

「マスタメンテナンス」テンプレートから作成されるアプリケーションは、「一覧画面」を起点として操作することを想定しています。

一覧画面

「一覧画面」では、登録したデータを閲覧できます。

マスタメンテナンス  
一覧画面

検索

+ 新規作成

編集	商品コード	商品名	商品カテゴリ	仕入れ先	詳細
	C001	クリアファイル	雑貨	〇〇会社	
	M001	マグカップ	雑貨	〇〇会社	
	P001	パーカー	服	△△会社	
	S001	Tシャツ	服	〇〇会社	
	S002	イラストTシャツ	服	〇〇会社	
	S003	半袖Tシャツ	服	〇〇会社	
	T001	トートバッグ	雑貨	××会社	
	T002	スポーツタオル	雑貨	〇〇会社	
	T003	トレーナー	服	〇〇会社	
	U001	うちわ	雑貨	△△会社	
	U002	ポーチ	雑貨	××会社	
	U003	キャンディー	食品	〇〇会社	

6 ページ中 1 ページ目 | 20 | 105 件中 1 - 20 を表示

画面左上の検索ボタンをクリックすると、検索欄を表示させることができます。

検索欄からデータを絞り込みできます。

マスタメンテナンス 一覧画面

検索(絞り込み中)

+ 新規作成

商品コード	商品名	商品カテゴリ	仕入れ先	詳細
	トートバッグ	雑貨	xx会社	目

商品コード

商品名

商品カテゴリ

仕入れ先

クリア 検索

1 ページ中 1 ページ目

20 1 件中 1 - 1 を表示

### コラム

検索欄に表示される項目は、事前にIM-Repositoryで検索条件に設定した項目のみです。

### 登録画面

「新規作成」ボタンから「登録画面」に遷移します。

マスタメンテナンス 一覧画面

検索

+ 新規作成

編集	商品コード	商品名	商品カテゴリ	仕入れ先	詳細
✎	C001	クリアファイル	雑貨	oo会社	目
✎	M001	マグカップ	雑貨	oo会社	目
✎	P001	パーカー	服	△△会社	目
✎	S001	Tシャツ	服	OO会社	目
✎	S002	イラストTシャツ	服	OO会社	目
✎	S003	半袖Tシャツ	服	OO会社	目
✎	T001	トートバッグ	雑貨	xx会社	目
✎	T002	スポーツタオル	雑貨	OO会社	目
✎	T003	トレーナー	服	OO会社	目
✎	U001	うちわ	雑貨	△△会社	目
✎	U002	ポーチ	雑貨	xx会社	目
✎	U003	キャンディー	食品	oo会社	目

6 ページ中 1 ページ目

20 105 件中 1 - 20 を表示

「登録画面」では任意の情報を設定できます。

編集画面

「一覧画面」で任意のデータの編集ボタンを選択すると、選択したデータの「編集画面」に遷移します。

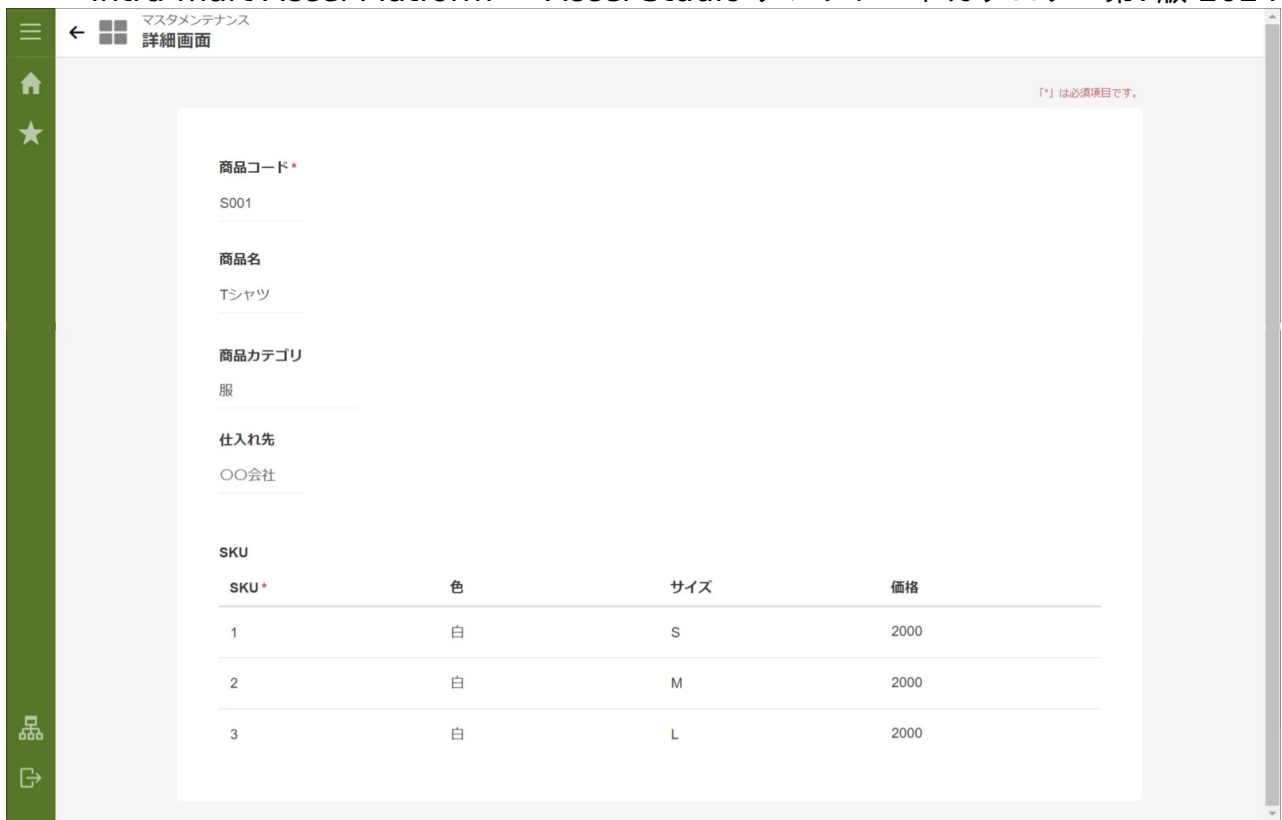
SKU*	色	サイズ	価格
1	白	S	2000
2	白	M	2000
3	白	L	2000

画面右下の鍵アイコンは排他制御エレメントです。

鍵アイコンをクリックして排他制御を有効にすると、他のユーザは編集ができない状態になり、編集の衝突を防ぐことができます。

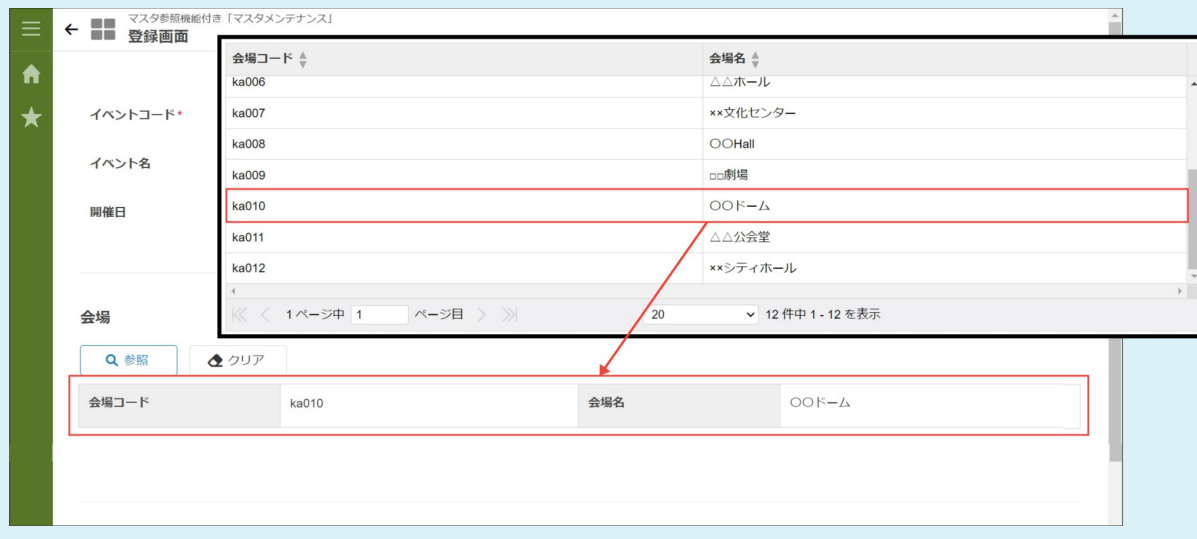
参照画面

「一覧画面」で任意のデータの参照ボタンを選択すると、選択したデータの「参照画面」に遷移します。



**i** コラム

事前に設定を行うことで、マスタ参照機能付きのアプリケーションを作成できます。  
詳しくは「マスタメンテナンス (マスタ参照機能付き)」をご確認ください。



マスタメンテナンス (マスタ参照機能付き)

このページではマスタ参照機能付きのマスタメンテナンスアプリケーションの概要、アプリケーション作成手順、画面イメージ、操作方法について解説します。

目次

- マスタメンテナンス (マスタ参照機能付き) とは
- 「マスタメンテナンス」テンプレートのマスタ参照機能を活用した利用方法
  - アプリケーションの作成手順
  - アプリケーションのアクセス手順
  - アプリケーションの画面イメージと操作方法

マスタメンテナンス (マスタ参照機能付き) とは





「マスタメンテナンス」テンプレートにマスタの参照機能を追加したアプリケーションです。  
参照項目設定を行うことでアプリケーションを作成できます。

### コラム

「マスタメンテナンス」テンプレートのマスタ参照機能を活用したアプリケーション作成は2024 Spring(Iris)からご利用いただけます。

### 「マスタメンテナンス」テンプレートのマスタ参照機能を活用した利用方法

「マスタメンテナンス」テンプレートを利用したマスタ参照機能付きアプリケーションの作成手順と操作方法をご紹介します。

#### アプリケーションの作成手順

アプリケーションを作成するには、IM-Repositoryにて事前設定を行う必要があります。

##### 事前設定

参照元エンティティと、参照先エンティティ または 参照先テーブルを用意してください。

参照元エンティティに対し、データ定義の参照項目設定を行います。

参照項目設定については、「[IM-Repository ユーザ操作ガイド](#)」 - 「[参照項目設定](#)」をご確認ください。

また、参照項目設定を行う際は、【参照先ごとの注意事項】を確認してください。

**!** 注意

【参照先ごとの注意事項】

エンティティを参照する

- 結合条件は、参照元・参照先で同一の辞書項目を指定してください
  - 異なる辞書項目を設定した場合、アプリケーションは正常に作成されません
- 参照先エンティティに検索機能を付けるには設定が必要です
  - 参照先エンティティの「[データ定義](#)」設定から、検索条件に指定した項目のみ検索ができます

テーブルを参照する

- 参照項目・結合条件ともに、参照元エンティティ項目と参照先カラムのデータ型が一致している必要があります
  - データ型が一致しない場合、アプリケーションは正常に動作しないことがあります
- 参照先テーブルのすべてのカラムで検索が可能です
  - 表示形式が「テキストボックス」「複数行テキストボックス」の場合は部分一致検索、それ以外は完全一致検索としてアプリケーションが作成されます

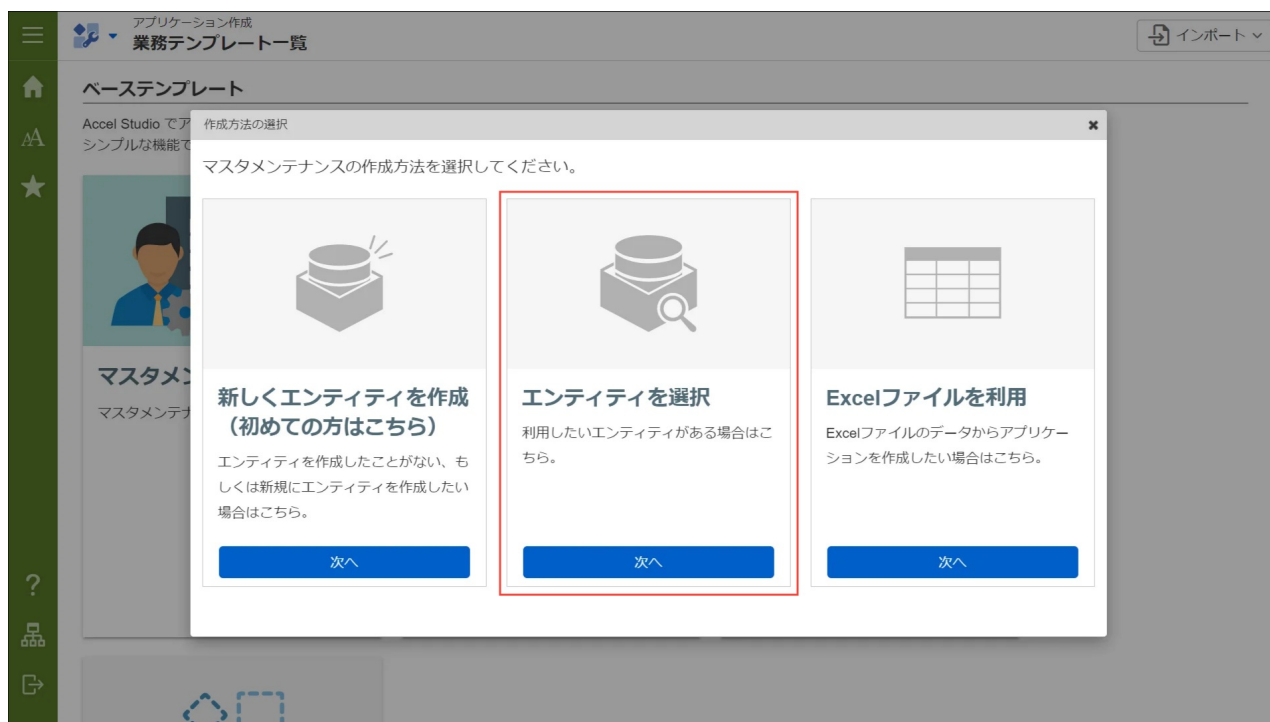
共通マスタを参照する

- 「マスタメンテナンス」テンプレート（マスタ参照機能付き）は「[共通マスタを参照する](#)」機能に対応していません
- 「[共通マスタを参照する](#)」から参照項目設定したエンティティを利用した場合、関連項目はマスタ参照する形ではなく、通常の項目としてアプリケーションが作成されます
- 共通マスタの参照を行いたい場合は、参照したいテーブルに対して「[テーブルを参照する](#)」設定を行ったエンティティでアプリケーションを作成してください

## アプリケーションの作成

「マスタメンテナンス」テンプレートを利用してアプリケーションを作成する手順についてご紹介します。

「エンティティを選択」から参照元エンティティを選択し、マスタメンテナンス（マスタ参照機能付き）アプリケーションを作成します。



詳細な手順は下記のページをご確認ください。

[「エンティティを選択」して作成する](#)

## アプリケーションのアクセス手順

作成したアプリケーションへアクセスする方法をご紹介します。


「マスタメンテナンス」テンプレートから作成されるアプリケーションは、「一覧画面」を起点として操作することを想定しています。

以下では「一覧画面」へのアクセス手順について説明します。

- [「テンプレートビルドジョブ - 詳細」画面から遷移する](#)
- [画面のURLを取得する](#)

「テンプレートビルドジョブ - 詳細」画面から遷移する

「テンプレートビルドジョブ - 詳細」画面はアプリケーション作成完了後に表示されます。

「テンプレートビルドジョブ - 詳細」画面のステータスが「COMPLETE」と表示されたら、「作成された「一覧画面」へはこちらの詳細アイコンから遷移できます。」の欄にあるをクリックしてください。



ビルドジョブID	8h57d5hcr31zaxe	テンプレート名	マスタメンテナンス
ステータス	● COMPLETE	作成者ユーザコード	tenant
作成日時	2024/03/19 14:20:34		

出力日時	メッセージ	詳細
2024/03/19 14:20:34	生成するリソースのIDを自動設定します。	
2024/03/19 14:20:35	一時ディレクトリに IM-LogicDesigner インポート資材を作成しました。	
2024/03/19 14:20:37	一時ディレクトリに IM-BloomMaker インポート資材を作成しました。	
2024/03/19 14:20:45	自動生成された IM-LogicDesigner 資材をインポートしました。	
2024/03/19 14:20:58	自動生成された IM-BloomMaker 資材をインポートしました。	
2024/03/19 14:20:58	作成された「一覧画面」へはこちらの詳細アイコンから遷移できます。	
2024/03/19 14:21:02	アプリケーションの作成が完了しました。	
2024/03/19 14:21:02	アプリケーション認可設定で テナント管理者,Accel Studio 管理者 にアクセス許可が設定されました。	

### コラム

「テンプレートビルドジョブ - 詳細」画面は、「サイトマップ」→「Accel Studio」→「アプリケーション作成」→「テンプレートビルドジョブ」に遷移し、作成したアプリケーションの「詳細」をクリックすることで表示できます。

### 画面のURLを取得する

「マスタメンテナンス」テンプレートから作成したアプリケーションは「一覧画面」「登録画面」「編集画面」「参照画面」のそれぞれに画面URLが定義されています。

「サイトマップ」→「Accel Studio」→「アプリケーション一覧」で、「自動生成されたアプリケーション」カテゴリを選択します。

作成したアプリケーションを選択し、遷移したいカードにホバーをしてください。

表示されたURLアイコンをクリックすることで、URLがクリップボードにコピーされます。



画面コンテンツ ( ID: im-bloommaker://contents/master_refer-list )	マスタ参照機能付き「マスタメンテナンス」一覧画面	...
画面コンテンツ ( ID: im-bloommaker://contents/master_refer-crud )	マスタ参照機能付き「マスタメンテナンス」登録・編集・参照画面	...
画面URL ( ID: im-bloommaker://routes/master_refer-register )	マスタ参照機能付き「マスタメンテナンス」登録画面	...
画面URL ( ID: im-bloommaker://routes/master_refer-refer )	マスタ参照機能付き「マスタメンテナンス」参照画面	...
画面URL ( ID: im-bloommaker://routes/master_refer-list )	マスタ参照機能付き「マスタメンテナンス」一覧画面	...
画面URL ( ID: im-bloommaker://routes/master_refer-edit )	マスタ参照機能付き「マスタメンテナンス」編集画面	...

**i** コラム

取得したURLは、初期設定では「テナント管理者」または「Accel Studio管理者」ロールを持ったユーザのみアクセス可能です。任意のユーザに対して、利用を許可したい場合の設定方法は、「[Accel Studio アプリケーション管理機能 仕様書](#)」 - 「[Accel Studio アプリケーション認可設定](#)」をご確認ください。

**i** コラム

作成したアプリケーションをグローバルメニューに追加したい場合は、グローバルナビ設定をご利用ください。| グローバルナビの設定方法は、「[ファーストステップガイド](#)」 - 「[管理者が一般ユーザ向けのメニューを作成する](#)」をご確認ください。

## アプリケーションの画面イメージと操作方法

「マスタメンテナンス」テンプレートから作成されるアプリケーションは、「一覧画面」を起点として操作することを想定しています。

## 一覧画面

「一覧画面」では、登録したデータを閲覧できます。

編集	イベントコード	イベント名	開催日	会場名	会場コード	詳細
	2023Autumn	2023年秋のマーケット	2023/10/10	××文化センター	ka007	
	2023Winter	2023年冬キャンペーン	2023/12/13	〇〇Hall	ka008	
	2024Autumn	2024年秋フェスティバル	2024/11/01	××文化センター	ka007	
	2024Special	2024年特別イベント	2024/03/20	××シティホール	ka012	
	2024Spring	2024年春フェスタ	2024/04/01	〇〇ドーム	ka010	
	2024Summer	2024年夏祭り	2024/07/31	△△体育館	ka004	
	2024Winter	2024年冬キャンペーン	2024/01/15	□□劇場	ka009	
	2025Autumn	2025年秋のマーケット	2025/10/28	〇〇Hall	ka008	
	2025Special	2025年特別イベント	2025/06/15	△△公会堂	ka011	
	2025Spring	2025年春イベント	2025/04/04	□□劇場	ka009	
	2025Summer	2025年夏祭り	2025/08/11	△△体育館	ka004	
	2025Winter	2025年冬イベント	2025/12/20	××ドーム	ka002	

画面左上の検索ボタンをクリックすると、検索欄を表示させることができます。

検索欄から任意のデータを絞り込みできます。

参照項目の検索も可能です。

マスタ参照機能付き「マスタメンテナンス」  
一覧画面

検索(絞込み中) + 新規作成

イベントコード	イベント名	開催日	会場名	会場コード	詳細
	23年秋のマーケット	2023/10/10	xx文化センター	ka007	
	24年秋フェスティバル	2024/11/01	xx文化センター	ka007	

検索条件:

イベントコード:

イベント名:

開催日: 年/月/日  -

会場コード:

会場名:

クリア  検索

1 ページ中 1 ページ目 20 2 件中 1 - 2 を表示

**i** コラム

検索欄に表示される項目は、事前にIM-Repositoryで検索条件に設定した項目のみです。

登録画面

「新規作成」ボタンから「登録画面」に移ります。

マスタ参照機能付き「マスタメンテナンス」  
一覧画面

検索 + 新規作成

編集	イベントコード	イベント名	開催日	会場名	会場コード	詳細
	2023Autumn	2023年秋のマーケット	2023/10/10	xx文化センター	ka007	
	2023Winter	2023年冬キャンペーン	2023/12/13	〇〇Hall	ka008	
	2024Autumn	2024年秋フェスティバル	2024/11/01	xx文化センター	ka007	
	2024Special	2024年特別イベント	2024/03/20	xxシティホール	ka012	
	2024Spring	2024年春フェスタ	2024/04/01	〇〇ドーム	ka010	
	2024Summer	2024年夏祭り	2024/07/31	△△体育館	ka004	
	2024Winter	2024年冬キャンペーン	2024/01/15	□□劇場	ka009	
	2025Autumn	2025年秋のマーケット	2025/10/28	〇〇Hall	ka008	
	2025Special	2025年特別イベント	2025/06/15	△△公会堂	ka011	
	2025Spring	2025年春イベント	2025/04/04	□□劇場	ka009	
	2025Summer	2025年夏祭り	2025/08/11	△△体育館	ka004	
	2025Winter	2025年冬イベント	2025/12/20	xxドーム	ka002	

1 ページ中 1 ページ目 20 12 件中 1 - 12 を表示

「登録画面」では任意の情報を設定できます。

項目の並び順は通常のマスタメンテナンスと異なります。

マスタメンテナンス（マスタ参照機能付き）では、参照先ごとに項目がグループ化されて表示されます。

←
マスタ参照機能付き「マスタメンテナンス」  
登録画面

[\*] は必須項目です。

イベントコード\*

イベント名

開催日

---

**会場**

会場コード	会場名

---

**販売品**

SKU	商品コード	SKU	色	サイズ
<span style="color: #00a0e3; font-weight: bold;">i</span> データは0件です。				

参照ボタンから、参照マスタの一覧画面をダイアログで確認できます。  
 検索欄からデータを絞り込むことも可能です。

マスタ参照機能付き「マスタメンテナンス」  
登録画面

「\*」は必須項目です。

イベントコード\*

イベント名

開催日

---

会場

会場コード	会場名

---

販売品

SKU	商品コード	SKU	色	サイズ

*データは0件です。*

会場

Q 検索

会場コード	会場名
ka001	〇〇野球場
ka002	××ドーム
ka003	□□競技場
ka004	△△体育館
ka005	××体育館
ka006	△△ホール
ka007	
ka008	
ka009	

1 ページ中 1 ページ

Q 検索

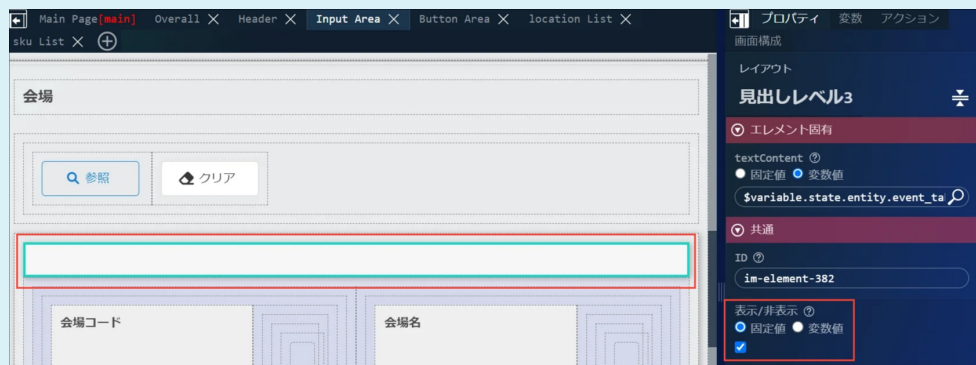
会場コード	会場名
<input type="text" value="ドーム"/>	××ドーム
<input type="text" value="ドーム"/>	〇〇ドーム

ダイアログで任意のデータを選択すると、選択したデータが登録画面に反映されます。



### コラム

Input Areaコンテナに配置している、非表示の「見出しレベル3」エレメントには結合条件の1つ目のデータが設定されています。



このエレメントに任意のデータを設定し、表示/非表示プロパティにチェックをつけることで、テーブルヘッダのように利用することができます。



アプリケーション画面の編集はコンテンツ編集画面から行います。  
コンテンツ編集画面へは、アプリケーション管理画面からアクセスできます。

### 編集画面

「一覧画面」で任意のデータの編集ボタンを選択すると、選択したデータの「編集画面」に遷移します。  
編集画面でも登録画面と同様に、参照ボタンからマスタの参照を行うことができます。



←
マスタ参照機能付き「マスタメンテナンス」  
編集画面

[\*] は必須項目です。

イベントコード\*

イベント名

開催日

---

**会場**

会場コード	ka010	会場名	〇〇ドーム
-------	-------	-----	-------

---

**販売品**

SKU				
商品コード	SKU	色	サイズ	
<input type="text" value="U001"/> <input type="button" value="検索"/>	<input type="button" value="追加"/>	1	白	FREE <input type="button" value="削除"/>
<input type="text" value="U001"/> <input type="button" value="検索"/>	<input type="button" value="追加"/>	2	黒	FREE <input type="button" value="削除"/>

青柳辰巳

画面右下の鍵アイコンは排他制御エレメントです。

鍵アイコンをクリックして排他制御を有効にすると、他のユーザは編集ができない状態になり、編集の衝突を防ぐことができます。

#### 参照画面

「一覧画面」で任意のデータの参照ボタンを選択すると、選択したデータの「参照画面」に遷移します。

←
マスタ参照機能付き「マスタメンテナンス」  
詳細画面

[\*] は必須項目です。

イベントコード\*

イベント名

開催日

---

**会場**

会場コード	ka010	会場名	〇〇ドーム
-------	-------	-----	-------

---

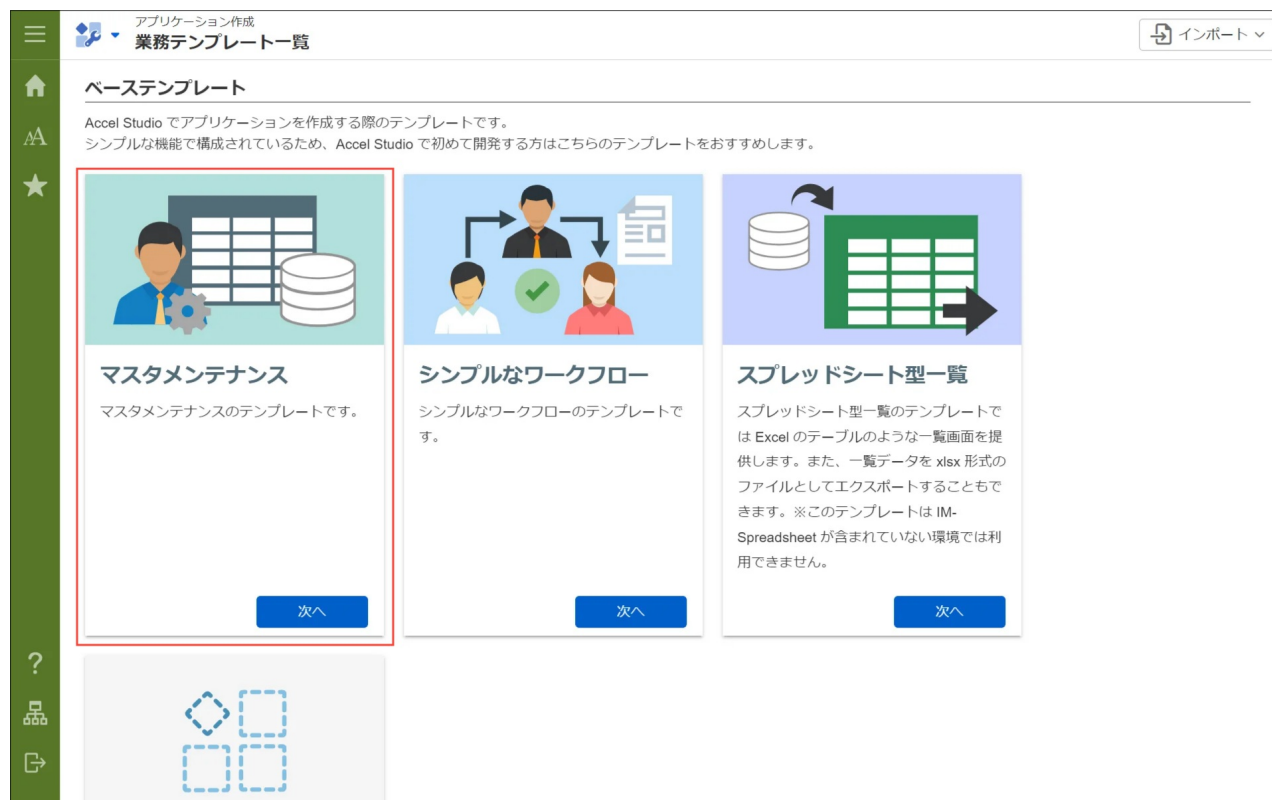
**販売品**

SKU			
商品コード	SKU	色	サイズ
U001	1	白	FREE
U001	2	黒	FREE

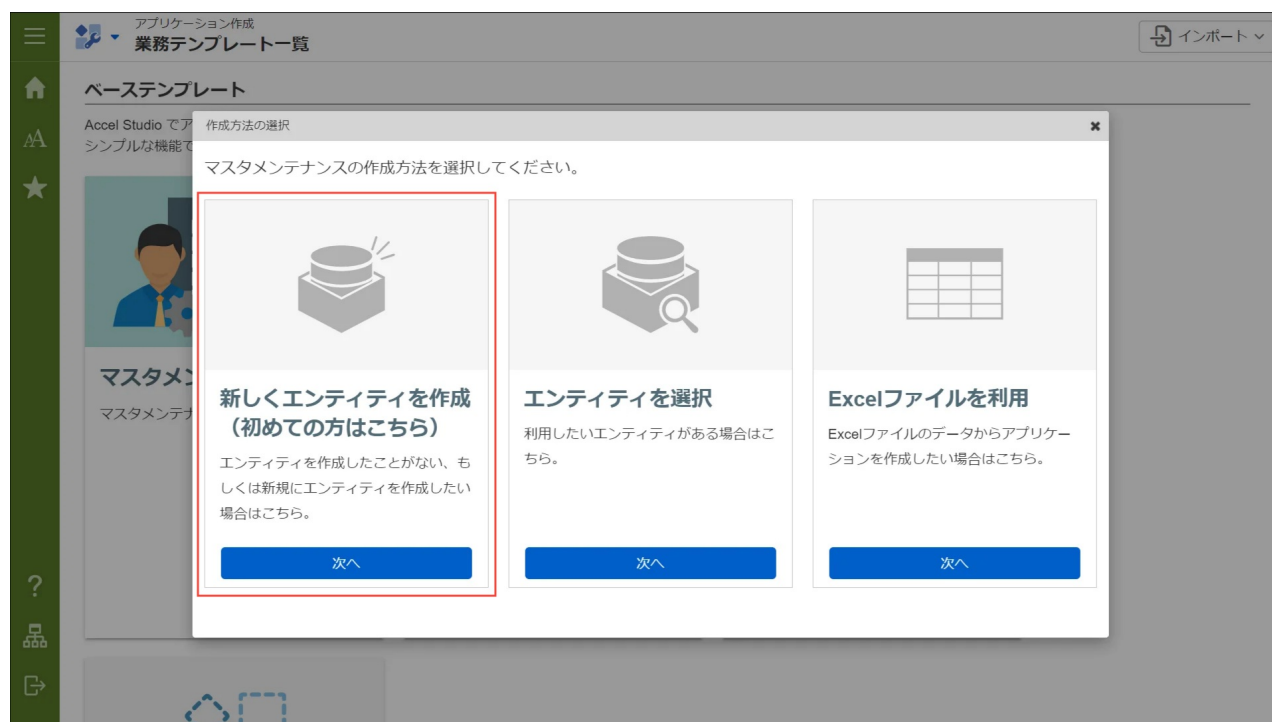
## 1. アプリケーション作成画面への遷移

Accel Studioの「業務テンプレート一覧」から「マスタメンテナンス」テンプレートを選択します。

Accel Studioの「業務テンプレート一覧」は、「サイトマップ」→「Accel Studio」→「業務テンプレート一覧」から遷移できます。



マスタメンテナンスの作成方法は「新しくエンティティを作成」を選択します。



## 2. アプリケーションのIDや名称などの設定

「マスタメンテナンス」テンプレートを選択し、アプリケーション情報の設定画面が表示されたら、アプリケーションのIDや名称などを設定します。

設定した基本情報は、各処理や画面の名称、IDなどに利用されます。

アプリケーション作成  
マスタメンテナンス - 新規作成

アプリケーション情報\* ✓

扱うデータの定義\* ✓

明細データの利用指定

その他情報の指定\* ✓

アプリケーション情報

① 作成する資材をまとめて1つのアプリケーションとして登録します。  
作成するアプリケーション情報を入力してください。

アプリケーションID\* ⓘ  
半角英数字、- (ハイフン)、\_ (アンダースコア) で入力してください。

アプリケーション名\* ⓘ

説明 ⓘ

扱うデータの定義

① 作成するアプリケーションで扱うデータを IM-Repository から作成します。

IM-Repository資材の設定

アプリケーション作成

### 3. 扱うデータの定義

「新しくエンティティを作成」する場合は、アプリケーション作成時に作成されるエンティティの情報を元に、マスタメンテナンスアプリケーションの各画面が生成されます。

この項目ではメインエンティティを作成します。

エンティティの設定方法は「簡易に設定する」または「詳細に設定する」のどちらかを選択します。

#### **i** コラム

簡易設定は2023 Autumn(Hollyhock)からご利用いただけます。

「簡易に設定する」では、最低限の項目のみ入力します。すぐにアプリケーションを作成したい場合に選択してください。

「詳細に設定する」では、全ての項目を入力します。エンティティの設定を詳細に行いたい場合に選択してください。

- [簡易に設定する場合](#)
- [詳細に設定する場合](#)



簡易に設定する場合



1. 扱うデータの定義  
新しいエンティティを作成します。メインエンティティの名称を設定します。
2. データベースのテーブルに利用する名称の定義  
入力された内容を保持するテーブルの名称を設定します。  
エンティティ情報を元にデータベースのテーブルが作成され、「データ定義」機能で管理されます。  
なお、「新しくエンティティを作成」する場合、既存のテーブルは設定いただけません。



コラム

「データ定義」機能については、「IM-Repository ユーザ操作ガイド」 - 「データ定義」をご確認ください。

**i** コラム

「簡易に設定する」場合は、データベース種別は「TENANT」に設定されます。データベース種別を変更することはできません。

3. メインエンティティの項目の編集

「マスタメンテナンス」テンプレートはエンティティ項目を元に一覧画面などの各画面がアプリケーション作成時に生成されます。テーブルにカラムを追加し、各項目を設定してください。

物理名	表示名	データ型	表示形式
item_cd	商品コード	文字列	テキストボックス
item_name	商品名	文字列	テキストボックス
item_category	商品カテゴリ	文字列	プルダウン
supplier	仕入れ先	文字列	テキストボックス

**i** コラム

「マスタメンテナンス」テンプレートは、作成するアプリケーションに検索機能を付けることができます。検索機能を付ける場合、検索対象にしたい項目の「検索条件」にチェックを入れてください。

4. 明細データの利用指定

明細エンティティの数を指定します。  
最大で5つの明細エンティティを作成できます。

アプリケーション作成  
マスタメンテナンス - 新規作成

アプリケーション情報\*

扱うデータの定義\*

明細データの利用指定

その他情報の指定\*

**明細データの利用指定**

① 利用する明細データ数を指定します。

明細データの利用数  
0

**その他情報の指定**

① このテンプレートでは、IM-LogicDesigner と IM-BloomMaker のリソースを新規作成し、アプリケーションを作成します。IM-LogicDesigner と IM-BloomMaker で利用される各種IDやルーティング情報などを自動で決定するかを指定します。自動で決定する場合は、「IDの決定に利用する文字列」が含まれた文字列が指定されます。

IM-LogicDesigner, IM-BloomMaker 資材の設定 **i**

リソースのIDやルーティング情報を手動で決定する

IDの決定に利用する文字列\* **i**

半角英数字、- (ハイフン)、\_ (アンダースコア) で入力してください。

アプリケーション作成

5. 扱う明細データの定義1

メインエンティティと同様に項目を編集します。  
明細エンティティの主キーは、sub\_table\_idとメインエンティティの主キーが設定されます。

アプリケーション作成  
マスタメンテナンス - 新規作成

アプリケーション情報\* ✓  
扱うデータの定義\* ✓  
明細データの利用指定  
扱う明細データの定義1\* ✓  
その他情報の指定\* ✓

### 扱う明細データの定義1

① 作成するアプリケーションで扱う明細データを、IM-Repository から指定します。  
メインエンティティに紐づく子エンティティを、既存のサブエンティティから選択するか、新規作成して利用します。

エンティティ名\* ⓘ

エンティティに紐づくテーブル名\* ⓘ  
ヘルプアイコンから入力規則を確認できます。

エンティティ情報\* ⓘ

+ 追加

物理名	表示名	データ型	表示形式	主キー	必須
item_cd	商品コード	文字列		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
sub_table_id	明細テーブルID	文字列		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

### その他情報の指定

① このテンプレートでは、IM-LogicDesigner と IM-BloomMaker のリソースを新規作成し、アプリケーションを作成します。  
IM-LogicDesigner と IM-BloomMaker で利用される各種IDやルーティング情報などを自動で決定するかを指定します。  
自動で決定する場合は、「IDの決定に利用する文字列」が含まれた文字列が指定されます。

アプリケーション作成

扱う明細データの定義1 以降の明細データも、同様に設定を行うことができます。

「簡易に設定する」を選択した場合のデータ定義設定は以上です。

6. [その他情報の指定](#)に進んでください。

詳細に設定する場合



1. 扱うデータの定義

新しいエンティティを作成します。メインエンティティのID、名称、カテゴリを設定します。

2. データベースのテーブルに利用する名称の定義

入力された内容を保持するテーブルの名称を設定します。

エンティティ情報を元にデータベースのテーブルが作成され、「データ定義」機能で管理されます。

なお、「新しくエンティティを作成」する場合、既存のテーブルは設定いただけません。

**i** コラム

「データ定義」機能については、「IM-Repository ユーザ操作ガイド」 - 「データ定義」をご確認ください。

3. メインエンティティの項目の編集

「マスタメンテナンス」テンプレートはエンティティ項目を元に一覧画面などの各画面がアプリケーション作成時に生成されます。

エンティティ項目を追加すると、データ型に合った画面の入力項目がアプリケーション作成時に追加されます。

なお、データ型に「TIME」「DATETIME」「BINARY」を設定した辞書項目またはエイリアスは使用できません。



**i** コラム

「マスタメンテナンス」テンプレートは、作成するアプリケーションに検索機能を付けることができます。

検索機能を付ける場合、検索対象にしたい項目の「検索条件」にチェックを入れてください。

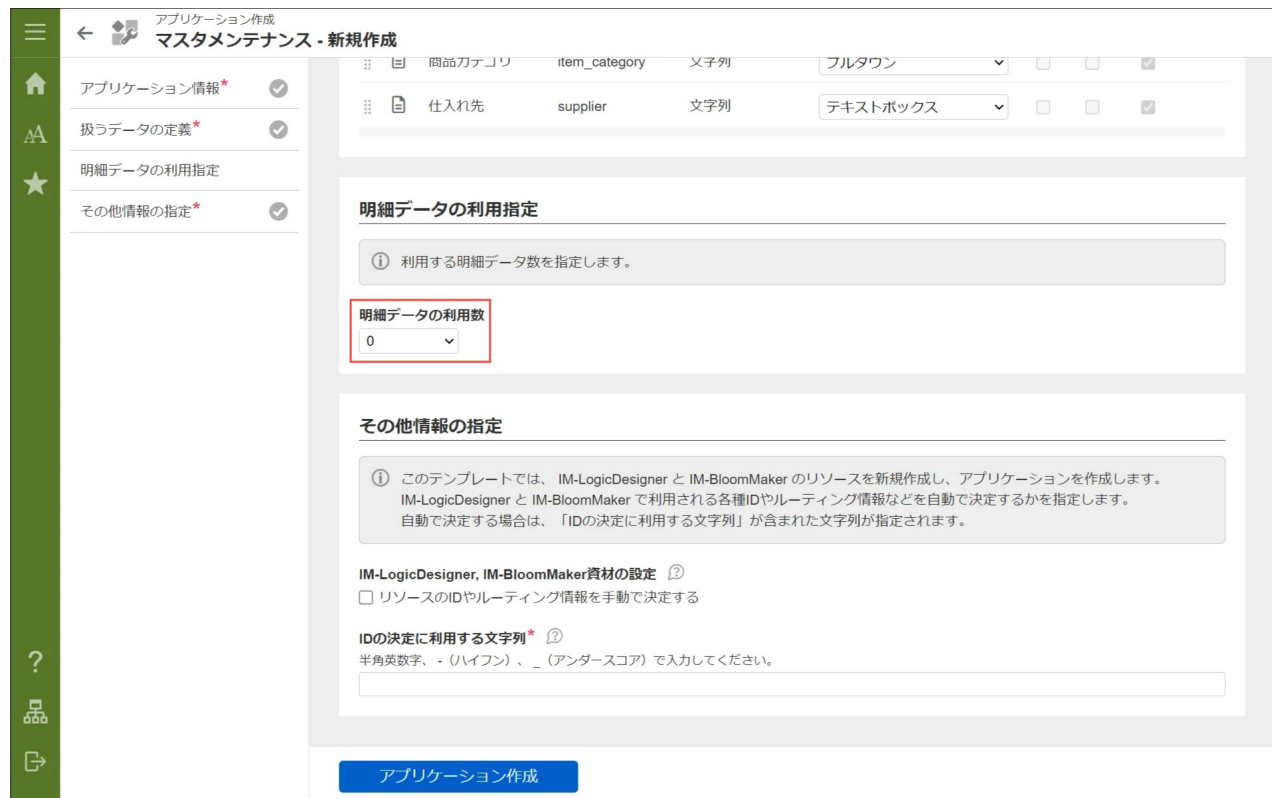
## コラム

「辞書項目の新規作成」から新規に辞書項目を作成した場合、辞書項目名を標準ロケールのみ登録できます。各ロケールの内容をアプリケーションに反映したい場合は、事前に辞書項目を作成する必要があります。「[IM-Repository ユーザ操作ガイド](#)」 - 「[辞書項目を新規登録する](#)」より各ロケールの辞書項目名を設定し、「既存の辞書項目から選択」してください。

### 4. 明細データの利用指定

明細エンティティの数を指定します。

最大で5つの明細エンティティを作成できます。



The screenshot shows the 'Application Creation' interface for 'Master Maintenance - New Creation'. The left sidebar contains navigation options: 'Application Information', 'Detail Data Definition', 'Detail Data Usage Specification', and 'Other Information Specification'. The main content area is titled 'Detail Data Usage Specification' and includes a dropdown menu for 'Number of Detail Data Used' set to '0'. Below this, there is a section for 'Other Information Specification' with instructions and a checkbox for 'Manual ID/Labeling Information Decision'.

### 5. 扱う明細データの定義1

メインエンティティと同様に項目を編集します。

明細エンティティの主キーは、sub\_table\_idとメインエンティティの主キーが設定されます。



三  
 家  
 A  
 ☆  
 ?  
 品  
 伝

← アプリケーション作成  
**マスタメンテナンス - 新規作成**

### 扱う明細データの定義1

ⓘ 作成するアプリケーションで扱う明細データを、IM-Repository から指定します。  
 メインエンティティに紐づく子エンティティを、既存のサブエンティティから選択するか、新規作成して利用します。

**エンティティID\*** ⓘ  
 半角英数字、- (ハイフン)、\_ (アンダースコア)、. (ドット)、@ (アットマーク)、+ (プラス)、! (エクスクラメーション) で入力してください。

**サブエンティティ変数名\*** ⓘ  
 半角英数字、\_ (アンダースコア) で入力してください。

**エンティティ名\*** ⓘ

**登録先エンティティカテゴリ\*** ⓘ  
 🔍

**エンティティに紐づくテーブル名\*** ⓘ  
 ヘルプアイコンから入力規則を確認できます。

**親エンティティ名\***  **多重度\*** 1:n ▼

**エンティティ関連項目\*** ⓘ  
 親エンティティ関連項目:   
 子エンティティ関連項目:

**エンティティ情報\*** ⓘ  
 + エンティティ項目を追加
 

辞書項目名	物理名	Databaseデータ型	表示形式	主キー	必須	削除
商品コード	item_cd	文字列	<input type="text"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
明細テーブルID	sub_table_id	文字列	<input type="text"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

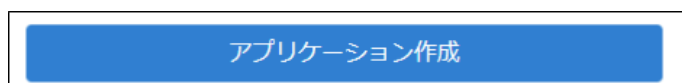
扱う明細データの定義1 以降の明細データも、同様に設定を行うことができます。

#### 6. その他情報の指定

作成されるアプリケーションに利用されるリソースのIDやルーティング情報を手動で決定できます。  
 チェックを入れないことを推奨します。

#### 7. アプリケーション作成開始

アプリケーションの基本情報を入力したら「アプリケーション作成」ボタンをクリックしてください。  
 入力項目に不備が無ければ自動でアプリケーションの作成ができます。



#### 8. アプリケーション作成結果

アプリケーション作成が完了すると、ステータスが「COMPLETE」と表示されます。

← アプリケーション作成  
テンプレートビルドジョブ - 詳細
🔄

ビルドジョブID	8h50coituaxijpi	テンプレート名	マスタメンテナンス
ステータス	● COMPLETE	作成者ユーザコード	tenant
作成日時	2024/03/14 16:33:00		

出力日時	メッセージ	詳細
2024/03/14 16:33:00	生成するリソースのIDを自動設定します。	
2024/03/14 16:33:00	一時ディレクトリに IM-LogicDesigner インポート資材を作成しました。	
2024/03/14 16:33:01	一時ディレクトリに IM-BloomMaker インポート資材を作成しました。	
2024/03/14 16:33:02	自動生成された IM-LogicDesigner 資材をインポートしました。	
2024/03/14 16:33:06	自動生成された IM-BloomMaker 資材をインポートしました。	
2024/03/14 16:33:06	作成された「一覧画面」へはこちらの詳細アイコンから遷移できます。	
2024/03/14 16:33:08	アプリケーションの作成が完了しました。	
2024/03/14 16:33:08	アプリケーション認可設定で テナント管理者,Accel Studio 管理者 にアクセス許可が設定されました。	



### コラム

作成したアプリケーションは、初期設定では「テナント管理者」または「Accel Studio管理者」ロールを持ったユーザのみ利用できます。

任意のユーザに対して、利用を許可したい場合の設定方法は、「[Accel Studio アプリケーション管理機能 仕様書](#)」 - 「[Accel Studio アプリケーション認可設定](#)」をご確認ください。

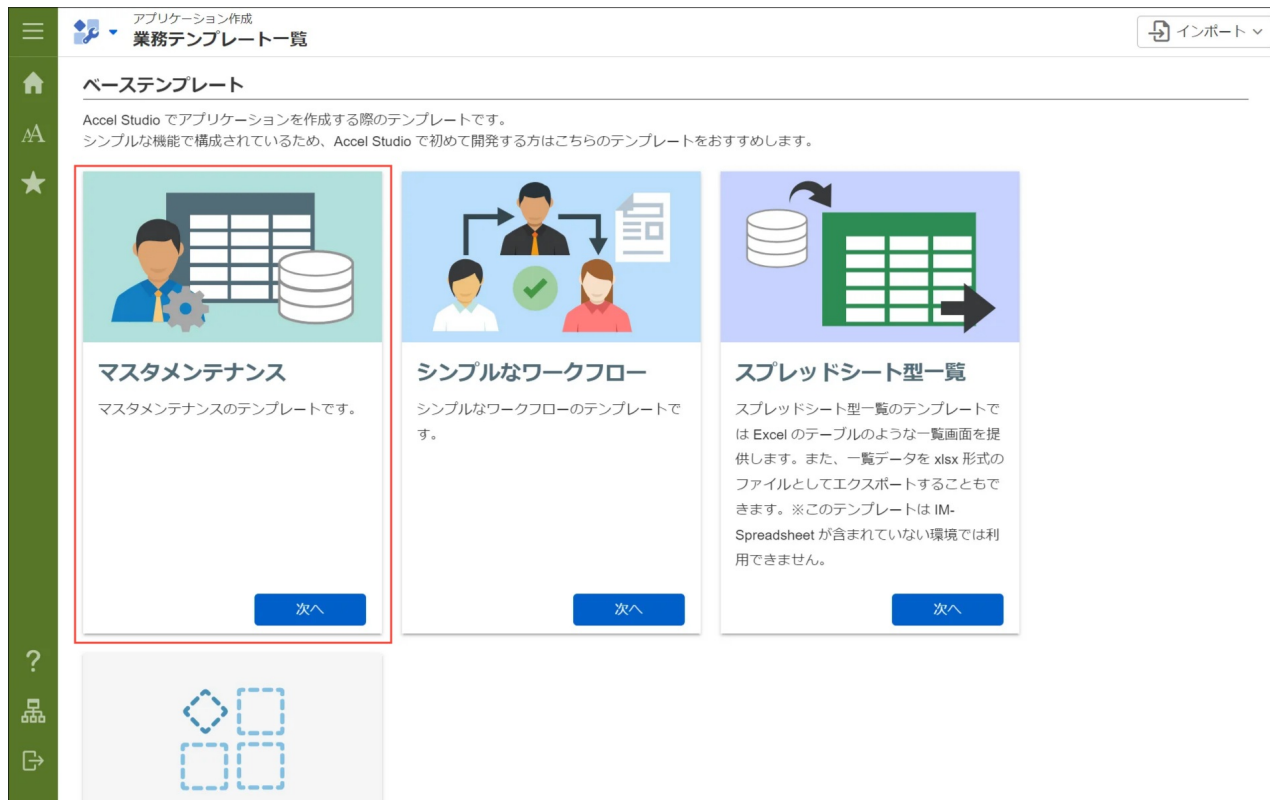
「新しくエンティティを作成する」を選択した場合のアプリケーションの作成手順は以上です。  
[アプリケーションのアクセス手順](#)に進んでください。

## エンティティを選択する

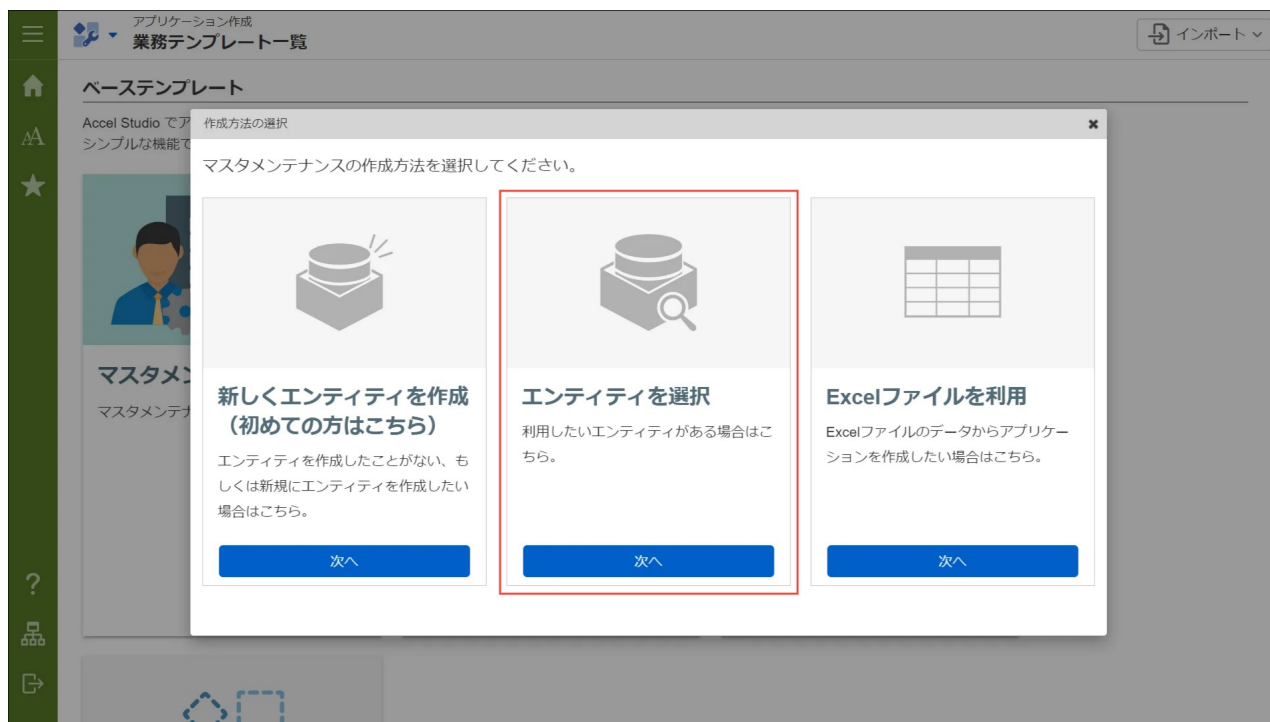
### 1. アプリケーション作成画面への遷移

Accel Studioの「業務テンプレート一覧」から「マスタメンテナンス」テンプレートを選択します。

Accel Studioの「業務テンプレート一覧」は、「サイトマップ」→「Accel Studio」→「業務テンプレート一覧」から遷移できます。



マスタメンテナンスの作成方法は「エンティティを選択」を選択します。



2. アプリケーションのIDや名称などの設定

「マスタメンテナンス」テンプレートを選択し、アプリケーション情報の設定画面が表示されたら、アプリケーションのIDや名称などを設定します。

設定した基本情報は、各処理や画面の名称、IDなどに利用されます。

### 3. 扱うデータの定義

「エンティティを選択」する場合は、選択されたエンティティの情報を元にマスタメンテナンスアプリケーションの各画面が生成されます。「エンティティを選択」から、アプリケーションで使用したいエンティティを選択してください。

### i コラム

参照項目設定が行われているエンティティを選択した場合は、マスタ参照機能付きのアプリケーションが作成されます。詳しくは「マスタメンテナンス（マスタ参照機能付き）」をご確認ください。

### 1. メインエンティティの項目の編集

「マスタメンテナンス」テンプレートはエンティティ項目を元に一覧画面などの各画面がアプリケーション作成時に生成されます。

エンティティ情報*			
辞書項目名	物理名	Databaseデータ型	表示形式
商品コード	item_cd	文字列	テキストボックス
商品名	item_name	文字列	テキストボックス
商品カテゴリ	item_category	文字列	プルダウン
仕入れ先	supplier	文字列	テキストボックス

商品コード\*

商品名

商品カテゴリ

仕入れ先

**i** コラム

「マスタメンテナンス」テンプレートは作成するアプリケーションに検索機能を付けることができます。検索条件の設定方法は、「IM-Repository ユーザ操作ガイド」 - 「データ定義」をご確認ください。

4. 明細データの利用指定

明細エンティティの数を指定します。  
最大で5つの明細エンティティを作成できます。

アプリケーション作成  
マスタメンテナンス - 新規作成

商品カテゴリ item\_category 文字列 プルダウン

仕入れ先 supplier 文字列 テキストボックス

**明細データの利用指定**

利用する明細データ数を指定します。

**明細データの利用数**  
0

**その他の情報の指定**

このテンプレートでは、IM-LogicDesigner と IM-BloomMaker のリソースを新規作成し、アプリケーションを作成します。IM-LogicDesigner と IM-BloomMaker で利用される各種IDやルーティング情報を自動で決定するかを指定します。自動で決定する場合は、「IDの決定に利用する文字列」が含まれた文字列が指定されます。

IM-LogicDesigner, IM-BloomMaker 資材の設定

リソースのIDやルーティング情報を手動で決定する

IDの決定に利用する文字列\*

半角英数字、- (ハイフン)、\_ (アンダースコア) で入力してください。

アプリケーション作成

**i** コラム

「エンティティを選択」で明細を利用するには、事前にサブエンティティ項目の設定を行う必要があります。サブエンティティ項目の設定は、「IM-Repository ユーザ操作ガイド」 - 「関連項目」から行ってください。

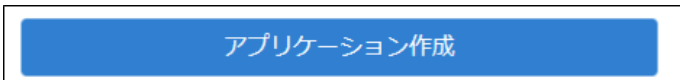
5. 扱う明細データの定義1

メインエンティティと同様にエンティティを選択し、項目を編集します。

扱う明細データの定義1 以降の明細データも、同様に設定を行うことができます。

**i コラム**  
 「マスタメンテナンス」テンプレートはsub\_table\_idを予約語として利用します。  
 JavaScript変数名がsub\_table\_idである項目は、明細において自動で採番されデータとして登録されます。

6. その他情報の指定  
 作成されるアプリケーションに利用されるリソースのIDやルーティング情報を手動で決定できます。  
 チェックを入れないことを推奨します。
7. アプリケーション作成開始  
 アプリケーションの基本情報を入力したら「アプリケーション作成」ボタンをクリックしてください。  
 入力項目に不備が無ければ自動でアプリケーションの作成ができます。



8. アプリケーション作成結果  
 アプリケーション作成が完了すると、ステータスが「COMPLETE」と表示されます。

← アプリケーション作成
テンプレートビルドジョブ - 詳細
🔄

ビルドジョブID	8h50coituaxijpi	テンプレート名	マスタメンテナンス
ステータス	● COMPLETE	作成者ユーザコード	tenant
作成日時	2024/03/14 16:33:00		

出力日時	メッセージ	詳細
2024/03/14 16:33:00	生成するリソースのIDを自動設定します。	
2024/03/14 16:33:00	一時ディレクトリに IM-LogicDesigner インポート資料を作成しました。	
2024/03/14 16:33:01	一時ディレクトリに IM-BloomMaker インポート資料を作成しました。	
2024/03/14 16:33:02	自動生成された IM-LogicDesigner 資料をインポートしました。	
2024/03/14 16:33:06	自動生成された IM-BloomMaker 資料をインポートしました。	
2024/03/14 16:33:06	作成された「一覧画面」へはこちらの詳細アイコンから遷移できます。	🔗
2024/03/14 16:33:08	アプリケーションの作成が完了しました。	🔗
2024/03/14 16:33:08	アプリケーション認可設定で テナント管理者,Accel Studio 管理者 にアクセス許可が設定されました。	

### i コラム

作成したアプリケーションは、初期設定では「テナント管理者」または「Accel Studio管理者」ロールを持ったユーザのみ利用できます。

任意のユーザに対して、利用を許可したい場合の設定方法は、「[Accel Studio アプリケーション管理機能 仕様書](#)」 - 「[Accel Studio アプリケーション認可設定](#)」をご確認ください。

「エンティティを選択する」を選択した場合のアプリケーションの作成手順は以上です。

「マスタメンテナンス」テンプレートを利用する方は [アプリケーションのアクセス手順](#) に進んでください。

「マスタメンテナンス」テンプレート（マスタ参照機能付き）を利用する方は [アプリケーションのアクセス手順](#) に進んでください。

## Excelファイルを利用する

### i コラム

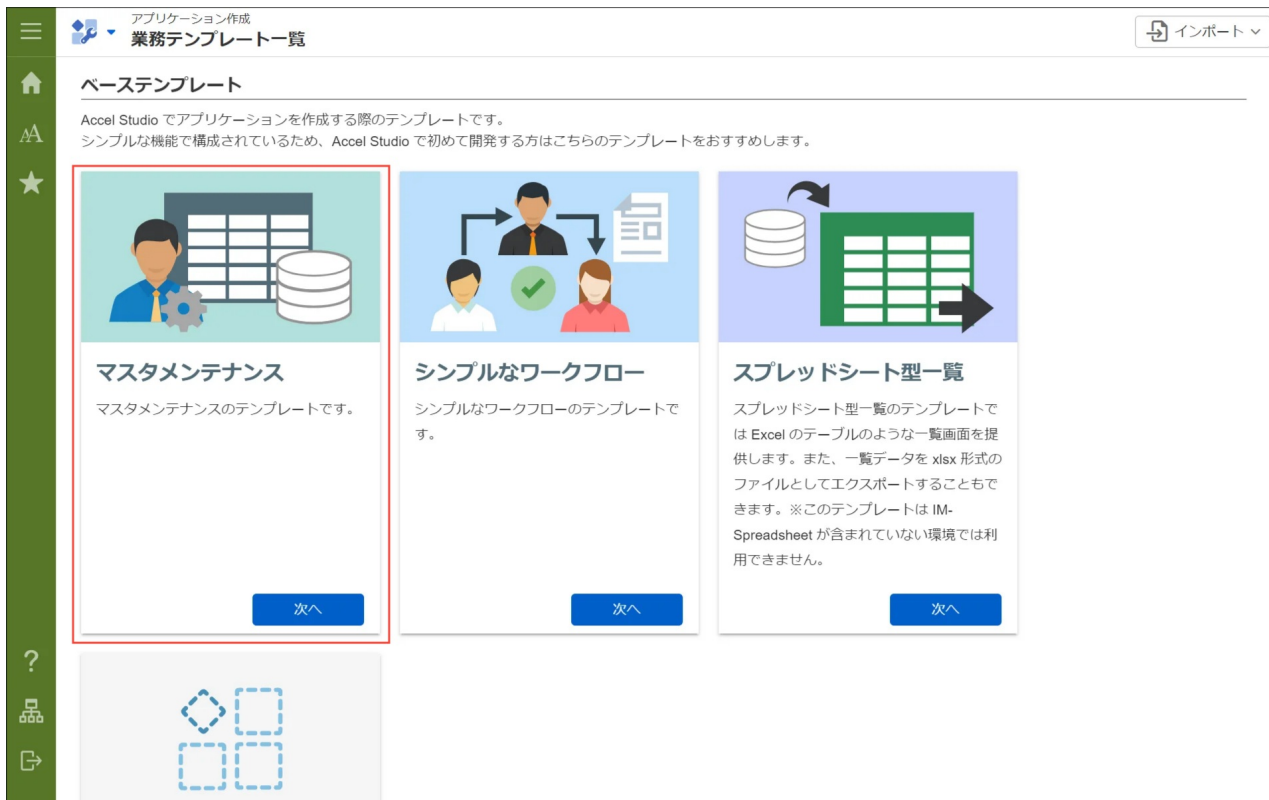
「マスタメンテナンス」テンプレートに利用できるExcelファイルの詳細については「[マスタメンテナンステンプレートに利用できるExcelファイルの詳細](#)」をご確認ください。

#### 1. アプリケーション作成画面への遷移

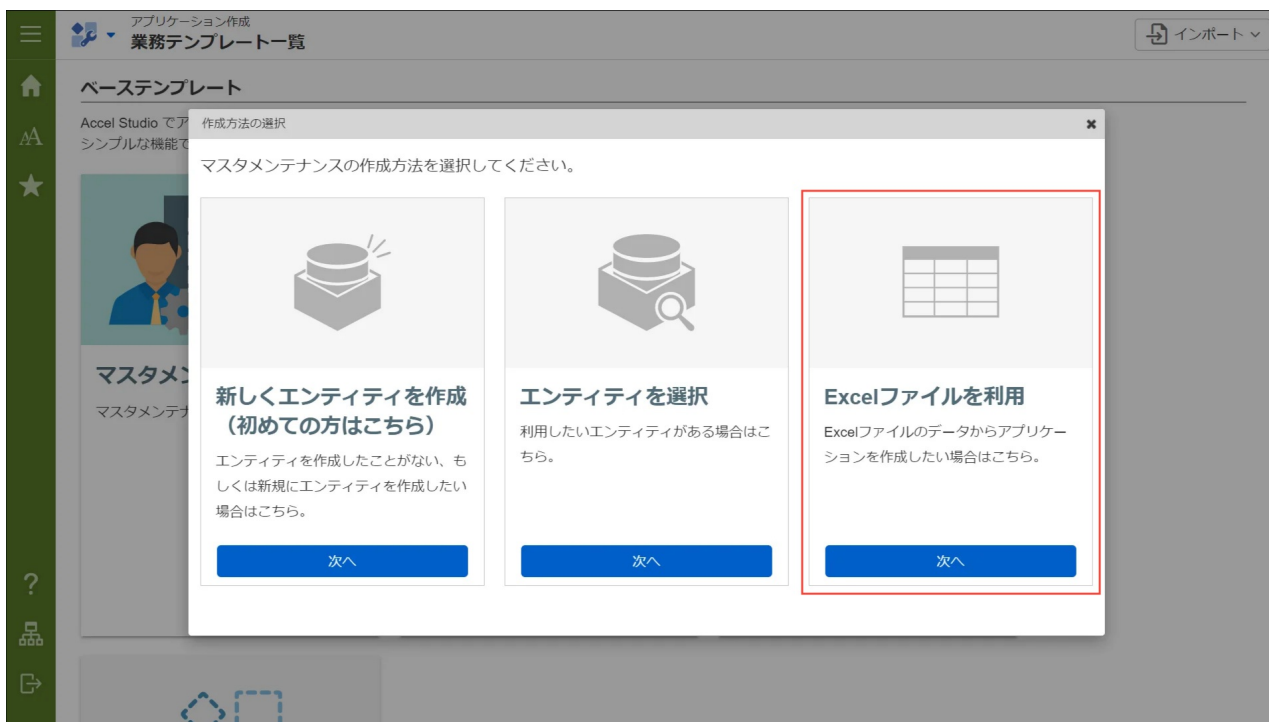
Accel Studioの「業務テンプレート一覧」から「マスタメンテナンス」テンプレートを選択します。

Accel Studioの「業務テンプレート一覧」は、「サイトマップ」→「Accel Studio」→「業務テンプレート一覧」から遷移できます。





マスタメンテナンスの作成方法は「Excelファイルを利用」を選択します。

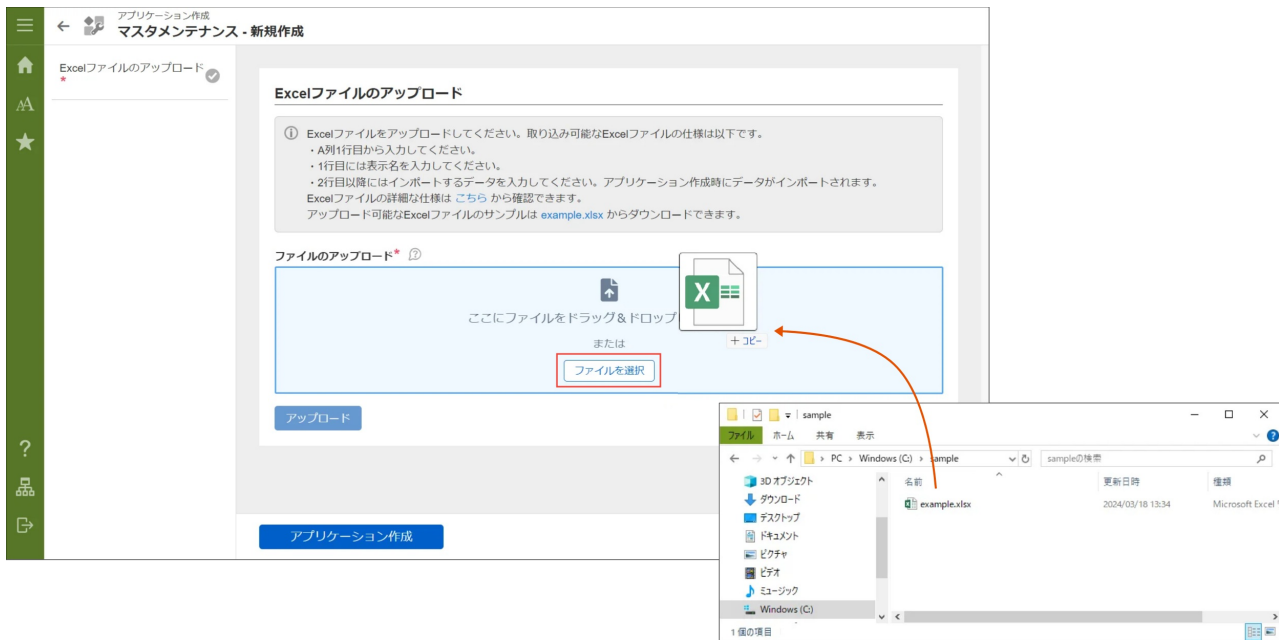


2. Excelファイルのアップロード

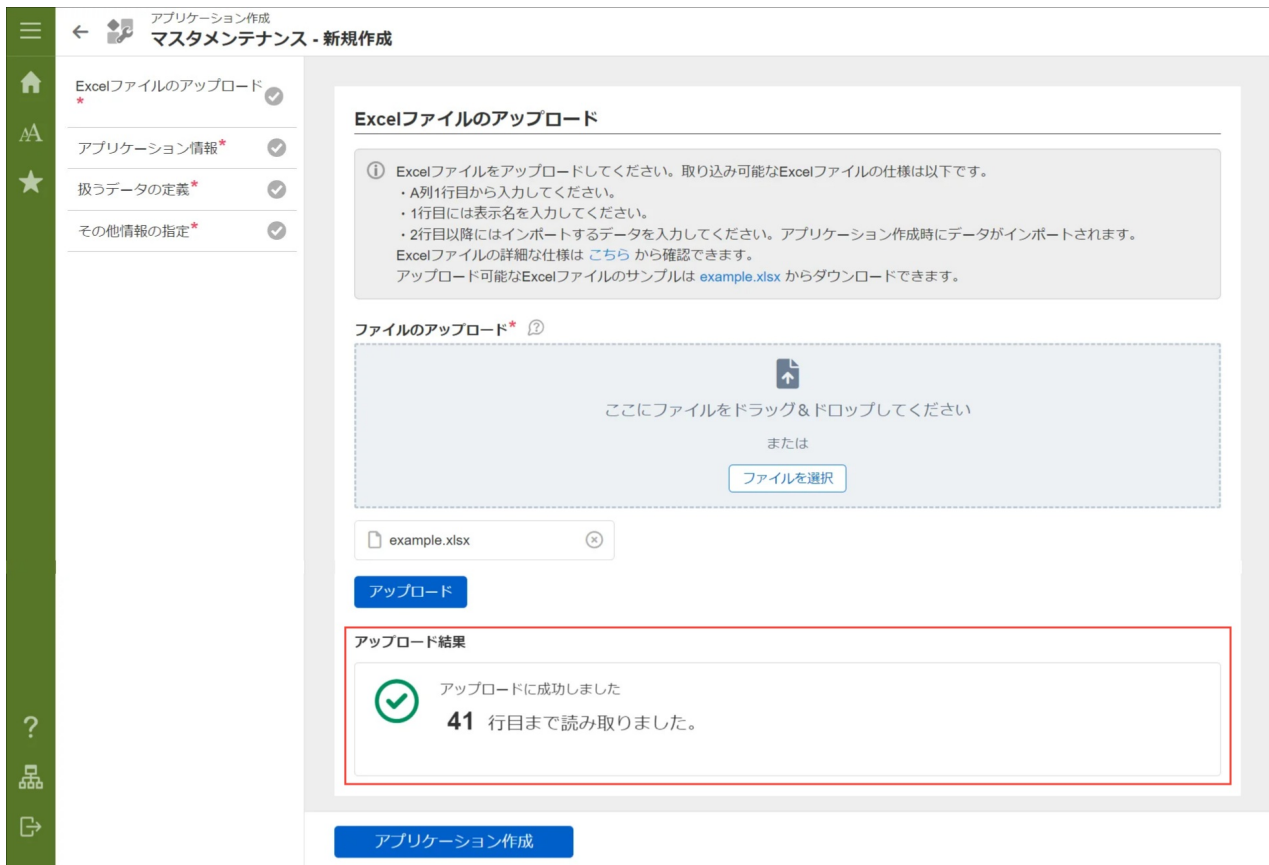
「マスタメンテナン」テンプレートを選択し、アプリケーション情報の設定画面が表示されたら、アプリケーションにしたいExcelファイルをアップロードします。

ファイルをドラッグ&ドロップまたは「ファイルを選択」ボタンからファイルを指定し、アップロードしてください。





ファイルのアップロード結果が表示されます。

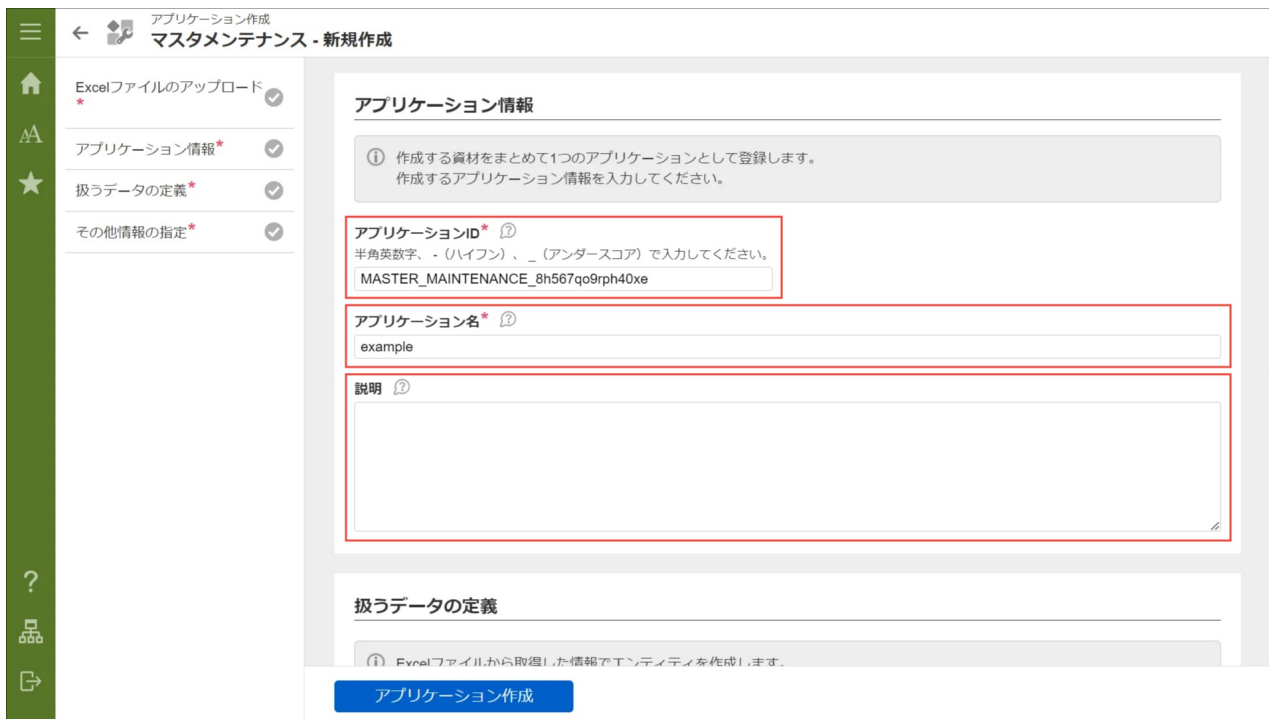


3. アプリケーションのIDや名称などの設定

アプリケーションのIDや名称はExcelファイルの情報を元に自動入力されます。

自動入力された項目は変更可能です。

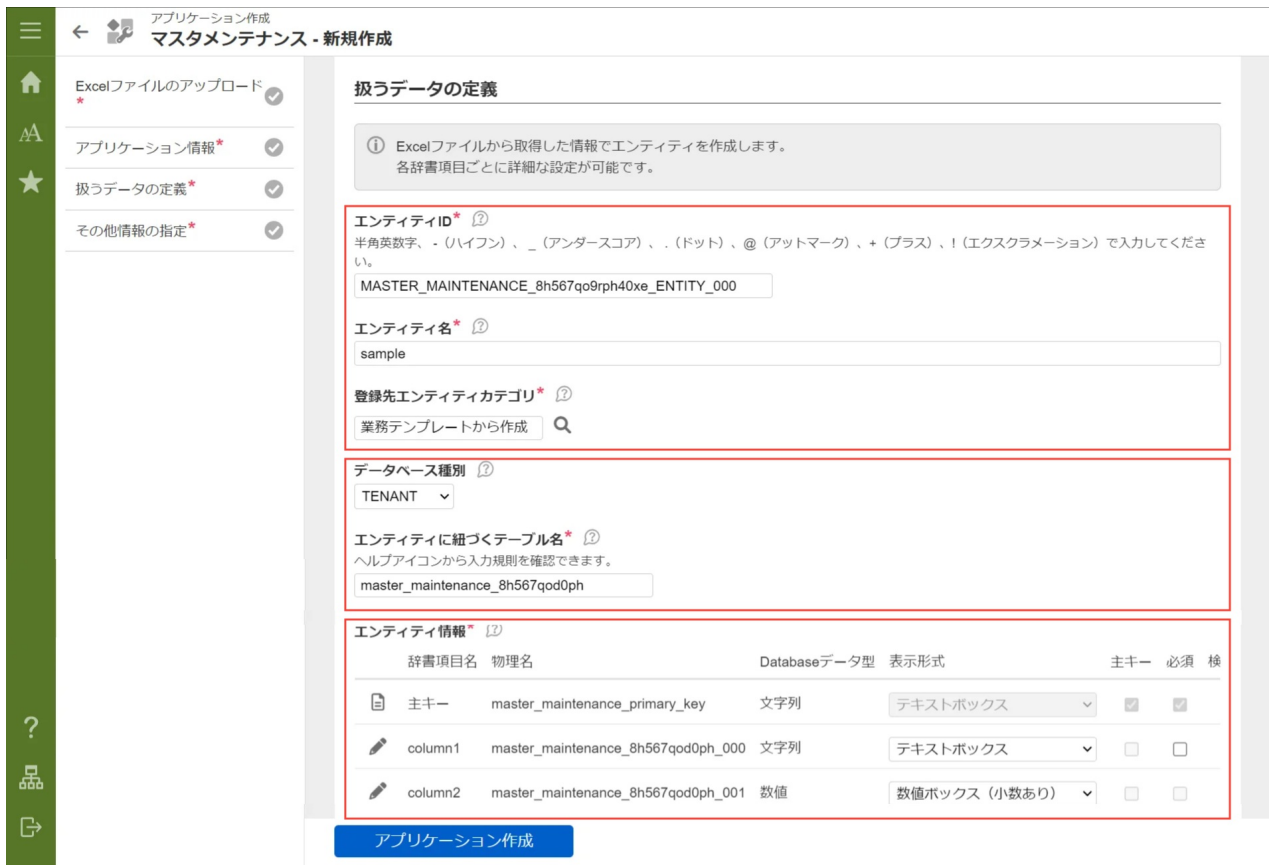
設定した基本情報は、各処理や画面の名称、IDなどに利用されます。



4. 扱うデータの定義

扱うデータの定義情報はExcelファイルの情報を元に自動入力されます。

自動入力された項目は変更可能です。



1. 扱うデータの定義

新しいエンティティを作成します。エンティティの名称を設定します。

2. データベースのテーブルに利用する名称の定義

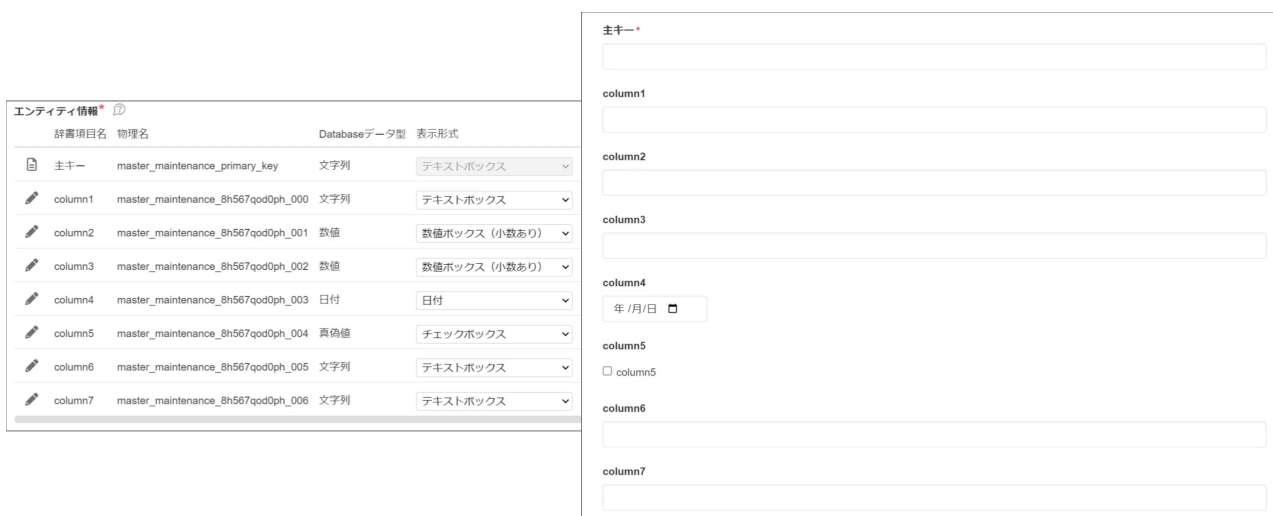
入力された内容を保持するテーブルの名称を設定します。

エンティティ情報を元にデータベースのテーブルが作成され、「データ定義」機能で管理されます。

**コラム**  
「データ定義」機能については、「IM-Repository ユーザ操作ガイド」 - 「データ定義」をご確認ください。

3. エンティティの項目の編集

「マスタメンテナンス」テンプレートはエンティティ項目を元に一覧画面などの各画面がアプリケーション作成時に生成されます。



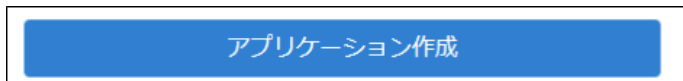
**コラム**  
「マスタメンテナンス」テンプレートは作成するアプリケーションに検索機能を付けることができます。「検索条件」にチェックが入っている項目を検索対象として扱います。Excelファイルのアップロード時は全ての項目にチェックが入っています。検索対象にたくない項目はチェックを外してください。

5. その他情報の指定

作成されるアプリケーションに利用されるリソースのIDやルーティング情報を手動で決定できます。  
 チェックを入れないことを推奨します。

6. アプリケーション作成開始

アプリケーションの基本情報を入力したら「アプリケーション作成」ボタンをクリックしてください。  
 入力項目に不備が無ければ自動でアプリケーションの作成ができます。



7. アプリケーション作成結果

アプリケーション作成が完了すると、ステータスが「COMPLETE」と表示されます。

←
アプリケーション作成  
テンプレートビルドジョブ - 詳細
↻

ビルドジョブID	8h576d0t62yv3xe	テンプレート名	マスタメンテナンス
ステータス	● COMPLETE	作成者ユーザコード	tenant
作成日時	2024/03/19 11:10:29		

出力日時	メッセージ	詳細
2024/03/19 11:10:29	生成するリソースのIDを自動設定します。	
2024/03/19 11:10:34	一時ディレクトリに IM-LogicDesigner インポート資材を作成しました。	
2024/03/19 11:10:36	一時ディレクトリに IM-BloomMaker インポート資材を作成しました。	
2024/03/19 11:10:42	自動生成された IM-LogicDesigner 資材をインポートしました。	
2024/03/19 11:10:53	自動生成された IM-BloomMaker 資材をインポートしました。	
2024/03/19 11:10:53	Excel ファイルのインポートを開始します。	
2024/03/19 11:12:58	Excel ファイルをインポートしました。	
2024/03/19 11:12:59	作成された「一覧画面」へはこちらの詳細アイコンから遷移できます。	🔗
2024/03/19 11:13:03	アプリケーションの作成が完了しました。	🔗
2024/03/19 11:13:03	アプリケーション認可設定で テナント管理者, Accel Studio 管理者 にアクセス許可が設定されました。	

**i** コラム

作成したアプリケーションは、初期設定では「テナント管理者」または「Accel Studio管理者」ロールを持ったユーザのみ利用できます。  
 任意のユーザに対して、利用を許可したい場合の設定方法は、「[Accel Studio アプリケーション管理機能 仕様書](#)」 - 「[Accel Studio アプリケーション認可設定](#)」をご確認ください。

「Excelファイルを利用する」を選択した場合のアプリケーションの作成手順は以上です。  
 Excelファイルを利用する場合は明細は使用できません。  
[アプリケーションのアクセス手順](#)に進んでください。

マスタメンテナンステンプレートに利用できるExcelファイルの詳細

このページではマスタメンテナンステンプレートの作成時に利用可能なExcelファイルの詳細について解説します。

目次

- [Excelファイルを利用したアプリケーションの作成の概要](#)
- [Excelファイルのルール](#)
  - [ファイルの形式](#)
  - [ワークシートの形式](#)
  - [ワークシート](#)
  - [セルの型について](#)
  - [その他の注意事項](#)
  - [アプリケーション作成画面で補完される内容](#)

Excelファイルを利用して、「マスタメンテナンス」テンプレートからアプリケーションを作成できます。  
Excelファイルをアップロードすることでアプリケーションの作成時に必要な入力をExcelの内容から補います。  
また、Excelのデータがインポートされた状態でアプリケーションが作成されます。

**i** コラム

「マスタメンテナンス」テンプレートでExcelファイルを利用したアプリケーションの作成は2024 Spring(Iris)からご利用いただけます。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	column1	column2	column3	column4	column5	column6	column7	
2	data1	1	1.11	2023/12/11	TRUE	aoyagi	tenant	
3	data2	2	2.22	2023/12/12	TRUE	hayashi	aoyagi	
4	data3	3	3.33	2023/12/13	TRUE	ueda	hayashi	
5	data4	4	4.44	2023/12/14	FALSE	maruyama	ueda	
6	data5	5	5.55	2023/12/15	FALSE	sekine	maruyama	
7	data6	6	6.66	2023/12/16	FALSE	terada	sekine	
8	data7	7	7.77	2023/12/17	TRUE	aoyagi	tenant	
9	data8	8	8.88	2023/12/18	TRUE	hayashi	aoyagi	
10	data9	9	9.99	2023/12/19	TRUE	ueda	hayashi	
11	data10	11	11.1	2023/12/20	FALSE	maruyama	ueda	
12	data11	12	12.21	2023/12/21	FALSE	sekine	maruyama	
13	data12	13	13.32	2023/12/22	FALSE	terada	sekine	
14	data13	14	14.43	2023/12/23	TRUE	aoyagi	tenant	
15	data14	15	15.54	2023/12/24	TRUE	hayashi	aoyagi	

**扱うデータの定義**

① Excelファイルから取得した情報でエンティティを作成します。  
各詳細項目ごとに詳細な設定が可能です。

エンティティID\*  
※英数字、(ハイフン)、\_(アンダースコア)、.(ドット)、@ (アットマーク)、+ (プラス)、! (エクスクラメーション) で入力してください。  
MASTER\_MAINTENANCE\_8h566huprvzoot1\_ENTITY\_000

エンティティ名\*  
sample

登録先エンティティカテゴリ\*  
業務テンプレートから作成 🔍

データベース種別\*  
TENANT

エンティティに紐づくテーブル名\*  
ヘルプアイコンから入力規則を確認できます。  
master\_maintenance\_8h566hur6vz

詳細項目名	物理名	Databaseデータ型	表示形式	主キー	必須	検索条件
主キー	master_maintenance_primary_key	文字列	テキストボックス	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
column1	master_maintenance_8h566hur6vz_000	文字列	テキストボックス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
column2	master_maintenance_8h566hur6vz_001	数値	数値ボックス (小数あり)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
column3	master_maintenance_8h566hur6vz_002	数値	数値ボックス (小数あり)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
column4	master_maintenance_8h566hur6vz_003	日付	日付	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
column5	master_maintenance_8h566hur6vz_004	真偽値	チェックボックス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
column6	master_maintenance_8h566hur6vz_005	文字列	テキストボックス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
column7	master_maintenance_8h566hur6vz_006	文字列	テキストボックス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

アプリケーション作成

example 一覧画面

検索 🔍

編集	主キー	column1	column2	column3	column4	column5	column6	column7	詳細
	00000001	データ1	1	1.11	2023/12/11	true	aoyagi	tenant	
	00000002	データ2	2	2.22	2023/12/12	true	hayashi	aoyagi	
	00000003	データ3	3	3.33	2023/12/13	true	ueda	hayashi	
	00000004	データ4	0	4.44	2023/12/14	false	maruyama	ueda	
	00000005	データ5	5	5.55	2023/12/15	false	sekine	maruyama	
	00000006	データ6	6	6.66	2023/12/16	false	terada	sekine	
	00000007	データ7	7	7.77	2023/12/17	true	aoyagi	tenant	
	00000008	データ8	8	8.88	2023/12/18	true	hayashi	aoyagi	
	00000009	データ9	9	9.99	2023/12/19	true	ueda	hayashi	
	00000010	データ10	0	11.1	2023/12/20	false	maruyama	ueda	
	00000011	データ11	11	12.21	2023/12/21	false	sekine	maruyama	
	00000012	データ12	12	13.32	2023/12/22	false	terada	sekine	

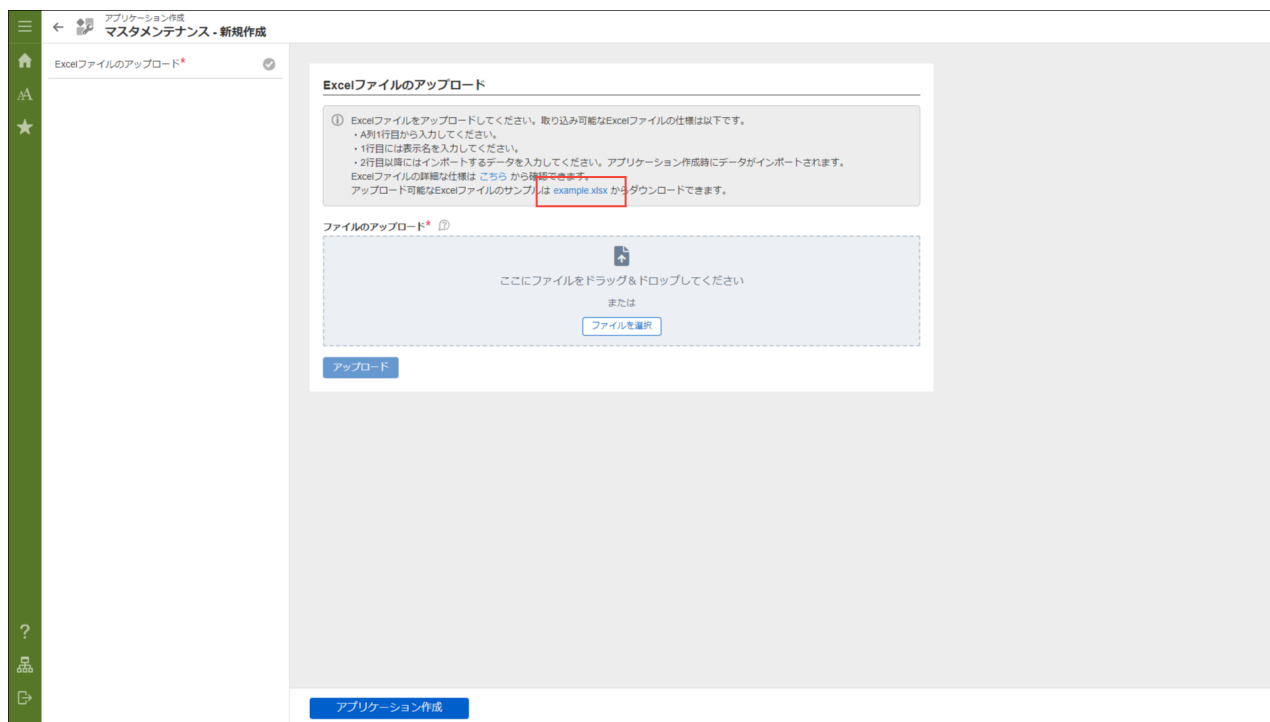
20 40 件中 1 - 20 を表示

Excelファイルのルール

ご利用いただけるExcelファイルのルールについて解説します。  
1行目にテーブルのカラム名、2行目以降に任意のデータを持つExcelファイルを読み取ることができます。  
CSV形式のファイルのようなイメージのExcelファイルを利用してください。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	column1	column2	column3	column4	column5	column6	column7	
2	data1	1	1.11	2023/12/11	TRUE	aoyagi	tenant	
3	data2	2	2.22	2023/12/12	TRUE	hayashi	aoyagi	
4	data3	3	3.33	2023/12/13	TRUE	ueda	hayashi	
5	data4		4.44	2023/12/14	FALSE	maruyama	ueda	
6	data5	5	5.55	2023/12/15	FALSE	sekine	maruyama	
7	data6	6	6.66	2023/12/16	FALSE	terada	sekine	
8	data7	7	7.77	2023/12/17	TRUE	aoyagi	tenant	
9	data8	8	8.88	2023/12/18	TRUE	hayashi	aoyagi	
10	data9	9	9.99	2023/12/19	TRUE	ueda	hayashi	
11	data10		11.1	2023/12/20	FALSE	maruyama	ueda	
12	data11	11	12.21	2023/12/21	FALSE	sekine	maruyama	
13	data12	12	13.32	2023/12/22	FALSE	terada	sekine	
14	data13	13	14.43	2023/12/23	TRUE	aoyagi	tenant	
15	data14	14	15.54	2023/12/24	TRUE	hayashi	aoyagi	

Excelファイルを利用する場合のアプリケーション作成画面では、サンプルのExcelファイルをダウンロードできます。初めての方はサンプルのExcelファイルを利用して、アプリケーションを作成してみてください。



Excelファイルを読み取るためには、以下のルールが存在します。

#### ファイルの形式

- Excelファイルの拡張子は.xlsx形式のファイルのみ利用できます。.xls形式のファイルは利用できません。
- ファイルサイズが100MBを超えるファイルはアップロードできません。
- マクロやVBAを利用したExcelファイルは正しく読み取れない場合があります。

#### ワークシートの形式

- 読み取り対象のワークシートは一番目（一番左側）のワークシートです。  
複数のワークシートが存在する場合でも、一番左のワークシートのみが読み取られます。

#### ワークシート

- A列1行目から入力してください。
- 1行目にカラム名を記載してください。  
1行目はアプリケーションのカラム名として利用されます
  - 1行目のセルには文字列を入力してください。
  - 文字列以外のデータまたは空のセル場合、その一つ左の列までを読み取ります。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	column1	column2	column3	column4	column5	column6	column7	
2	data1		1	1.11	2023/12/11	TRUE	aoyagi	tenant
3	data2		2	2.22	2023/12/12	TRUE	hayashi	aoyagi
4	data3		3	3.33	2023/12/13	TRUE	ueda	hayashi
5	data4			4.44	2023/12/14	FALSE	maruyama	ueda
6	data5		5	5.55	2023/12/15	FALSE	sekine	maruyama
7	data6		6	6.66	2023/12/16	FALSE	terada	sekine
8	data7		7	7.77	2023/12/17	TRUE	aoyagi	tenant
9	data8		8	8.88	2023/12/18	TRUE	hayashi	aoyagi
10	data9		9	9.99	2023/12/19	TRUE	ueda	hayashi
11	data10			11.1	2023/12/20	FALSE	maruyama	ueda
12	data11		11	12.21	2023/12/21	FALSE	sekine	maruyama
13	data12		12	13.32	2023/12/22	FALSE	terada	sekine
14	data13		13	14.43	2023/12/23	TRUE	aoyagi	tenant
15	data14		14	15.54	2023/12/24	TRUE	hayashi	aoyagi

- 2行目以降にデータを入力してください。  
2行目以降はアプリケーションのデータとして利用されます。  
2行目以降にデータを持たない場合でもアプリケーションは作成されますが、データは持たない状態で作成されます。



	A	B	C	D	E	F	G	H
1	column1	column2	column3	column4	column5	column6	column7	
2	data1		1	1.11	2023/12/11	TRUE	aoyagi	tenant
3	data2		2	2.22	2023/12/12	TRUE	hayashi	aoyagi
4	data3		3	3.33	2023/12/13	TRUE	ueda	hayashi
5	data4			4.44	2023/12/14	FALSE	maruyama	ueda
6	data5		5	5.55	2023/12/15	FALSE	sekine	maruyama
7	data6		6	6.66	2023/12/16	FALSE	terada	sekine
8	data7		7	7.77	2023/12/17	TRUE	aoyagi	tenant
9	data8		8	8.88	2023/12/18	TRUE	hayashi	aoyagi
10	data9		9	9.99	2023/12/19	TRUE	ueda	hayashi
11	data10			11.1	2023/12/20	FALSE	maruyama	ueda
12	data11		11	12.21	2023/12/21	FALSE	sekine	maruyama
13	data12		12	13.32	2023/12/22	FALSE	terada	sekine
14	data13		13	14.43	2023/12/23	TRUE	aoyagi	tenant
15	data14		14	15.54	2023/12/24	TRUE	hayashi	aoyagi

- 2行目以降の同じ列のデータについては、セルの型が一致している必要があります。  
例：A列の2行目以降は全て文字列型、B列の2行目以降は全て数値型...など

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	column1	column2	column3	column4	column5	column6	column7	
2	data1		1	1.11	2023/12/11	TRUE	aoyagi	tenant
3	data2		2	2.22	2023/12/12	TRUE	hayashi	aoyagi
4	data3		3	3.33	2023/12/13	TRUE	ueda	hayashi
5	data4			4.44	2023/12/14	FALSE	maruyama	ueda
6	data5		5	5.55	2023/12/15	FALSE	sekine	maruyama
7	data6		6	6.66	2023/12/16	FALSE	terada	sekine
8	data7		7	7.77	2023/12/17	TRUE	aoyagi	tenant
9	data8		8	8.88	2023/12/18	TRUE	hayashi	aoyagi
10	data9		9	9.99	2023/12/19	TRUE	ueda	hayashi
11	data10			11.1	2023/12/20	FALSE	maruyama	ueda
12	data11		11	12.21	2023/12/21	FALSE	sekine	maruyama
13	data12		12	13.32	2023/12/22	FALSE	terada	sekine
14	data13		13	14.43	2023/12/23	TRUE	aoyagi	tenant
15	data14		14	15.54	2023/12/24	TRUE	hayashi	aoyagi

セルの型について

- セルの型は入力されているデータやセルの書式設定を元に推測・補完されます。
- セルは以下の型で分類され、アプリケーション作成時の情報補完に利用されます。



セルの型	例	備考
文字列	「サンプル文字列」	
数値	「12345」「0.12345」	計算式の結果等で無限小数が存在する場合、「扱うデータの定義」で小数桁数が大きな値になることがあります。
日付	2024/04/01	セルが日付として読み込まれない場合、書式設定から「*2012/3/14」形式を指定してください。
真偽値	「TRUE」「FALSE」	
エラー	「=1/0」	計算の結果に問題がある場合や、セルの参照先が存在しない場合など
空白、空のセル		

**i** コラム

日付のセルは書式設定によっては正しく日付のセルと読み取られない場合があります。書式設定から日付の「2012/3/14」や「\*2012/3/14」など他の書式に変更して再度アップロードしてください。

**i** コラム

計算式の入ったセルは計算後の結果からセルの型が決定されます。Excelファイルの読み取り時に計算式の結果が取得できない場合、そのセルは空のセルとして扱われます。計算式の結果が取得できないセルを取得する方法として、計算式のセルをコピーして同じ箇所に計算後の値を貼り付ける方法があります。

1. 計算式の結果の値をコピーしたいセルを選択してコピーします。
2. 同じ箇所にペーストする際に右クリックメニューから貼り付けのオプションで「値」を選択することで計算式の結果をセルに記載できます。

その他の注意事項

- Excelファイルをアップロードすると、その内容がアプリケーション作成画面上に反映され編集可能な状態で表示されます。なお、「扱うデータの定義」の「エンティティ情報」については、可能な限りアップロードした内容を画面上で変更するのではなく、必要な修正をExcelファイルに行い、修正後のファイルを再度アップロードすることを推奨します。扱うデータの定義を変更すると、データのインサートに失敗する可能性があります。
- Excelファイルから取得した辞書項目（エンティティ項目）に対しては主キーを設定できません。主キー用の辞書項目が自動的に追加されるため、その項目をご利用ください。

辞書項目名	物理名	Databaseデータ型	表示形式	主キー	必須	検索条
主キー	master_maintenance_primary_key	文字列	テキストボックス	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
column1	master_maintenance_8h560p559vz_000	文字列	テキストボックス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
column2	master_maintenance_8h560p559vz_001	数値	数値ボックス (小数あり)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
column3	master_maintenance_8h560p559vz_002	数値	数値ボックス (小数あり)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
column4	master_maintenance_8h560p559vz_003	日付	日付	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
column5	master_maintenance_8h560p559vz_004	真偽値	チェックボックス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
column6	master_maintenance_8h560p559vz_005	文字列	テキストボックス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
column7	master_maintenance_8h560p559vz_006	文字列	テキストボックス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

アプリケーションを作成すると、主キーの辞書項目に「00000001」のような連番が設定されます。

The screenshot shows a table with the following columns: 編集 (Edit), 主キー (Primary Key), column1, column2, column3, column4, column5, column6, column7, and 詳細 (Details). The table contains 12 rows of data, with the first column containing IDs from 00000001 to 00000012. The '主キー' column is highlighted with a red box.

- Excelファイルの各列の情報をもとに「扱うデータの定義」の「エンティティ情報」に辞書項目が追加されます。アプリケーション作成後に辞書項目の設定内容を変更する場合は、作成したアプリケーションのアプリケーション管理画面で「データ定義」欄から該当のエンティティを選択し、ヘッダの「辞書項目一覧」へ移動して設定の変更を行ってください。
- セル結合は非対応です。
- 画像やメディアファイルは非対応です。
- セルの幅や高さ、罫線の設定や太字などのセルの見た目の設定は無視されます。

アプリケーション作成画面で補完される内容

アプリケーション作成画面の各入力項目とExcelファイルの各列の情報の対応について解説します。アップロードしていただいたExcelファイルの各列の情報をもとにアプリケーション作成画面の各入力項目が補完されます。補完された内容を変更することは可能です。

	アプリケーション作成画面 の入力項目	Excelファイルの情 報	補完される内容
アプリケーション 情報	アプリケーションID		Excelファイルの内容に関係なく一意な文字列が補完されます。
	アプリケーション名	ファイル名	Excelファイルのファイル名がアプリケーション名として補完されます。
扱うデータの定 義	エンティティID		Excelファイルの内容に関係なく一意な文字列が補完されます。
	エンティティ名	シート名	Excelファイルのシート名がエンティティ名として補完されます。
	登録先エンティティカテ ゴリ		「業務テンプレートから作成」カテゴリが指定されます。
	データベース種別		TENANTが指定されます。
	エンティティに紐づくテー ブル名		Excelファイルの内容に関係なく一意な文字列が補完されます。
	登録先辞書項目カテゴリ		「マスタメンテナンス」カテゴリが指定されます。
	辞書項目ID		Excelファイルの内容に関係なく一意な文字列が補完されます。
	辞書項目名	1行目のカラム名	Excelファイルの1行目の文字列で補完されます。
	データ型	2行目以降のセルの型	アップロード時点の内容から変更する場合はExcelファイルを修正して再度アップロードしてください。
	変数名		Excelファイルの内容に関係なく一意な文字列が補完されます。
物理名		Excelファイルの内容に関係なく一意な文字列が補完されます。	
最大桁数	各列のデータに合わ せた数値	Excelファイルをインポートできる最大桁数が補完されます。	
小数桁数	各列のデータに合わ せた数値	Excelファイルをインポートできる小数桁数が補完されます。	
主キー設定	変更不可	主キーは設定できません。	
必須設定	一部変更可能	列内のデータに空のセルが存在する場合、必須設定は変更できません。	

アプリケーション作成画面 の入力項目	Excelファイルの情 報	補完される内容
並び替え	変更不可	並び替えできません。Excelファイルの列を並び替えて再度アップロードしてください。
削除	変更不可	削除できません。Excelファイルの列を削除して再度アップロードしてください。

## マスタメンテナンステンプレートのローコード仕様書

このページではマスタメンテナンステンプレートで作成された Accel Studio アプリケーションのローコード資材の仕様について説明します。

### 目次

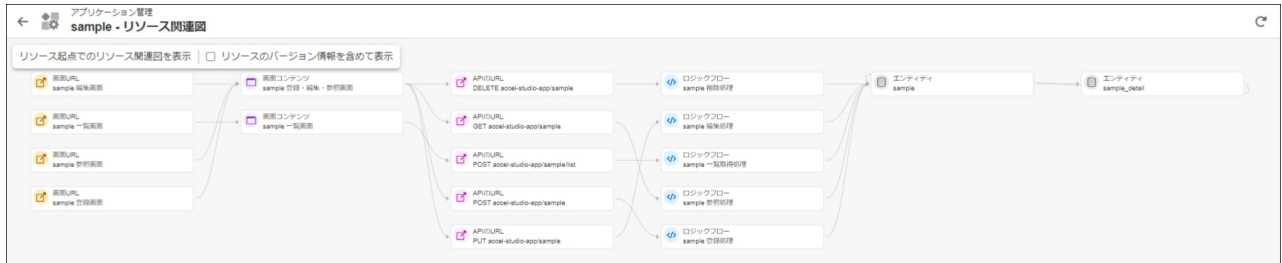
- 全体構造
- 画面
  - 画面コンテンツ
- 公開URL
  - 画面URL
  - APIのURL
- ロジック
  - 登録処理
  - 参照処理
  - 編集処理
  - 削除処理
  - 一覧取得処理
- データ定義

### 全体構造

マスタメンテナンステンプレートで作成された Accel Studio アプリケーションのローコード資材は以下で構成されます。

- 画面
  - 画面コンテンツ
    - 一覧画面
    - 登録・編集・参照画面
- 公開URL
  - 画面URL
    - 登録画面
    - 編集画面
    - 参照画面
    - 一覧画面
  - APIのURL
    - POST accel-studio-app/{IDの決定に利用する文字列}
    - GET accel-studio-app/{IDの決定に利用する文字列}
    - PUT accel-studio-app/{IDの決定に利用する文字列}
    - DELETE accel-studio-app/{IDの決定に利用する文字列}
    - POST accel-studio-app/{IDの決定に利用する文字列}/list
- ロジック
  - 登録処理
  - 参照処理
  - 編集処理
  - 削除処理
  - 一覧取得処理
- データ定義

アプリケーションのリソース関連図は以下の通りです。



画面

マスタメンテナンステンプレートで作成された Accel Studio アプリケーションの画面は以下で構成されます。

- [画面コンテンツ](#)
  - [一覧画面](#)
  - [登録・編集・参照画面](#)

画面コンテンツ

画面コンテンツは IM-BloomMaker のコンテンツ定義です。

それぞれの画面コンテンツの詳細を以下で説明します。

一覧画面

概要

一覧画面はマスタデータを一覧表示する画面です。

一覧画面は以下の機能を持ちます。

- マスタデータの一覧表示
- マスタデータの検索
  - アプリケーション作成時にエンティティ項目の「検索条件」列にチェックを入れた項目が検索条件として表示されます。

ページ

一覧画面のページは以下の通りです。

ページ	説明
Main Page	サイドメニューコンテナにOverallページを埋め込みます。 このページが画面に表示されます。
Overall	一覧画面の全体を構成します。
Header	一覧画面のヘッダを構成します。
Table Operation	一覧画面のテーブル操作を構成します。
Search Condition	一覧画面の検索条件を構成します。
Table	一覧画面のテーブルを構成します。

変数

一覧画面の変数は以下の通りです。一部を抜粋しています。

```

{
  "state": { // 画面の状態を管理する変数
    "tableData": [], // 一覧画面のテーブルデータを管理する変数
    "transitionRequestParameter": {}, // 画面遷移時のリクエストパラメータを管理する変数
    "clickedCell": { // 一覧から選択した行の情報を管理する変数
      "index": null,
      "key": null
    },
  },
  "pagination": { // ページング情報を管理する変数
    "total": null, // 一覧の総件数
    "rowPerPage": null, // 1ページあたりの表示件数
    "current": null // 現在のページ
  },
  "condition": { // 検索、ソート条件を管理する変数
    "searchCondition": {}, // 検索条件の値を管理する変数
    "sortCondition": [ // ソート条件を管理する変数。リッチテーブルエレメントに指定します。
      {
        "key": null, // ソート対象。辞書項目IDを指定します。
        "order": null // ソート順。昇順の場合は「asc」、降順の場合は「desc」を指定します。
      }
    ],
    "isOpenCondition": false // 検索条件エリアの表示状態を管理する変数
  },
  "prePagination": { // ページング処理時に前回のページング情報を管理する変数
    "current": null
  },
  "isFiltered": false // 検索中かを管理する変数
},
"endPoint": { // APIのエンドポイントを管理する変数。エンドポイントごとにリクエストパラメータとレスポンスデータを管理します。
  "list": { // 一覧取得処理のエンドポイント
    "responseData": { // 一覧取得処理のレスポンスデータ
      "data": {
        "records": [], // 一覧のデータを管理する変数
        "total": null
      }
    },
  },
  "requestParameter": { // 一覧取得処理のリクエストパラメータ
    "limit": null, // 1ページあたりの表示件数
    "offset": null, // 取得開始位置
    "searchCondition": {}, // 検索条件
    "sortCondition": [] // ソート条件
  }
},
"headerRowString": {}, // 一覧画面のヘッダの文字列を管理する変数。リッチテーブルエレメントに指定します。
"columnSettings": {} // 一覧画面のテーブルの列設定を管理する変数。リッチテーブルエレメントに指定します。
}

```

## 定数

一覧画面の定数は以下の通りです。一部を抜粋しています。

```

{
  "screenUrl": { // 画面遷移時のURLを管理する定数
    "register": "accel-studio-app/%IDの決定に利用する文字列%/register", // 登録画面のURL
    "edit": "accel-studio-app/%IDの決定に利用する文字列%/edit", // 編集画面のURL
    "refer": "accel-studio-app/%IDの決定に利用する文字列%/refer" // 参照画面のURL
  },
  "iconKey": { // アイコンのキーを管理する定数。編集、参照画面への遷移ボタンに使用します。
    "edit": "_edit",
    "refer": "_refer"
  },
  "initCondition": { // 変数の初期化値を管理する定数
    "sortCondition": [ // ソート条件を管理する変数の初期化値
      {
        "key": null,
        "order": null
      }
    ],
    "searchCondition": {}, // 検索条件の値を管理する変数の初期化値
    "limit": 20, // 1ページあたりの表示件数の初期化値
    "offset": 0 // 取得開始位置の初期化値
  },
  "pullDownKeys": [ // プルダウンの選択肢のキーを管理する定数。プルダウン項目の場合に一覧にvalueではなくlabelを表示するために使用します。
    {
      "itemName": "%プルダウン項目の辞書項目ID%",
      "enumeration": "%プルダウン項目の辞書項目ID%"
    }
  ],
  "enumerationList": {} // プルダウンの選択肢を管理する定数。プルダウン項目は画面に表示する文字列 (label) と内部に持つ値 (value) を持ちます。
}

```

## アクション

一覧画面のアクションは以下の通りです。

アクション	説明
初期描画時	ページ読み込み時に実行されるアクションです。 ソート条件、検索条件を初期化し、一覧データを取得アクションを実行します。
一覧データを取得	一覧データを取得します。 プルダウンの項目がある場合、valueの値が取得されるため、labelの値を設定します。 検索条件が設定されているかどうかを判断し、検索中かを管理する変数isFilteredを設定します。
登録画面へ遷移	登録画面に遷移します。
編集画面へ遷移	編集画面に遷移します。
参照画面へ遷移	参照画面に遷移します。
編集/参照アイコンが押されたとき	一覧から選択した行の情報を管理する変数に設定し、編集/参照画面に遷移します。 編集/参照アイコンが押されたときのイベントにこのアクションを設定します。
検索ボタンが押されたとき	検索条件を設定し、一覧データを取得アクションを実行します。 現在ページ (current) を1ページ目に、取得開始位置 (offset) を0に設定します。 検索ボタンが押されたときのイベントにこのアクションを設定します。
検索条件をクリア	検索条件を初期化用の定数initConditionの値で初期化します。
リッチテーブルの interactiveNavigationEventを実行したとき	リッチテーブルのinteractiveNavigationEventに指定するアクションです。 リッチテーブルの部品を操作した際に実行されるアクションです。
ページング/ソート処理	ページングの場合は取得開始位置 (offset) を設定します。 ソートの場合はソート条件を設定し、取得開始位置 (offset) を0に設定し、現在ページ (current) を1ページ目に設定します。
%日付型の項目%の検索条件 (下限) をクリア	検索条件エリアの日付入力項目 (下限) のクリアを行います。
%日付型の項目%の検索条件 (上限) をクリア	検索条件エリアの日付入力項目 (上限) のクリアを行います。
検索エリアの表示/非表示を切り替え	検索条件エリアの表示/非表示を切り替えます。

登録・編集・参照画面はマスターデータの登録・編集・参照を行う画面です。

登録・編集・参照画面は以下の機能を持ちます。

- マスターデータの登録・編集・参照・削除

ページ

登録・編集・参照画面のページは以下の通りです。

ページ	説明
Main Page	サイドメニューコンテナにOverallページを埋め込みます。 このページが画面に表示されます。
Overall	登録・編集・参照画面の全体を構成します。
Header	登録・編集・参照画面のヘッダを構成します。
Input Area	登録・編集・参照画面の入力エリア（入力フォーム）を構成します。
Button Area	「登録」ボタン、「更新」「削除」ボタンを表示します。

変数

登録・編集・参照画面の変数は以下の通りです。一部を抜粋しています。

```
{
  "state": { // 画面の状態を管理する変数
    "entity": {}, // エンティティのデータを管理する変数
    "confirmResult": false // 確認ダイアログの結果を管理する変数
    "isChanged": false, // 画面の入力値が変更されたかを管理する変数。trueの場合、画面左上の戻るアイコンをクリックした時に確認ダイアログを表示し
    ます。
    "isLocked": false, // 排他制御エレメントのロック状態を管理する変数。trueの場合、各項目の編集を制限します。
    "key": {}, // 主キーの値を管理する変数
  },
  "endPoint": { // APIのエンドポイントを管理する変数。エンドポイントごとにリクエストパラメータとレスポンスデータを管理します。
    "refer": { // 参照処理のエンドポイント
      "responseData": { // 参照処理のレスポンスデータ
        "entity": {}
      },
      "requestParameter": {} // 参照処理のリクエストパラメータ
    },
    "edit": { // 編集処理のエンドポイント
      "requestParameter": { // 編集処理のリクエストパラメータ
        "entity": {}
      }
    },
    "register": { // 登録処理のエンドポイント
      "requestParameter": { // 登録処理のリクエストパラメータ
        "entity": {}
      },
      "responseData": { // 登録処理のレスポンスデータ
        "duplicate": null // 登録処理の重複チェック結果
      }
    },
    "delete": { // 削除処理のエンドポイント
      "requestParameter": {} // 削除処理のリクエストパラメータ
    }
  },
  "businessKey": {} // 排他制御エレメントに使用する一意なキーを管理する変数
}
```

定数

登録・編集・参照画面の定数は以下の通りです。一部を抜粋しています。

```
{
  "mode": { // 画面のURLで使用するモードを管理する定数
    "register": "register", // 登録画面のモード
    "refer": "refer", // 参照画面のモード
    "edit": "edit" // 編集画面のモード
  },
  "screenUrl": { // 画面遷移時のURLを管理する定数
    "list": "accel-studio-app/%IDの決定に利用する文字列%/list" // 一覧画面のURL
  },
  "enumerationList": { // プルダウンの選択肢を管理する定数。プルダウン項目は画面に表示する文字列 (label) と内部に持つ値 (value) を持ちます。
    "%プルダウン項目の辞書項目ID%": { // プルダウンの項目
      "label": [], // プルダウンの表示文字列
      "value": [] // プルダウンの内部値
    }
  }
}
```

## 入力

登録・編集・参照画面の入力は以下の通りです。

```
{
  "__mode__": "register", // 画面のモードを画面のURLの前処理から受け取る変数
  "%主キーの項目%": null // 一覧画面から選択されたマスタデータの主キーの値
}
```

## アクション

登録・編集・参照画面のアクションは以下の通りです。

アクション	説明
初期描画時	ページ読み込み時に実行されるアクションです。 画面のモードを画面のURLの前処理から受け取り、画面の表示を変更します。
一覧画面へ遷移	一覧画面に遷移します。
登録ボタンが押されたとき	入力値を検証し、エラーがなければ登録処理を実行します。 明細エンティティはマスタとなるエンティティのサブエンティティとして定義されています。 明細エンティティには画面に表示されていない項目の「sub_table_id」が含まれます。 「sub_table_id」は明細エンティティの主キーです。 「sub_table_id」に連番を設定して登録処理を実行します。 ※「sub_table_id」が存在しないサブエンティティを指定された場合、これらの処理は作成されません。
更新ボタンが押されたとき	入力値を検証し、エラーがなければ更新処理を実行します。 登録ボタンが押されたときと同様に明細エンティティの「sub_table_id」に連番を設定して更新処理を実行します。 「sub_table_id」は登録時に設定された値に関係なく、更新時には連番を設定します。 ※「sub_table_id」が存在しないサブエンティティを指定された場合、これらの処理は作成されません。
削除ボタンが押されたとき	削除処理を実行し、一覧画面に遷移します。
戻るボタンが押されたとき	入力値が変更されている場合、確認ダイアログを表示します。 確認ダイアログで「はい」を選択した場合、一覧画面に遷移します。 入力値が変更されていない場合は、確認ダイアログを表示せずに一覧画面に遷移します。
入力フォームの値を編集したとき	入力値が変更された場合、戻るボタンが押されたときに確認ダイアログを表示するための変数をtrueに設定します。 全ての入力項目に対して「入力値変更時」のイベントにこのアクションを設定します。
明細 %明細エンティティ% の追加ボタンが押されたとき	明細エンティティの行を追加します。
明細 %明細エンティティ% の削除ボタンが押されたとき	明細エンティティの行を削除します。

## 公開URL

マスタメンテナンステンプレートで作成された Accel Studio アプリケーションの公開URLは以下で構成されます。

- [画面URL](#)



- [登録画面](#)
- [編集画面](#)
- [参照画面](#)
- [一覧画面](#)
- [APIのURL](#)
  - [POST accel-studio-app/{IDの決定に利用する文字列}](#)
  - [GET accel-studio-app/{IDの決定に利用する文字列}](#)
  - [PUT accel-studio-app/{IDの決定に利用する文字列}](#)
  - [DELETE accel-studio-app/{IDの決定に利用する文字列}](#)
  - [POST accel-studio-app/{IDの決定に利用する文字列}/list](#)

## 画面URL

画面URLは IM-BloomMaker のルーティング定義です。  
それぞれの画面のURLの詳細を以下で説明します。

### 登録画面

登録画面のURLには前処理が設定されています。  
前処理はJavaプログラムで実装されています。  
登録画面の前処理はパラメータ「`__mode__`」を追加し、値を「`register`」に設定します。  
画面コンテンツ「登録・編集・参照画面」の入力値で「`__mode__`」の値を評価し、「`register`」の場合に画面の表示を変更します。

### 編集画面

編集画面のURLには前処理が設定されています。  
前処理はJavaプログラムで実装されています。  
編集画面の前処理はパラメータ「`__mode__`」を追加し、値を「`edit`」に設定します。  
画面コンテンツ「登録・編集・参照画面」の入力値で「`__mode__`」の値を評価し、「`edit`」の場合に画面の表示を変更します。

### 参照画面

参照画面のURLには前処理が設定されています。  
前処理はJavaプログラムで実装されています。  
参照画面の前処理はパラメータ「`__mode__`」を追加し、値を「`refer`」に設定します。  
画面コンテンツ「登録・編集・参照画面」の入力値で「`__mode__`」の値を評価し、「`refer`」の場合に画面の表示を変更します。

### 一覧画面

一覧画面のURLには前処理が設定されていません。

## APIのURL

APIのURLは IM-LogicDesigner のロジックフロールーティング定義です。  
それぞれのAPIのURLの詳細を以下で説明します。

POST accel-studio-app/{IDの決定に利用する文字列}

マスタデータの登録を行うAPIのURLです。

GET accel-studio-app/{IDの決定に利用する文字列}

マスタデータの取得を行うAPIのURLです。

PUT accel-studio-app/{IDの決定に利用する文字列}

マスタデータの更新を行うAPIのURLです。

DELETE accel-studio-app/{IDの決定に利用する文字列}

マスタデータの削除を行うAPIのURLです。

POST accel-studio-app/{IDの決定に利用する文字列}/list

マスタデータの一覧を取得するAPIのURLです。  
一覧の取得はソート、ページング、検索条件に対応しています。

## ロジック

ロジックは IM-LogicDesigner のロジックフロー定義です。  
マスタメンテナンステンプレートで作成された Accel Studio アプリのロジックは以下で構成されます。

- [登録処理](#)
- [参照処理](#)
- [編集処理](#)
- [削除処理](#)
- [一覧取得処理](#)

#### 登録処理

登録処理はマスターデータの登録を行う処理です。  
IM-Repository のエンティティの登録処理を呼び出して登録を行います。

#### 参照処理

参照処理はマスターデータの参照を行う処理です。  
IM-Repository のエンティティの参照処理を呼び出して参照を行います。

#### 編集処理

編集処理はマスターデータの編集を行う処理です。  
IM-Repository のエンティティの編集処理を呼び出して編集を行います。

#### 削除処理

削除処理はマスターデータの削除を行う処理です。  
IM-Repository のエンティティの削除処理を呼び出して削除を行います。

#### 一覧取得処理

一覧取得処理はマスターデータの一覧取得を行う処理です。  
IM-Repository のエンティティの一覧取得処理を呼び出して一覧取得を行います。  
一覧取得処理はソート、ページング、検索条件に対応しています。

検索条件はアプリケーション作成時にエンティティ項目の「検索条件」列にチェックを入れた項目が検索条件として表示されます。  
アプリケーションの作成後に検索条件を追加する場合は、IM-Repository のエンティティのデータ定義から検索条件を追加してください。



#### コラム

IM-LogicDesigner の IM-Repository に関するタスクについては、「[IM-Repository](#)」をご確認ください。

#### データ定義

マスターメンテナンステンプレートで作成された Accel Studio アプリケーションのデータ定義はアプリケーション作成時に指定したデータ定義です。



#### コラム

「データ定義」機能については、「[IM-Repository ユーザ操作ガイド](#)」 - 「[データ定義](#)」をご確認ください。

## サンプルアプリケーションテンプレート

ビルドしていただくことで、すぐに利用することも可能なテンプレートです。  
カスタマイズによって、更に使いやすいアプリケーションとしていただくことも可能です。

#### 打刻アプリ

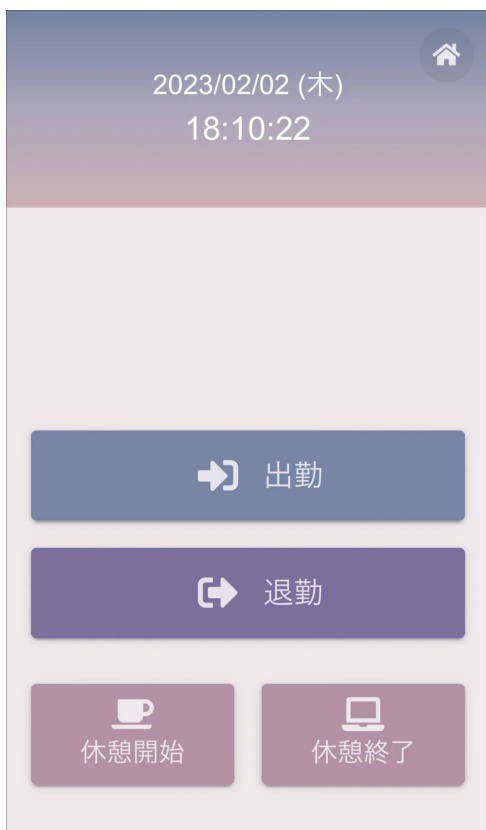
このページでは「打刻アプリ」テンプレートの概要、アプリケーション作成手順、画面イメージ、操作方法と活用例について解説します。

##### 目次

- [「打刻アプリ」テンプレートとは](#)
- [「打刻アプリ」テンプレートの利用方法](#)
  - [アプリケーションの作成手順](#)
  - [アプリケーションのアクセス手順](#)
  - [アプリケーションの画面イメージと操作方法](#)
  - [テンプレートの活用例](#)



「打刻アプリ」テンプレートは、モバイル端末やPCから出退勤の打刻を行い、その履歴を参照できるアプリケーションです。



### コラム

「打刻アプリ」テンプレートは2021 Winter(Dandelion)から利用できます。

## 「打刻アプリ」テンプレートの利用方法

「打刻アプリ」テンプレートを利用したアプリケーションの作成手順と「打刻アプリ」アプリケーションの操作方法をご紹介します。

### アプリケーションの作成手順

「打刻アプリ」テンプレートを利用してアプリケーションを作成する手順についてご紹介します。

#### 1. アプリケーション作成画面への遷移

Accel Studioの「業務テンプレート一覧」から「打刻アプリ」テンプレートを選択します。

Accel Studioの「業務テンプレート一覧」は、「サイトマップ」→「Accel Studio」→「業務テンプレート一覧」から遷移できます。



2. アプリケーションのIDや名称などの設定

「打刻アプリ」テンプレートを選択し、アプリケーション情報の設定画面が表示されたら、アプリケーションのIDや名称などを設定します。設定した基本情報は、各処理や画面の名称、IDなどに利用されます。



3. データベースのテーブルに利用する名称の定義

次に、作成するアプリケーションで扱うデータベースのテーブルに利用する名称を定義します。

ここでは、ユーザの情報と打刻情報を保持するテーブルの名称を設定します。

なお、「打刻アプリ」テンプレートでは、既存のテーブルはご利用いただけません。



#### 4. 管理者の設定

「打刻アプリ」テンプレートは、管理者の権限を付与するロールを指定します。  
 ここで設定したロールのいずれかを所持するユーザは、作成した「打刻アプリ」アプリケーションを利用する全ユーザの打刻記録を参照できます。



#### コラム

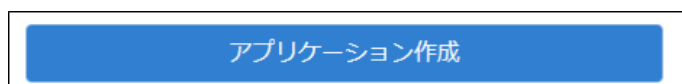
「打刻アプリ」の管理者権限は、指定したロールに対して付与できます。  
 管理者権限を付与するために新規でロールを作成する場合や、特定のユーザに既存のロールを付与する場合は、「テナント管理者操作ガイド」 - 「ロールを設定する」をご確認ください。

#### 5. その他情報の指定

作成されるアプリケーションに利用されるリソースのIDやルーティング情報を手動で決定できます。  
 チェックを入れないことを推奨します。

#### 6. アプリケーション作成開始

アプリケーションの基本情報と、テーブル名を入力したら「アプリケーション作成」ボタンをクリックしてください。  
 入力項目に不備が無ければ自動でアプリケーションの作成ができます。



#### 7. アプリケーション作成結果

アプリケーション作成が完了すると、ステータスが「COMPLETE」と表示されます。

ビルドジョブID	8gokgzyqz5rbcuy	テンプレート名	打刻アプリ
ステータス	● COMPLETE	作成者ユーザコード	tenant
作成日時	2023/01/25 11:14:16		


出力日時	メッセージ	詳細
2023/01/25 11:14:16	生成するリソースのIDを自動設定します。	
2023/01/25 11:14:16	一時ディレクトリに IM-LogicDesigner インポート資材を作成しました。	
2023/01/25 11:14:16	一時ディレクトリに IM-BloomMaker インポート資材を作成しました。	
2023/01/25 11:14:16	アプリケーションで利用するテーブルを新規作成しました。	
2023/01/25 11:14:16	CREATE TABLE "timecard" ("record_id" varchar(100), "user_cd" varchar(100), "record_type" varchar(100), "record_time" timestamp, PRIMARY KEY ("record_id"))	
2023/01/25 11:14:17	自動生成された IM-LogicDesigner 資材をインポートしました。	
2023/01/25 11:14:17	自動生成された IM-BloomMaker 資材をインポートしました。	
2023/01/25 11:14:17	作成された「打刻画面」へはこちらの詳細アイコンから遷移できます。	
2023/01/25 11:14:17	作成された「一覧画面」へはこちらの詳細アイコンから遷移できます。	
2023/01/25 11:14:19	アプリケーションの作成が完了しました。	
2023/01/25 11:14:19	アプリケーション認可設定で テナント管理者 Accel Studio 管理者 にアクセス許可が設定されました。	

### アプリケーションのアクセス手順

作成したアプリケーションへアクセスする方法をご紹介します。  
以下では「打刻画面」または「一覧画面」へのアクセス手順について説明します。

- 「テンプレートビルドジョブ - 詳細」画面から遷移する
- 画面のURLを取得する

「テンプレートビルドジョブ - 詳細」画面から遷移する

「テンプレートビルドジョブ - 詳細」画面はアプリケーション作成完了後に表示されます。  
「テンプレートビルドジョブ - 詳細」画面のステータスが「COMPLETE」と表示されたら、「作成された「打刻画面」へはこちらの詳細アイコンから遷移できます。」の欄にある  をクリックしてください。

ビルドジョブID	8gokgzyqz5rbcuy	テンプレート名	打刻アプリ
ステータス	● COMPLETE	作成者ユーザコード	tenant
作成日時	2023/01/25 11:14:16		

出力日時	メッセージ	詳細
2023/01/25 11:14:16	生成するリソースのIDを自動設定します。	
2023/01/25 11:14:16	一時ディレクトリに IM-LogicDesigner インポート資材を作成しました。	
2023/01/25 11:14:16	一時ディレクトリに IM-BloomMaker インポート資材を作成しました。	
2023/01/25 11:14:16	アプリケーションで利用するテーブルを新規作成しました。	
2023/01/25 11:14:16	CREATE TABLE "timecard" ("record_id" varchar(100), "user_cd" varchar(100), "record_type" varchar(100), "record_time" timestamp, PRIMARY KEY ("record_id"))	
2023/01/25 11:14:17	自動生成された IM-LogicDesigner 資材をインポートしました。	
2023/01/25 11:14:17	自動生成された IM-BloomMaker 資材をインポートしました。	
2023/01/25 11:14:17	作成された「打刻画面」へはこちらの詳細アイコンから遷移できます。	
2023/01/25 11:14:17	作成された「一覧画面」へはこちらの詳細アイコンから遷移できます。	
2023/01/25 11:14:19	アプリケーションの作成が完了しました。	
2023/01/25 11:14:19	アプリケーション認可設定で テナント管理者 Accel Studio 管理者 にアクセス許可が設定されました。	

### コラム

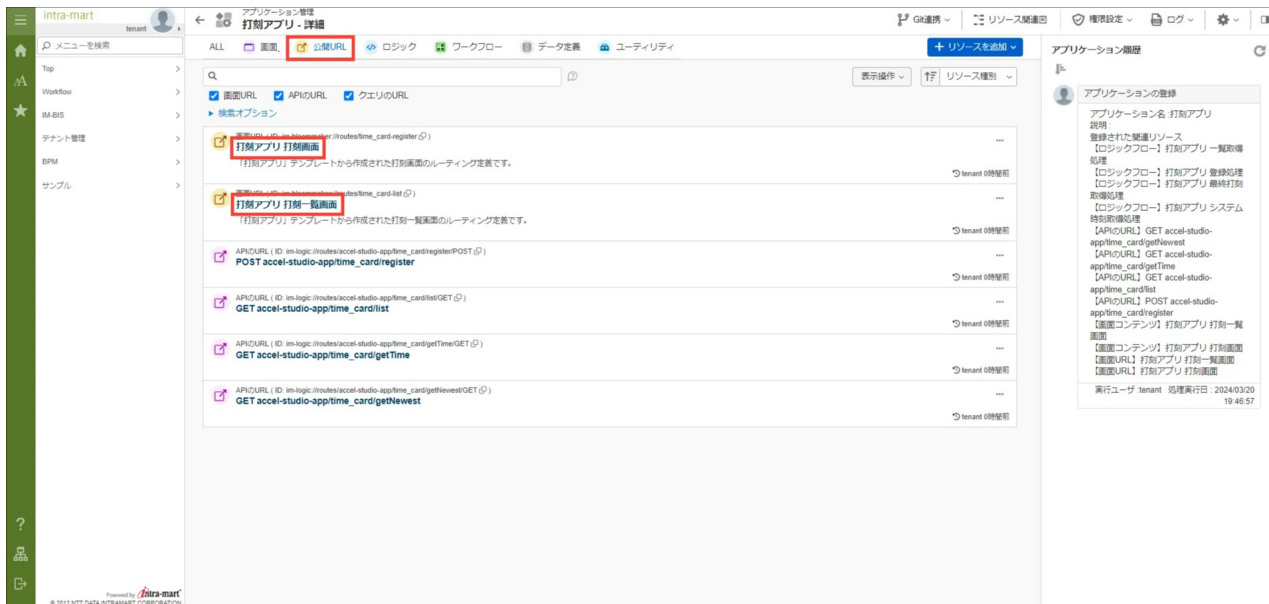
「テンプレートビルドジョブ - 詳細」画面は、「サイトマップ」→「Accel Studio」→「アプリケーション作成」→「テンプレートビルドジョブ」に遷移し、作成したアプリケーションの「詳細」をクリックすることで表示できます。

### 画面のURLを取得する

「打刻アプリ」テンプレートから作成したアプリケーションは「打刻画面」「一覧画面」のそれぞれに画面URLが定義されています。

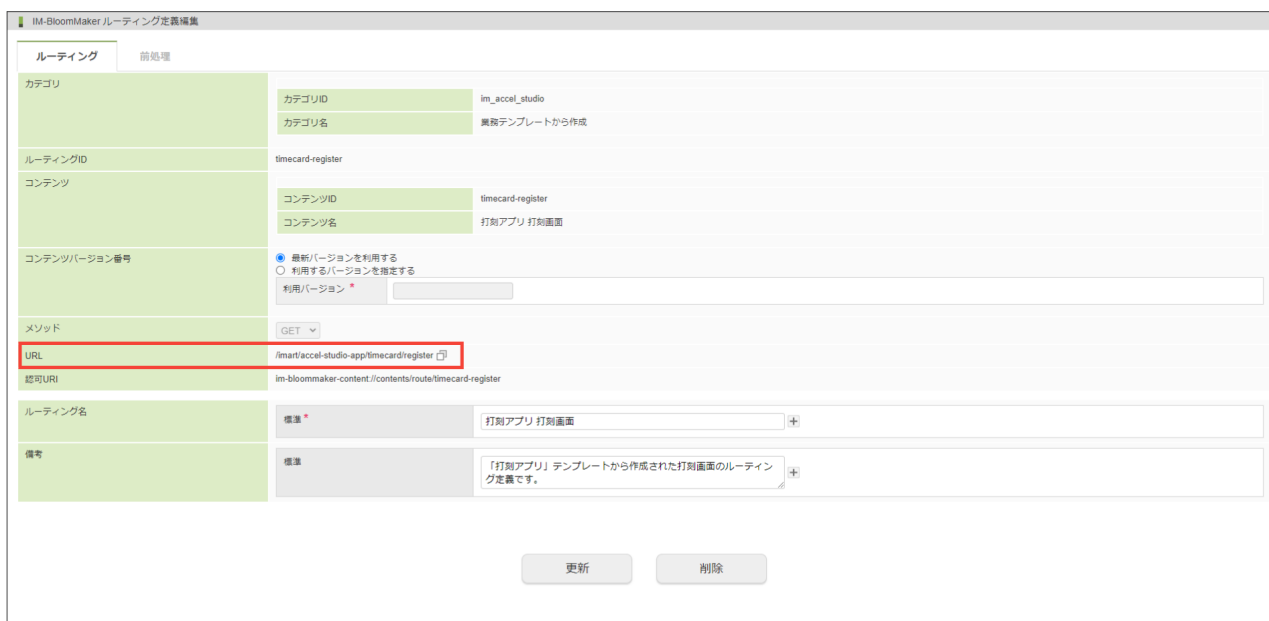
#### 1. 「ルーティング定義編集」画面への遷移

「サイトマップ」→「Accel Studio」→「アプリケーション一覧」で、「自動生成されたアプリケーション」カテゴリを選択します。  
作成したアプリケーションを選択し、「アプリケーション構成情報」画面が表示されたら、「公開URL」タブをクリックしてください。  
続いて、URLを取得したい画面のカードをクリックし、「ルーティング定義編集」画面を開きます。



2. URLを取得

「URL」の  をクリックすることで、URLがクリップボードにコピーされます。



**i** コラム

取得したURLは、初期設定では「テナント管理者」または「Accel Studio管理者」ロールを持ったユーザのみアクセス可能です。

任意のユーザに対して、利用を許可したい場合の設定方法は、「[Accel Studio アプリケーション管理機能 仕様書](#)」 - 「[Accel Studio アプリケーション認可設定](#)」をご確認ください。

**i** コラム

作成したアプリケーションをグローバルメニューに追加したい場合は、グローバルナビ設定をご利用ください。

グローバルナビの設定方法は、「[ファーストステップガイド](#)」 - 「[管理者が一般ユーザ向けのメニューを作成する](#)」をご確認ください。

アプリケーションの画面イメージと操作方法

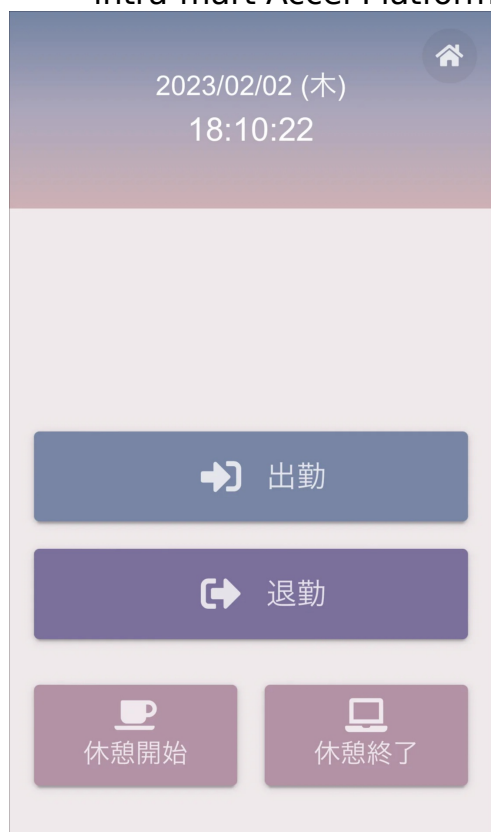
「打刻アプリ」テンプレートから作成されるアプリケーションは、「打刻画面」または「一覧画面」を起点として操作することを想定しています。

打刻画面

「打刻画面」では、「出勤」ボタンから出勤時間、「退勤」ボタンから退勤時間を記録できます。

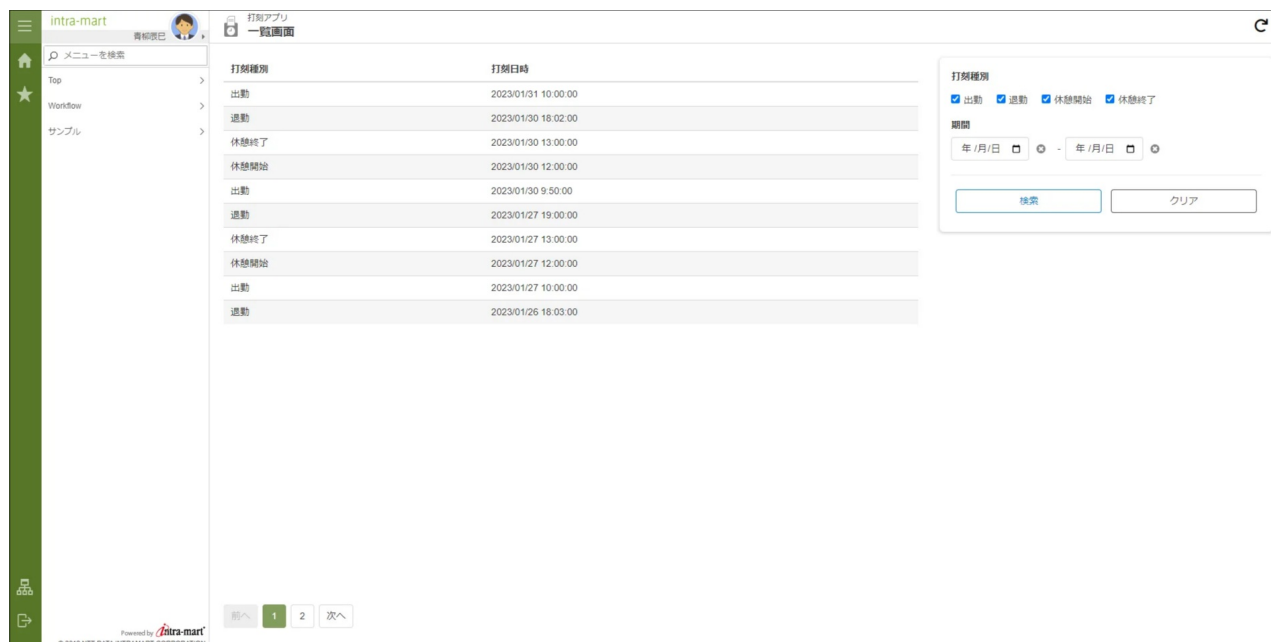
また、「休憩開始」ボタンから休憩開始時間、「休憩終了」ボタンから休憩終了時間を記録できます。

右上の  からは、intra-mart Accel Platformのホーム画面に遷移します。



一覧画面

「一覧画面」では、アプリケーション利用ユーザは自身の打刻記録を閲覧できます。  
画面右側の絞り込み条件では、打刻種別、対象期間を絞り込みできます。



一方、管理者に指定されたロールを所持するユーザはすべてのユーザの打刻した記録を閲覧できます。  
画面右側の絞り込み条件では、ユーザ、組織、打刻種別、期間を絞り込みできます。



ユーザー名	組織	打刻種別	打刻日時
青柳原巳	サンプル課 1 1	休憩開始	2023/01/27 12:00:00
上田原男	サンプル課 2 2	出勤	2023/01/27 10:00:00
関根千香	サンプル課 1 2	出勤	2023/01/27 9:28:00
青柳原巳	サンプル課 1 1	出勤	2023/01/27 9:20:00
林政義	サンプル課 2 1	出勤	2023/01/27 9:00:00
上田原男	サンプル課 2 2	退勤	2023/01/26 20:00:00
林政義	サンプル課 2 1	退勤	2023/01/26 19:00:00
青柳原巳	サンプル課 1 1	退勤	2023/01/26 18:30:00
関根千香	サンプル課 1 2	退勤	2023/01/26 18:30:00
青柳原巳	サンプル課 1 1	休憩終了	2023/01/26 13:00:00

検索パネル:

ユーザー名:

組織:

打刻種別:  出勤  退勤  休憩開始  休憩終了

期間: 年/月/日 - 年/月/日

検索:  クリア:

## コラム

「打刻アプリ」の管理者権限は指定したロールに対して付与されます。  
アプリケーション作成後に他のロールへ管理者権限を付与したい場合は、以下の手順に従って操作を行ってください。

1. 作成したアプリケーションの「アプリケーション構成情報」画面に遷移し、「ロジック」タブからロジックフロー「一覧取得処理」を選択して「ロジックフロー定義編集」画面※1を開きます。
2. 「定数設定」ボタンから「roleId」を編集し、管理者権限を付与するロールのロールIDを指定※2してください。

※1 このロジックフローの定数「roleId」に指定したロールが、管理者権限を持ちます。

※2 複数指定する場合はカンマ区切りで指定できます。

## テンプレートの活用例

「打刻アプリ」テンプレートを活用したアプリケーションの例をご紹介します。

例：勤務時間管理アプリケーション

打刻時に、作業カテゴリや作業内容を入力できるようにすることで、各作業を管理するアプリケーションを作成できます。

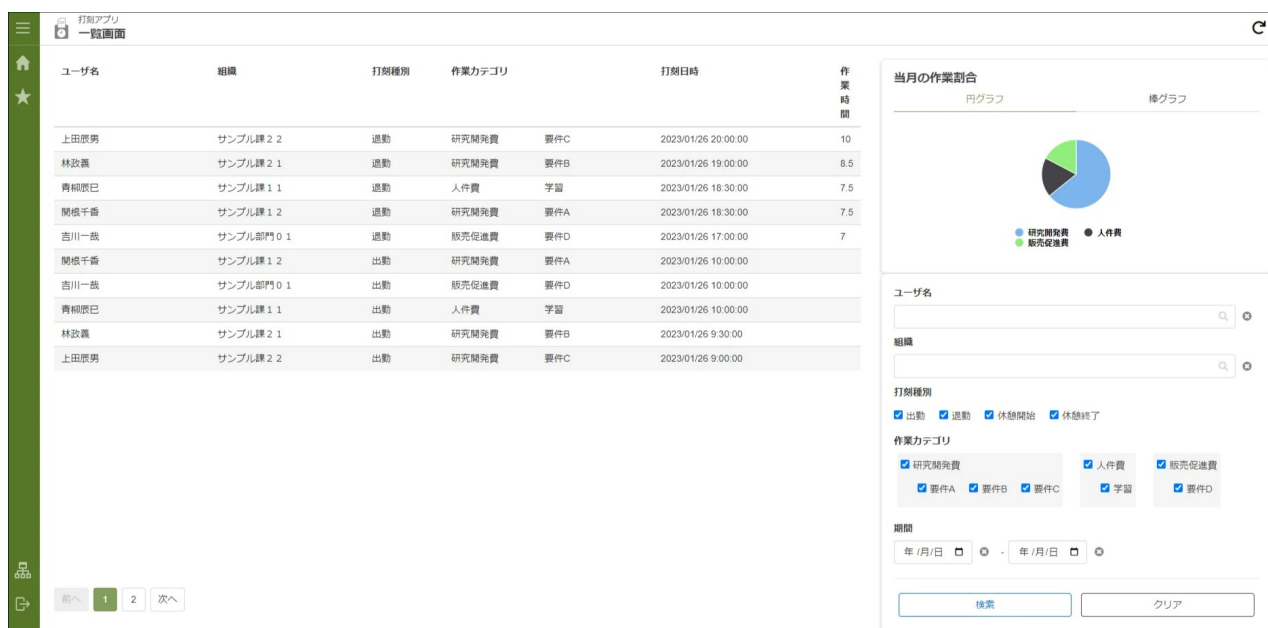
打刻画面

- ・作業カテゴリと作業内容を入力して打刻ができます。
- ・出勤・退勤ではなく開始・終了にすることで、より詳細な作業管理に使用することもできます。



### 一覧画面

- ・出勤打刻と退勤打刻から、作業時間を閲覧できます。
- ・当月の稼働状況をグラフで閲覧できます。
- ・各作業を絞って表示できます。



### 在庫管理

このページでは「在庫管理」テンプレートの概要、アプリケーション作成手順、画面イメージと操作方法について解説します。

#### 目次

- 「在庫管理」テンプレートとは
- 「在庫管理」テンプレートの利用方法
  - アプリケーションの作成手順
  - アプリケーションのアクセス手順
  - アプリケーションの画面イメージと操作方法

「在庫管理」テンプレートとは



「在庫管理」テンプレートは、商品の在庫数を管理するアプリケーションです。商品の情報にバーコードまたはQRコードを登録・生成できます。また、登録したコードを読み取り、商品在庫数を更新できます。バーコードとQRコードはどちらか一方のみ使用でき、アプリケーション作成時に指定します。

このテンプレートは「バーコード生成」モジュールが含まれていない環境では利用できません。

商品名	商品管理コード	単価	在庫数	在庫率
インデックスホルダー	index_holder		200	11 36.6 %
ウェットタオル	wet_towel		100	3 30.0 %
オリジナルペーパータオル (200枚入り)	original_paper_towel_200		140	140 70.0 %
オリジナルペーパータオル (250枚入り)			250	250
カップ (カラフル)			20	
カップ (黒)			15	
カラーホルダー (A4)			200	16
クリアファイル (A3)			200	19
クリアファイル (A4)			200	38
コピー用紙 (A3)			4000	13 65.0 %
コピー用紙 (A4)			3500	20 66.6 %

**i** コラム

「在庫管理」テンプレートは2021 Winter(Dandelion)から利用できます。

**i** コラム

「バーコード生成」モジュールが含まれていない環境では、アプリケーション作成時にビルドエラーとなり、アプリケーションの作成に失敗します。

「在庫管理」テンプレートの利用方法

「在庫管理」テンプレートを利用したアプリケーションの作成手順と「在庫管理」アプリケーションの操作方法をご紹介します。

アプリケーションの作成手順

「在庫管理」テンプレートを利用してアプリケーションを作成する手順についてをご紹介します。

1. アプリケーション作成画面への遷移

Accel Studioの「業務テンプレート一覧」から「在庫管理」テンプレートを選択します。

Accel Studioの「業務テンプレート一覧」は、「サイトマップ」→「Accel Studio」→「業務テンプレート一覧」から遷移できます。



2. アプリケーションのIDや名称などの設定

「在庫管理」テンプレートを選択し、アプリケーション情報の設定画面が表示されたら、アプリケーションのIDや名称などを設定します。設定した基本情報は、各処理や画面の名称、IDなどに利用されます。



3. データベースのテーブルに利用する名称の定義

次に、作成するアプリケーションで扱うデータベースのテーブルに利用する名称を定義します。

ここでは、商品の情報を保持するテーブルの名称を設定します。

なお、「在庫管理」テンプレートでは、既存のテーブルはご利用いただけません。

任意でテーブルにカラムを追加し、商品の情報を追加できます。追加したカラムは商品情報として「編集画面」から編集できます。



**コラム**

テーブル情報に標準で設定されている各項目の表示名は、多言語化対応が行われ、各画面に表示されます。新規で追加した項目については、多言語化されずに標準ロケールにのみ設定されます。新規で追加した項目に多言語化対応が必要な場合は、アプリケーション作成後に、IM-BloomMakerで作成された「画面」へアクセスし、「多言語を定義する」の方法にて各ロケールの表示名を設定してください。

4. アプリケーションのオプション指定

「在庫管理」テンプレートは、商品の情報にバーコードまたはQRコードを登録・生成できます。バーコードとQRコードはどちらか一方のみ使用できます。



5. その他情報の指定

作成されるアプリケーションに利用されるリソースのIDやルーティング情報を手動で決定できます。チェックを入れないことを推奨します。

6. アプリケーション作成開始

アプリケーションの基本情報と、テーブル名を入力したら「アプリケーション作成」ボタンをクリックしてください。入力項目に不備が無ければ自動でアプリケーションの作成ができます。






7. アプリケーション作成結果

アプリケーション作成が完了すると、ステータスが「COMPLETE」と表示されます。

ビルドジョブID	82x0vysouu51c4s	テンプレート名	在庫管理
ステータス	● COMPLETE	作成者ユーザコード	tenant
作成日時	2023/09/04 14:33:54		

出力日時	メッセージ	詳細
2023/09/04 14:34:01	生成するリソースのIDを自動設定します。	
2023/09/04 14:34:02	一時ディレクトリに IM-LogicDesigner インポート資材を作成しました。	
2023/09/04 14:34:03	一時ディレクトリに IM-BloomMaker インポート資材を作成しました。	
2023/09/04 14:34:03	アプリケーションで利用するテーブルを新規作成しました。	
2023/09/04 14:34:03	CREATE TABLE "inventory_controller_sample" ( "item_cd" VARCHAR(1000), "item_name" VARCHAR(1000), "barcode1" VARCHAR(1000), "barcode2" VARCHAR(1000), "unit_price" DECIMAL(18,5), "current_stock" DECIMAL(10), "max_stock" DECIMAL(10), "create_user_cd" VARCHAR(100), "create_date" TIMESTAMP, "record_user_cd" VARCHAR(100), "record_date" TIMESTAMP PRIMARY KEY ( "item_cd" ) )	
2023/09/04 14:34:04	自動生成された IM-LogicDesigner 資材をインポートしました。	
2023/09/04 14:34:29	自動生成された IM-BloomMaker 資材をインポートしました。	
2023/09/04 14:34:29	作成された「在庫一覧画面」へはこちらの詳細アイコンから遷移できます。	
2023/09/04 14:34:29	作成された「在庫数更新画面」へはこちらの詳細アイコンから遷移できます。	
2023/09/04 14:34:33	アプリケーションの作成が完了しました。	
2023/09/04 14:34:33	アプリケーション認可設定でテナント管理者 Accel Studio 管理者 にアクセス許可が設定されました。	

### コラム

作成したアプリケーションは、初期設定では「テナント管理者」または「Accel Studio管理者」ロールを持ったユーザのみ利用できます。

任意のユーザに対して、利用を許可したい場合の設定方法は、「[Accel Studio アプリケーション管理機能仕様書](#)」 - 「[Accel Studio アプリケーション認可設定](#)」をご確認ください。

### アプリケーションのアクセス手順

作成したアプリケーションへアクセスする方法をご紹介します。


「在庫管理」テンプレートから作成されるアプリケーションは、「在庫一覧画面」または「在庫数更新画面」を起点として操作することを想定しています。

以下では「在庫一覧画面」または「在庫数更新画面」へのアクセス手順について説明します。

- [「テンプレートビルドジョブ - 詳細」画面から遷移する](#)
- [画面のURLを取得する](#)

「テンプレートビルドジョブ - 詳細」画面から遷移する

「テンプレートビルドジョブ - 詳細」画面はアプリケーション作成完了後に表示されます。

「テンプレートビルドジョブ - 詳細」画面のステータスが「COMPLETE」と表示されたら、「作成された「在庫一覧画面」へはこちらの詳細アイコンから遷移できます。」の欄にある  をクリックしてください。



ビルドジョブID	8ax9vysou61c4s	テンプレート名	在庫管理
ステータス	COMPLETE	作成者ユーザコード	tenant
作成日時	2023/09/04 14:33:34		
出力日時	メッセージ		詳細
2023/09/04 14:34:01	生成するリソースのIDを自動設定します。		
2023/09/04 14:34:02	一時ディレクトリに IM-LogicDesigner インポート資材を作成しました。		
2023/09/04 14:34:03	一時ディレクトリに IM-BloomMaker インポート資材を作成しました。		
2023/09/04 14:34:03	アプリケーションで利用するテーブルを新規作成しました。		
2023/09/04 14:34:03	CREATE TABLE "inventory_controller_sample" ( "item_cd" VARCHAR(1000), "item_name" VARCHAR(1000), "barcode1" VARCHAR(1000), "barcode2" VARCHAR(1000), "unit_price" DECIMAL(18,5), "current_stock" DECIMAL(10), "max_stock" DECIMAL(10), "create_user_cd" VARCHAR(100), "create_date" TIMESTAMP, "record_user_cd" VARCHAR(100), "record_date" TIMESTAMP, PRIMARY KEY ( "item_cd" ))		
2023/09/04 14:34:04	自動生成された IM-LogicDesigner 資材をインポートしました。		
2023/09/04 14:34:29	自動生成された IM-BloomMaker 資材をインポートしました。		
2023/09/04 14:34:29	作成された「在庫一覧画面」へはこちらの詳細アイコンから遷移できます。		
2023/09/04 14:34:29	作成された「在庫数更新画面」へはこちらの詳細アイコンから遷移できます。		
2023/09/04 14:34:33	アプリケーションの作成が完了しました。		
2023/09/04 14:34:33	アプリケーション認可設定で デナント管理者 Accel Studio 管理者 にアクセス許可が設定されました。		

**コラム**

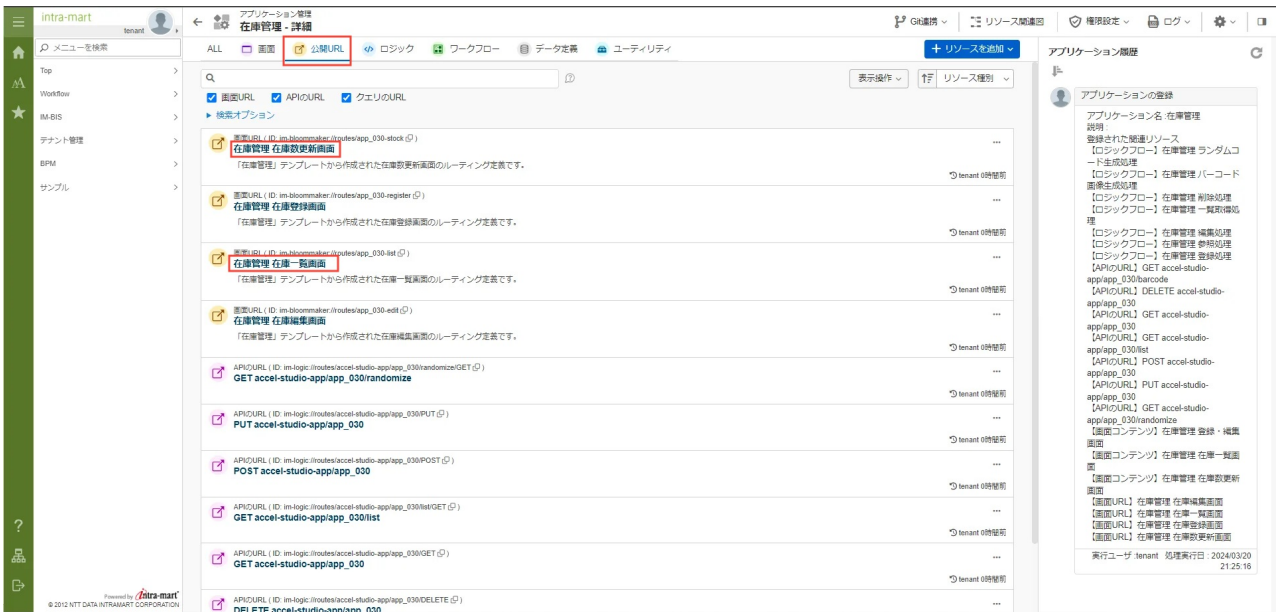
「テンプレートビルドジョブ - 詳細」画面は、「サイトマップ」→「Accel Studio」→「アプリケーション作成」→「テンプレートビルドジョブ」に遷移し、作成したアプリケーションの「詳細」をクリックすることで表示できます。

画面のURLを取得する

「在庫管理」テンプレートから作成したアプリケーションは「在庫一覧画面」「在庫編集画面」「在庫登録画面」「在庫数更新画面」のそれぞれに画面URLが定義されています。

1. 「ルーティング定義編集」画面への遷移

「サイトマップ」→「Accel Studio」→「アプリケーション一覧」で、「自動生成されたアプリケーション」カテゴリを選択します。作成したアプリケーションを選択し、「アプリケーション構成情報」画面が表示されたら、「公開URL」タブをクリックしてください。続いて、URLを取得したい画面のカードをクリックし、「ルーティング定義編集」画面を開きます。



2. URLを取得

「URL」の をクリックすることで、URLがクリップボードにコピーされます。



IM-BloomMaker ルーティング定義編集

ルーティング	名前
カテゴリ	カテゴリID: im_accel_studio カテゴリ名: 業務テンプレートから作成
ルーティングID	inventory_controller_sample-list
コンテンツ	コンテンツID: inventory_controller_sample-list コンテンツ名: 在庫管理サンプル 在庫一覧画面
コンテンツバージョン番号	<input checked="" type="radio"/> 最新バージョンを使用する <input type="radio"/> 使用するバージョンを指定する 利用バージョン: *
メソッド	GET
URL	/Amart/accel-studio-app/inventory_controller_sample/list
認可URI	im-bloommaker-content/contents/routes/inventory_controller_sample-list
ルーティング名	標準 * 在庫管理サンプル 在庫一覧画面
備考	標準 業務テンプレート「在庫管理」で作成されたルーティング定義です。

更新 削除

### i コラム

取得したURLは、初期設定では「テナント管理者」または「Accel Studio管理者」ロールを持ったユーザのみアクセス可能です。

任意のユーザに対して、利用を許可したい場合の設定方法は、「[Accel Studio アプリケーション管理機能 仕様書](#)」 - 「[Accel Studio アプリケーション認可設定](#)」をご確認ください。

### i コラム

作成したアプリケーションをグローバルメニューに追加したい場合は、グローバルナビ設定をご利用ください。

グローバルナビの設定方法は、「[ファーストステップガイド](#)」 - 「[管理者が一般ユーザ向けのメニューを作成する](#)」をご確認ください。

## アプリケーションの画面イメージと操作方法

「在庫管理」テンプレートから作成されるアプリケーションは、「在庫一覧画面」または「在庫数更新画面」を起点として操作することを想定しています。

下記ではアプリケーション作成時の「アプリケーションのオプション指定」で「バーコード」を選択した場合の操作を説明します。「QRコード」を選択した場合でも同様の機能が利用できます。

### 在庫一覧画面

「在庫一覧画面」では、登録した商品を閲覧できます。

アプリケーション作成時に任意で追加した商品の情報は、一覧には表示されません。



商品名	商品管理コード	単価	在庫数	在庫率
インテックスホルダー	index_holder	200	11	36.6 %
ウェットタオル	wet_towel	100	3	30.0 %
オリジナルペーパータオル (200枚入り)	original_paper_towel_200	140	140	70.0 %
オリジナルペーパータオル (400枚入り)	original_paper_towel_400	250	250	83.3 %
カップ (カラフル)	cup_colorful	20	10	10.0 %
カップ (黒)	cup_black	15	10	10.0 %
カラーホルダー (A4)	color_holder_a4	200	16	53.3 %
クリアファイル (A3)	clear_file_a3	200	19	19.0 %
クリアファイル (A4)	clear_file_a4	200	38	38.0 %
コピー用紙 (A3)	copy_paper_a3	4000	13	65.0 %
コピー用紙 (A4)	copy_paper_a4	3500	20	66.6 %
コピー用紙 (A5)	copy_paper_a5	3000	18	60.0 %
コピー用紙 (B4)	copy_paper_b4	3200	12	60.0 %
コピー用紙 (B5)	copy_paper_b5	3500	18	90.0 %
スティックのり	stick_glue	100	9	90.0 %
ティッシュ (ポケット)	tissue_pocket	300	10	10.0 %
ティッシュ (箱)	tissue_box	500	5	50.0 %
ペーパープレート (小)	paper_plate_small	10	100	50.0 %
ペーパープレート (大)	paper_plate_big	10	10	33.3 %
ボールペン (黒)	ballpoint_black	100	31	31.0 %
ボールペン (赤)	ballpoint_red	100	14	28.0 %
ホワイトボードマーカー (黒)	white_board_marker_black	100	5	5.0 %

画面右側の絞り込み条件では、「商品名」や「商品管理コード」「単価」「在庫数」「在庫率」から商品を絞り込みできます。なお、アプリケーション作成時に任意で追加した項目での絞り込み機能は組み込まれていません。

商品名	商品管理コード	単価	在庫数	在庫率
付箋 (小)	fusen_small	400	10	33.3 %
付箋 (大)	fusen_big	700	10	50.0 %

在庫登録画面

「在庫登録画面」では、商品の登録ができます。「在庫一覧画面」の「新規作成」ボタンから「在庫登録画面」に遷移できます。

「バーコード1」「バーコード2」には商品のバーコードを登録できます。  
 「読み取り」を選択するとカメラが起動します。商品のバーコードを読み取り、文字列を取得できます。  
 「採番」を選択すると一意な文字列を生成します。商品にバーコードが無い場合にご利用ください。  
 「表示」を選択すると入力された文字列から作成されるバーコードを表示します。  
 表示されたバーコードは画像として保存できるため、印刷して商品に貼り付けるなどの利用が可能です。

**i** コラム

カメラが搭載されていない端末では、「読み取り」機能は利用できません。

**i** コラム

「読み取り」機能を利用する場合、https でのアクセスが必要です。  
 詳しくは、「IM-BloomMaker for Accel Platform 2022 Winter リリースノート」 - 「バーコードリーダー、QRコードリーダーエレメントを利用する場合、https でのアクセスが必要です。」をご確認ください。

アプリケーション作成時に任意で追加した商品の情報は、「バーコード2」の下部に配置されます。

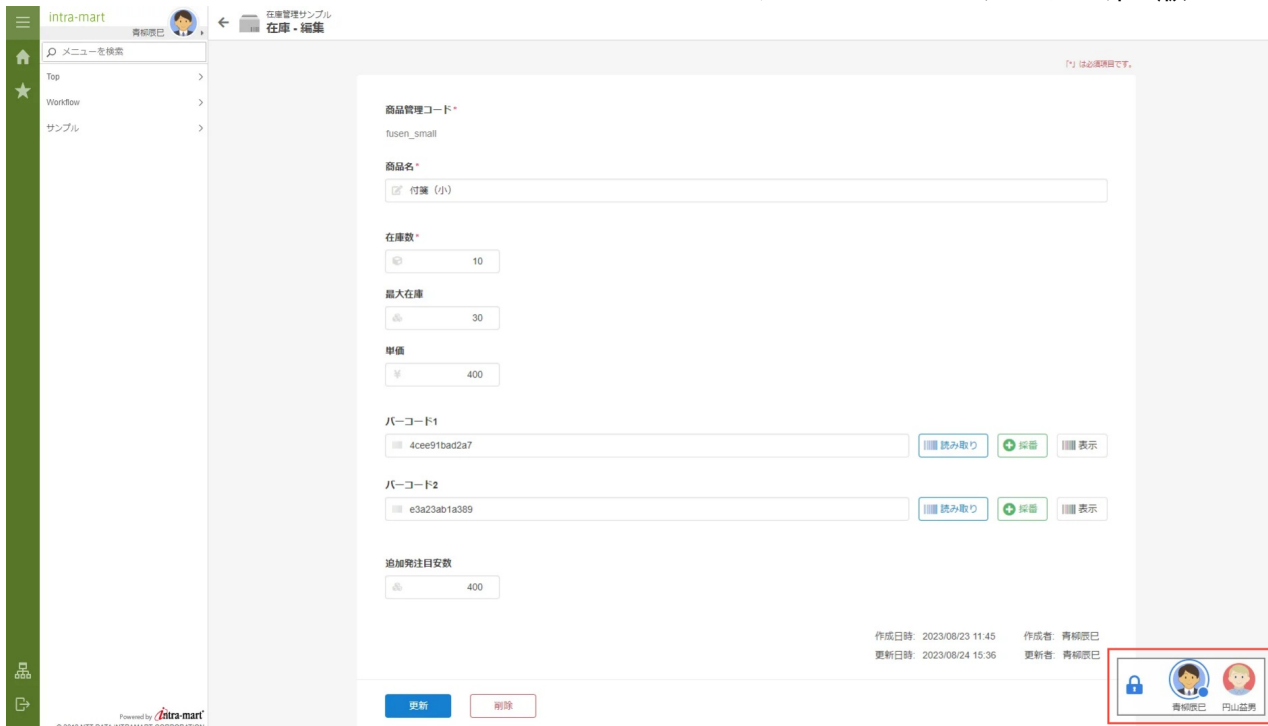
在庫編集画面

「在庫編集画面」では、商品情報の編集ができます。

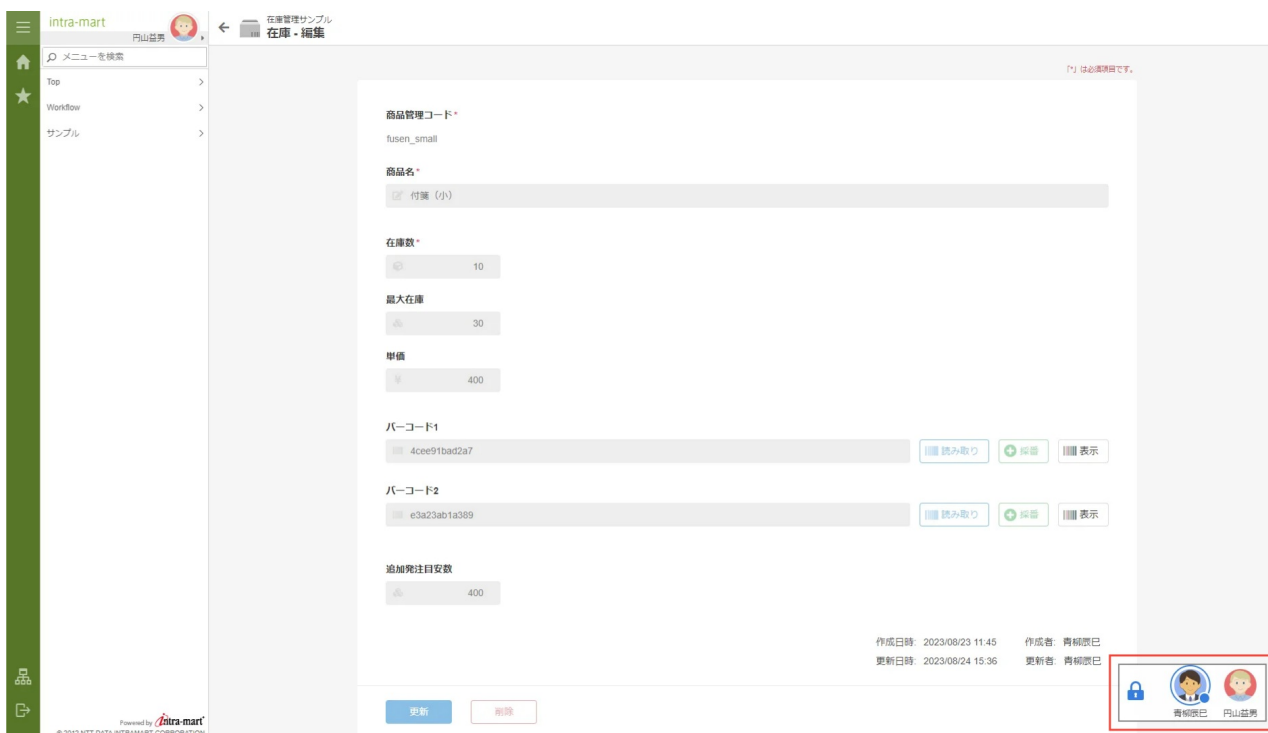
画面右下の南京錠アイコンは排他制御エレメントです。

南京錠アイコンをクリックして排他制御を有効にすると、他のユーザは編集ができない状態になり、編集の衝突を防ぐことができます。

青柳辰巳が画面を制御しているとき、青柳辰巳のアイコン周囲が青く変化します。



同画面にアクセスしている丸山益男からは、青柳辰巳が画面を制御していること、入力欄およびボタンが非活性になっていることが確認できます。なお、バーコード表示ボタンは排他制御の対象外です。



在庫数更新画面

「在庫数更新画面」では、商品在庫の増減を入力して在庫数を更新できます。「在庫数更新画面」は項目を入力すると下部に次の入力内容が表示されます。下記を順番に入力してください。

1. 商品を検索  
商品管理コードを入力、または「読み取り」からバーコードを読み取って入力し、「検索」を選択します。
2. 在庫の増減を入力  
増減する数値を入力し、「在庫増（入荷・補充）」または「在庫減（出荷・消費）」を選択します。
3. 確認して更新  
最終的な在庫を確認して「更新」を選択します。

在庫管理サンプル  
在庫数更新画面

**1 商品を検索する**  
在庫数を変更する商品を検索します

検索方法は、「完全一致検索」です。  
検索条件に入力した文字列と大文字小文字、全角半角が完全に一致する商品を検索します。

商品管理コード

バーコード

**検索条件を入力してください。**

在庫管理サンプル  
在庫数更新画面

**1 商品を検索する**  
在庫数を変更する商品を検索します

検索方法は、「完全一致検索」です。  
検索条件に入力した文字列と大文字小文字、全角半角が完全に一致する商品を検索します。

商品管理コード

バーコード1

バーコード2

**2 在庫の増減を変更する**  
検索結果を確認し、増減する在庫を変更します。

商品名

商品名 (カナ)

現在の在庫

増減する在庫 **必須**

増減する在庫は必須です。

在庫管理サンプル  
在庫数更新画面

**1 商品を検索する**  
在庫数を変更する商品を検索します

検索方法は、「完全一致検索」です。  
検索条件に入力した文字列と大文字小文字、全角半角が完全に一致する商品を検索します。

商品管理コード

バーコード1

バーコード2

**2 在庫の増減を変更する**  
検索結果を確認し、増減する在庫を変更します。

商品名

商品名 (カナ)

現在の在庫

増減する在庫 **必須**

**3 更新**  
最終的な在庫を確認し、更新します。

最終的な在庫

## タスク管理

このページでは「タスク管理」テンプレートの概要、アプリケーション作成手順、画面イメージ、操作方法と活用例について解説します。

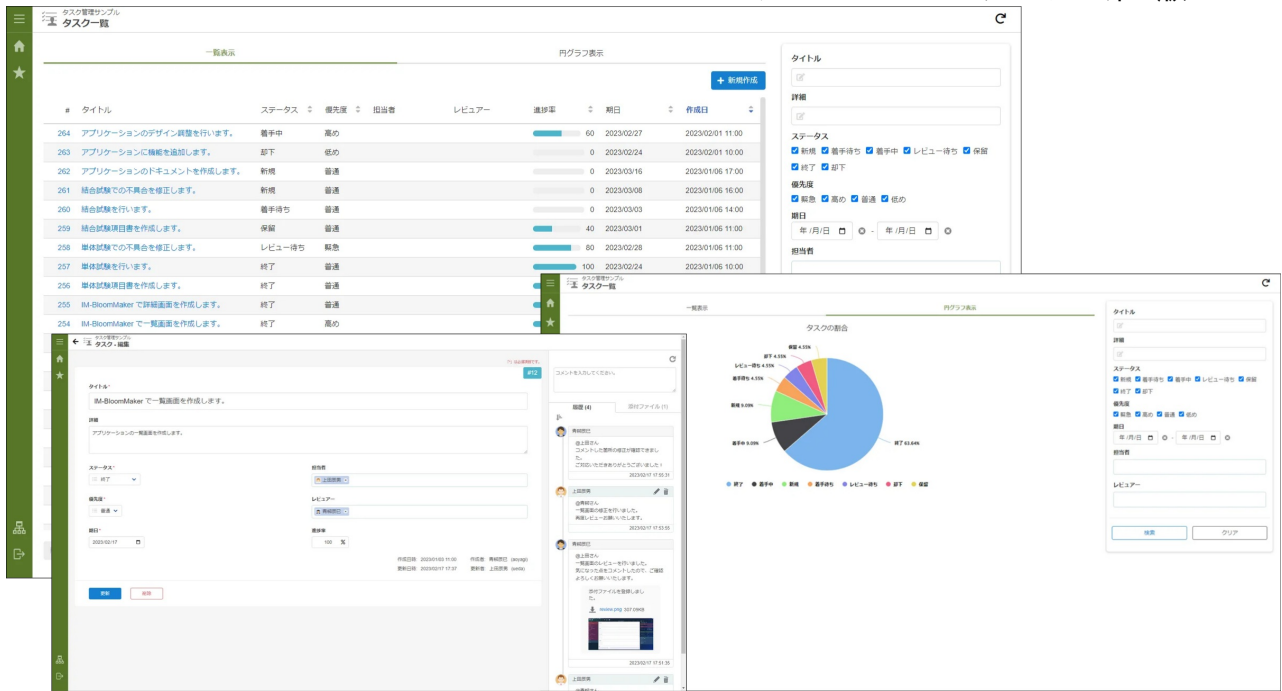
### 目次

- 「タスク管理」テンプレートとは
- 「タスク管理」テンプレートの利用方法
  - アプリケーションの作成手順
  - アプリケーションのアクセス手順
  - アプリケーションの画面イメージと操作方法
  - テンプレートの活用例

### 「タスク管理」テンプレートとは



「タスク管理」テンプレートは、タスクのステータスや担当者、レビュアー等を登録、管理するアプリケーションです。そのまま日々の業務のタスク管理に利用したり、情報のやり取りをする掲示板のようにカスタマイズすることで、社内コミュニケーションにも利用できます。



**コラム**

「タスク管理」テンプレートは2021 Winter(Dandelion)から利用できます。

「タスク管理」テンプレートの利用方法

「タスク管理」テンプレートを利用したアプリケーションの作成手順と「タスク管理」アプリケーションの操作方法をご紹介します。

アプリケーションの作成手順

「タスク管理」テンプレートを利用してアプリケーションを作成する手順についてご紹介します。

1. アプリケーション作成画面への遷移

Accel Studioの「業務テンプレート一覧」から「タスク管理」テンプレートを選択します。

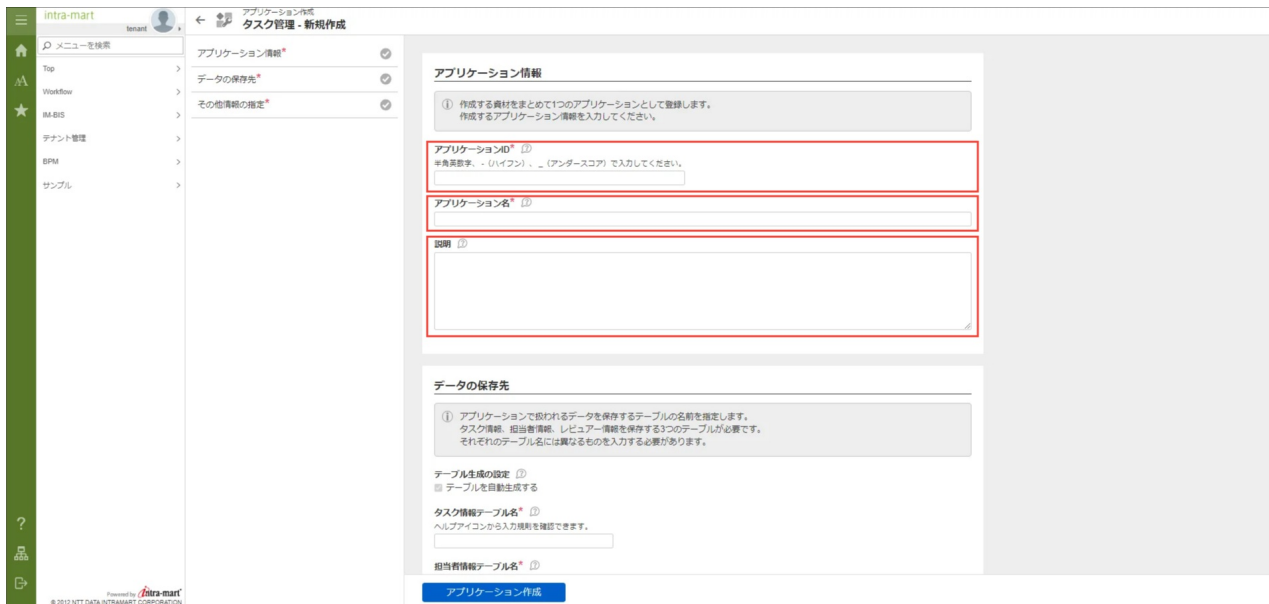
Accel Studioの「業務テンプレート一覧」は、「サイトマップ」→「Accel Studio」→「業務テンプレート一覧」から遷移できます。



2. アプリケーションのIDや名称などの設定

「タスク管理」テンプレートを選択し、アプリケーション情報の設定画面が表示されたら、アプリケーションのIDや名称などを設定します。

設定した基本情報は、各処理や画面の名称、IDなどに利用されます。



3. データベースのテーブルに利用する名称の定義

次に、作成するアプリケーションで扱うデータベースのテーブルに利用する名称を定義します。ここでは、タスク情報と担当者情報、レビューア情報を保持するテーブルの名称を設定します。なお、「タスク管理」テンプレートでは、既存のテーブルはご利用いただけません。



4. その他情報の指定

作成されるアプリケーションに利用されるリソースのIDやルーティング情報を手動で決定できます。チェックを入れないことを推奨します。

5. アプリケーション作成開始

アプリケーションの基本情報と、テーブル名を入力したら「アプリケーション作成」ボタンをクリックしてください。入力項目に不備が無ければ自動でアプリケーションの作成ができます。





6. アプリケーション作成結果

アプリケーション作成が完了すると、ステータスが「COMPLETE」と表示されます。



ビルドジョブID	6pggb1gmdodtbbc	テンプレート名	タスク管理
ステータス	● COMPLETE	作成者ユーザコード	tenant
作成日時	2023/02/16 17:56:06		

出力日時	メッセージ	詳細
2023/02/16 17:56:07	生成するリソースのIDを自動設定します。	
2023/02/16 17:56:07	一時ディレクトリに IM-LogicDesigner インポート資材を作成しました。	
2023/02/16 17:56:08	一時ディレクトリに IM-BloomMaker インポート資材を作成しました。	
2023/02/16 17:56:08	アプリケーションで利用するテーブルを新規作成しました。	
2023/02/16 17:56:08	CREATE TABLE "task" ("task_id" VARCHAR(100), "title" VARCHAR(1000), "status" VARCHAR(50), "priority" VARCHAR(50), "progress" INTEGER, "limit_date" TIMESTAMP, "detail" VARCHAR(1000), "create_user_cd" VARCHAR(100), "create_date" TIMESTAMP, "record_user_cd" VARCHAR(100), "record_date" TIMESTAMP, "is_deleted" INTEGER, PRIMARY KEY ("task_id")); CREATE TABLE "assignee" ("task_id" VARCHAR(100), "assignee_user_cd" VARCHAR(100), PRIMARY KEY ("task_id", "assignee_user_cd")); CREATE TABLE "reviewer" ("task_id" VARCHAR(100), "reviewer_user_cd" VARCHAR(100), PRIMARY KEY ("task_id", "reviewer_user_cd"))	
2023/02/16 17:56:08	自動生成された IM-LogicDesigner 資材をインポートしました。	
2023/02/16 17:56:09	自動生成された IM-BloomMaker 資材をインポートしました。	
2023/02/16 17:56:09	作成された「一覧画面」へはこちらの詳細アイコンから遷移できます。	
2023/02/16 17:56:10	アプリケーションの作成が完了しました。	
2023/02/16 17:56:10	アプリケーション認可設定でテナント管理者, Accel Studio 管理者 にアクセス許可が設定されました。	

## コラム

作成したアプリケーションは、初期設定では「テナント管理者」または「Accel Studio管理者」ロールを持ったユーザのみ利用できます。

任意のユーザに対して、利用を許可したい場合の設定方法は、「[Accel Studio アプリケーション管理機能 仕様書](#)」 - 「[Accel Studio アプリケーション認可設定](#)」をご確認ください。

## アプリケーションのアクセス手順

作成したアプリケーションへアクセスする方法をご紹介します。


「タスク管理」テンプレートから作成されるアプリケーションは、「タスク一覧画面」を起点として操作することを想定しています。

以下では「タスク一覧画面」へのアクセス手順について説明します。

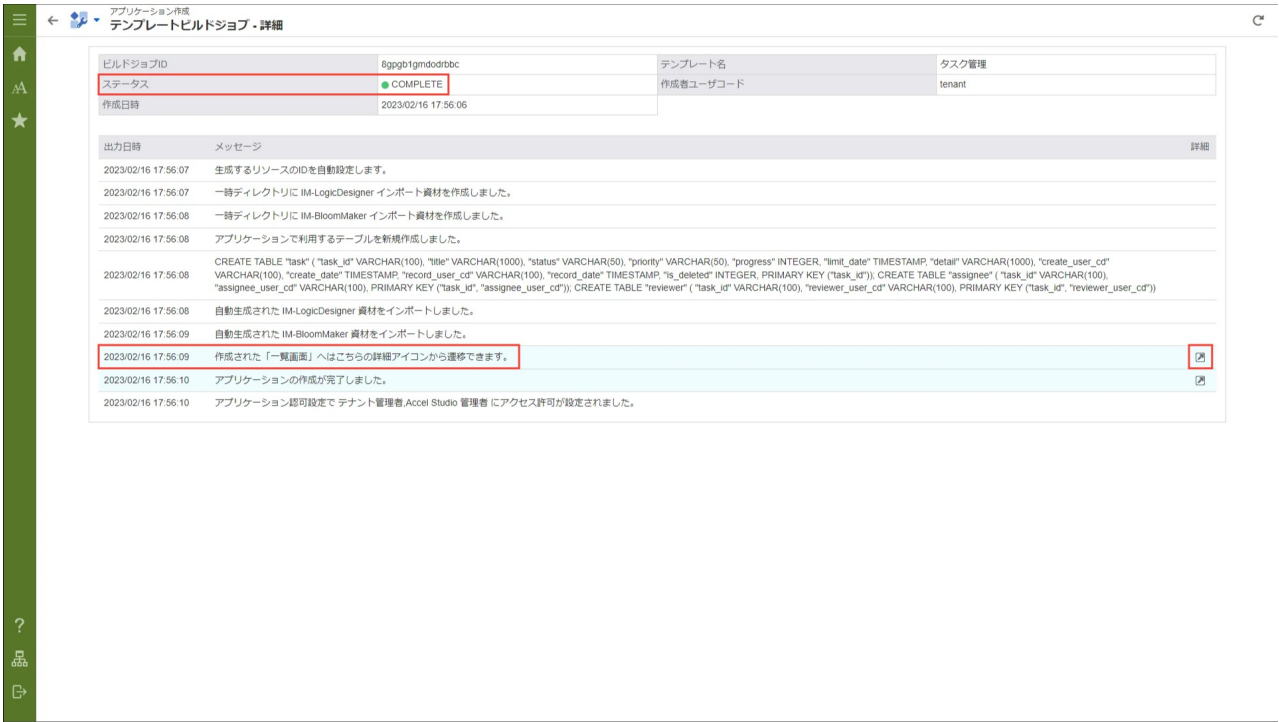
- [「テンプレートビルドジョブ - 詳細」画面から遷移する](#)
- [画面のURLを取得する](#)

「テンプレートビルドジョブ - 詳細」画面から遷移する

「テンプレートビルドジョブ - 詳細」画面はアプリケーション作成完了後に表示されます。

「テンプレートビルドジョブ - 詳細」画面のステータスが「COMPLETE」と表示されたら、「作成された「一覧画面」へはこちらの詳細アイコンから遷移できます。」の欄にある  をクリックしてください。





## コラム

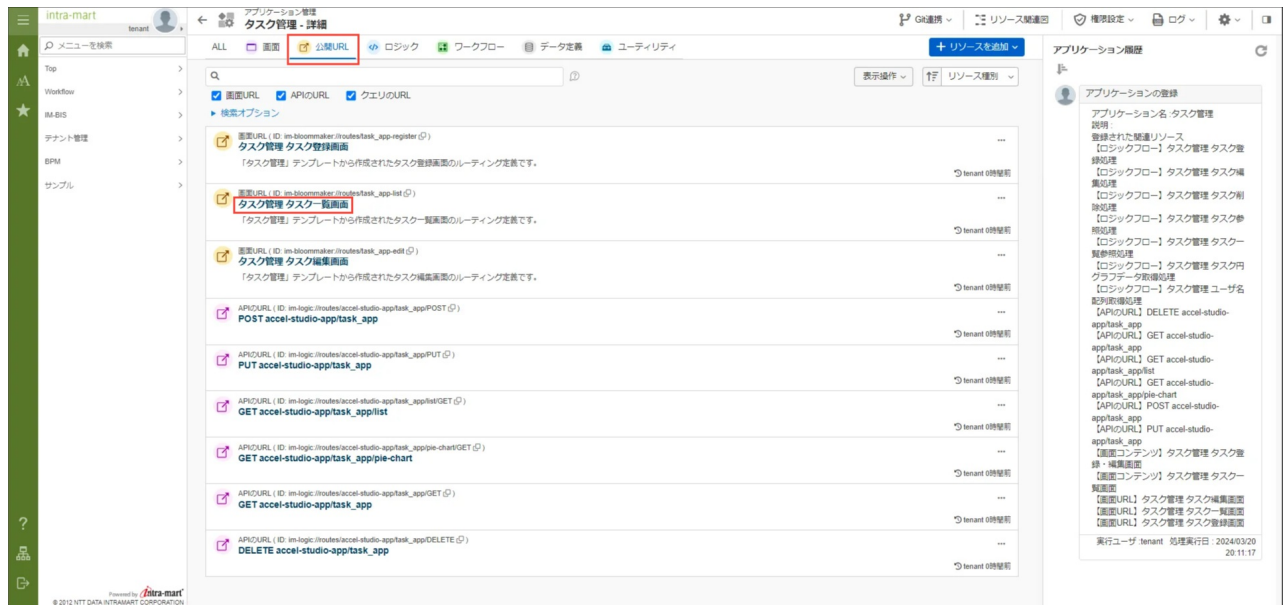
「テンプレートビルドジョブ - 詳細」画面は、「サイトマップ」→「Accel Studio」→「アプリケーション作成」→「テンプレートビルドジョブ」に遷移し、作成したアプリケーションの「詳細」をクリックすることで表示できます。

### 画面のURLを取得する

「タスク管理」テンプレートから作成したアプリケーションは「タスク登録画面」「タスク一覧画面」「タスク編集画面」のそれぞれに画面URLが定義されています。

#### 1. 「ルーティング定義編集」画面への遷移

「サイトマップ」→「Accel Studio」→「アプリケーション一覧」で、「自動生成されたアプリケーション」カテゴリを選択します。作成したアプリケーションを選択し、「アプリケーション構成情報」画面が表示されたら、「公開URL」タブをクリックしてください。続いて、URLを取得したい画面のカードをクリックし、「ルーティング定義編集」画面を開きます。



#### 2. URLを取得

「URL」の  をクリックすることで、URLがクリップボードにコピーされます。

IM-BloomMaker ルーティング定義編集

ルーティング 前処理

カテゴリ	カテゴリID im_accel_studio カテゴリ名 業務テンプレートから作成
ルーティングID	task_management_sample-list
コンテンツ	コンテンツID task_management_sample-list コンテンツ名 タスク管理サンプルタスク一覧画面
コンテンツバージョン番号	<input checked="" type="radio"/> 最新バージョンを使用する <input type="radio"/> 使用するバージョンを指定する 利用バージョン *
メソッド	GET
URL	/imart/accel-studio-app/task_management_sample/list
認可URI	im-bloommaker-content/contents/router/task_management_sample-list
ルーティング名	標準 * タスク管理サンプルタスク一覧画面
備考	標準 「タスク管理」テンプレートから作成されたルーティング定義です。

更新 削除

### i コラム

取得したURLは、初期設定では「テナント管理者」または「Accel Studio管理者」ロールを持ったユーザのみアクセス可能です。

任意のユーザに対して、利用を許可したい場合の設定方法は、「[Accel Studio アプリケーション管理機能仕様書](#)」 - 「[Accel Studio アプリケーション認可設定](#)」をご確認ください。

### i コラム

作成したアプリケーションをグローバルメニューに追加したい場合は、グローバルナビ設定をご利用ください。

グローバルナビの設定方法は、「[ファーストステップガイド](#)」 - 「[管理者が一般ユーザ向けのメニューを作成する](#)」をご確認ください。

## アプリケーションの画面イメージと操作方法

「タスク管理」テンプレートから作成されるアプリケーションは、「タスク一覧画面」を起点として操作することを想定しています。

### タスク一覧画面

「タスク一覧画面」では、「一覧表示」タブをクリックすることで一覧表示に、「円グラフ表示」タブをクリックすることで円グラフ表示に切り替えることができます。

### i コラム

「円グラフ表示」への切り替え機能は2023 Spring(Gerbera)から利用できます。

「一覧表示」では、画面上部の「新規作成」ボタンから「タスク登録画面」に、タスクのタイトルをクリックすることで「タスク編集画面」にそれぞれ遷移できます。

「一覧表示」では、表示されているテーブルヘッダをクリックすることで、並び順の変更も可能です。

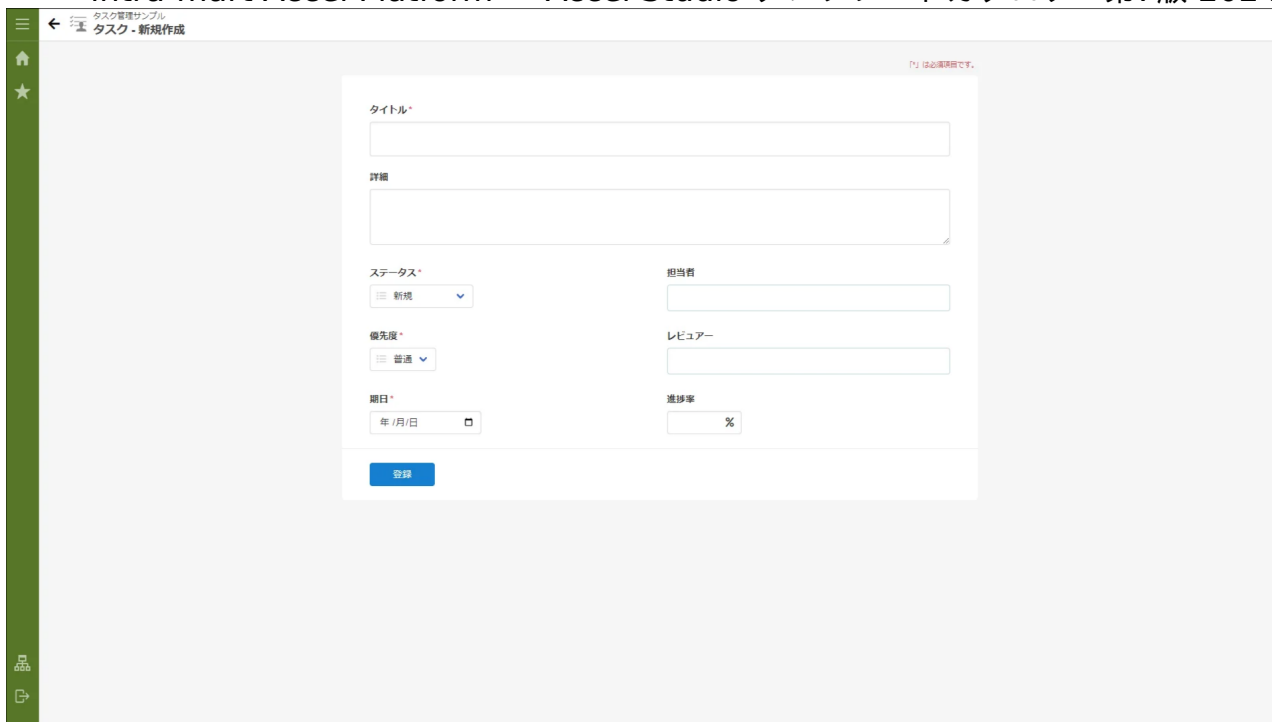
#	タイトル	ステータス	優先度	担当者	レビュアー	進捗率	期日	作成日
264	アプリケーションのデザイン調整を行います。	着手中	高め	青柳崇巳	上田原男, 片山聡	60	2023/02/27	2023/02/01 11:00
263	アプリケーションに機能を追加します。	却下	低め			0	2023/02/24	2023/02/01 10:00
262	アプリケーションのドキュメントを作成します。	新規	普通	青柳崇巳	上田原男	0	2023/03/16	2023/01/06 17:00
261	結合試験での不具合を修正します。	新規	普通	青柳崇巳	上田原男	0	2023/03/08	2023/01/06 16:00
260	結合試験を行います。	着手待ち	普通	青柳崇巳	上田原男	0	2023/03/03	2023/01/06 14:00
259	結合試験項目書を作成します。	保留	普通	青柳崇巳	上田原男	40	2023/03/01	2023/01/06 11:00
258	単体試験での不具合を修正します。	レビュー待ち	緊急	青柳崇巳	上田原男	80	2023/02/28	2023/01/06 11:00
257	単体試験を行います。	終了	普通	青柳崇巳	上田原男	100	2023/02/24	2023/01/06 10:00
256	単体試験項目書を作成します。	終了	普通	青柳崇巳	上田原男	100	2023/02/20	2023/01/06 10:00
255	IM-BloomMaker で詳細画面を作成します。	終了	普通	上田原男	青柳崇巳	100	2023/02/21	2023/01/03 12:00
254	IM-BloomMaker で一覧画面を作成します。	終了	高め	上田原男	青柳崇巳	100	2023/02/17	2023/01/03 11:00
253	IM-LogicDesigner で一覧参照処理を作成します。	終了	低め	青柳崇巳	上田原男	100	2023/02/20	2023/01/03 11:00
252	IM-LogicDesigner で参照処理を作成します。	終了	普通	青柳崇巳	上田原男	100	2023/01/30	2023/01/03 10:00
251	IM-LogicDesigner で削除処理を作成します。	終了	普通	青柳崇巳	上田原男	100	2023/01/27	2023/01/02 18:00
250	IM-LogicDesigner で編集処理を作成します。	終了	普通	青柳崇巳	上田原男	100	2023/01/26	2023/01/01 18:00
249	IM-LogicDesigner で登録処理を作成します。	終了	高め	青柳崇巳	上田原男	100	2023/01/25	2023/01/01 17:00
248	アプリケーション素材の実装を行います。	終了	普通	青柳崇巳	上田原男	100	2023/02/03	2023/01/01 16:00
247	工数の見積もりを行います。	終了	普通	青柳崇巳	上田原男	100	2023/01/24	2023/01/01 15:00
246	アプリケーションの仕様書を作成します。	終了	普通	青柳崇巳	上田原男	100	2023/01/24	2023/01/01 14:00
245	アプリケーション素材の設計を行います。	終了	普通	青柳崇巳	上田原男	100	2023/01/23	2023/01/01 13:00
244	アプリケーションの要件定義を行います。	終了	普通	青柳崇巳	上田原男	100	2023/01/18	2023/01/01 11:00

「円グラフ表示」では、ステータスごとにタスクの割合を円グラフとして確認できます。円グラフの下にある凡例をクリックすることで、円グラフ上での項目の表示/非表示を切り替えることができます。

ステータス	割合
完了	63.64%
着手中	9.09%
新規	9.09%
着手待ち	4.55%
レビュー待ち	4.55%
却下	4.55%
保留	4.55%

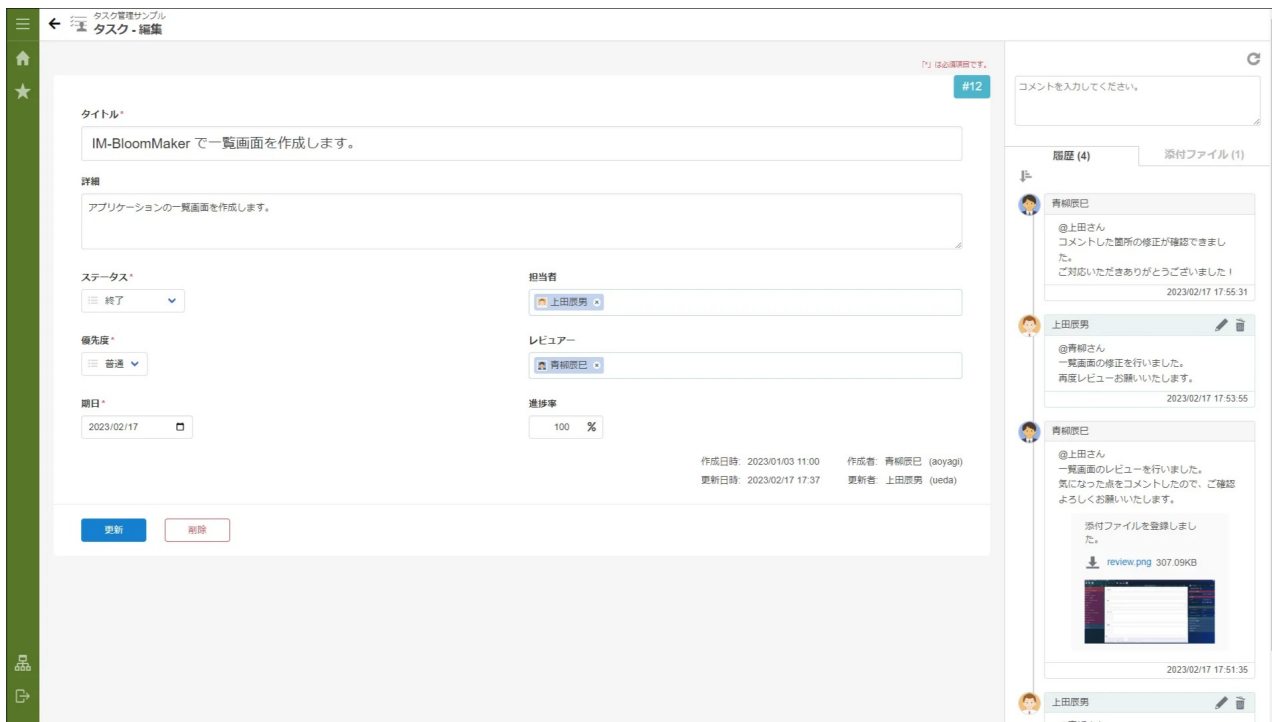
タスク登録画面

「タスク登録画面」では、タスクの登録ができます。「ステータス」や「優先度」、「期日」などタスク管理に必要な項目を設定し、「担当者」や「レビュアー」をIM-共通マスタに登録されたユーザから設定できます。



タスク編集画面

「タスク編集画面」では、タスクの編集と削除ができます。  
履歴・コメント機能でコメントの入力やファイルの添付ができ、レビューの証跡を残したり担当者同士の作業報告などもできます。



**i** コラム

履歴・コメント機能については、「履歴・コメントモジュールユーザ操作ガイド」をご確認ください。

テンプレートの活用例

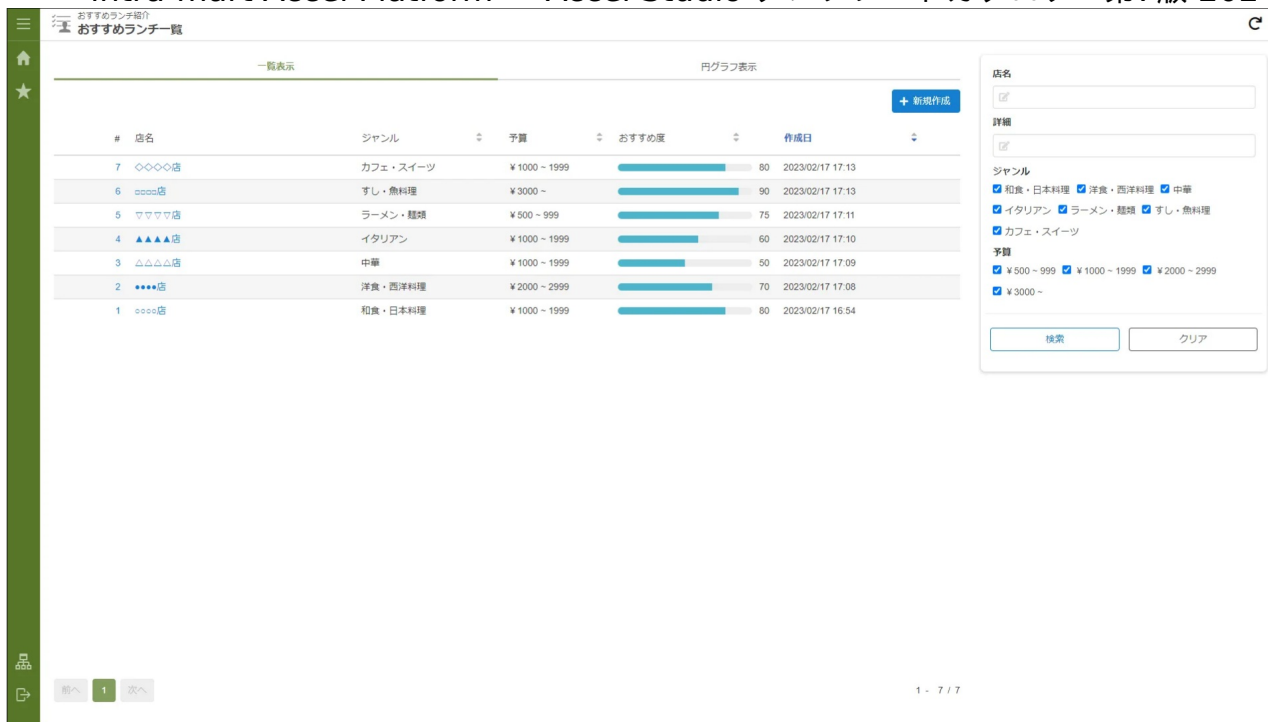
「タスク管理」テンプレートを活用したアプリケーションの例をご紹介します。

例：おすすめランチを紹介するアプリケーション

アプリケーションの各項目名を変更することで、ジャンルごとのおすすめランチを紹介するアプリケーションを作成できます。

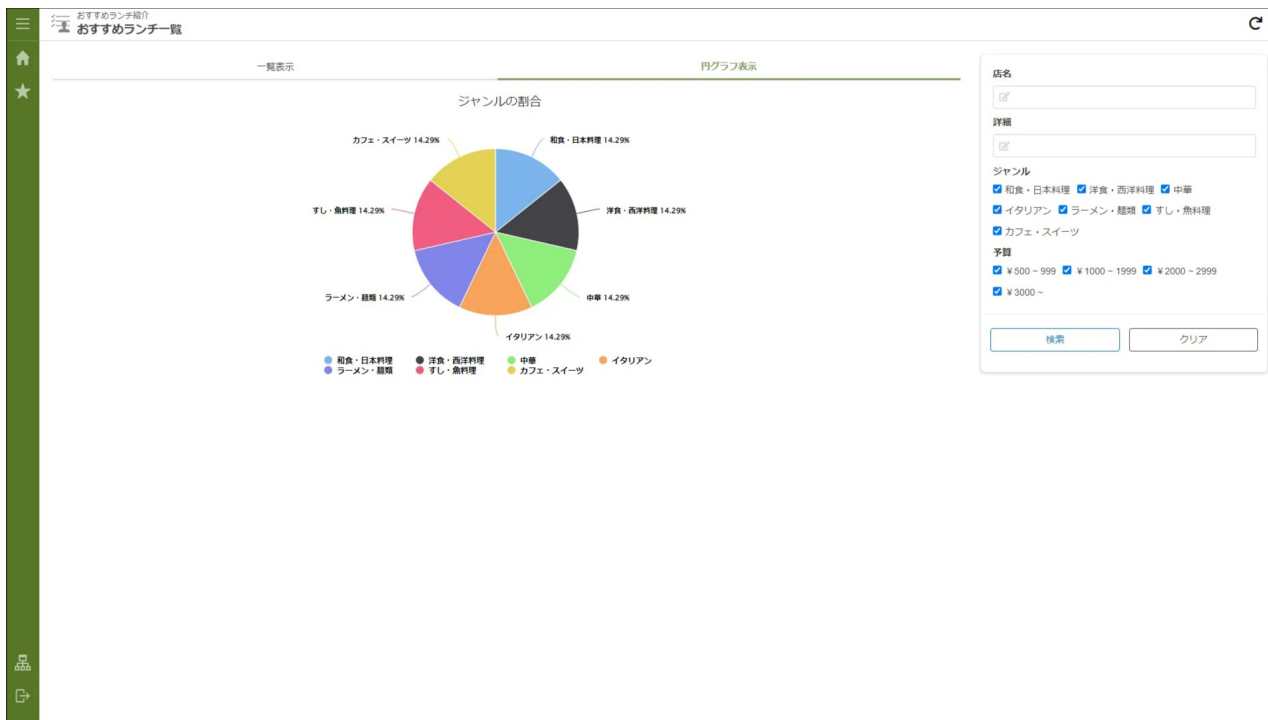
一覧表示

- ・一覧テーブルの表示項目を減らしています。
- ・「タイトル」を「店名」、「ステータス」を「ジャンル」、「優先度」を「予算」、「進捗率」を「おすすめ度」に変更しています。



円グラフ表示

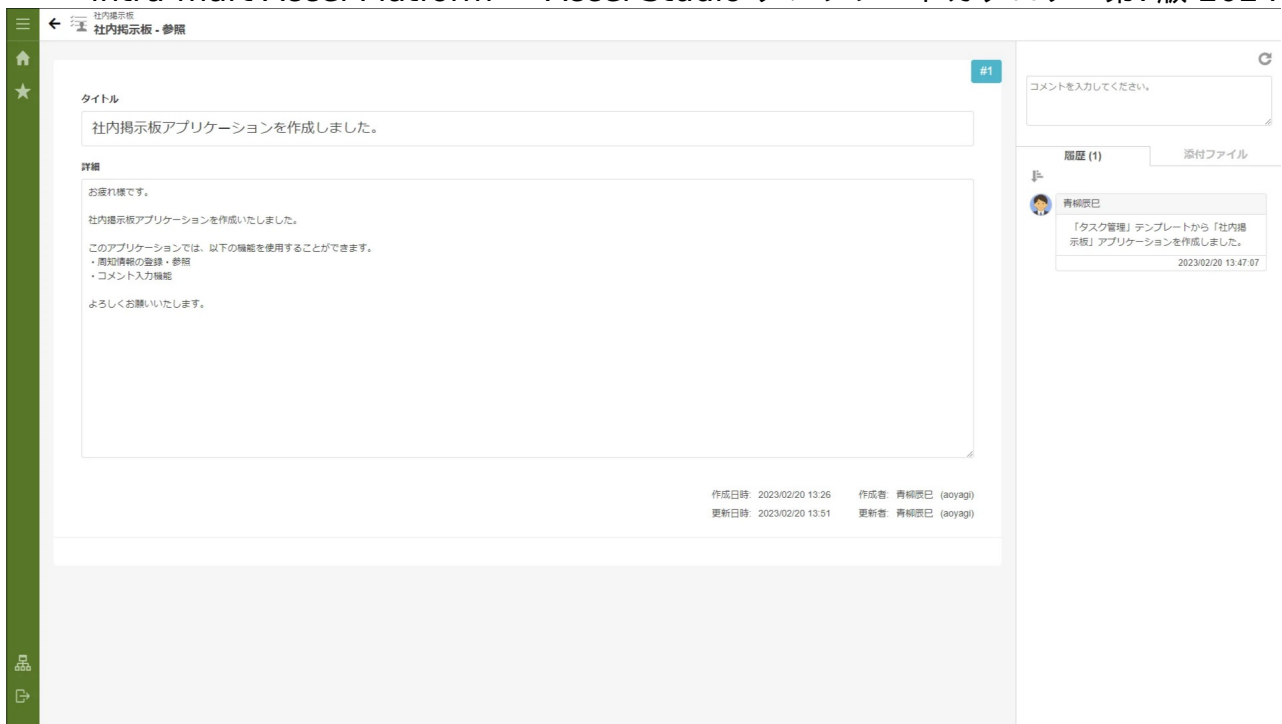
- ・ジャンルごとに占める割合を確認できます。



例：社内の周知情報を展開するアプリケーション

編集の行えない参照画面を作成し、登録や更新が行えるユーザを制限することで、社内の周知情報を展開するアプリケーションを作成できます。

- ・参照画面ではボタンを非表示に設定し、入力用のエレメントを読み取り専用になっています。
- ・周知に必要な項目については削除しています。



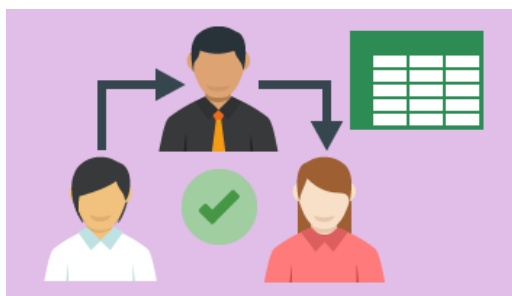
## スプレッドシート回覧ワークフロー

このページでは「スプレッドシート回覧ワークフロー」テンプレートの概要、アプリケーション作成手順、画面イメージと操作方法について解説します。

### 目次

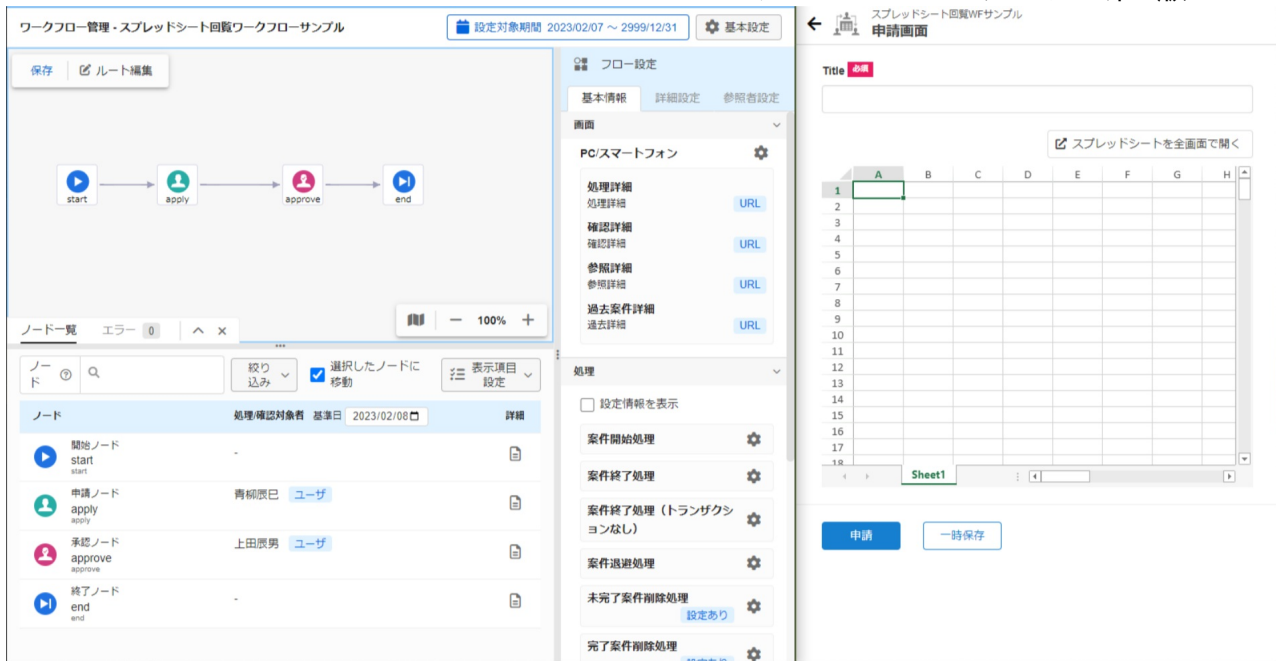
- 「スプレッドシート回覧ワークフロー」テンプレートとは
- 「スプレッドシート回覧ワークフロー」テンプレートの利用方法
  - アプリケーションの作成手順
  - アプリケーションの画面イメージと操作方法

### 「スプレッドシート回覧ワークフロー」テンプレートとは



「スプレッドシート回覧ワークフロー」テンプレートは、申請内容にスプレッドシートを利用したワークフローを作成できるアプリケーションです。

このテンプレートは「IM-Spreadsheet」が含まれていない環境では利用できません。



**i コラム**

「スプレッドシート回覧ワークフロー」テンプレートは2021 Winter(Dandelion)から利用できます。

**i コラム**

「IM-Spreadsheet」のライセンスについては、「IM-Spreadsheet for Accel Platform リリースノート」 - 「ライセンスについて」をご確認ください。

「スプレッドシート回覧ワークフロー」テンプレートの利用方法

「スプレッドシート回覧ワークフロー」テンプレートを利用したアプリケーションの作成手順と「スプレッドシート回覧ワークフロー」アプリケーションの操作方法をご紹介します。

アプリケーションの作成手順

「スプレッドシート回覧ワークフロー」テンプレートを利用してアプリケーションを作成する手順についてご紹介します。

1. アプリケーション作成画面への遷移

Accel Studioの「業務テンプレート一覧」から「スプレッドシート回覧ワークフロー」テンプレートを選択します。

Accel Studioの「業務テンプレート一覧」は、「サイトマップ」→「Accel Studio」→「業務テンプレート一覧」から遷移できます。



2. アプリケーションのIDや名称などの設定

「スプレッドシート回覧ワークフロー」テンプレートを選択し、アプリケーション情報の設定画面が表示されたら、アプリケーションのIDや



設定した基本情報は、各処理や画面の名称、IDなどに利用されます。「アプリケーション名」は自動で作成されるワークフローのフロー名に設定されます。



### 3. 扱うデータの定義

「スプレッドシート回覧ワークフロー」テンプレートはアプリケーション作成時に作成されるエンティティの情報を元に、ワークフローの申請画面が生成されます。

この項目ではエンティティを作成し、データベースの名称を設定します。

エンティティの設定方法は「簡易に設定する」または「詳細に設定する」のどちらかを選択します。

#### コラム

簡易設定は2023 Autumn(Hollyhock)からご利用いただけます。

「簡易に設定する」では、最低限の項目のみ入力します。すぐにアプリケーションを作成したい場合に選択してください。

「詳細に設定する」では、全ての項目を入力します。エンティティの設定を詳細に行いたい場合に選択してください。

- [簡易に設定する場合](#)
- [詳細に設定する場合](#)



簡易に設定する場合





1. データの定義

新しいエンティティを作成します。エンティティの名称を設定します。

2. データベースのテーブルに利用する名称の定義

入力された内容を保持するテーブルの名称を設定します。

エンティティ情報を元にデータベースのテーブルが作成され、「データ定義」機能で管理されます。

なお、「スプレッドシート回覧ワークフロー」テンプレートでは、既存のテーブルはご利用いただけません。

**i コラム**  
 「データ定義」機能については、「IM-Repository ユーザ操作ガイド」 - 「データ定義」をご確認ください。

**i コラム**  
 「簡易に設定する」場合は、データベース種別は「TENANT」に設定されます。データベース種別を変更することはできません。

3. エンティティの項目の編集

「スプレッドシート回覧ワークフロー」テンプレートはエンティティ項目を元にワークフローの申請画面の入力フォームがアプリケーション作成時に生成されます。

初期状態ではテキストボックスの「タイトル」とスプレッドシートが用意されています。「ユーザデータID」は内部で使用する項目です。

任意でテーブルにカラムを追加し、申請の情報を追加できます。追加したカラムは「申請画面」から編集できます。



「簡易に設定する」を選択した場合の「扱うデータの定義」の設定は以上です。

詳細に設定する場合

1. エンティティの定義

新しいエンティティを作成します。エンティティのID、名称、カテゴリを設定します。

2. データベースのテーブルに利用する名称の定義

入力された内容を保持するテーブルの名称を設定します。

エンティティ情報を元にデータベースのテーブルが作成され、「データ定義」機能で管理されます。

なお、「スプレッドシート回覧ワークフロー」テンプレートでは、既存のテーブルはご利用いただけません。



コラム

「データ定義」機能については、「IM-Repository ユーザ操作ガイド」 - 「データ定義」をご確認ください。

3. エンティティ項目の編集

「スプレッドシート回覧ワークフロー」テンプレートはエンティティ項目を元にワークフローの申請画面の入力フォームがアプリケーション作成時に生成されます。

初期状態ではテキストボックスの「タイトル」とスプレッドシートが用意されています。「ユーザーデータID」は内部で使用する項目です。

エンティティ項目を追加した場合、データ型に合った画面の入力項目がアプリケーション作成時に追加されます。なお、データ型に「TIME」「DATETIME」「BINARY」を設定した辞書項目またはエイリアスは使用できません。

辞書項目名	物理名	Databaseデータ型	表示形式	主キー	必須	削除
ユーザデータID	user_data_id	文字列		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
スプレッドシートデータ	spread_data	長い文字列	テキストボックス	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
タイトル	title	文字列	テキストボックス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
TEXT	text	文字列	テキストボックス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
INTEGER	integer	数値	数値ボックス (小数あり)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
LONG	long	数値	数値ボックス (小数あり)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
BIGINTEGER	bigint	数値	数値ボックス (小数あり)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
FLOAT	float	数値	数値ボックス (小数あり)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
DOUBLE	double	数値	数値ボックス (小数あり)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
BIGDECIMAL	bigdecimal	数値	数値ボックス (小数あり)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
DATE	date	日付	日付	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
LONGTEXT	longtext	文字列	テキストボックス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
BOOLEAN	boolean	真偽値	チェックボックス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
Alias of TEXT	text	文字列	テキストボックス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

TEXT

INTEGER

LONG

BIGINTEGER

FLOAT

DOUBLE

BIGDECIMAL

DATE

LONGTEXT

BOOLEAN

BOOLEAN

### コラム

「辞書項目の新規作成」から新規に辞書項目を作成した場合、辞書項目名を標準ロケールのみ登録できます。各ロケールの内容をアプリケーションに反映したい場合は、事前に辞書項目を作成する必要があります。「IM-Repository ユーザ操作ガイド」 - 「辞書項目を新規登録する」より各ロケールの辞書項目名を設定し、「既存の辞書項目から選択」してください。

#### 4. ワークフロー情報の入力

作成するアプリケーションで扱うワークフローの利用開始日、処理対象者を指定します。

アプリケーション作成

← スプレッドシート回覧ワークフロー - 新規作成

- アプリケーション情報\*
- 扱うデータの定義\*
- ワークフロー情報の入力\*
- その他情報の指定

#### ワークフロー情報の入力

① 作成するアプリケーションで扱うワークフローの利用開始日と申請対象者、承認対象者を指定します。また、利用されるIDを指定します。指定した申請対象者に該当するユーザは、ワークフローの申請が可能になります。指定した承認対象者に該当するユーザは、ワークフローの承認者になります。対象者のうち1名が承認した時点で案件は承認済となります。IDを自動で決定する場合は、ランダムに生成された文字列が利用されます。

利用開始日\*

処理対象者の設定  処理対象者を指定する

スプレッドシートの設定  承認者がスプレッドシートを編集可能にする

履歴・コメント機能  履歴・コメント機能を使用する

IM-Workflow資料の設定  リソースのIDを手動で決定する

#### その他情報の指定

① このテンプレートでは、IM-LogicDesigner と IM-BloomMaker、IM-Workflow のリソースを新規作成し、アプリケーションを作成します。ここでは IM-Workflow を除いた各リソースで利用されるIDやルーティング情報などを自動で決定するかを指定します。自動で決定する場合は、「IDの決定に利用する文字列」が含まれた文字列が指定されます。

アプリケーション作成

##### 1. 利用開始日

ワークフローの利用が可能となる日付を指定します。この項目は必須です。

##### 2. 処理対象者の設定

「処理対象者を指定する」を選択すると、申請対象者と承認対象者をユーザまたはロールで指定できます。セレクトボックスから「ユーザ」または「ロール」を選択し、「追加」から任意の処理対象者を指定します。



**i コラム**

申請対象者に指定されたユーザまたはロールを所持したユーザのワークフロー「申請一覧」画面に作成されたワークフローが表示されます。

アプリケーション作成時に処理対象者を指定していない場合、作成されたワークフローはどのユーザの「申請一覧」画面にも表示されません。

「申請一覧」画面は、「サイトマップ」→「ワークフロー」→「一覧」→「申請一覧」から遷移できます。

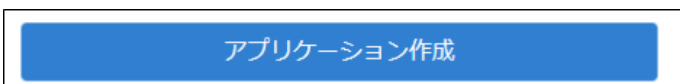
「申請一覧」画面については、「IM-Workflow ユーザ操作ガイド」-「申請一覧」をご確認ください。

3. スプレッドシートの設定  
承認者がスプレッドシートを編集可能にする場合に指定します。  
指定しない場合、承認者はスプレッドシートを編集できず、参照のみできます。
4. 履歴・コメント機能  
履歴・コメント機能を使用する場合は指定します。

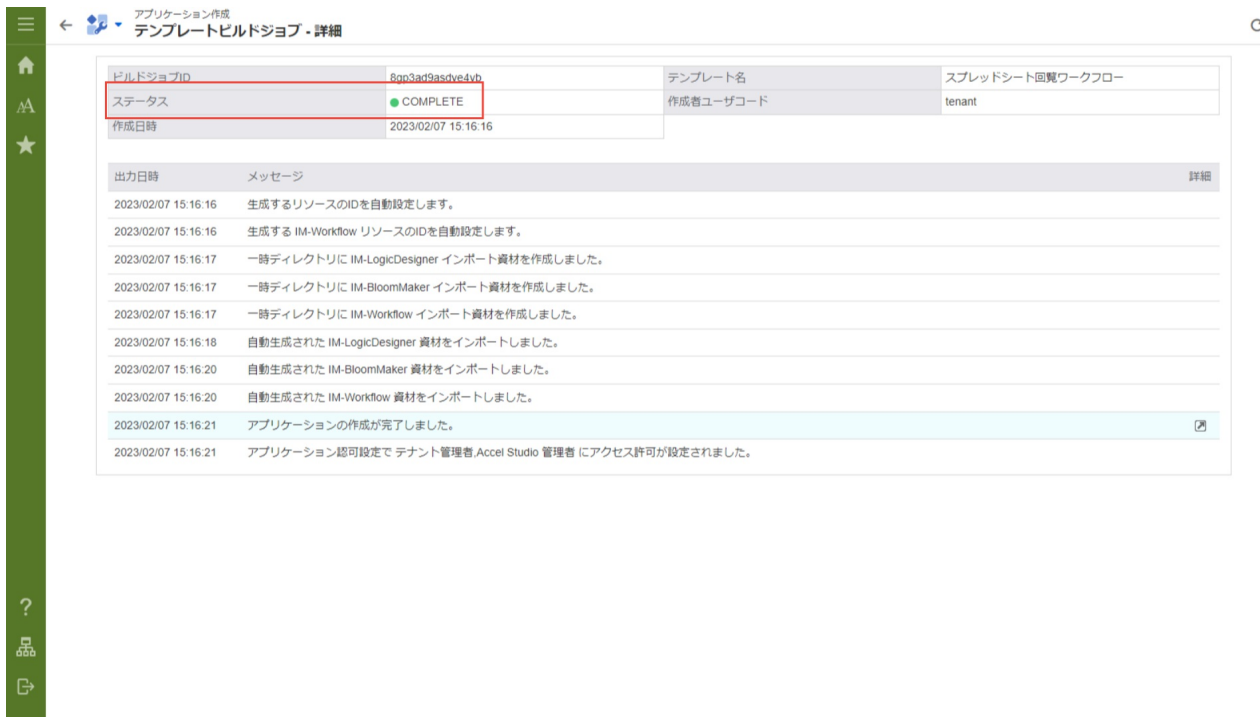
**i コラム**

履歴・コメント機能については、「履歴・コメントモジュールユーザ操作ガイド」をご確認ください。

5. IM-Workflow資材の設定  
ワークフローのコンテンツ定義、ルート定義、フロー定義の各IDを手動で入力する場合に利用します。
5. その他情報の指定  
作成されるアプリケーションに利用されるリソースのIDやルーティング情報を手動で決定できます。  
チェックを入れないことを推奨します。
6. アプリケーション作成開始  
アプリケーションの基本情報を入力したら「アプリケーション作成」ボタンをクリックしてください。  
入力項目に不備が無ければ自動でアプリケーションの作成ができます。



7. アプリケーション作成結果  
アプリケーション作成が完了すると、ステータスが「COMPLETE」と表示されます。



### コラム

作成したアプリケーションは、初期設定では「テナント管理者」または「Accel Studio管理者」ロールを持ったユーザのみ利用できます。  
 任意のユーザに対して、利用を許可したい場合の設定方法は、「[Accel Studio アプリケーション管理機能仕様書](#)」 - 「[Accel Studio アプリケーション認可設定](#)」をご確認ください。  
 ワークフローの処理対象者を変更したい場合は、「[IM-Workflow 管理者操作ガイド](#)」 - 「[ルート詳細を設定する](#)」をご確認ください。

### アプリケーションの画面イメージと操作方法

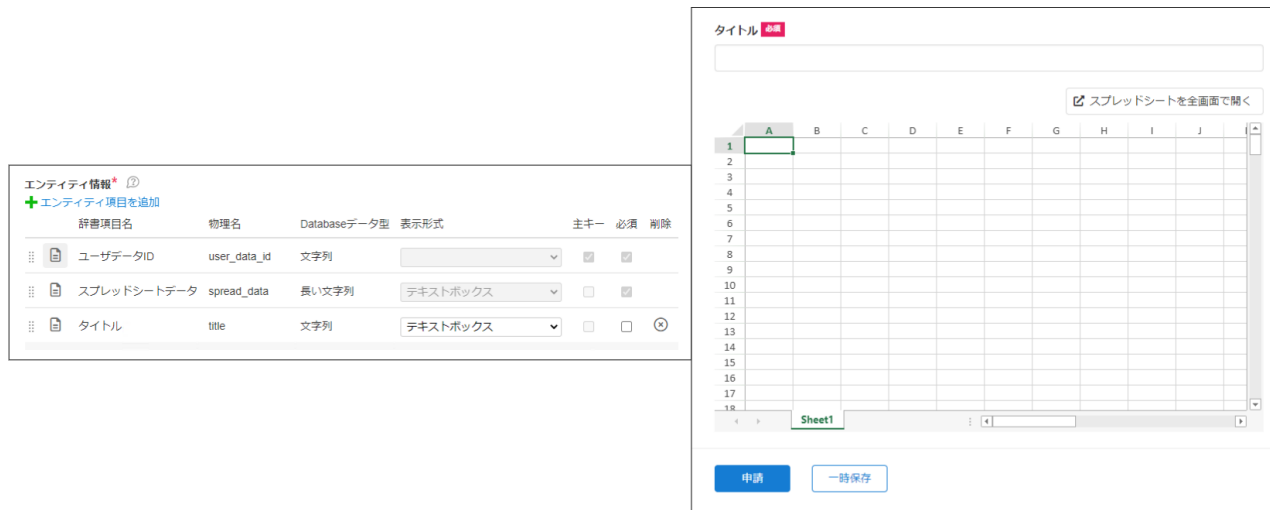
「スプレッドシート回覧ワークフロー」テンプレートから作成されるワークフローについて説明します。

### コラム

「メール配信ワークフロー」テンプレートから作成されたワークフローは、アプリケーション作成時に指定した処理対象者の「申請一覧」画面に表示されます。  
 ワークフローのフロー名は、アプリケーション名と同様の文字列で作成されます。  
 「申請一覧」画面は、「サイトマップ」→「ワークフロー」→「一覧」→「申請一覧」から遷移できます。  
 「申請一覧」画面については、「[IM-Workflow ユーザ操作ガイド](#)」 - 「[申請一覧](#)」をご確認ください。

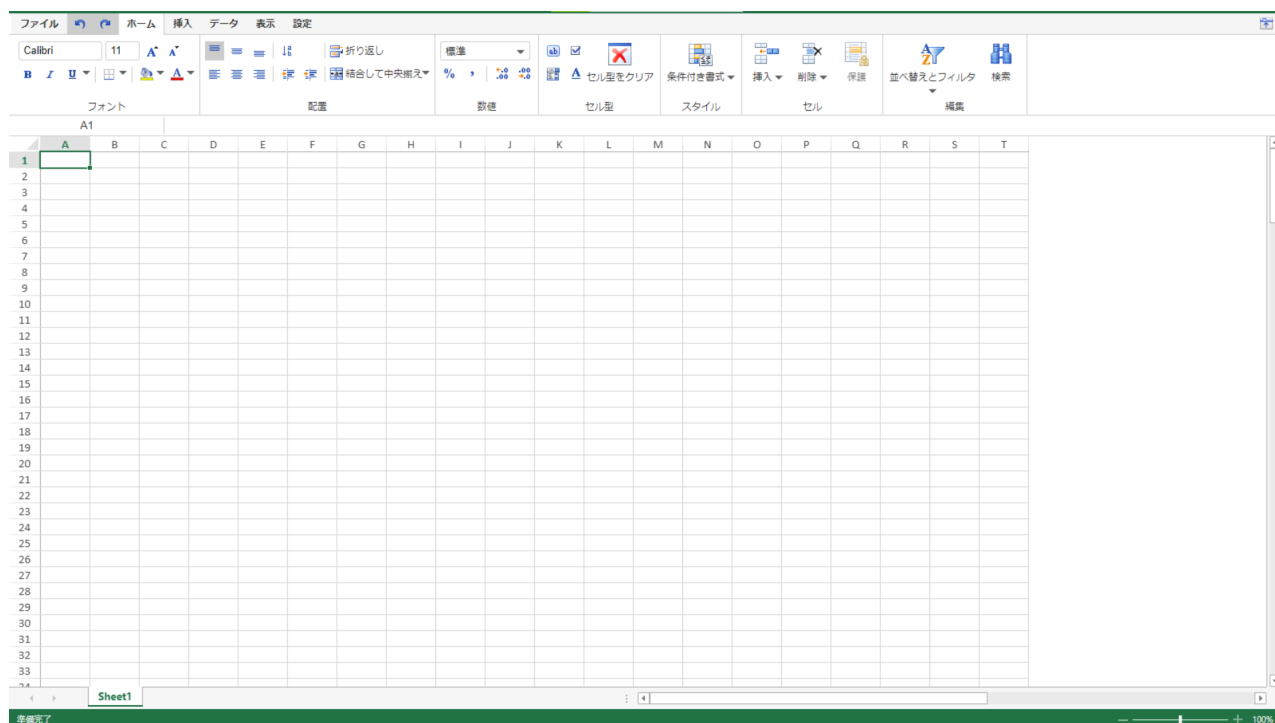
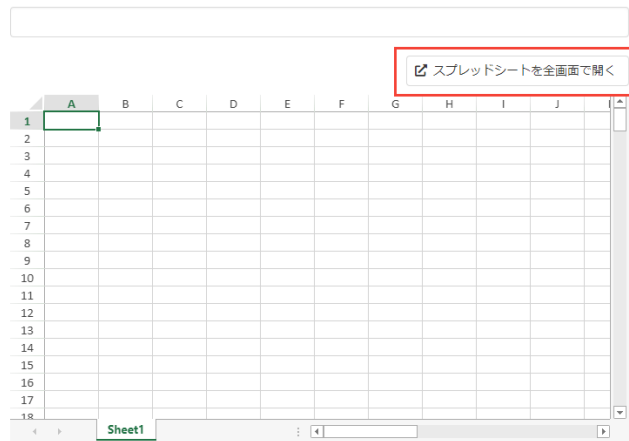
### ワークフロー申請画面

アプリケーション作成時に作成したエンティティの情報に基づいて画面の項目が生成されます。  
 エンティティ項目に変更を加えていない場合、「タイトル」とスプレッドシートが入力可能な申請画面が生成されます。

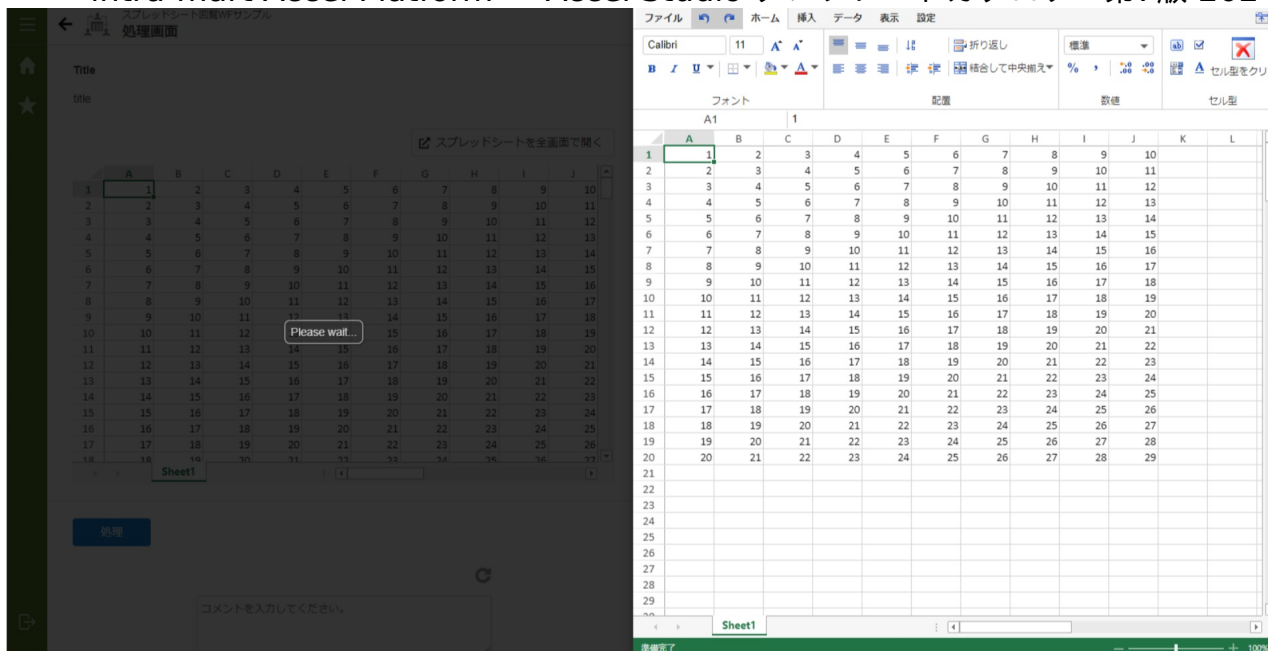


「スプレッドシートを全画面で開く」ボタンをクリックすると、新しいタブにスプレッドシートが表示されます。

タイトル **必須**



全画面でスプレッドシートを編集しているとき、元の申請画面は操作できません。  
 スプレッドシートの変更内容を保存すると、全画面のスプレッドシートは閉じて申請画面に戻ります。



## 顧客管理

このページでは「顧客管理」テンプレートの概要、アプリケーション作成手順、画面イメージ、操作方法と活用例について解説します。

### 目次

- 「顧客管理」テンプレートとは
- 「顧客管理」テンプレートの利用方法
  - アプリケーションの作成手順
  - アプリケーションのアクセス手順
  - アプリケーションの画面イメージと操作方法
  - テンプレートの活用例

### 「顧客管理」テンプレートとは



「顧客管理」テンプレートは、顧客の会社情報、相手先担当者情報と自社担当者情報を合わせて管理できるアプリケーションです。顧客情報の管理ができるほか、コメント機能を用いることで簡易的な営業日報アプリケーションとしてもご利用いただけます。

## コラム

「顧客管理」テンプレートは2022 Spring(Eustoma)からご利用いただけます。

### 「顧客管理」テンプレートの利用方法

「顧客管理」テンプレートを利用したアプリケーションの作成手順と「顧客管理」アプリケーションの操作方法をご紹介します。

#### アプリケーションの作成手順

「顧客管理」テンプレートを利用してアプリケーションを作成する手順についてをご紹介します。

##### 1. アプリケーション作成画面への遷移

Accel Studioの「業務テンプレート一覧」から「顧客管理」テンプレートを選択します。

Accel Studioの「業務テンプレート一覧」は、「サイトマップ」→「Accel Studio」→「業務テンプレート一覧」から遷移できます。





2. アプリケーションのIDや名称などの設定

「顧客管理」テンプレートを選択し、アプリケーション情報の設定画面が表示されたら、アプリケーションのIDや名称などを設定します。設定した基本情報は、各処理や画面の名称、IDなどに利用されます。



3. 顧客データの定義

「顧客管理」テンプレートはアプリケーション作成時に作成されるエンティティの情報を元に、顧客管理アプリケーションの各画面が生成されます。

この項目では顧客情報、相手先担当者情報、自社担当者情報を管理する3つのエンティティを作成し、各エンティティから作成されるテーブルの名称を設定します。

エンティティの設定方法は「簡易に設定する」または「詳細に設定する」のどちらかを選択します。

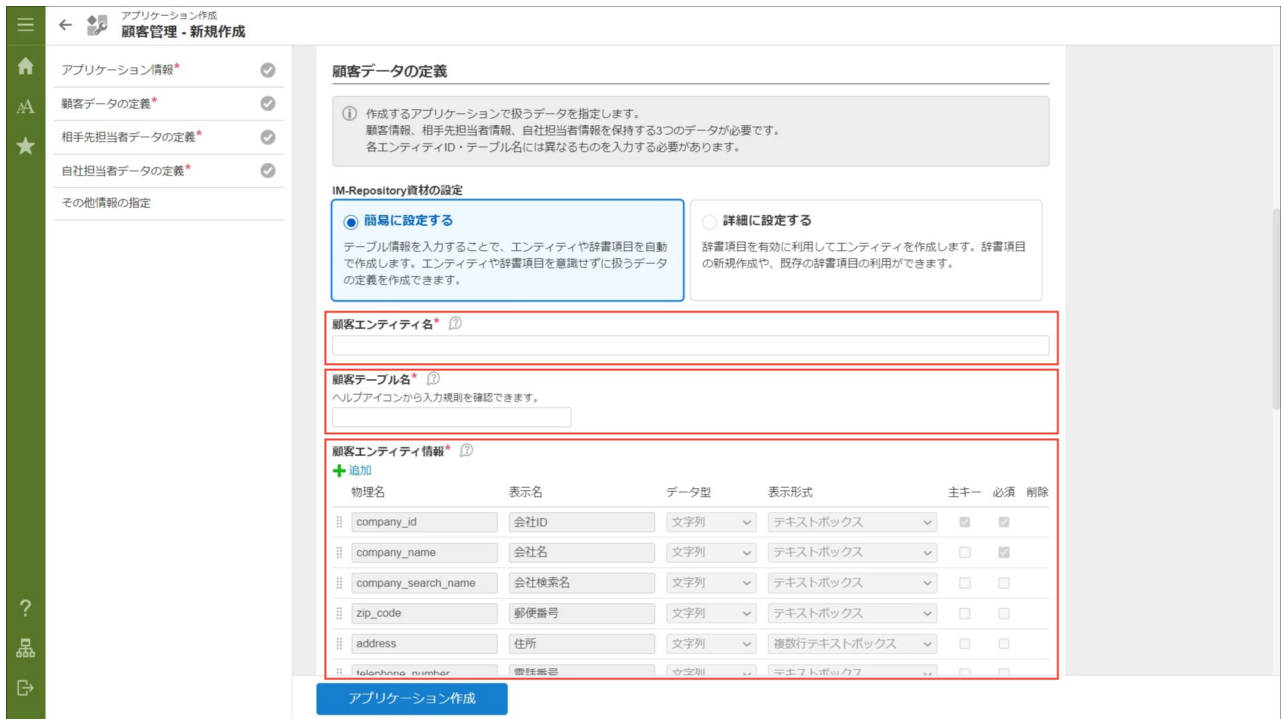
**コラム**  
簡易設定は2023 Autumn(Hollyhock)からご利用いただけます。

「簡易に設定する」では、最低限の項目のみ入力します。すぐにアプリケーションを作成したい場合に選択してください。「詳細に設定する」では、全ての項目を入力します。エンティティの設定を詳細に行いたい場合に選択してください。

- [簡易に設定する場合](#)
- [詳細に設定する場合](#)



簡易に設定する場合



1. 顧客データの定義

新しいエンティティを作成します。顧客エンティティの名称を設定します。

2. データベースのテーブルに利用する名称の定義

入力された内容を保持するテーブルの名称を設定します。

エンティティ情報を元にデータベースのテーブルが作成され、「データ定義」機能で管理されます。

なお、「顧客管理」テンプレートでは、既存のテーブルはご利用いただけません。



コラム

「データ定義」機能については、「IM-Repository ユーザ操作ガイド」 - 「データ定義」をご確認ください。



コラム

「簡易に設定する」場合は、データベース種別は「TENANT」に設定されます。データベース種別を変更することはできません。

3. 顧客エンティティの項目の編集

「顧客管理」テンプレートはエンティティ項目を元に顧客一覧画面などの各画面がアプリケーション作成時に生成されます。初期状態ではテキストボックスの「会社名」「会社検索名」「郵便番号」などの顧客情報に必要な項目が用意されています。「会社ID」は内部で使用する項目です。任意でテーブルにカラムを追加し、顧客の情報を追加できます。追加したカラムは顧客情報として「編集画面」から編集できます。

物理名	表示名	データ型	表示形式	主キー	必須
company_id	会社ID	文字列	テキストボックス	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
company_name	会社名	文字列	テキストボックス	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
company_search_name	会社検索名	文字列	テキストボックス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
zip_code	郵便番号	文字列	テキストボックス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
address	住所	文字列	複数行テキストボックス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
telephone_number	電話番号	文字列	テキストボックス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
notes	備考	文字列	複数行テキストボックス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
create_user_cd	作成者ユーザコード	文字列	テキストボックス	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
create_date	作成日時	日付	日付	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
record_user_cd	更新者ユーザコード	文字列	テキストボックス	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
record_date	更新日時	日付	日付	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

**会社情報**

会社名\*

会社検索名 (フリカナ)

電話番号

郵便番号

住所

備考

4. 相手先担当者データの定義

新しいエンティティを作成します。相手先担当者エンティティの名称を設定します。また、入力された内容を保持するテーブルの名称を設定します。

← アプリケーション作成
顧客管理 - 新規作成

- アプリケーション情報\*
- 顧客データの定義\*
- 相手先担当者データの定義\*
- 自社担当者データの定義\*
- その他情報の指定\*

### 相手先担当者データの定義

相手先担当者エンティティ名\*

相手先担当者テーブル名\*

ヘルプアイコンから入力規則を確認できます。

### 自社担当者データの定義

自社担当者エンティティ名\*

自社担当者テーブル名\*

ヘルプアイコンから入力規則を確認できます。

### その他情報の指定

① このテンプレートでは、IM-LogicDesigner と IM-BloomMaker のリソースを新規作成し、アプリケーションを作成します。IM-LogicDesigner と IM-BloomMaker で利用される各種IDやルーティング情報などを自動で決定するかを指定します。自動で決定する場合は、「IDの決定に利用する文字列」が含まれた文字列が指定されます。

IM-LogicDesigner, IM-BloomMaker 資材の設定

リソースのIDやルーティング情報を手動で決定する

IDの決定に利用する文字列\*

半角英数字、. (ハイフン)、\_ (アンダースコア) で入力してください。

アプリケーション作成

5. 自社担当者データの定義

自社担当者データも同様に、エンティティの名称、入力された内容を保持するテーブルの名称を設定します。



「簡易に設定する」を選択した場合の「顧客データの定義」の設定は以上です。

4. [その他の情報の指定](#)に進んでください。

### 詳細に設定する場合



#### 1. 顧客データの定義

新しいエンティティを作成します。顧客エンティティのID、名称、カテゴリを設定します。

#### 2. データベースのテーブルに利用する名称の定義

入力された内容を保持するテーブルの名称を設定します。

エンティティ情報を元にデータベースのテーブルが作成され、「データ定義」機能で管理されます。

なお、「顧客管理」テンプレートでは、既存のテーブルはご利用いただけません。



### コラム

「データ定義」機能については、「[IM-Repository ユーザ操作ガイド](#)」 - 「[データ定義](#)」をご確認ください。

#### 3. 顧客エンティティの項目の編集

「顧客管理」テンプレートはエンティティ項目を元に顧客一覧画面などの各画面がアプリケーション作成時に生成されます。初期状態ではテキストボックスの「会社名」「会社検索名」「郵便番号」などの顧客情報に必要な項目が用意されています。「会社ID」は内部で使用される項目です。

辞書項目名	物理名	Databaseデータ型	表示形式	主キー	必須	削除
会社ID	company_id	文字列	テキストボックス	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
会社名	company_name	文字列	テキストボックス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
会社検索名	company_search_name	文字列	テキストボックス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
郵便番号	zip_code	文字列	テキストボックス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
住所	address	文字列	複数行テキストボックス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
電話番号	telephone_number	文字列	テキストボックス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
備考	notes	文字列	複数行テキストボックス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
作成者ユーザコード	create_user_cd	文字列	テキストボックス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
作成日時	create_date	日時		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
更新者ユーザコード	record_user_cd	文字列	テキストボックス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
更新日時	record_date	日時		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

**会社情報**

会社名\*

会社検索名 (フリガナ)

電話番号

郵便番号

住所

備考

エンティティ項目を追加した場合、データ型に合った画面の入力項目がアプリケーション作成時に追加されます。なお、データ型に「TIME」「DATETIME」「BINARY」を設定した辞書項目またはエイリアスは使用できません。

作成日時	create_date	日時		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
更新者ユーザコード	record_user_cd	文字列	テキストボックス	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
更新日時	record_date	日時		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
TEXT	text	文字列	テキストボックス	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
INTEGER	integer	数値	数値ボックス (小数あり)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
LONG	long	数値	数値ボックス (小数あり)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
BIGINTEGER	biginteger	数値	数値ボックス (小数あり)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
FLOAT	float	数値	数値ボックス (小数あり)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
DOUBLE	double	数値	数値ボックス (小数あり)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
BIGDECIMAL	bigdecimal	数値	数値ボックス (小数あり)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
DATE	date	日付	日付	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
LONGTEXT	longtext	文字列	テキストボックス	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
BOOLEAN	boolean	真偽値	チェックボックス	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
Alias of TEXT	text	文字列	テキストボックス	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

TEXT

INTEGER

LONG

BIGINTEGER

FLOAT

DOUBLE

BIGDECIMAL

DATE

LONGTEXT

BOOLEAN

BOOLEAN

### コラム

「辞書項目の新規作成」から新規に辞書項目を作成した場合、辞書項目名を標準ロケールのみ登録できます。各ロケールの内容をアプリケーションに反映したい場合は、事前に辞書項目を作成する必要があります。「[IM-Repository ユーザ操作ガイド](#)」 - 「[辞書項目を新規登録する](#)」より各ロケールの辞書項目名を設定し、「既存の辞書項目から選択」してください。

#### 4. 相手先担当者データの定義

新しいエンティティを作成します。相手先担当者エンティティのID、名称、カテゴリを設定します。また、入力された内容を保持するテーブルの名称を設定します。



5. 自社担当者データの定義

自社担当者データも同様に、エンティティID、名称、カテゴリ、入力された内容を保持するテーブルの名称を設定します。

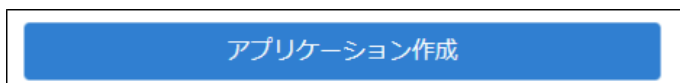


4. その他情報の指定

作成されるアプリケーションに利用されるリソースのIDやルーティング情報を手動で決定できます。チェックを入れないことを推奨します。

5. アプリケーション作成開始

アプリケーションの基本情報を入力したら「アプリケーション作成」ボタンをクリックしてください。入力項目に不備が無ければ自動でアプリケーションの作成ができます。



6. アプリケーション作成結果

アプリケーション作成が完了すると、ステータスが「COMPLETE」と表示されます。

← アプリケーション作成  
テンプレートビルドジョブ - 詳細
🔄

ビルドジョブID	8gpfyd3lzqmq0m3	テンプレート名	顧客管理
ステータス	● COMPLETE	作成者ユーザコード	tenant
作成日時	2023/02/16 12:01:14		

出力日時	メッセージ	詳細
2023/02/16 12:01:14	生成するリソースのIDを自動設定します。	
2023/02/16 12:01:16	一時ディレクトリに IM-LogicDesigner インポート資材を作成しました。	
2023/02/16 12:01:17	一時ディレクトリに IM-BloomMaker インポート資材を作成しました。	
2023/02/16 12:01:17	自動生成された IM-LogicDesigner 資材をインポートしました。	
2023/02/16 12:01:22	自動生成された IM-BloomMaker 資材をインポートしました。	
2023/02/16 12:01:22	作成された「顧客一覧画面」へはこちらの詳細アイコンから遷移できます。	🔗
2023/02/16 12:01:25	アプリケーションの作成が完了しました。	🔗
2023/02/16 12:01:25	アプリケーション認可設定で テナント管理者 Accel Studio 管理者 にアクセス許可が設定されました。	

### i コラム

作成したアプリケーションは、初期設定では「テナント管理者」または「Accel Studio管理者」ロールを持ったユーザのみ利用できます。

任意のユーザに対して、利用を許可したい場合の設定方法は、「[Accel Studio アプリケーション管理機能 仕様書](#)」 - 「[Accel Studio アプリケーション認可設定](#)」をご確認ください。

### アプリケーションのアクセス手順

作成したアプリケーションへアクセスする方法をご紹介します。


「顧客管理」テンプレートから作成されるアプリケーションは、「顧客一覧画面」を起点として操作することを想定しています。

以下では「顧客一覧画面」へのアクセス手順について説明します。

- [「テンプレートビルドジョブ - 詳細」画面から遷移する](#)
- [画面のURLを取得する](#)

「テンプレートビルドジョブ - 詳細」画面から遷移する

「テンプレートビルドジョブ - 詳細」画面はアプリケーション作成完了後に表示されます。

「テンプレートビルドジョブ - 詳細」画面のステータスが「COMPLETE」と表示されたら、「作成された「顧客一覧画面」へはこちらの詳細アイコンから遷移できます。」の欄にある  をクリックしてください。





**コラム**

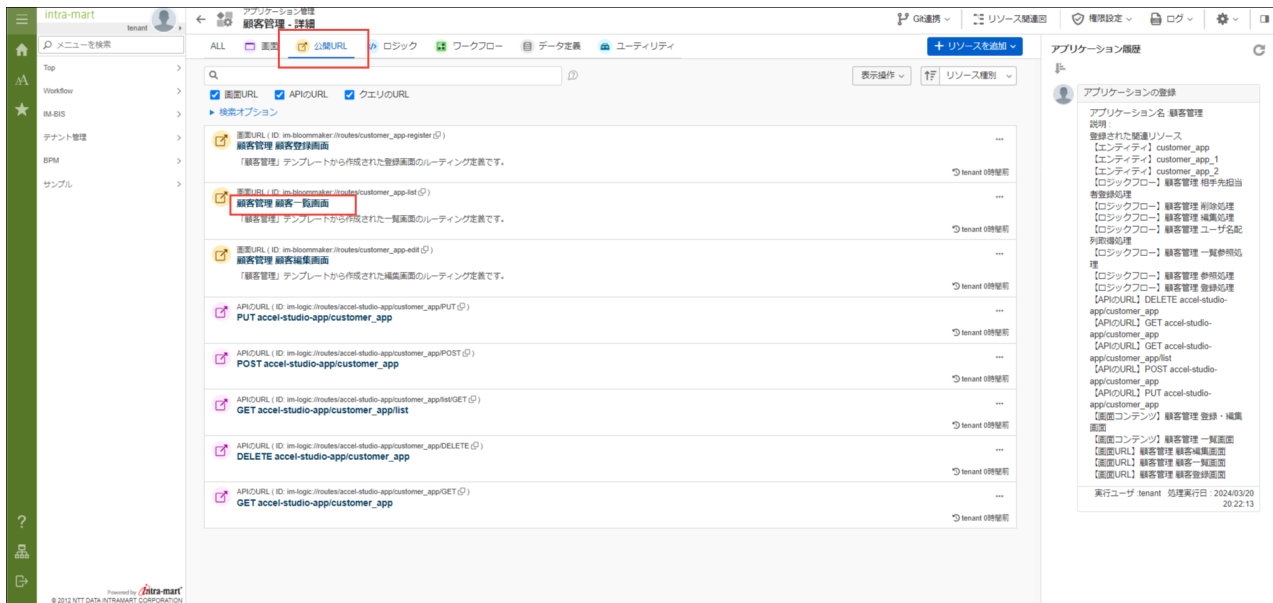
「テンプレートビルドジョブ - 詳細」画面は、「サイトマップ」→「Accel Studio」→「アプリケーション作成」→「テンプレートビルドジョブ」に遷移し、作成したアプリケーションの「詳細」をクリックすることで表示できます。

画面のURLを取得する

「顧客管理」テンプレートから作成したアプリケーションは「顧客一覧画面」「顧客登録画面」「顧客編集画面」のそれぞれに画面URLが定義されています。

1. 「ルーティング定義編集」画面への遷移

「サイトマップ」→「Accel Studio」→「アプリケーション一覧」で、「自動生成されたアプリケーション」カテゴリを選択します。作成したアプリケーションを選択し、「アプリケーション構成情報」画面が表示されたら、「公開URL」タブをクリックしてください。続いて、URLを取得したい画面のカードをクリックし、「ルーティング定義編集」画面を開きます。



2. URLを取得

「URL」の  をクリックすることで、URLがクリップボードにコピーされます。



IM-BloomMaker ルーティング定義編集	
ルーティング 前処理	
カテゴリ	カテゴリID: im_accel_studio カテゴリ名: 業務テンプレートから作成
ルーティングID	customer_management-list
コンテンツ	コンテンツID: customer_management-list コンテンツ名: 顧客管理 一覧画面
コンテンツバージョン番号	<input checked="" type="radio"/> 最新バージョンを利用する <input type="radio"/> 利用するバージョンを指定する 利用バージョン * <input type="text"/>
メソッド	GET
URL	/imart/accel-studio-app/customer_management/list
認可URI	im-bloommaker-content:/contents/route/customer_management-list
ルーティング名	標準 * 顧客管理 顧客一覧画面
備考	標準 「顧客管理」テンプレートから作成された一覧画面のルーティング定義です。

### i コラム

取得したURLは、初期設定では「テナント管理者」または「Accel Studio管理者」ロールを持ったユーザのみアクセス可能です。

任意のユーザに対して、利用を許可したい場合の設定方法は、「[Accel Studio アプリケーション管理機能 仕様書](#)」 - 「[Accel Studio アプリケーション認可設定](#)」をご確認ください。

### i コラム

作成したアプリケーションをグローバルメニューに追加したい場合は、グローバルナビ設定をご利用ください。

グローバルナビの設定方法は、「[ファーストステップガイド](#)」 - 「[管理者が一般ユーザ向けのメニューを作成する](#)」をご確認ください。

## アプリケーションの画面イメージと操作方法

「顧客管理」テンプレートから作成されるアプリケーションは、「顧客一覧画面」を起点として操作することを想定しています。

### 顧客一覧画面

「顧客一覧画面」では、登録した会社を閲覧できます。

顧客管理 顧客一覧

+ 新規作成

会社名	電話番号	郵便番号	住所	備考
■■■■株式会社 (■■■■カブシキガイシャ)	00-0000-0000	000-0000	△△県△△市△△町1丁目1-16	訪問の前には必ず■■プロジェクトについての資料を参照してください。
△△△△株式会社 (△△△△カブシキガイシャ)	00-0000-0000	000-0000	〇〇県〇〇市〇〇町1丁目1-25	主担当を青柳さんに引継ぎ中です。
△△△株式会社 (△△△カブシキガイシャ)	00-0000-0000	000-0000	△△県△△市△△町1丁目1-11	本社の場所が2023年10月に移動されるそうです。移動先が分かり次第、こちらのデータも更新をお願いいたします。
▼▼▼▼株式会社 (▼▼▼▼カブシキガイシャ)	00-0000-0000	000-0000	〇〇県〇〇市〇〇町1丁目1-14	訪問の際には受付で相手先担当者以外にも林さんにご連絡お願いいたします。
▽▽▽▽株式会社 (▽▽▽▽カブシキガイシャ)	00-0000-0000	000-0000	△△県△△市△△町1丁目1-13	受付は2階にあります。案内とは違うので注意してください。

前へ 1 ... 4 5 6 7 8 ... 11 次へ

251 - 300 / 548

会社情報

会社名

会社検索名 (フリガナ)

電話番号

住所

備考

相手先担当者

検索

クリア

画面右側の絞り込み条件では、「会社名」や「電話番号」「住所」「備考」「相手先担当者」「自社担当者」から会社を絞り込みできます。なお、アプリケーション作成時に任意で追加した項目での絞り込み機能は組み込まれていません。

顧客管理 顧客一覧

+ 新規作成

会社名	電話番号	郵便番号	住所	備考
■■■■株式会社 (■■■■カブシキガイシャ)	00-0000-0000	000-0000	△△県△△市△△町1丁目1-16	訪問の前には必ず■■プロジェクトについての資料を参照してください。

前へ 1 次へ

1 - 1 / 1

会社情報

会社名

■■■■株式会社

会社検索名 (フリガナ)

電話番号

住所

備考

相手先担当者

検索

クリア

顧客登録画面

「新規作成」ボタンから「顧客登録画面」に遷移します。

顧客管理  
顧客一覧
🔄

+ 新規作成

会社名	電話番号	郵便番号	住所	備考
■■■■株式会社 (■■■■カブシキガイシャ)	00-0000-0000	000-0000	△△県△△市△△町1丁目1-16	訪問の前には必ず■■プロジェクトについての資料を参照してください。
△△△△株式会社 (△△△△カブシキガイシャ)	00-0000-0000	000-0000	〇〇県〇〇市〇〇町1丁目1-25	主担当を青柳さんに引継ぎ中です。
△△△株式会社 (△△△カブシキガイシャ)	00-0000-0000	000-0000	△△県△△市△△町1丁目1-11	本社の場所が2023年10月に移動されるそうです。移動先が分かり次第、こちらのデータも更新をお願いいたします。
▼▼▼▼株式会社 (▼▼▼▼カブシキガイシャ)	00-0000-0000	000-0000	〇〇県〇〇市〇〇町1丁目1-14	訪問の際には受付で相手先担当者以外にも林さんにご連絡お願いいたします。
▽▽▽▽株式会社 (▽▽▽▽カブシキガイシャ)	00-0000-0000	000-0000	△△県△△市△△町1丁目1-13	受付は2階にあります。案内とは違うので注意してください。

前へ
1
...
4
5
6
7
8
...
11
次へ

251 - 300 / 548

**会社情報**

会社名

会社検索名 (フリガナ)

電話番号

住所

備考

**相手先担当者** ▼

「顧客登録画面」では「会社名」や「電話番号」「住所」「相手先担当者」など顧客情報の管理に必要な情報を設定できます。アプリケーション作成時に任意で追加した項目は、「備考」の下に表示されます。

顧客管理  
顧客 - 新規作成

「\*」は必須項目です。

### 会社情報

会社名 \*

会社検索名（フリガナ）

電話番号

郵便番号

住所

備考

失注案件数

### 相手先担当者

+ 相手先担当者を追加する

追加

担当者名 \*

所属  役職

メールアドレス  電話番号

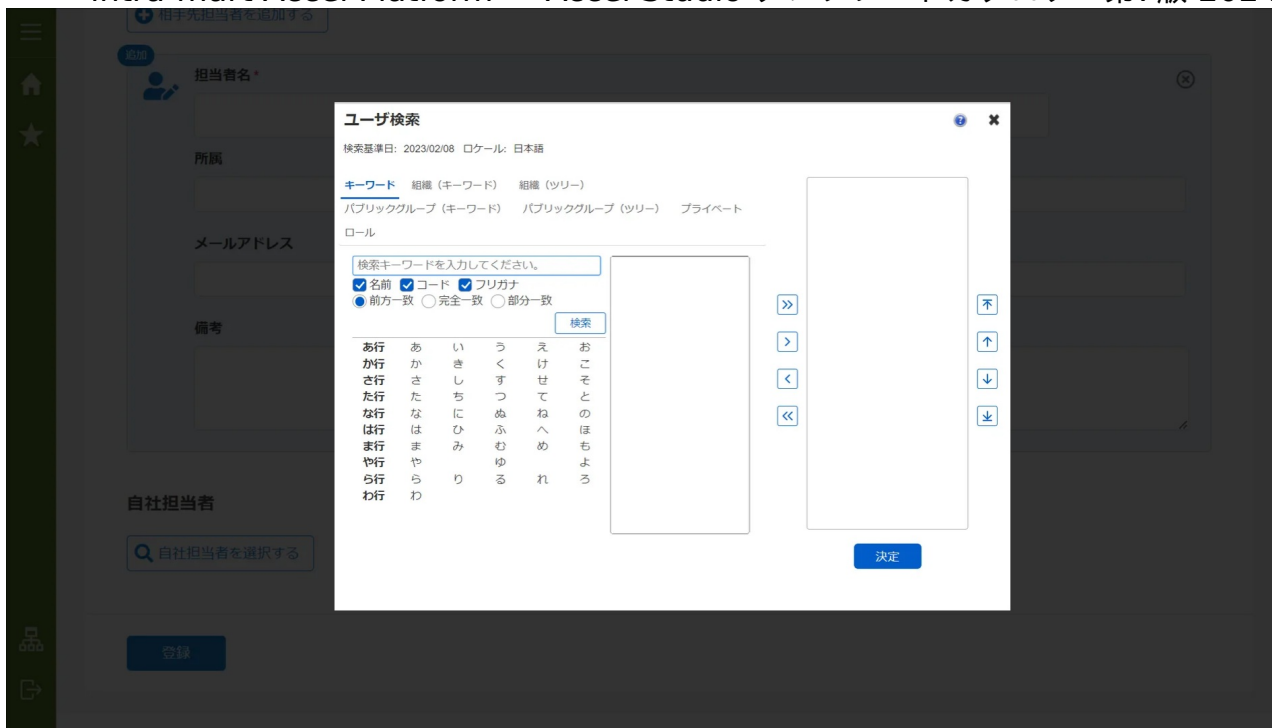
備考

### 自社担当者

🔍 自社担当者を選択する

登録

また、「自社担当者」はIM-共通マスタに登録されたユーザから設定できます。

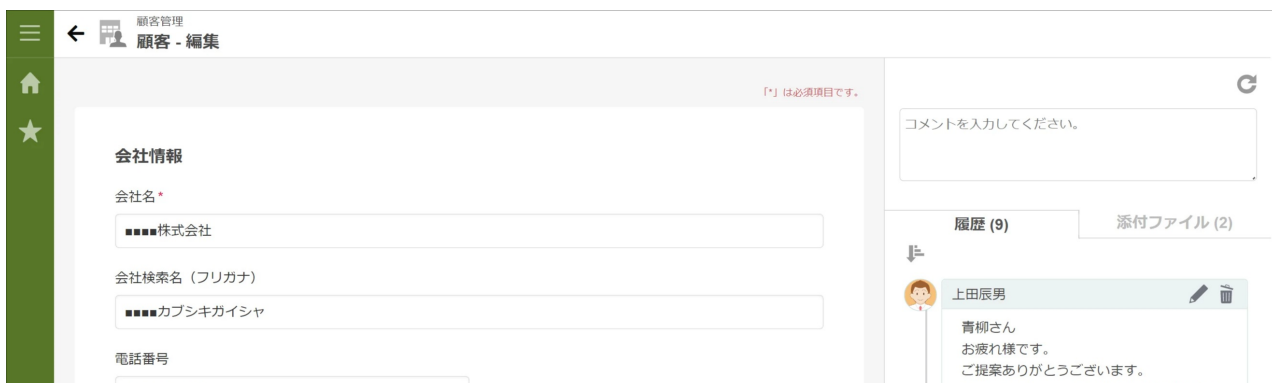


顧客編集画面

「顧客一覧画面」で会社を選択すると、選択した会社の「顧客編集画面」に遷移します。



「顧客編集画面」では、顧客情報の修正や追加ができます。また、画面右側には履歴・コメント機能が用意されています。コメントの入力やファイルの添付ができるため、簡易的な営業日報として活用したり、担当者同士の報告もできます。



00-0000-0000

郵便番号

000-0000

住所

△△県△△市△△町1丁目1-16

備考

訪問の前には必ず「プロジェクトについての資料を参照してください。」

相手先担当者

+ 相手先担当者を追加する

**担当者名\*** 生田一哉

所属: マーケティング本部 役職: 一般社員

メールアドレス: ikuta@example.com 電話番号: 00-0000-0000

備考: 2022年度からの主担当者様です。毎週火曜日と水曜日の15-16時は定期会議でお電話をとるのが難しいそうです。注意してください。

**担当者名\*** 片山聡

所属: マーケティング本部 役職: 上級主任

メールアドレス: katayama@example.com 電話番号: 00-0000-0000

備考: 主担当を生田さんに引継ぎ中です。

自社担当者

🔍 自社担当者を選択する

**青柳辰巳** aoyagi  主担当

備考: ■■■株式会社システム移行プロジェクトをメインで担当しています。

**林政義** hayashi  主担当

備考: 当該プロジェクト初期からのメンバーです。現在は他の案件を担当しているため、青柳さんのフォローとしてミーティングなどに参加しています。

作成日時: 2022/10/16 19:44 作成者: 林政義  
更新日時: 2023/02/16 22:17 更新者: 上田辰男

更新

削除

そのよつにしくいたたけるご大愛助かります。  
お手数ですが、お願いできますか。よろしく  
お願いいたします。

2023/02/17 15:41:26



青柳辰巳

上田さん  
お疲れ様です。  
現状ご希望されている資料はありません。  
ですが、次回の訪問で〇〇製品についてのご要望など伺いすることは可能だと思います。いかがでしょうか。

2023/02/17 13:50:39



上田辰男

開発本部の上田です。  
〇〇製品の新規機能開発にあたって、■■■■社さんにご意見伺いしたいと考えているのですが、そういった資料はお持ちでしょうか。よろしくお願いたします。

2023/02/17 13:38:19



青柳辰巳

本日の部内会議の議事録を作成いたしました。林さんからはレビューをすでにいただいております。

添付ファイルを登録しました。

■■■システム移行案件  
部内会議第三回.docx  
28.76KB

2023/01/12 17:15:16



青柳辰巳

林さん  
レビューありがとうございます。

2022/11/30 18:42:11



林政義

青柳さん  
議事録ありがとうございます。レビューいたしました。良いと思います。こちらで先方に共有をお願いいたします。

2022/11/30 18:33:00



青柳辰巳

本日の案件会議の議事録を作成いたしました。ご確認をお願いいたします。

添付ファイルを登録しました。

■■■システム移行案件  
会議第一回.docx  
28.76KB

2022/11/30 15:40:18



林政義

青柳さん  
とんでもないです。わからないことなどあれば、気軽にお声がけください。よろしくお願いたします。

2022/11/17 13:40:23



青柳辰巳

林さん  
本日は引継ぎにお時間をいただき、ありがとうございます。よろしくお願いたします。

2022/11/17 13:30:12



コラム

履歴・コメント機能については、「履歴・コメントモジュールユーザ操作ガイド」をご確認ください。

テンプレートの活用例

「顧客管理」テンプレートを利用したアプリケーションの例をご紹介します。

例：業務担当者管理アプリ

既存項目を「業務名」「担当者」「関係者」などに修正して活用することで、情報連携と進捗報告を一括で行えるアプリケーションを作成できます。

業務管理
業務 - 編集

[\*] は必須項目です。

### 業務情報

業務名\*

業務検索名 (フリガナ)

備考

以下の個数より少なくなったら発注します。

- ・コピー用紙：1000枚
- ・ボールペン：200本

### 関係者

+ 関係者を追加する

関係者名\* ⊗

所属 役職

総務チーム 一般社員

メールアドレス 電話番号

uedat@example.jp 00-0000-0000

備考

2019~2020年度の担当です。毎週火曜日14時~15時は会議でメール返せません。

### 担当者

🔍 担当者を選択する

青柳辰巳 ⊗

aoyagi  主担当

備考

2021年からの担当です。

林政義 ⊗

hayashi  主担当

備考

2020~2021年の担当です。現在青柳さんに引継ぎ中です。

作成日時: 2021/10/14 16:42 作成者: 上田辰男  
更新日時: 2023/03/07 16:45 更新者: 林政義

更新
削除

コメントを入力してください。

履歴 (10) 添付ファイル

📄

上田辰男 ✎ 🗑

@青柳さん  
発注ありがとうございます。  
紙コップが届いていたので棚に置いておきました！

2022/12/19 21:51:09

青柳辰巳

@林さん  
ご連絡ありがとうございます。

2022年12月15日  
紙コップを50個×5セット発注しました。

2022/12/15 13:15:36

林政義

@青柳さん  
お疲れ様です。  
来週の忘年会のために紙コップを50個×5セットで発注していただけますか。よろしくお願いたします。

2022/12/14 10:49:24

青柳辰巳

2022年11月29日  
コピー用紙を1000枚発注しました。

2022/11/29 21:48:27

青柳辰巳

2022年7月19日  
ボールペンを200本発注しました。

2022/07/19 15:11:08

青柳辰巳

2022年5月12日  
コピー用紙を1000枚発注しました。

2022/05/12 14:08:42

青柳辰巳

@上田さん  
ご連絡ありがとうございます。

2022年3月24日  
紙コップを50個×5セット発注しました。

2022/03/24 15:30:21

上田辰男 ✎ 🗑

紙コップがなくなっていました。  
50個×5セットで発注お願いできますか？

2022/03/22 10:46:16

## 社内FAQ管理

このページでは「社内FAQ管理」テンプレートの概要、アプリケーション作成手順、画面イメージ、操作方法と活用例について解説します。

目次

- 「社内FAQ管理」テンプレートとは
- 「社内FAQ管理」テンプレートの利用方法
  - アプリケーションの作成手順
  - アプリケーションのアクセス手順
  - アプリケーションの画面イメージと操作方法
  - テンプレートの活用例

「社内FAQ管理」テンプレートとは



「社内FAQ管理」テンプレートは、社内によくある質問とその回答を簡単に管理するアプリケーションです。データにカテゴリをつけて管理できるテンプレートの一例としても利用できます。

The screenshot shows the '社内FAQ管理' application interface. It features a table of FAQ items with columns for 'FAQタイトル', 'カテゴリ名', '更新者', and '更新日時'. A modal window is open for the first item, titled 'リンク集ポータルレットの表示が遅い場合があります。' (Link collection portal may take time to display). The modal contains the following information:

- 【発生条件】** システム管理者「ポータル設定」の「リンク集ポータルレットICON表示」が「表示する」に設定されている場合（初期インストール時のデフォルト値）。
- 【原因】** リンク集に設定されているURLからICON情報を取得します。この時に、URLにICON情報が存在しない場合に時間を要します。
- 【対応方法】** システム管理者「ポータル設定」の「リンク集ポータルレットICON表示」を「表示しない」に変更します。URLからICON情報を取得する処理が行われない事で事象を回避することができます。

At the bottom of the modal, it shows 'カテゴリ: ポータル' and '作成日時: 2023/02/14 14:28', '作成者: tenant', '更新日時: 2023/02/15 16:00', '更新者: tenant'.

コラム

「社内FAQ管理」テンプレートは2022 Spring(Eustoma)から利用できます。

「社内FAQ管理」テンプレートの利用方法

「社内FAQ管理」テンプレートを利用したアプリケーションの作成手順と「社内FAQ管理」アプリケーションの操作方法をご紹介します。

アプリケーションの作成手順

「社内FAQ管理」テンプレートを利用してアプリケーションを作成する手順についてご紹介します。

1. アプリケーション作成画面への遷移

Accel Studioの「業務テンプレート一覧」から「社内FAQ管理」テンプレートを選択します。

Accel Studioの「業務テンプレート一覧」は、「サイトマップ」→「Accel Studio」→「業務テンプレート一覧」から遷移できます。





2. アプリケーションのIDや名称などの設定

「社内FAQ管理」テンプレートを選択し、アプリケーション情報の設定画面が表示されたら、アプリケーションのIDや名称などを設定します。

設定した基本情報は、各処理や画面の名称、IDなどに利用されます。



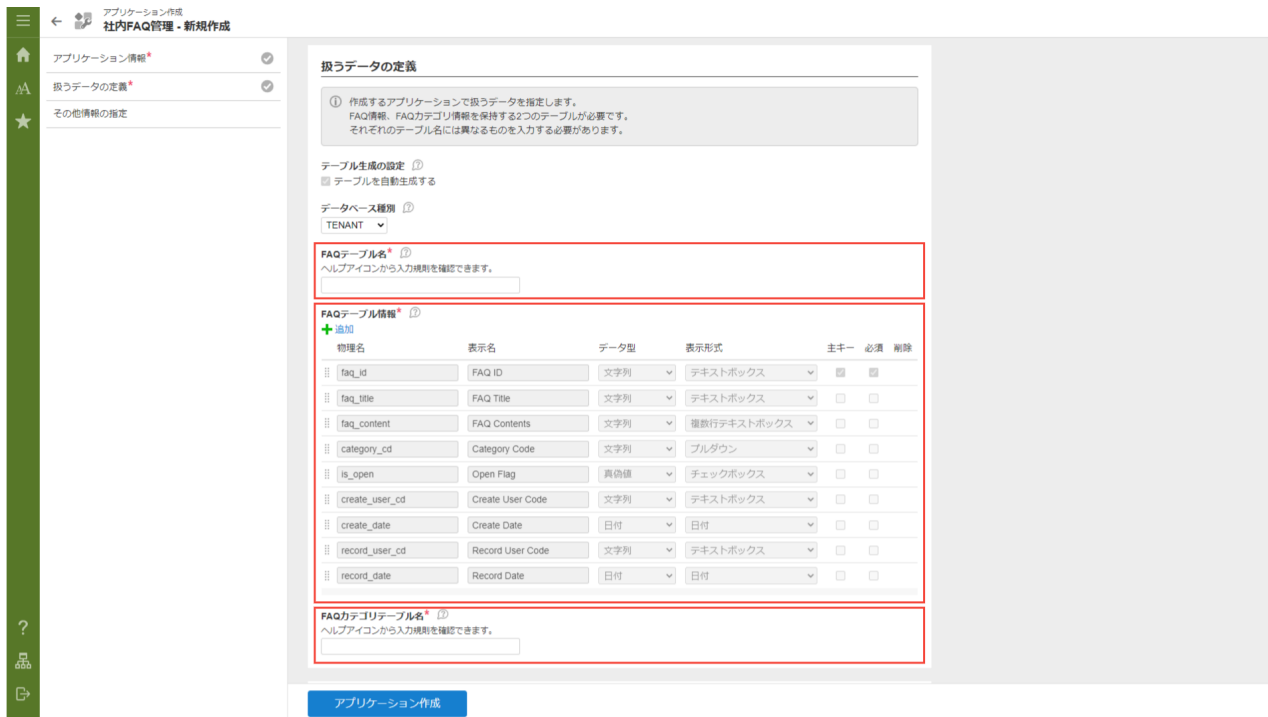
3. データベースのテーブルに利用する名称の定義

次に、作成するアプリケーションで扱うデータベースのテーブルに利用する名称を定義します。

ここでは、FAQの情報を保持するテーブルと、FAQのカテゴリ情報を保持するテーブルの名称を設定します。

なお、「社内FAQ管理」テンプレートでは、既存のテーブルはご利用いただけません。

任意でテーブルにカラムを追加し、FAQの情報を追加できます。追加したカラムはFAQ情報として「FAQ編集画面」から編集できます。



**i** コラム

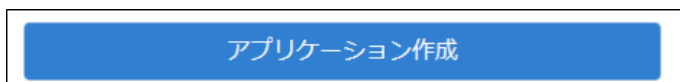
テーブル情報に標準で設定されている各項目の表示名は、多言語化対応が行われ、各画面に表示されます。新規で追加した項目については、多言語化されずに標準ロケールにのみ設定されます。新規で追加した項目に多言語化対応が必要な場合は、アプリケーション作成後に、IM-BloomMakerで作成された「画面」へアクセスし、「多言語を定義する」の方法にて各ロケールの表示名を設定してください。

4. その他情報の指定

作成されるアプリケーションに利用されるリソースのIDやルーティング情報を手動で決定できます。チェックを入れないことを推奨します。

5. アプリケーション作成開始

アプリケーションの基本情報と、テーブル名を入力したら「アプリケーション作成」ボタンをクリックしてください。入力項目に不備が無ければ自動でアプリケーションの作成ができます。






6. アプリケーション作成結果

アプリケーション作成が完了すると、ステータスが「COMPLETE」と表示されます。

アプリケーション作成  
テンプレートビルドジョブ - 詳細

ビルドジョブID	5gp4fa9jzbcvb	テンプレート名	社内FAQ管理
ステータス	● COMPLETE	作成者ユーザコード	tenant
作成日時	2023/02/08 18:26:08		

出力日時	メッセージ	詳細
2023/02/08 18:26:08	生成するリソースのIDを自動設定します。	
2023/02/08 18:26:08	一時ディレクトリに IM-LogicDesigner インポート資材を作成しました。	
2023/02/08 18:26:09	一時ディレクトリに IM-BloomMaker インポート資材を作成しました。	
2023/02/08 18:26:09	アプリケーションで利用するテーブルを新規作成しました。	
2023/02/08 18:26:09	CREATE TABLE "faq_1" ("faq_id" VARCHAR(100), "faq_title" VARCHAR(1000), "faq_content" VARCHAR(1000), "category_cd" VARCHAR(100), "is_open" INTEGER, "create_user_cd" VARCHAR(100), "create_date" TIMESTAMP, "record_user_cd" VARCHAR(100), "record_date" TIMESTAMP, PRIMARY KEY ("faq_id")); CREATE TABLE "faq_1_category" ("category_cd" VARCHAR(100), "category_name" VARCHAR(100), "notes" VARCHAR(1000), "sort_key" DECIMAL(10), "is_deleted" INTEGER, "create_user_cd" VARCHAR(100), "create_date" TIMESTAMP, "record_user_cd" VARCHAR(100), "record_date" TIMESTAMP, PRIMARY KEY ("category_cd"))	
2023/02/08 18:26:09	自動生成された IM-LogicDesigner 資材をインポートしました。	
2023/02/08 18:26:17	自動生成された IM-BloomMaker 資材をインポートしました。	
2023/02/08 18:26:17	作成された「カテゴリー一覧画面」へはこちらの詳細アイコンから遷移できます。カテゴリを作成するとFAQを作成できるようになります。	
2023/02/08 18:26:17	作成された「FAQ一覧画面」へはこちらの詳細アイコンから遷移できます。こちらの一覧画面には公開されているFAQのみ表示されます。	
2023/02/08 18:26:20	アプリケーションの作成が完了しました。	
2023/02/08 18:26:20	アプリケーション認可設定で テナント管理者 Accel Studio 管理者 にアクセス許可が設定されました。	

## コラム

作成したアプリケーションは、初期設定では「テナント管理者」または「Accel Studio管理者」ロールを持ったユーザのみ利用できます。

任意のユーザに対して、利用を許可したい場合の設定方法は、「[Accel Studio アプリケーション管理機能 仕様書](#)」 - 「[Accel Studio アプリケーション認可設定](#)」をご確認ください。

## アプリケーションのアクセス手順

作成したアプリケーションへアクセスする方法をご紹介します。


「社内FAQ管理」テンプレートから作成されるアプリケーションは、「カテゴリー一覧画面」または「FAQ一覧画面」を起点として操作することを想定しています。

以下では「カテゴリー一覧画面」または「FAQ一覧画面」へのアクセス手順について説明します。

- [「テンプレートビルドジョブ - 詳細」画面から遷移する](#)
- [画面のURLを取得する](#)

「テンプレートビルドジョブ - 詳細」画面から遷移する

「テンプレートビルドジョブ - 詳細」画面はアプリケーション作成完了後に表示されます。

「テンプレートビルドジョブ - 詳細」画面のステータスが「COMPLETE」と表示されたら、「作成された「カテゴリー一覧画面」へはこちらの詳細アイコンから遷移できます。」の欄にある  をクリックしてください。

アプリケーション作成  
テンプレートビルドジョブ - 詳細

ビルドジョブID	8gp4wia0jz2bcvb	テンプレート名	社内FAQ管理
ステータス	● COMPLETE	作成者ユーザコード	tenant
作成日時	2023/02/08 18:26:08		

出力日時	メッセージ	詳細
2023/02/08 18:26:08	生成するリソースのIDを自動設定します。	
2023/02/08 18:26:08	一時ディレクトリに IM-LogicDesigner インポート資材を作成しました。	
2023/02/08 18:26:09	一時ディレクトリに IM-BloomMaker インポート資材を作成しました。	
2023/02/08 18:26:09	アプリケーションで利用するテーブルを新規作成しました。	
2023/02/08 18:26:09	CREATE TABLE "faq_1" ("faq_id" VARCHAR(100), "faq_title" VARCHAR(1000), "faq_content" VARCHAR(1000), "category_cd" VARCHAR(100), "is_open" INTEGER, "create_user_cd" VARCHAR(100), "create_date" TIMESTAMP, "record_user_cd" VARCHAR(100), "record_date" TIMESTAMP, PRIMARY KEY ("faq_id")); CREATE TABLE "faq_1_category" ("category_cd" VARCHAR(100), "category_name" VARCHAR(100), "notes" VARCHAR(1000), "sort_key" DECIMAL(10), "is_deleted" INTEGER, "create_user_cd" VARCHAR(100), "create_date" TIMESTAMP, "record_user_cd" VARCHAR(100), "record_date" TIMESTAMP, PRIMARY KEY ("category_cd"))	
2023/02/08 18:26:09	自動生成された IM-LogicDesigner 資材をインポートしました。	
2023/02/08 18:26:17	自動生成された IM-BloomMaker 資材をインポートしました。	
2023/02/08 18:26:17	作成された「カテゴリ一覧画面」へはこちらの詳細アイコンから遷移できます。カテゴリを作成するとFAQを作成できるようになります。	<a href="#">🔍</a>
2023/02/08 18:26:17	作成された「FAQ一覧画面」へはこちらの詳細アイコンから遷移できます。こちらの一覧画面には公開されているFAQのみ表示されます。	<a href="#">🔍</a>
2023/02/08 18:26:20	アプリケーションの作成が完了しました。	<a href="#">🔍</a>
2023/02/08 18:26:20	アプリケーション認可設定でテナント管理者Accel Studio 管理者にアクセス許可が設定されました。	

## コラム

「テンプレートビルドジョブ - 詳細」画面は、「サイトマップ」→「Accel Studio」→「アプリケーション作成」→「テンプレートビルドジョブ」に遷移し、作成したアプリケーションの「詳細」をクリックすることで表示できます。

### 画面のURLを取得する

「社内FAQ管理」テンプレートから作成したアプリケーションはすべての画面に画面URLが定義されています。

#### 1. 「ルーティング定義編集」画面への遷移

「サイトマップ」→「Accel Studio」→「アプリケーション一覧」で、「自動生成されたアプリケーション」カテゴリを選択します。作成したアプリケーションを選択し、「アプリケーション構成情報」画面が表示されたら、「公開URL」タブをクリックしてください。続いて、URLを取得したい画面のカードをクリックし、「ルーティング定義編集」画面を開きます。

The screenshot shows the '公開URL' (Public URL) tab selected in the application configuration interface. The main content area displays a list of application components, each with a URL and an action icon. The following table summarizes the visible components:

URL (ID)	Component Name	Action
im-bloommaker:/routes/faq_app-faq-register	社内FAQ管理 FAQ登録画面	🔍
im-bloommaker:/routes/faq_app-faq-refer	社内FAQ管理 FAQ詳細画面	🔍
im-bloommaker:/routes/faq_app-faq-list	社内FAQ管理 FAQ一覧画面	🔍
im-bloommaker:/routes/faq_app-faq-admin	社内FAQ管理 管理用FAQ一覧画面	🔍
im-bloommaker:/routes/faq_app-faq-edit	社内FAQ管理 FAQ編集画面	🔍
im-bloommaker:/routes/faq_app-category-register	社内FAQ管理 カテゴリ登録画面	🔍
im-bloommaker:/routes/faq_app-category-list	社内FAQ管理 カテゴリ一覧画面	🔍
im-bloommaker:/routes/faq_app-category-edit	社内FAQ管理 カテゴリ編集画面	🔍
im-logic:/routes/accel-studio-app/faq_app/PUT	PUT accel-studio-app/faq_app	🔍

#### 2. URLを取得

「URL」の [🔍](#) をクリックすることで、URLがクリップボードにコピーされます。

IM-BloomMaker ルーティング定義編集

ルーティング	階別理
カテゴリ	カテゴリID: im_accel_studio カテゴリ名: 業務テンプレートから作成
ルーティングID	faq_management_sample-category-list
コンテンツ	コンテンツID: faq_management_sample-category-list コンテンツ名: 社内FAQ管理サンプル カテゴリ一覧画面
コンテンツバージョン番号	<input checked="" type="radio"/> 最終バージョンを使用する <input type="radio"/> 利用するバージョンを指定する 利用バージョン: *
メソッド	GET
URL	/smart/accel-studio-app/faq_management_sample/category/list (J)
許可URI	im-bloommaker-content/contents/route/faq_management_sample-category-list
ルーティング名	標準 * 社内FAQ管理サンプル カテゴリ一覧画面
備考	標準 【社内FAQ管理】テンプレートから作成されたルーティング定義です。

更新 削除

### i コラム

取得したURLは、初期設定では「テナント管理者」または「Accel Studio管理者」ロールを持ったユーザのみアクセス可能です。

任意のユーザに対して、利用を許可したい場合の設定方法は、「[Accel Studio アプリケーション管理機能 仕様書](#)」 - 「[Accel Studio アプリケーション認可設定](#)」をご確認ください。

### i コラム

作成したアプリケーションをグローバルメニューに追加したい場合は、グローバルナビ設定をご利用ください。

グローバルナビの設定方法は、「[ファーストステップガイド](#)」 - 「[管理者が一般ユーザ向けのメニューを作成する](#)」をご確認ください。

## アプリケーションの画面イメージと操作方法

「社内FAQ管理」テンプレートから作成されるアプリケーションは2種類の利用者「管理者」「一般ユーザ」を想定しています。

### 管理者

管理者は、「カテゴリ」と「FAQ」の登録・編集・削除ができます。

以下の画面を利用します。

- [カテゴリ一覧画面](#)
- [カテゴリ登録画面](#)
- [カテゴリ編集画面](#)
- [管理者用FAQ一覧画面](#)
- [FAQ登録画面](#)
- [FAQ編集画面](#)

### 一般ユーザ

一般ユーザは、公開状態のFAQが参照できます。

非公開状態のFAQの参照やFAQ情報の登録・編集はできません。

以下の画面を利用します。

- [FAQ一覧画面](#)
- [FAQ参照画面](#)

### 認可設定

管理者用の画面と一般ユーザ用の画面で別々に画面が用意されているため、認可設定だけで管理者と参照者の制御ができます。

以下のリソースの認可を許可することで、認可サブジェクト対象者は一般ユーザとして「FAQ一覧画面」が利用できます。

リソース 公開URL

画面のURL {アプリケーション名} FAQ一覧画面

{アプリケーション名} FAQ詳細画面

APIのURL GET accel-studio-app/{IDの決定に利用する文字列}/list/open

GET accel-studio-app/{IDの決定に利用する文字列}/open\_only

GET accel-studio-app/{IDの決定に利用する文字列}/category/valid/list

**i** コラム

IDの決定に利用する文字列は、 [アプリケーションの作成手順](#) の「IDの決定に利用する文字列」項目に指定した文字列です。

以下の画像では、例として「認証済みユーザ」に認可の許可をしています。

The screenshot shows a table for configuring permissions for the application '社内FAQ管理サンプル'. The table has columns for 'リソース' (Resource), '認証' (Authentication), and 'ロール' (Role). The '認証' column is expanded to show '認証済みユーザ' (Authenticated User) with a green checkmark, indicating that permissions are granted to this user type. The 'リソース' column lists various URLs and API endpoints, with red 'X' marks indicating that permissions are not granted to other roles like 'ゲストユーザ' (Guest User), 'サンプル会社' (Sample Company), etc.

リソース	認証		組織				ロール									
	ゲストユーザ	認証済みユーザ	サンプル会社	その他会社	テナント管理者	認可管理者	メニュー管理者	メニュー運用管理者	アカウント管理者	ロール管理者	カレンダー管理者	ジョブスケジューラ管理者	IM共通マスタ管理者	IM共通マスタ運用管理者	ポータル管理者	
社内FAQ管理サンプル FAQ登録画面	X	X	X	X	✓	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	
社内FAQ管理サンプル FAQ詳細画面	X	✓	X	X	✓	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	
社内FAQ管理サンプル FAQ一覧画面	X	✓	X	X	✓	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	
社内FAQ管理サンプル 管理者用FAQ一覧画面	X	X	X	X	✓	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	
社内FAQ管理サンプル FAQ編集画面	X	X	X	X	✓	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	
社内FAQ管理サンプル カテゴリ登録画面	X	X	X	X	✓	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	
社内FAQ管理サンプル カテゴリ一覧画面	X	X	X	X	✓	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	
社内FAQ管理サンプル カテゴリ編集画面	X	X	X	X	✓	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	
APIのURL																
PUT accel-studio-app/faq_management_sample	X	X	X	X	✓	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	
POST accel-studio-app/faq_management_sample	X	X	X	X	✓	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	
GET accel-studio-app/faq_management_sample/list/open	X	✓	X	X	✓	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	
GET accel-studio-app/faq_management_sample/open_only	X	✓	X	X	✓	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	
GET accel-studio-app/faq_management_sample/list	X	X	X	X	✓	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	
GET accel-studio-app/faq_management_sample	X	X	X	X	✓	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	
PUT accel-studio-app/faq_management_sample/change_status	X	X	X	X	✓	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	
GET accel-studio-app/faq_management_sample/category/valid/list	X	✓	X	X	✓	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	
PUT accel-studio-app/faq_management_sample/category	X	X	X	X	✓	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	
POST accel-studio-app/faq_management_sample/category	X	X	X	X	✓	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	
GET accel-studio-app/faq_management_sample/category/list	X	X	X	X	✓	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	
GET accel-studio-app/faq_management_sample/category	X	X	X	X	✓	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	

**i** コラム

認可設定については、「[Accel Studio アプリケーション管理機能 仕様書](#)」 - 「[Accel Studio アプリケーション認可設定](#)」をご確認ください。

カテゴリ一覧画面

「カテゴリ一覧画面」では、登録されたカテゴリを閲覧できます。  
 カテゴリ情報の「ソートキー」の数値で昇順ソートされます。

社内FAQの管理サンプル  
カテゴリ一覧

有効なカテゴリのみ表示 + 新規作成

カテゴリ名	カテゴリコード	メモ	ソートキー
環境・セットアップ関連 <span>無効</span>	category1	intra-mart Accel Platform の開発環境やセットアップに関するカテゴリです。	1
システム・サポート案件	category2	intra-mart Accel Platform のシステム案件、サポート案件についてのカテゴリです。	2
アプリケーションサーバ (Resinなど)	category3	intra-mart Accel Platform のアプリケーションサーバについてのカテゴリです。	3
全般・その他	category4	intra-mart Accel Platform 全般の内容を扱うカテゴリです。	4
脆弱性 <span>無効</span>	category5	intra-mart Accel Platform の脆弱性に関するカテゴリです。	5
IM-Workflow	category6	intra-mart Accel Platform の IM-Workflow に関するカテゴリです。	6
IM-LogicDesigner	category7	intra-mart Accel Platform の IM-LogicDesigner に関するカテゴリです。	7
IM-Juggling	category8	intra-mart Accel Platform の IM-Juggling に関するカテゴリです。	8
IMBox	category9	intra-mart Accel Platform の IMBox に関するカテゴリです。	9
ポータル	category10	intra-mart Accel Platform のポータルに関するカテゴリです。	10
開発関連	category11	intra-mart Accel Platform の開発関連に関するカテゴリです。	11
ジョブスケジューラ	category12	intra-mart Accel Platform のジョブスケジューラに関するカテゴリです。	12
テナント管理関連	category13	intra-mart Accel Platform のテナント管理関連に関するカテゴリです。	13
e Builder	category14	intra-mart Accel Extensions の e Builder に関するカテゴリです。	14
IM-ContentsSearch	category15	intra-mart Accel Extensions の IM-ContentsSearch に関するカテゴリです。	15
IM-Spreadsheet	category16	intra-mart Accel Extensions の IM-Spreadsheet に関するカテゴリです。	16
IM-PDF Designer	category17	intra-mart Accel Extensions の IM-PDF Designer に関するカテゴリです。	17
IM-FormDesigner	category18	intra-mart Accel Extensions の IM-FormDesigner に関するカテゴリです。	18
IM-EX申請システム	category19	intra-mart Accel Extensions の IM-EX申請システムに関するカテゴリです。	19
IM-ExApply	category20	intra-mart Accel Extensions の IM-ExApply に関するカテゴリです。	20
IM-AccelDB	category21	intra-mart Accel Extensions の IM-AccelDB に関するカテゴリです。	21
IM-BPM <span>無効</span>	category22		22
IM-BIS <span>無効</span>	category23		23

前へ 1 2 3 4 5 次へ 1 - 50 / 237

カテゴリには「有効」「無効」の状態があり、「有効なカテゴリのみ表示」チェックボックスを選択すると「有効」状態のカテゴリのみ表示されます。

社内FAQの管理サンプル  
カテゴリ一覧

有効なカテゴリのみ表示 + 新規作成

カテゴリ名	カテゴリコード	メモ	ソートキー
システム・サポート案件	category2	intra-mart Accel Platform のシステム案件、サポート案件についてのカテゴリです。	2
アプリケーションサーバ (Resinなど)	category3	intra-mart Accel Platform のアプリケーションサーバについてのカテゴリです。	3
全般・その他	category4	intra-mart Accel Platform 全般の内容を扱うカテゴリです。	4
IM-Workflow	category6	intra-mart Accel Platform の IM-Workflow に関するカテゴリです。	6
IM-LogicDesigner	category7	intra-mart Accel Platform の IM-LogicDesigner に関するカテゴリです。	7
IM-Juggling	category8	intra-mart Accel Platform の IM-Juggling に関するカテゴリです。	8
IMBox	category9	intra-mart Accel Platform の IMBox に関するカテゴリです。	9
ポータル	category10	intra-mart Accel Platform のポータルに関するカテゴリです。	10
開発関連	category11	intra-mart Accel Platform の開発関連に関するカテゴリです。	11
ジョブスケジューラ	category12	intra-mart Accel Platform のジョブスケジューラに関するカテゴリです。	12
テナント管理関連	category13	intra-mart Accel Platform のテナント管理関連に関するカテゴリです。	13
e Builder	category14	intra-mart Accel Extensions の e Builder に関するカテゴリです。	14
IM-ContentsSearch	category15	intra-mart Accel Extensions の IM-ContentsSearch に関するカテゴリです。	15
IM-Spreadsheet	category16	intra-mart Accel Extensions の IM-Spreadsheet に関するカテゴリです。	16
IM-PDF Designer	category17	intra-mart Accel Extensions の IM-PDF Designer に関するカテゴリです。	17
IM-FormDesigner	category18	intra-mart Accel Extensions の IM-FormDesigner に関するカテゴリです。	18
IM-EX申請システム	category19	intra-mart Accel Extensions の IM-EX申請システムに関するカテゴリです。	19
IM-ExApply	category20	intra-mart Accel Extensions の IM-ExApply に関するカテゴリです。	20
IM-AccelDB	category21	intra-mart Accel Extensions の IM-AccelDB に関するカテゴリです。	21
intra-mart Accel Kaldent	category24	intra-mart Accel Applications の intra-mart Accel Kaldent に関するカテゴリです。	24
intra-mart Accel Collaboration	category25	intra-mart Accel Applications の intra-mart Accel Collaboration に関するカテゴリです。	25
intra-mart Accel Archiver	category26	intra-mart Accel Applications の intra-mart Accel Archiver に関するカテゴリです。	26
intra-mart Accel GroupMail	category27	intra-mart Accel Applications の intra-mart Accel GroupMail に関するカテゴリです。	27

前へ 1 2 3 4 5 次へ 1 - 50 / 233

画面上部、左側の  をマウスホバーすると [管理者用FAQ一覧画面](#) へ遷移するリンクが表示されます。



社内FAQ管理サンプル  
カテゴリ一覧

管理専用FAQ一覧

有効なカテゴリのみ表示

+ 新規作成

カテゴリ名	カテゴリコード	メモ	ソートキー
システム・サポート要件	category2	intra-mart Accel Platform のシステム要件、サポート要件についてのカテゴリです。	2
アプリケーションサーバ (Resinなど)	category3	intra-mart Accel Platform のアプリケーションサーバについてのカテゴリです。	3
全般・その他	category4	intra-mart Accel Platform 全般の内容を扱うカテゴリです。	4
IM-Workflow	category6	intra-mart Accel Platform のIM-Workflow に関するカテゴリです。	6
IM-LogicDesigner	category7	intra-mart Accel Platform のIM-LogicDesigner に関するカテゴリです。	7
IM-Juggling	category8	intra-mart Accel Platform のIM-Juggling に関するカテゴリです。	8
IMBox	category9	intra-mart Accel Platform のIMBox に関するカテゴリです。	9
ポータル	category10	intra-mart Accel Platform のポータルに関するカテゴリです。	10
開発関連	category11	intra-mart Accel Platform の開発関連に関するカテゴリです。	11
ジョブスケジューラ	category12	intra-mart Accel Platform のジョブスケジューラに関するカテゴリです。	12
テナント管理関連	category13	intra-mart Accel Platform のテナント管理関連に関するカテゴリです。	13
e Builder	category14	intra-mart Accel Extentions のe Builder に関するカテゴリです。	14
IM-ContentsSearch	category15	intra-mart Accel Extentions のIM-ContentsSearch に関するカテゴリです。	15
IM-Spreadsheet	category16	intra-mart Accel Extentions のIM-Spreadsheet に関するカテゴリです。	16
IM-PDF Designer	category17	intra-mart Accel Extentions のIM-PDF Designer に関するカテゴリです。	17
IM-FormaDesigner	category18	intra-mart Accel Extentions のIM-FormaDesigner に関するカテゴリです。	18
IM-EX申請システム	category19	intra-mart Accel Extentions のIM-EX申請システムに関するカテゴリです。	19
IM-ExApply	category20	intra-mart Accel Extentions のIM-ExApply に関するカテゴリです。	20
IM-AccelDB	category21	intra-mart Accel Extentions のIM-AccelDB に関するカテゴリです。	21
intra-mart Accel Kaident	category24	intra-mart Accel Applications のintra-mart Accel Kaident に関するカテゴリです。	24
intra-mart Accel Collaboration	category25	intra-mart Accel Applications のintra-mart Accel Collaboration に関するカテゴリです。	25
intra-mart Accel Archiver	category26	intra-mart Accel Applications のintra-mart Accel Archiver に関するカテゴリです。	26
intra-mart Accel GroupMail	category27	intra-mart Accel Applications のintra-mart Accel GroupMail に関するカテゴリです。	27

1 - 50 / 237

カテゴリ登録画面

「カテゴリ登録画面」では、カテゴリの登録ができます。  
 「カテゴリ一覧画面」の「新規作成」ボタンから「カテゴリ登録画面」に遷移できます。

社内FAQ管理サンプル  
カテゴリ一覧

有効なカテゴリのみ表示

+ 新規作成

カテゴリ名	カテゴリコード	メモ	ソートキー
環境・セットアップ関連 <b>削除</b>	category1	intra-mart Accel Platform の開発環境やセットアップに関するカテゴリです。	1
システム・サポート要件	category2	intra-mart Accel Platform のシステム要件、サポート要件についてのカテゴリです。	2
アプリケーションサーバ (Resinなど)	category3	intra-mart Accel Platform のアプリケーションサーバについてのカテゴリです。	3
全般・その他	category4	intra-mart Accel Platform 全般の内容を扱うカテゴリです。	4
独特性 <b>削除</b>	category5	intra-mart Accel Platform の独特性に関するカテゴリです。	5
IM-Workflow	category6	intra-mart Accel Platform のIM-Workflow に関するカテゴリです。	6
IM-LogicDesigner	category7	intra-mart Accel Platform のIM-LogicDesigner に関するカテゴリです。	7
IM-Juggling	category8	intra-mart Accel Platform のIM-Juggling に関するカテゴリです。	8
IMBox	category9	intra-mart Accel Platform のIMBox に関するカテゴリです。	9
ポータル	category10	intra-mart Accel Platform のポータルに関するカテゴリです。	10
開発関連	category11	intra-mart Accel Platform の開発関連に関するカテゴリです。	11
ジョブスケジューラ	category12	intra-mart Accel Platform のジョブスケジューラに関するカテゴリです。	12
テナント管理関連	category13	intra-mart Accel Platform のテナント管理関連に関するカテゴリです。	13
e Builder	category14	intra-mart Accel Extentions のe Builder に関するカテゴリです。	14
IM-ContentsSearch	category15	intra-mart Accel Extentions のIM-ContentsSearch に関するカテゴリです。	15
IM-Spreadsheet	category16	intra-mart Accel Extentions のIM-Spreadsheet に関するカテゴリです。	16
IM-PDF Designer	category17	intra-mart Accel Extentions のIM-PDF Designer に関するカテゴリです。	17
IM-FormaDesigner	category18	intra-mart Accel Extentions のIM-FormaDesigner に関するカテゴリです。	18
IM-EX申請システム	category19	intra-mart Accel Extentions のIM-EX申請システムに関するカテゴリです。	19
IM-ExApply	category20	intra-mart Accel Extentions のIM-ExApply に関するカテゴリです。	20
IM-AccelDB	category21	intra-mart Accel Extentions のIM-AccelDB に関するカテゴリです。	21
IM-BPM <b>削除</b>	category22		22
IM-BIS <b>削除</b>	category23		23

1 - 50 / 237

「カテゴリコード」は一意的な文字列を入力してください。  
 「ソートキー」に指定した数値により、「カテゴリ一覧画面」のカテゴリは並び替えられます。



このFAQ管理サンプル  
カテゴリ - 新規作成

!\*' は必須項目です。

カテゴリコード\*

カテゴリ名\*

メモ

ソートキー\*

0

登録

カテゴリ編集画面

「カテゴリ編集画面」では、カテゴリ情報の編集ができます。

「カテゴリ一覧画面」で任意のカテゴリを選択すると、選択したカテゴリの「カテゴリ編集画面」に遷移できます。

「カテゴリの有効状態」を「無効」にした場合、「カテゴリ一覧画面」「管理者用FAQ一覧画面」でカテゴリ名に「無効」のアイコンが付きます。また、「無効」状態のカテゴリに所属するFAQは「FAQ一覧画面」に表示されません。

このFAQ管理サンプル  
カテゴリ - 編集

!\*' は必須項目です。

カテゴリコード\*

category1

カテゴリ名\*

環境・セットアップ関連

メモ

intra-mart Accel Platform の開発環境やセットアップに関するカテゴリです。

ソートキー\*

1

カテゴリの有効状態\*

有効  無効

更新

管理者用FAQ一覧画面

「管理者用FAQ一覧画面」では、すべてのFAQを閲覧できます。

FAQが「非公開」または所属するカテゴリが「無効」状態の場合、カラムの背景が変わります。

社内のFAQ管理サンプル  
管理用FAQ一覧

+ 新規作成

FAQタイトル	カテゴリ名	更新者	更新日時	
リンク集ポータル表示が遅い場合があります。	ポータル	tenant	2023/02/15 16:00	
IM-WorkflowポータルおよびAccel Collaborationポータルをポータルに配置しても内容が表示されません。	ポータル	tenant	2023/02/15 16:00	
TERASOLUNA Global Framework および TERASOLUNA Server Framework for Java (Rich版) において ClassLoader を操作可能な脆弱性(CVE-2022-43484)について	脆弱性 <span style="color: red;">脆弱</span>	tenant	2023/02/15 16:00	
IMBoxの画面表示時にエラーメッセージが表示され、IMBoxの機能を利用することができません。	IMBox	tenant	2023/02/15 16:00	
拡張子 .hprof ファイルについて教えてください。	環境・セットアップ関連 <span style="color: red;">脆弱</span>	tenant	2023/02/15 15:59	
Microsoft Web Platform Installer を使用しない Application Request Routing のインストール方法について <span style="color: red;">非公開</span>	環境・セットアップ関連 <span style="color: red;">脆弱</span>	tenant	2023/02/15 15:59	
セッション管理モジュールを利用している環境で HazelcastSerializationException が発生します。 <span style="color: red;">非公開</span>	開発関連	tenant	2023/02/15 15:59	
ジョブネットのインポートでジョブが2重に登録される場合があります。	ジョブスケジューラ	tenant	2023/02/14 14:29	
IM-Juggling の WAR ファイル作成時のビルドウィザード操作が進められません。	IM-Juggling	tenant	2023/02/14 14:27	
Date型の値から文字列に変換を行う際の日付フォーマットの年指定についてのご注意事項	IM-LogicDesigner	tenant	2023/02/14 14:26	
申請ノードのアクション処理や後処理で「システム案件ID (imwSystemMatterid)」を取得する方法はありますか？	IM-Workflow	tenant	2023/02/14 14:26	
IM-Workflowとドキュメントワークフロー(BPW)は同一環境で利用できますか？	IM-Workflow	tenant	2023/02/14 14:25	
申請ノードに独自に作成した処理対象者プラグインを設定することはできますか？	IM-Workflow	tenant	2023/02/14 14:25	
IM-Workflow REST API は Basic 認証で利用できますか？	IM-Workflow	tenant	2023/02/14 14:24	
IM-Workflow REST API を外部システムから呼び出す方法を教えてください。	IM-Workflow	tenant	2023/02/14 14:24	

前へ 1 2 3 4 5 次へ

1 - 50 / 231

カテゴリ

カテゴリの状態

すべて  有効  無効

FAQタイトル

公開状態

すべて  公開  非公開

更新者

作成者

検索 クリア

カラム右端のアイコンからFAQの公開状態を変更できます。

社内のFAQ管理サンプル  
管理用FAQ一覧

+ 新規作成

FAQタイトル	カテゴリ名	更新者	更新日時	
リンク集ポータル表示が遅い場合があります。	ポータル	tenant	2023/02/15 16:00	
IM-WorkflowポータルおよびAccel Collaborationポータルをポータルに配置しても内容が表示されません。	ポータル	tenant	2023/02/15 16:00	
TERASOLUNA Global Framework および TERASOLUNA Server Framework for Java (Rich版) において ClassLoader を操作可能な脆弱性(CVE-2022-43484)について	脆弱性 <span style="color: red;">脆弱</span>	tenant	2023/02/15 16:00	
IMBoxの画面表示時にエラーメッセージが表示され、IMBoxの機能を利用することができません。	IMBox	tenant	2023/02/15 16:00	
拡張子 .hprof ファイルについて教えてください。	環境・セットアップ関連 <span style="color: red;">脆弱</span>	tenant	2023/02/15 15:59	
Microsoft Web Platform Installer を使用しない Application Request Routing のインストール方法について <span style="color: red;">非公開</span>	環境・セットアップ関連 <span style="color: red;">脆弱</span>	tenant	2023/02/15 15:59	
セッション管理モジュールを利用している環境で HazelcastSerializationException が発生します。 <span style="color: red;">非公開</span>	開発関連	tenant	2023/02/15 15:59	
ジョブネットのインポートでジョブが2重に登録される場合があります。	ジョブスケジューラ	tenant	2023/02/14 14:29	
IM-Juggling の WAR ファイル作成時のビルドウィザード操作が進められません。	IM-Juggling	tenant	2023/02/14 14:27	
Date型の値から文字列に変換を行う際の日付フォーマットの年指定についてのご注意事項	IM-LogicDesigner	tenant	2023/02/14 14:26	
申請ノードのアクション処理や後処理で「システム案件ID (imwSystemMatterid)」を取得する方法はありますか？	IM-Workflow	tenant	2023/02/14 14:26	
IM-Workflowとドキュメントワークフロー(BPW)は同一環境で利用できますか？	IM-Workflow	tenant	2023/02/14 14:25	
申請ノードに独自に作成した処理対象者プラグインを設定することはできますか？	IM-Workflow	tenant	2023/02/14 14:25	
IM-Workflow REST API は Basic 認証で利用できますか？	IM-Workflow	tenant	2023/02/14 14:24	
IM-Workflow REST API を外部システムから呼び出す方法を教えてください。	IM-Workflow	tenant	2023/02/14 14:24	

前へ 1 2 3 4 5 次へ

1 - 50 / 231

カテゴリ

カテゴリの状態

すべて  有効  無効

FAQタイトル

公開状態

すべて  公開  非公開

更新者

作成者

検索 クリア

画面上部、左側の をマウスホバーすると [カテゴリ一覧画面](#) へ遷移するリンクが表示されます。

社内FAQ管理サンプル  
管理者用FAQ一覧

カテゴリ一覧

+ 新規作成

FAQタイトル	カテゴリ名	更新者	更新日時	公開状態
リンク集ポータルレットの表示が遅い場合があります。	ポータル	tenant	2023/02/15 16:00	有効
IM-WorkflowポータルレットおよびAccel Collaborationポータルレットをポータルに配置しても内容が表示されません。	ポータル	tenant	2023/02/15 16:00	有効
TERASOLUNA Global Framework および TERASOLUNA Server Framework for Java (Rich版) において ClassLoader を操作可能な脆弱性(CVE-2022-43484)について	脆弱性 <b>非公開</b>	tenant	2023/02/15 16:00	非公開
IMBoxの画面表示時にエラーメッセージが表示され、IMBoxの機能を利用することができません。	IMBox	tenant	2023/02/15 16:00	有効
拡張子 .hprof ファイルについて教えてください。	環境・セットアップ関連 <b>非公開</b>	tenant	2023/02/15 15:59	非公開
Microsoft Web Platform Installer を使用しない Application Request Routing のインストール方法について <b>非公開</b>	環境・セットアップ関連 <b>非公開</b>	tenant	2023/02/15 15:59	非公開
セッション管理モジュールを利用している環境で HazelcastSerializationException が発生します。 <b>非公開</b>	開発関連	tenant	2023/02/15 15:59	非公開
ジョブネットのインポートでジョブが2重に登録される場合があります。	ジョブスケジューラ	tenant	2023/02/14 14:29	有効
IM-Juggling の WAR ファイル作成時のビルドウィザード操作が進められません。	IM-Juggling	tenant	2023/02/14 14:27	有効
Date型の値から文字列に変換を行う際の日付フォーマットの年指定についてのご注意事項	IM-LogicDesigner	tenant	2023/02/14 14:26	有効
申請ノードのアクション処理や後処理で「システム案件ID (ImvSystemMatterId)」を取得する方法はありますか？	IM-Workflow	tenant	2023/02/14 14:26	有効
IM-Workflowとドキュメントワークフロー(BPW)は同一環境で利用できますか？	IM-Workflow	tenant	2023/02/14 14:25	有効
申請ノードに独自に作成した処理対象者プラグインを設定することはできますか？	IM-Workflow	tenant	2023/02/14 14:25	有効
IM-Workflow REST API は Basic 認証で利用できますか？	IM-Workflow	tenant	2023/02/14 14:24	有効
IM-Workflow REST API を外部システムから呼び出す方法を教えてください。	IM-Workflow	tenant	2023/02/14 14:24	有効

1 - 50 / 231

FAQ登録画面

「FAQ登録画面」では、FAQの登録ができます。

「管理者用FAQ一覧画面」の「新規作成」ボタンから「FAQ登録画面」に遷移できます。

社内FAQ管理サンプル  
管理者用FAQ一覧

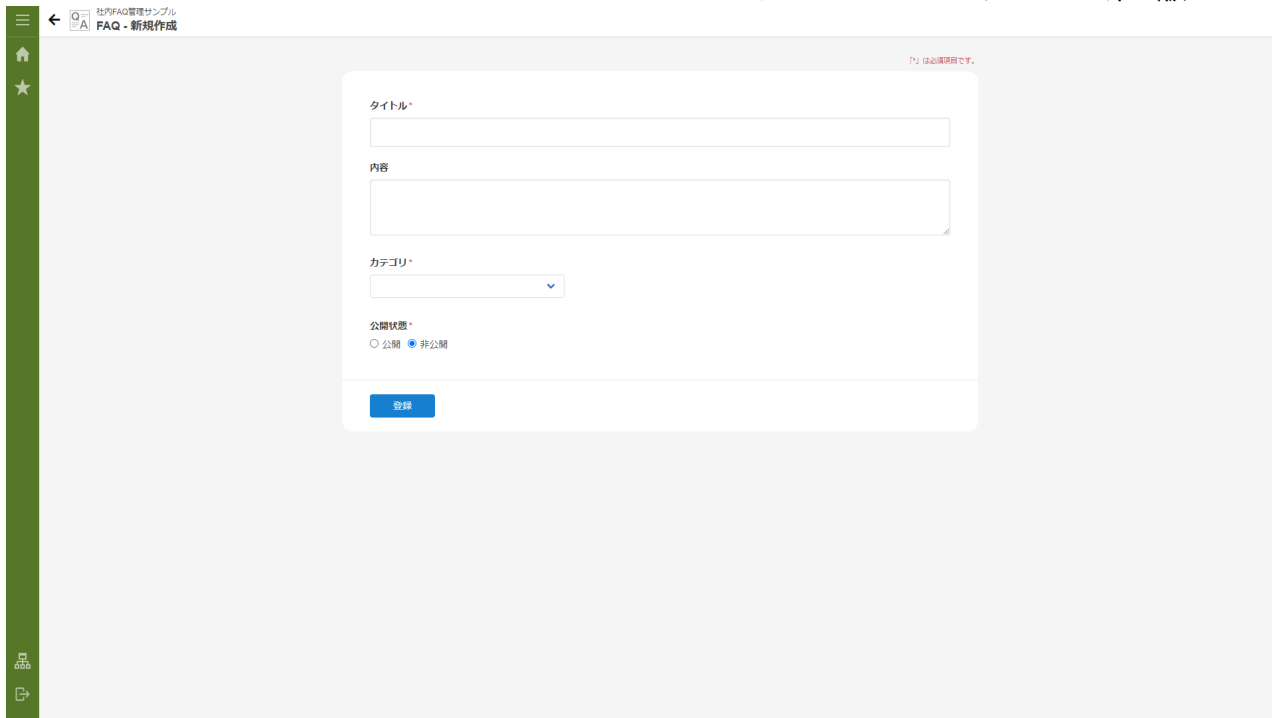
カテゴリ一覧

+ 新規作成

FAQタイトル	カテゴリ名	更新者	更新日時	公開状態
リンク集ポータルレットの表示が遅い場合があります。	ポータル	tenant	2023/02/15 16:00	有効
IM-WorkflowポータルレットおよびAccel Collaborationポータルレットをポータルに配置しても内容が表示されません。	ポータル	tenant	2023/02/15 16:00	有効
TERASOLUNA Global Framework および TERASOLUNA Server Framework for Java (Rich版) において ClassLoader を操作可能な脆弱性(CVE-2022-43484)について	脆弱性 <b>非公開</b>	tenant	2023/02/15 16:00	非公開
IMBoxの画面表示時にエラーメッセージが表示され、IMBoxの機能を利用することができません。	IMBox	tenant	2023/02/15 16:00	有効
拡張子 .hprof ファイルについて教えてください。	環境・セットアップ関連 <b>非公開</b>	tenant	2023/02/15 15:59	非公開
Microsoft Web Platform Installer を使用しない Application Request Routing のインストール方法について <b>非公開</b>	環境・セットアップ関連 <b>非公開</b>	tenant	2023/02/15 15:59	非公開
セッション管理モジュールを利用している環境で HazelcastSerializationException が発生します。 <b>非公開</b>	開発関連	tenant	2023/02/15 15:59	非公開
ジョブネットのインポートでジョブが2重に登録される場合があります。	ジョブスケジューラ	tenant	2023/02/14 14:29	有効
IM-Juggling の WAR ファイル作成時のビルドウィザード操作が進められません。	IM-Juggling	tenant	2023/02/14 14:27	有効
Date型の値から文字列に変換を行う際の日付フォーマットの年指定についてのご注意事項	IM-LogicDesigner	tenant	2023/02/14 14:26	有効
申請ノードのアクション処理や後処理で「システム案件ID (ImvSystemMatterId)」を取得する方法はありますか？	IM-Workflow	tenant	2023/02/14 14:26	有効
IM-Workflowとドキュメントワークフロー(BPW)は同一環境で利用できますか？	IM-Workflow	tenant	2023/02/14 14:25	有効
申請ノードに独自に作成した処理対象者プラグインを設定することはできますか？	IM-Workflow	tenant	2023/02/14 14:25	有効
IM-Workflow REST API は Basic 認証で利用できますか？	IM-Workflow	tenant	2023/02/14 14:24	有効
IM-Workflow REST API を外部システムから呼び出す方法を教えてください。	IM-Workflow	tenant	2023/02/14 14:24	有効

1 - 50 / 231

「公開状態」を「非公開」にした場合、「管理者用FAQ一覧画面」でFAQタイトルに「非公開」のアイコンが付きまます。また、「非公開」のFAQは「FAQ一覧画面」に表示されません。

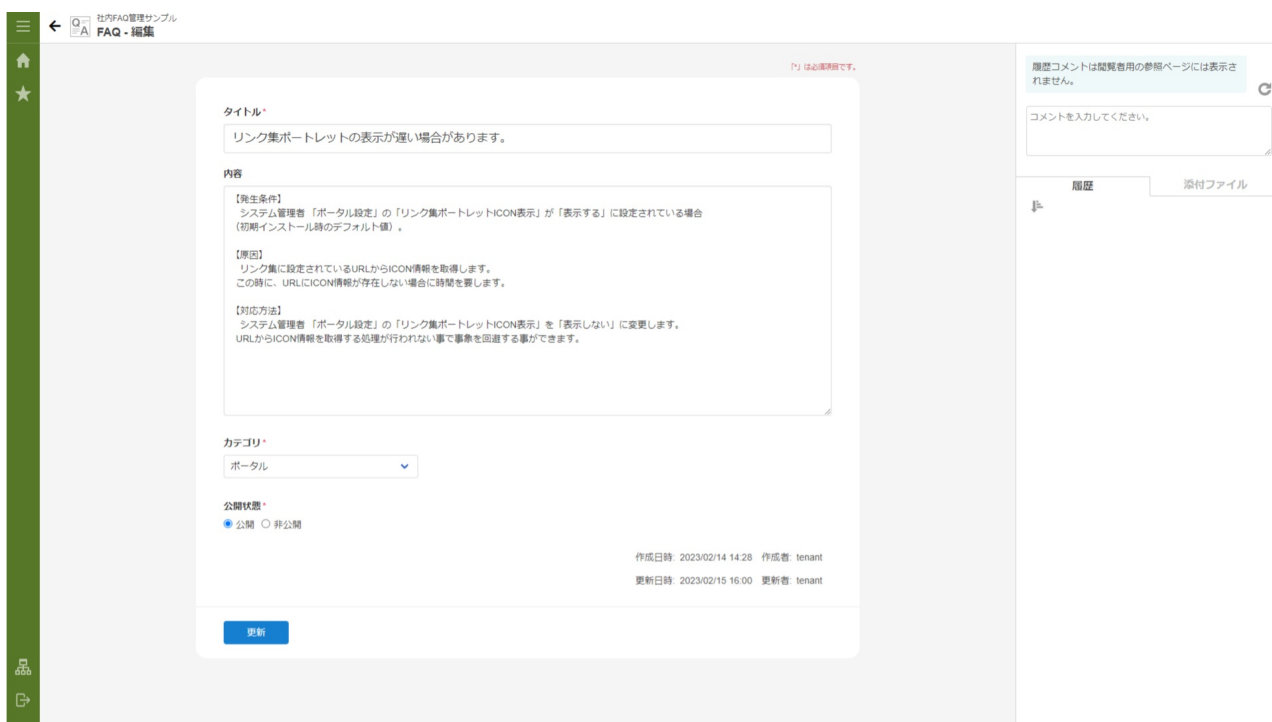


FAQ編集画面

「FAQ編集画面」では、FAQ情報の編集ができます。

「管理者用FAQ一覧画面」で任意のFAQを選択すると、選択したFAQの「FAQ編集画面」に遷移できます。

画面右側には履歴・コメント機能が用意されています。



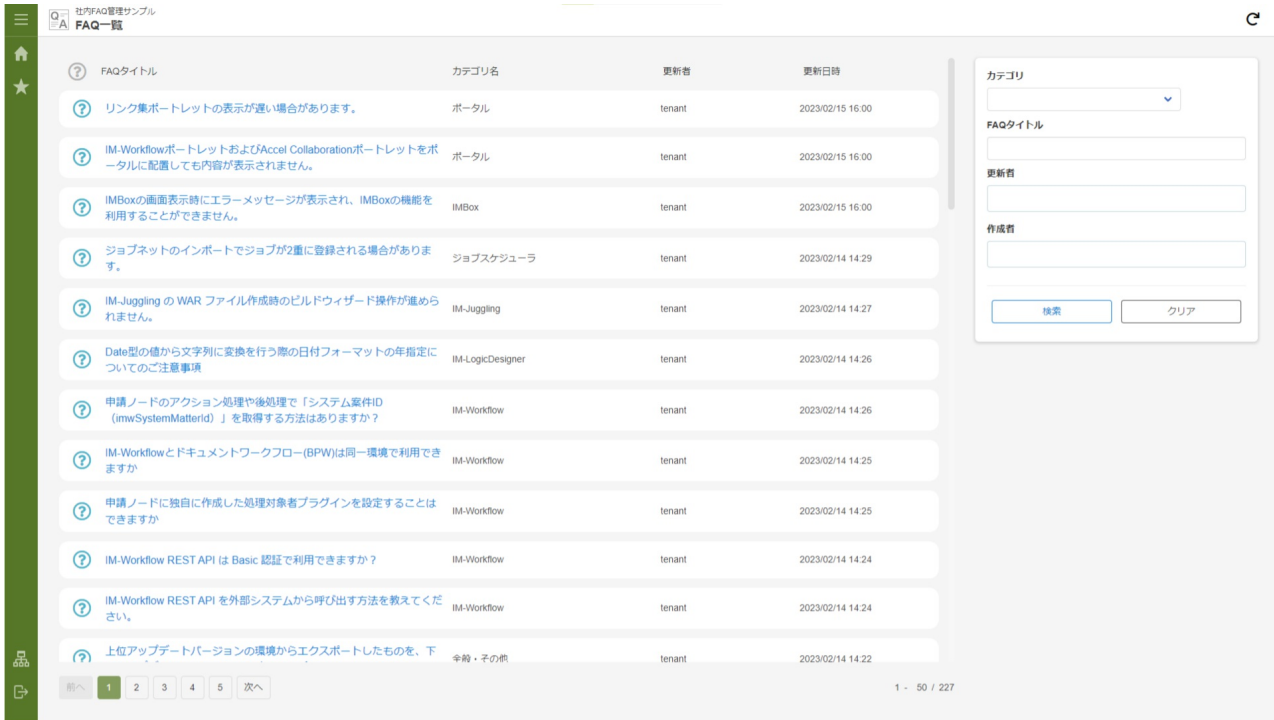
### コラム

履歴・コメント機能については、「履歴・コメントモジュールユーザ操作ガイド」をご確認ください。

FAQ一覧画面

「FAQ一覧画面」では、「公開」状態かつ所属するカテゴリが「有効」状態のFAQのみ表示されます。

「非公開」状態のFAQの参照や、FAQ情報の登録・編集はできません。



### FAQ参照画面

「FAQ参照画面」では、FAQ情報の参照ができます。

「FAQ一覧画面」で任意のFAQを選択すると、選択したFAQの「FAQ参照画面」に遷移できます。

「FAQ参照画面」は「FAQ一覧画面」からのみ遷移できます。



### テンプレートの活用例

「社内FAQ管理」テンプレートを活用したアプリケーションの例をご紹介します。

例：ドキュメントのURLをカテゴリ分けして管理するアプリケーション

カテゴリをつけてマスタを管理するアプリケーションとして、弊社ドキュメントにカテゴリをつけて管理するアプリケーションを作成できます。

- ・一覧テーブルの表示項目を減らし、URLの項目に変更しました。
- ・「URL」列は「FAQタイトル」列の要素を参考に、ハイパーリンク要素で作成できます。

ドキュメントの管理 ドキュメント一覧	ドキュメントタイトル	カテゴリ名	URL	更新日時
	IM-LogicDesigner ユーザ操作ガイド	IM-LogicDesigner	https://document.intra-m...	2023/02/15 14:25
	IM-LogicDesigner仕様書	IM-LogicDesigner	https://document.intra-m...	2023/02/15 14:25
	ユーザ操作ガイド	IM-BPM	https://document.intra-m...	2023/02/15 14:25
	IM-BPM チュートリアルガイド	IM-BPM	https://document.intra-m...	2023/02/15 14:24
	IM-Workflow ユーザ操作ガイド	IM-Workflow	https://document.intra-m...	2023/02/15 14:24
	IM-Workflow 管理者操作ガイド	IM-Workflow	https://document.intra-m...	2023/02/15 14:24
	IM-BloomMaker プログラミングガイド	IM-BloomMaker	https://document.intra-m...	2023/02/15 14:18
	ViewCreator ユーザ操作ガイド	ViewCreator	https://document.intra-m...	2023/02/15 14:18
	IM-BloomMaker チュートリアルガイド	IM-BloomMaker	https://document.intra-m...	2023/02/15 14:18
	業務管理者 操作ガイド	IM-BIS	https://document.intra-m...	2023/02/15 14:18
	IM-FormaDesigner / IM-BIS トラブルシューティング	IM-BIS	https://document.intra-m...	2023/02/15 14:15
	IM-Workflow トラブルシューティング	IM-Workflow	https://document.intra-m...	2023/02/15 14:12

1 - 15 / 15

## 休暇申請ワークフロー

このページでは「休暇申請ワークフロー」テンプレートの概要、アプリケーション作成手順、画面イメージや操作方法について解説します。

### 目次

- 「休暇申請ワークフロー」テンプレートとは
- 「休暇申請ワークフロー」テンプレートの利用方法
  - アプリケーションの作成手順
  - アプリケーションのアクセス手順
  - アプリケーションの画面イメージと操作方法

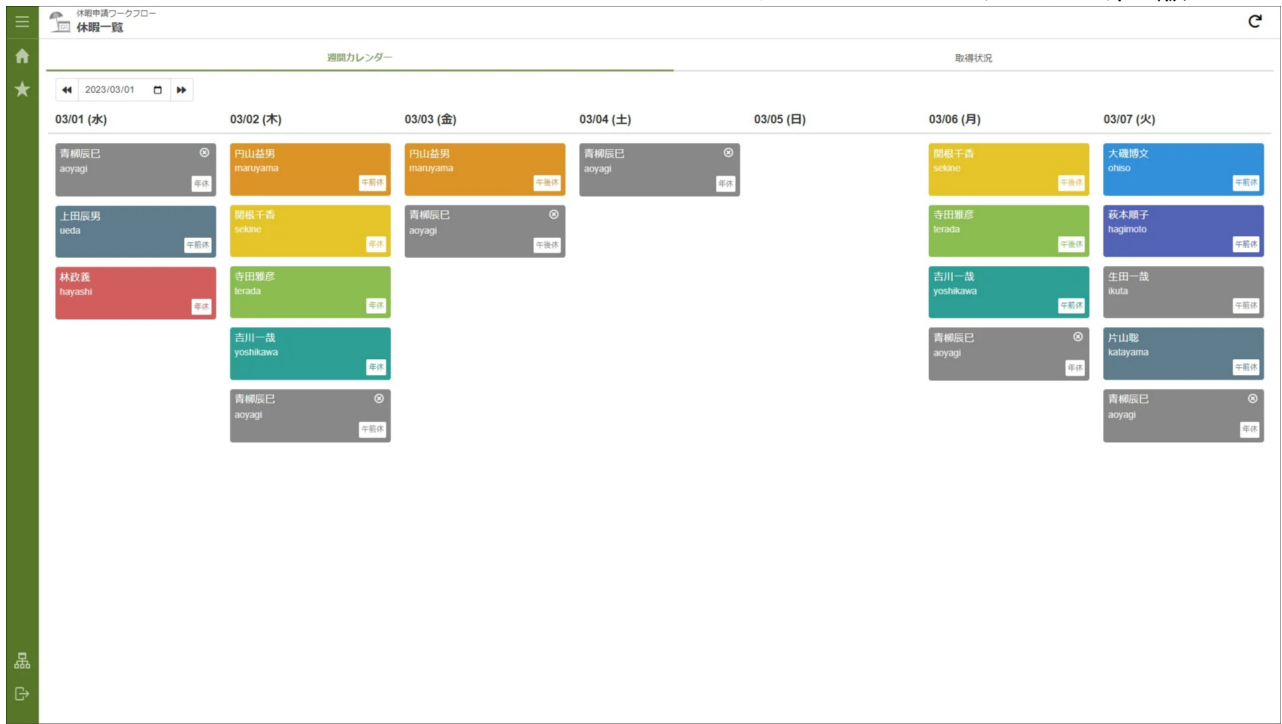
### 「休暇申請ワークフロー」テンプレートとは



「休暇申請ワークフロー」テンプレートは、休暇日をワークフローから申請したり、休暇日の一覧を週間のカレンダーで閲覧できるアプリケーションです。

休暇申請はワークフローによる承認を必要とします。





**i コラム**

「休暇申請ワークフロー」テンプレートは2022 Spring(Eustoma)から利用できます。

「休暇申請ワークフロー」テンプレートの利用方法

「休暇申請ワークフロー」テンプレートを利用したアプリケーションの作成手順と「休暇申請ワークフロー」アプリケーションの操作方法をご紹介します。

アプリケーションの作成手順

「休暇申請ワークフロー」テンプレートを利用してアプリケーションを作成する手順についてご紹介します。

1. アプリケーション作成画面への遷移

Accel Studioの「業務テンプレート一覧」から「休暇申請ワークフロー」テンプレートを選択します。

Accel Studioの「業務テンプレート一覧」は、「サイトマップ」→「Accel Studio」→「業務テンプレート一覧」から遷移できます。



2. アプリケーションのIDや名称などの設定

「休暇申請ワークフロー」テンプレートを選択し、アプリケーション情報の設定画面が表示されたら、アプリケーションのIDや名称などを設定します。

設定した基本情報は、各処理や画面の名称、IDなどに利用されます。



3. データベースのテーブルに利用する名称の定義

次に、作成するアプリケーションで扱うデータベースのテーブルに利用する名称を定義します。「休暇申請ワークフロー」テンプレートでは、既存のテーブルはご利用いただけません。ここでは、3つのテーブルの名称を設定します。

- ユーザ情報テーブル名

休暇の申請内容を含めたユーザ情報を保持するテーブルです。

- 休暇日テーブル名

申請された休暇の日付データを保持するテーブルです。

- 休暇区分マスタテーブル名

申請時に選択する休暇区分（年休・午前休など）のマスタデータを保持するテーブルです。



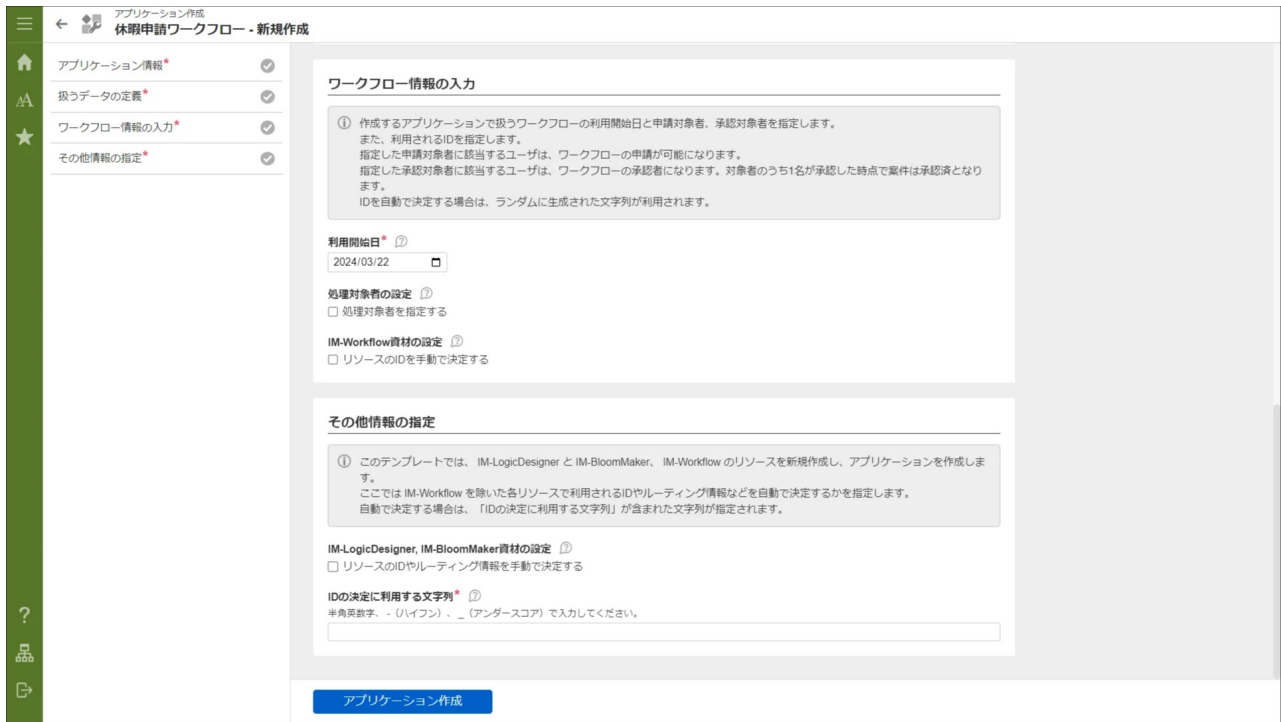
**i** コラム

テーブル情報に標準で設定されている各項目の表示名は、多言語化対応が行われ、各画面に表示されます。新規で追加した項目については、多言語化されずに標準口ケールにのみ設定されます。新規で追加した項目に多言語化対応が必要な場合は、アプリケーション作成後に、IM-BloomMakerで作成された「画面」へアクセスし、「多言語を定義する」の方法にて各口ケールの表示名を設定してください。



4. ワークフロー情報の入力

作成するアプリケーションで扱うワークフローの利用開始日、処理対象者を指定します。



1. 利用開始日

ワークフローの利用が可能となる日付を指定します。この項目は必須です。

2. 処理対象者の設定

「処理対象者を指定する」を選択すると、申請対象者と承認対象者をユーザまたはロールで指定できます。セレクトボックスから「ユーザ」または「ロール」を選択し、「追加」から任意の処理対象者を指定します。



**i** コラム

申請対象者に指定されたユーザまたはロールを所持したユーザのワークフロー「申請一覧」画面に作成されたワークフローが表示されます。

アプリケーション作成時に処理対象者を指定していない場合、作成されたワークフローはどのユーザの「申請一覧」画面にも表示されません。

「申請一覧」画面は、「サイトマップ」→「ワークフロー」→「一覧」→「申請一覧」から遷移できます。

「申請一覧」画面については、「IM-Workflow ユーザ操作ガイド」-「申請一覧」をご確認ください。

3. IM-Workflow資材の設定

ワークフローのコンテンツ定義、ルート定義、フロー定義の各IDを手動で入力する場合に利用します。

## 5. その他情報の指定

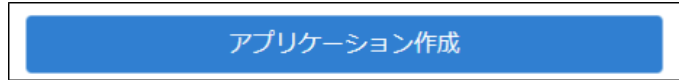
作成されるアプリケーションに利用されるリソースのIDやルーティング情報を手動で決定できます。

チェックを入れないことを推奨します。

## 6. アプリケーション作成開始

アプリケーションの基本情報と、テーブル名を入力したら「アプリケーション作成」ボタンをクリックしてください。

入力項目に不備が無ければ自動でアプリケーションの作成ができます。



## 7. アプリケーション作成結果

アプリケーション作成が完了すると、ステータスが「COMPLETE」と表示されます。

ビルドジョブID	89q1bgcy2j9j9h	テンプレート名	休暇申請ワークフロー
ステータス	COMPLETE	作成者ユーザコード	tenant
作成日時	2023/03/03 10:50:50		

出力日時	メッセージ	詳細
2023/03/03 10:50:51	生成するリソースのIDを自動設定します。	
2023/03/03 10:50:51	生成する IM-Workflow リソースのIDを自動設定します。	
2023/03/03 10:50:52	一時的ディレクトリに IM-LogicDesigner インポート資料を作成しました。	
2023/03/03 10:50:52	一時的ディレクトリに IM-BloomMaker インポート資料を作成しました。	
2023/03/03 10:50:52	一時的ディレクトリに IM-Workflow インポート資料を作成しました。	
2023/03/03 10:50:52	アプリケーションで使用するテーブルを新規作成しました。	
2023/03/03 10:50:52	CREATE TABLE "holiday_request_sample_user" ("user_data_id" VARCHAR(100), "user_cd" VARCHAR(100), "holiday_class" VARCHAR(100), "holiday_reason" VARCHAR(1000), "holiday_color" VARCHAR(100), "is_approved" INTEGER, "create_user" VARCHAR(100), "create_date" TIMESTAMP, "update_user" VARCHAR(100), "update_date" TIMESTAMP PRIMARY KEY ("user_data_id")); CREATE TABLE "holiday_request_sample_day" ("user_data_id" VARCHAR(100), "holiday_date" VARCHAR(100), "holiday_date" TIMESTAMP, "is_deleted" INTEGER, "delete_reason" VARCHAR(1000), "delete_date" TIMESTAMP, "create_user" VARCHAR(100), "update_date" TIMESTAMP, "update_user" VARCHAR(100), PRIMARY KEY ("user_data_id", "holiday_date_id")); CREATE TABLE "holiday_request_sample_master" ("holiday_class" VARCHAR(100), "holiday_class_name" VARCHAR(100) NOT NULL, PRIMARY KEY ("holiday_class", "holiday_class_name"))	
2023/03/03 10:50:52	アプリケーションで使用する休暇区分情報を初期登録しました。休暇区分情報をメンテナンスする場合は「マスタメンテナンス」テンプレートでテーブル名に「holiday_request_sample_master」を指定してアプリケーションを作成してください。	
2023/03/03 10:50:52	INSERT INTO "holiday_request_sample_master" ("holiday_class", "holiday_class_name") VALUES ('yearly_leave', '年休'); INSERT INTO "holiday_request_sample_master" ("holiday_class", "holiday_class_name") VALUES ('absent_amr', '年勤休'); INSERT INTO "holiday_request_sample_master" ("holiday_class", "holiday_class_name") VALUES ('absent_pm', '午後休');	
2023/03/03 10:50:52	自動生成された IM-LogicDesigner 資料をインポートしました。	
2023/03/03 10:50:58	自動生成された IM-BloomMaker 資料をインポートしました。	
2023/03/03 10:50:59	自動生成された IM-Workflow 資料をインポートしました。	
2023/03/03 10:50:59	作成された「休暇一覧画面」へはこちらの詳細アイコンから遷移できます。	<a href="#">☑</a>
2023/03/03 10:50:59	申請権限のあるユーザの「申請一覧」にフローが追加されました。「申請一覧」へはこちらの詳細アイコンから遷移できます。	<a href="#">☑</a>
2023/03/03 10:51:00	アプリケーションの作成が完了しました。	<a href="#">☑</a>
2023/03/03 10:51:00	アプリケーション認可設定でテナント管理者 Accel Studio 管理者 にアクセス許可が設定されました。	

### コラム

作成したアプリケーションは、初期設定では「テナント管理者」または「Accel Studio管理者」ロールを持ったユーザのみ利用できます。

任意のユーザに対して、利用を許可したい場合の設定方法は、「Accel Studio アプリケーション管理機能仕様書」 - 「Accel Studio アプリケーション認可設定」をご確認ください。

### アプリケーションのアクセス手順

作成したアプリケーションへアクセスする方法をご紹介します。

「休暇申請ワークフロー」テンプレートから作成されるアプリケーションは、「休暇一覧画面」を起点として操作することを想定しています。

以下では「休暇一覧画面」へのアクセス手順について説明します。

- 「テンプレートビルドジョブ - 詳細」画面から遷移する
- 画面のURLを取得する

### コラム

「休暇申請ワークフロー」テンプレートから作成されたワークフローは、アプリケーション作成時に指定した処理対象者の「申請一覧」画面に表示されます。

「申請一覧」画面は、「サイトマップ」→「ワークフロー」→「一覧」→「申請一覧」から遷移できます。






ワークフローのフロー名は、アプリケーション名と同様の文字列で作成されます。

「申請一覧」画面については、「IM-Workflow ユーザ操作ガイド」 - 「申請一覧」をご確認ください。

「テンプレートビルドジョブ - 詳細」画面から遷移する

「テンプレートビルドジョブ - 詳細」画面はアプリケーション作成完了後に表示されます。

「テンプレートビルドジョブ - 詳細」画面のステータスが「COMPLETE」と表示されたら、「作成された「休暇一覧画面」へはこちらの詳細アイコン

ビルドジョブID	8gq1bgcy2ip9sh	テンプレート名	休暇申請ワークフロー
ステータス	● COMPLETE	作成者ユーザコード	tenant
作成日時	2023/03/03 10:50:50		
出力日時	メッセージ		詳細
2023/03/03 10:50:51	生成するリソースのIDを自動設定します。		
2023/03/03 10:50:51	生成する IM-Workflow リソースのIDを自動設定します。		
2023/03/03 10:50:52	一時ディレクトリに IM-LogicDesigner インポート素材を作成しました。		
2023/03/03 10:50:52	一時ディレクトリに IM-BloomMaker インポート素材を作成しました。		
2023/03/03 10:50:52	一時ディレクトリに IM-Workflow インポート素材を作成しました。		
2023/03/03 10:50:52	アプリケーションで利用するテーブルを新規作成しました。		
2023/03/03 10:50:52	CREATE TABLE "holiday_request_sample_user" ("user_data_id" VARCHAR(100), "user_cd" VARCHAR(100), "holiday_class" VARCHAR(100), "holiday_reason" VARCHAR(1000), "holiday_color" VARCHAR(100), "is_approved" INTEGER, "create_user" VARCHAR(100), "create_date" TIMESTAMP, "update_user" VARCHAR(100), "update_date" TIMESTAMP, PRIMARY KEY ("user_data_id")); CREATE TABLE "holiday_request_sample_day" ("user_data_id" VARCHAR(100), "holiday_date_id" VARCHAR(100), "holiday_date" TIMESTAMP, "is_deleted" INTEGER, "delete_reason" VARCHAR(1000), "delete_date" TIMESTAMP, "create_date" TIMESTAMP, "create_user" VARCHAR(100), "update_date" TIMESTAMP, "update_user" VARCHAR(100), PRIMARY KEY ("user_data_id", "holiday_date_id")); CREATE TABLE "holiday_request_sample_master" ("holiday_class" VARCHAR(100), "holiday_class_name" VARCHAR(100) NOT NULL, PRIMARY KEY ("holiday_class"))		
2023/03/03 10:50:52	アプリケーションで利用する休暇区分情報を初期登録しました。休暇区分情報をメンテナンスする場合は「マスタメンテナンス」テンプレートでテーブルに「holiday_request_sample_master」を指定してアプリケーションを作成してください。		
2023/03/03 10:50:52	INSERT INTO "holiday_request_sample_master" ("holiday_class", "holiday_class_name") VALUES ('yearly_leave', '年休'); INSERT INTO "holiday_request_sample_master" ("holiday_class", "holiday_class_name") VALUES ('absent_am', '午前休'); INSERT INTO "holiday_request_sample_master" ("holiday_class", "holiday_class_name") VALUES ('absent_pm', '午後休');		
2023/03/03 10:50:52	自動生成された IM-LogicDesigner 素材をインポートしました。		
2023/03/03 10:50:58	自動生成された IM-BloomMaker 素材をインポートしました。		
2023/03/03 10:50:59	自動生成された IM-Workflow 素材をインポートしました。		
2023/03/03 10:50:59	作成された「休暇一覧画面」へはこちらの詳細アイコンから遷移できます。		
2023/03/03 10:50:59	申請権限のあるユーザの「申請一覧」にフローが追加されました。「申請一覧」へはこちらの詳細アイコンから遷移できます。		
2023/03/03 10:51:00	アプリケーションの作成が完了しました。		
2023/03/03 10:51:00	アプリケーション認可設定でテナント管理者、Accel Studio 管理者にアクセス許可が設定されました。		

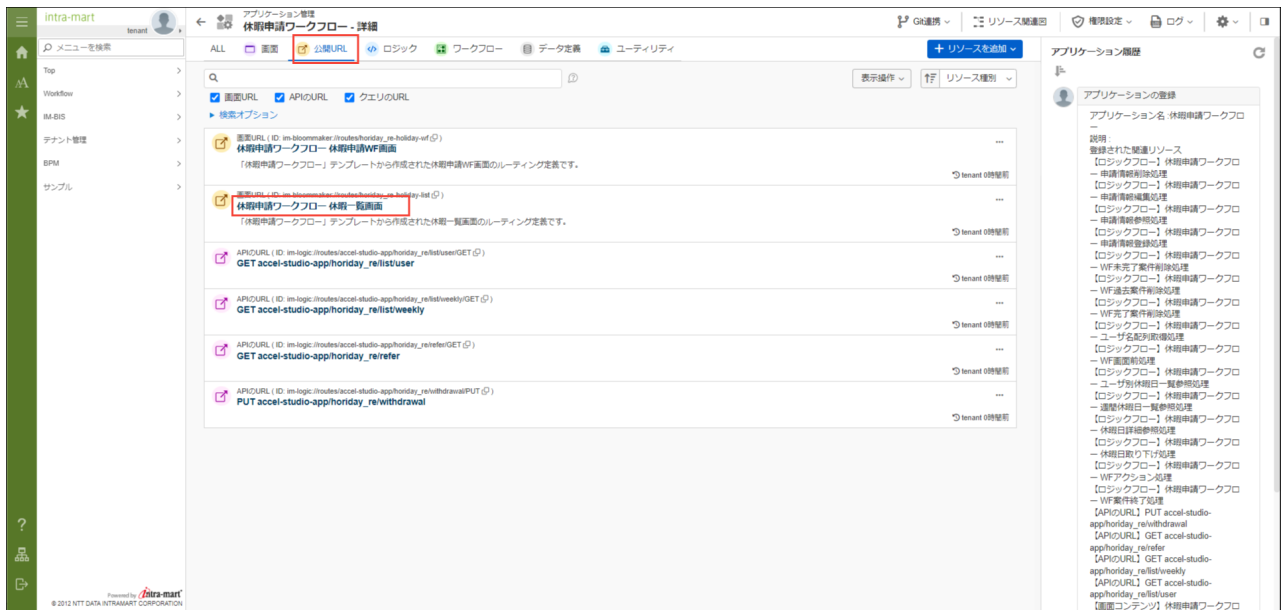
**コラム**  
 「テンプレートビルドジョブ - 詳細」画面は、「サイトマップ」→「Accel Studio」→「アプリケーション作成」→「テンプレートビルドジョブ」に遷移し、作成したアプリケーションの「詳細」をクリックすることで表示できます。

画面のURLを取得する

「休暇申請ワークフロー」テンプレートから作成したアプリケーションは「休暇申請ワークフロー画面」「休暇一覧画面」のそれぞれに画面URLが定義されています。

1. 「ルーティング定義編集」画面への遷移

「サイトマップ」→「Accel Studio」→「アプリケーション一覧」で、「自動生成されたアプリケーション」カテゴリを選択します。作成したアプリケーションを選択し、「アプリケーション構成情報」画面が表示されたら、「公開URL」タブをクリックしてください。続いて、URLを取得したい画面のカードをクリックし、「ルーティング定義編集」画面を開きます。



2. URLを取得

「URL」の  をクリックすることで、URLがクリップボードにコピーされます。

IM-BloomMaker ルーティング定義編集

ルーティング 詳細

カテゴリ

カテゴリID: im\_accel\_studio  
カテゴリ名: 業務テンプレートから作成

ルーティングID: holiday\_request\_sample-holiday-list

コンテンツ

コンテンツID: holiday\_request\_sample-holiday-list  
コンテンツ名: 休暇申請ワークフロー- 休暇一覧画面

コンテンツバージョン番号

最新バージョンを使用する  
 使用するバージョンを指定する  
利用バージョン: \*

メソッド: GET

URL: /mart/accel-studio-app/holiday\_request\_sample/list

認可URI: im-bloommaker-content:/contents/route/holiday\_request\_sample-holiday-list

ルーティング名

優先度: \*

休暇申請ワークフロー- 休暇一覧画面

備考

優先度: \*

「休暇申請ワークフロー」テンプレートから作成されたルーティング定義です。

更新 削除

### コラム

取得したURLは、初期設定では「テナント管理者」または「Accel Studio管理者」ロールを持ったユーザのみアクセス可能です。

任意のユーザに対して、利用を許可したい場合の設定方法は、「[Accel Studio アプリケーション管理機能 仕様書](#)」 - 「[Accel Studio アプリケーション認可設定](#)」をご確認ください。

### コラム

作成したアプリケーションをグローバルメニューに追加したい場合は、グローバルナビ設定をご利用ください。

グローバルナビの設定方法は、「[ファーストステップガイド](#)」 - 「[管理者が一般ユーザ向けのメニューを作成する](#)」をご確認ください。

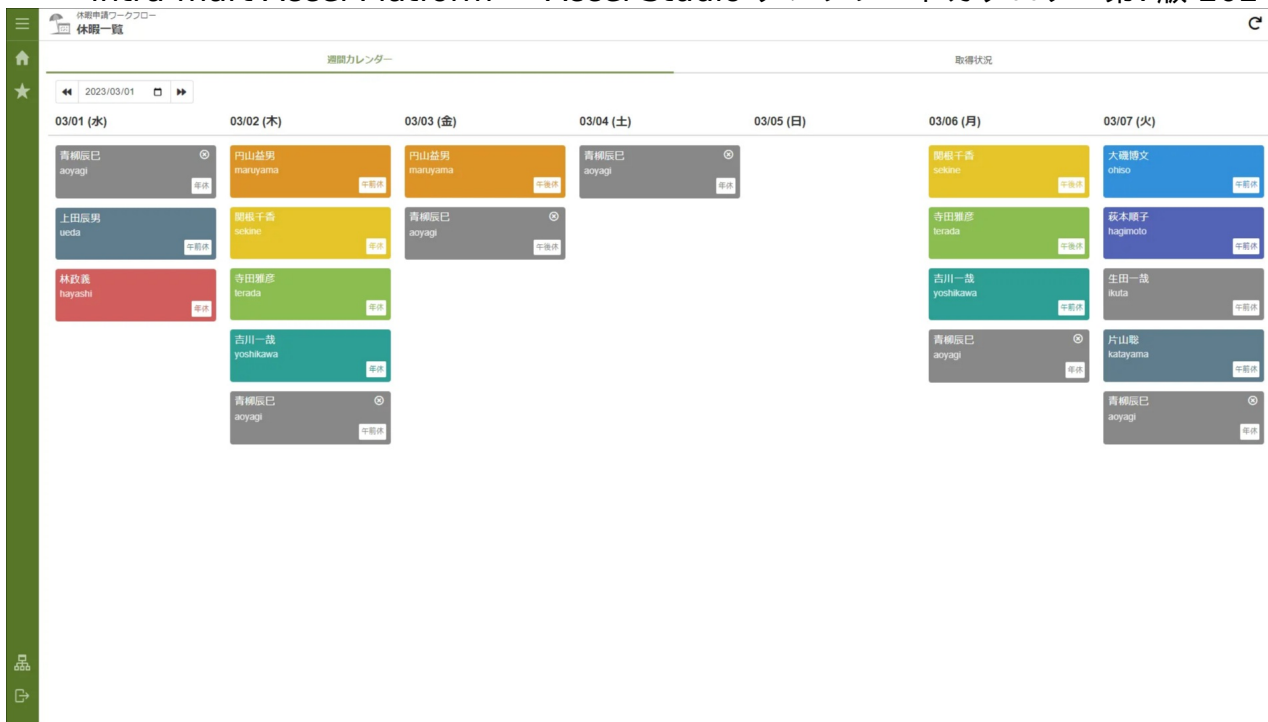
## アプリケーションの画面イメージと操作方法

「休暇申請ワークフロー」テンプレートから作成されるアプリケーションは、「休暇一覧画面」を起点として操作することを想定しています。

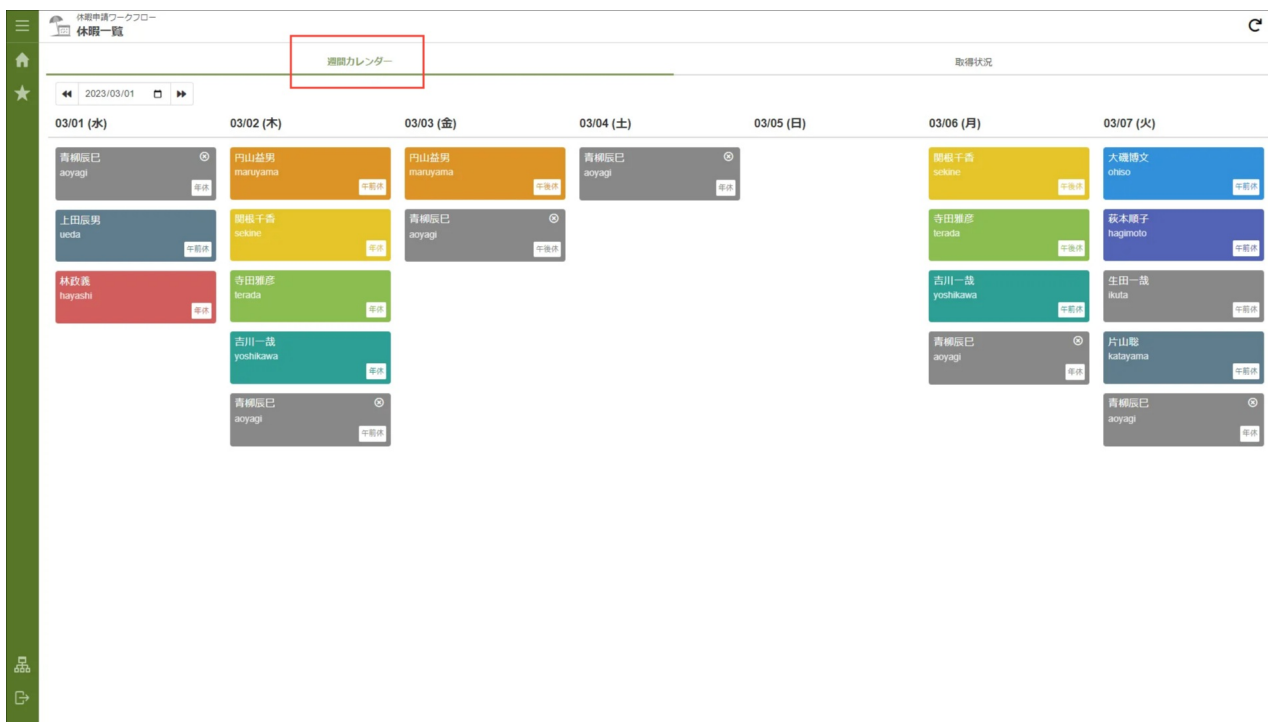
休暇日をワークフローから申請し、承認されると、「[休暇一覧画面](#)」の対象日に申請者の休暇日カードが表示されます。

### 休暇一覧画面

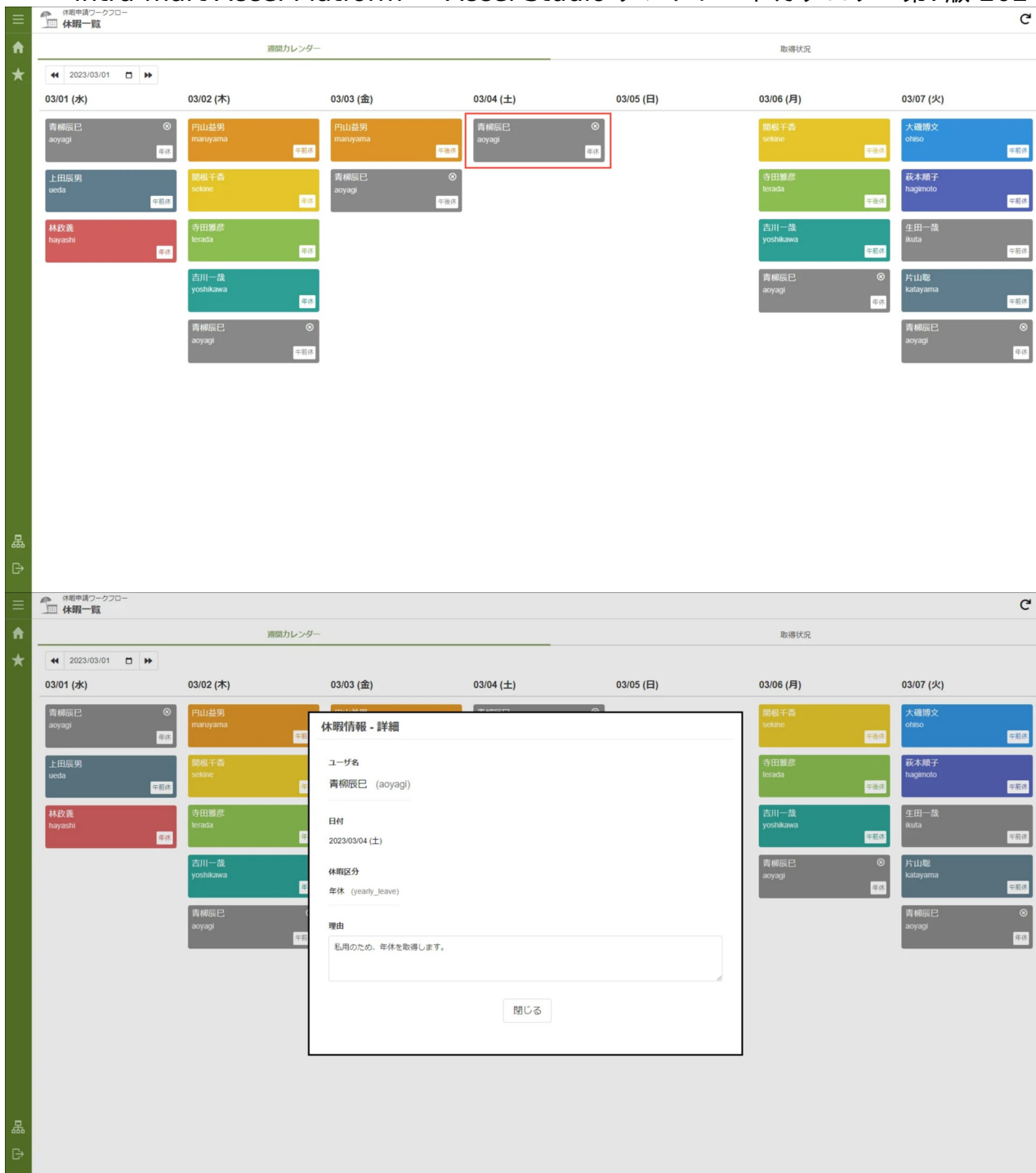
「休暇一覧画面」では、「週間カレンダー」タブをクリックすることで週単位の休暇一覧表示に、「取得状況」タブをクリックすることでユーザごとの休暇一覧表示に切り替えることができます。



「週間カレンダー」タブでは、ワークフローで申請した休暇日が週単位で表示されます。



休暇日カードをクリックすることで、選択した休暇日カードの詳細情報を閲覧できます。



また、休暇日カードの右上の×ボタンをクリックすることで、休暇日を取り下げられます。

The screenshot displays the '休暇一覧' (Leave List) application interface. The top section shows a calendar view for the month of March 2023, with dates from 03/01 to 03/07. Each date has a grid of colored cards representing leave requests for different users. A red box highlights a specific card for user '青柳辰巳' (Aoyagi) on 03/04 (土).

The bottom section shows the same calendar view with a modal dialog titled '休暇情報 - 取り下げ' (Leave Information - Withdrawal) open. The dialog contains the following information:

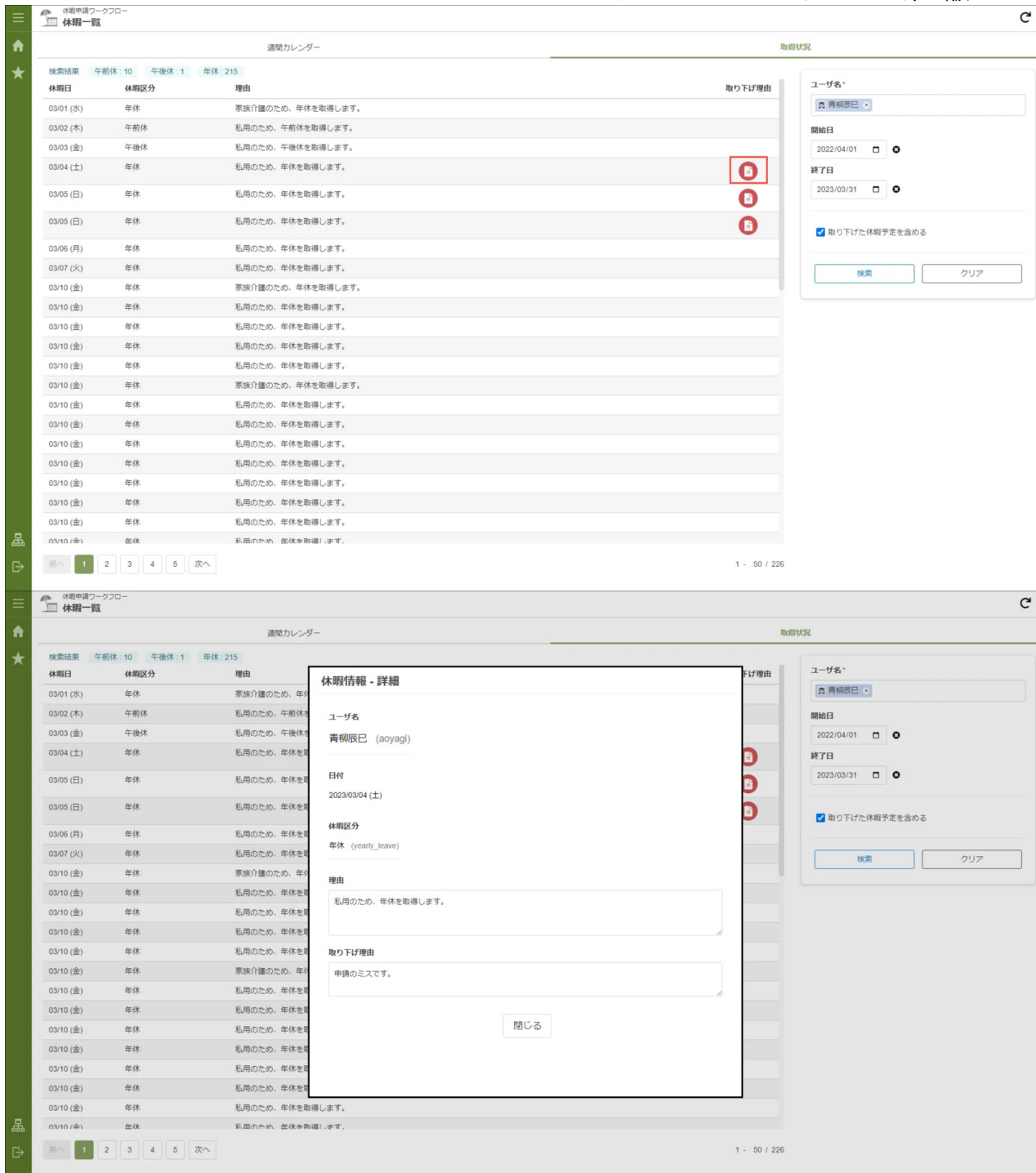
- 警告:** 以下の休暇を取り下げます。よろしいですか？ (I will withdraw the following leave. Is it all right?)
- ユーザ名:** 青柳辰巳 (aoyagi)
- 対象日:** 2023/03/04 (土)
- 休暇区分:** 年休 (yearly\_leave)
- 理由:** 私用のため、年休を取得します。 (For private use, I will take a year leave.)
- 取り下げ理由:** (A text input field for withdrawal reason, currently empty)
- ボタン:** キャンセル (Cancel) and 取り下げる (Withdraw) (highlighted in red)

「取得状況」タブでは、ユーザごとの休暇取得一覧が表示されます。  
 検索条件で「ユーザ名」や「開始日」「終了日」を指定することで、特定の条件の休暇取得一覧も閲覧できます。





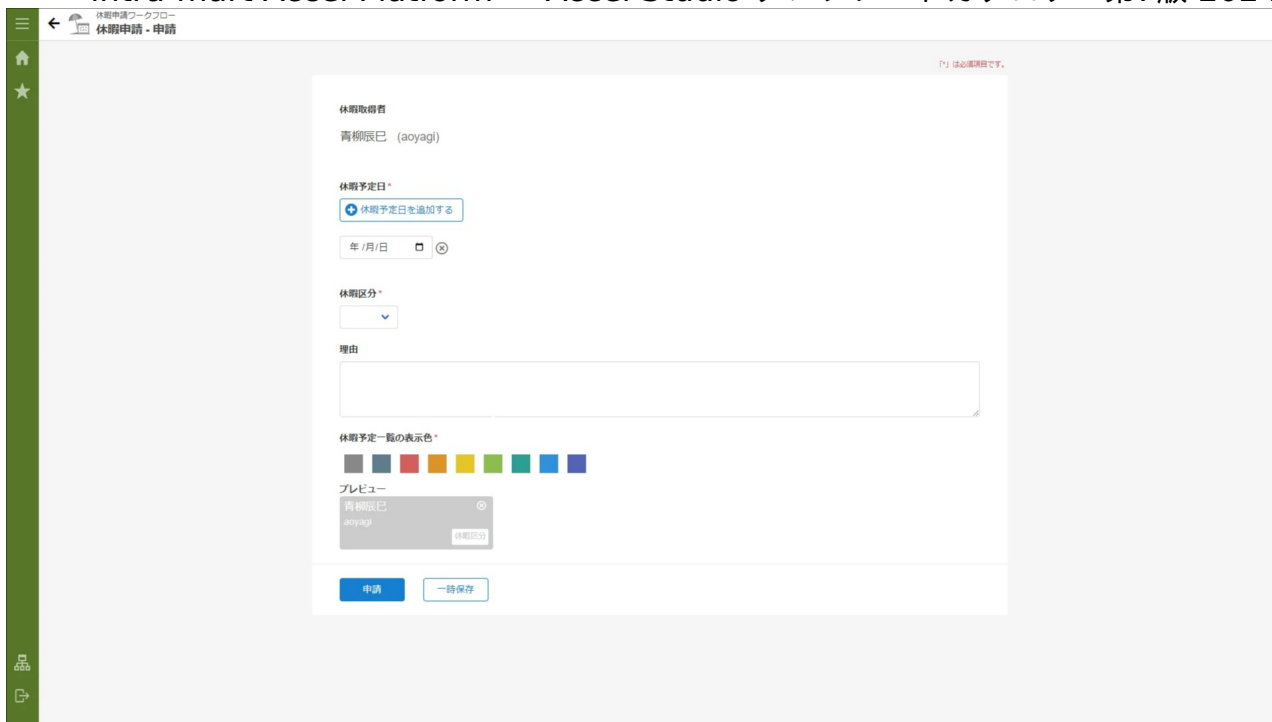




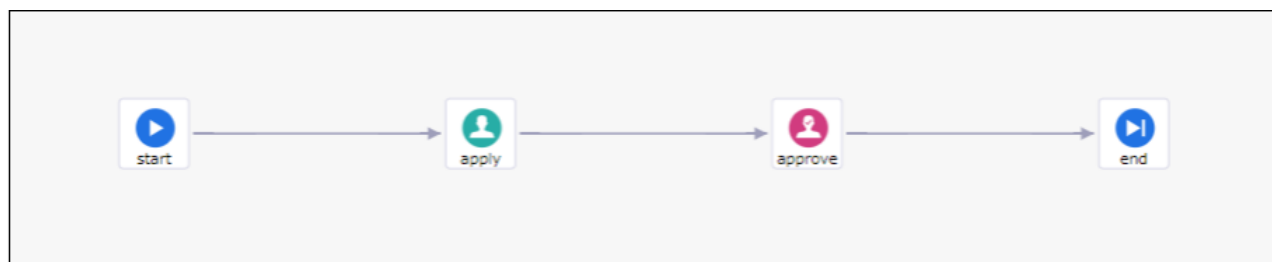
休暇申請ワークフロー画面

「休暇申請ワークフロー」テンプレートから作成されるワークフローの申請画面について説明します。

アプリケーション名と同様のフロー名で作成されたワークフローは、「申請一覧」画面から申請できます。「申請一覧」画面は、「サイトマップ」→「ワークフロー」→「一覧」→「申請一覧」から遷移できます。



「休暇申請ワークフロー」テンプレートから作成されるフローは「申請」と「承認」が用意されています。ワークフローを「承認」すると休暇日カードが作成され、「[休暇一覧画面](#)」に表示されます。



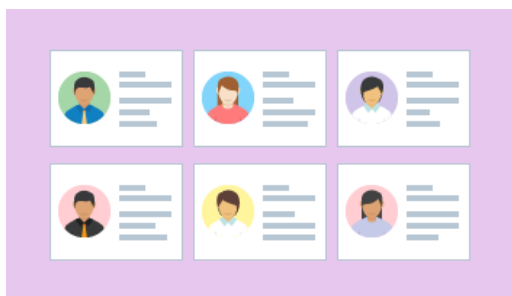
## 自己紹介

このページでは「自己紹介」テンプレートの概要、アプリケーション作成手順、画面イメージ、操作方法と活用例について解説します。

### 目次

- 「自己紹介」テンプレートとは
- 「自己紹介」テンプレートの利用方法
  - アプリケーションの作成手順
  - アプリケーションのアクセス手順
  - アプリケーションの画面イメージと操作方法
  - テンプレートの活用例

### 「自己紹介」テンプレートとは



「自己紹介」テンプレートは、チームメンバーのプロフィールを共有できるアプリケーションです。共通マスタに登録された所属組織や連絡先などを参照するほか、自己紹介文を登録・編集・参照できます。



**コラム**  
「自己紹介」テンプレートは2022 Spring(Eustoma)から利用できます。

### 「自己紹介」テンプレートの利用方法

「自己紹介」テンプレートを利用したアプリケーションの作成手順と「自己紹介」アプリケーションの操作方法をご紹介します。

#### アプリケーションの作成手順

「自己紹介」テンプレートを利用してアプリケーションを作成する手順についてご紹介します。

##### 1. アプリケーション作成画面への遷移

Accel Studioの「業務テンプレート一覧」から「自己紹介」テンプレートを選択します。

Accel Studioの「業務テンプレート一覧」は、「サイトマップ」→「Accel Studio」→「業務テンプレート一覧」から遷移できます。



##### 2. アプリケーションのIDや名称などの設定

「自己紹介」テンプレートを選択し、アプリケーション情報の設定画面が表示されたら、アプリケーションのIDや名称などを設定します。設定した基本情報は、各処理や画面の名称、IDなどに利用されます。



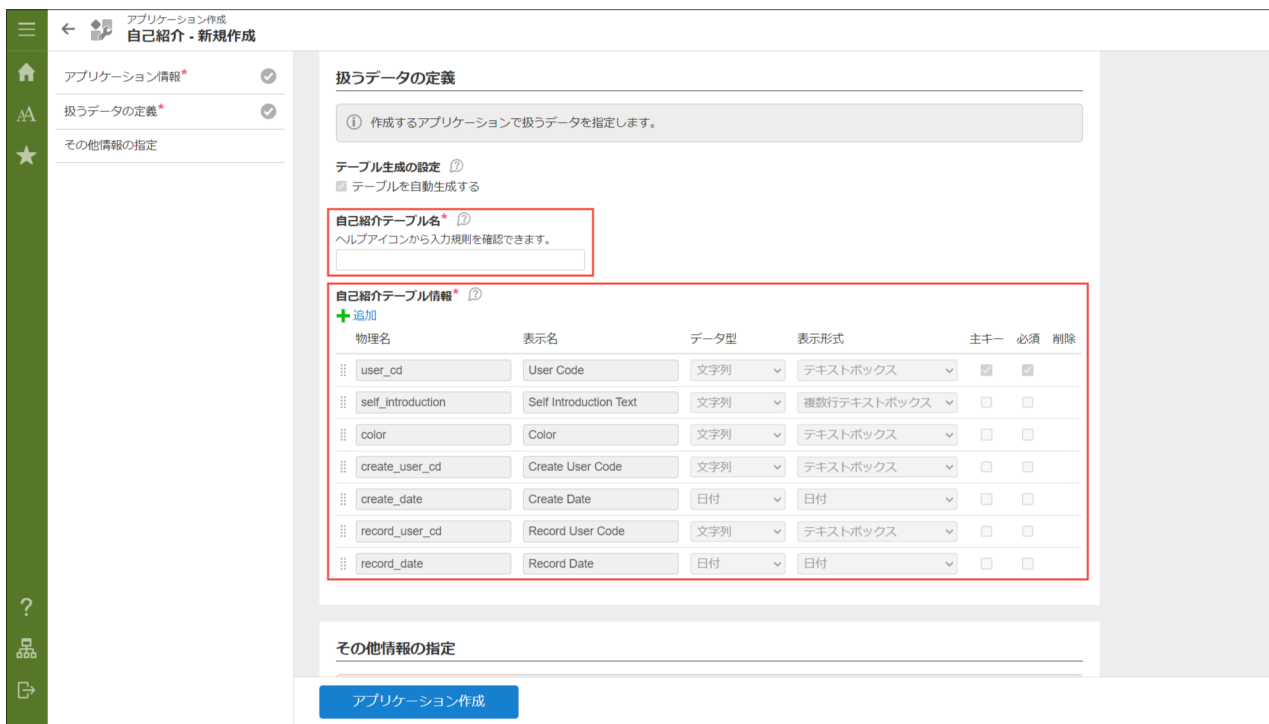
3. データベースのテーブルに利用する名称の定義

次に、作成するアプリケーションで扱うデータベースのテーブルに利用する名称を定義します。

ここでは、自己紹介カードの情報を保持するテーブルの名称を設定します。

なお、「自己紹介」テンプレートでは、既存のテーブルはご利用いただけません。

任意でテーブルにカラムを追加し、自己紹介カードの情報を追加できます。追加したカラムは自己紹介カードの情報として「編集画面」から編集できます。



**i** コラム

テーブル情報に標準で設定されている各項目の表示名は、多言語化対応が行われ、各画面に表示されます。

新規で追加した項目については、多言語化されずに標準ロケールにのみ設定されます。

新規で追加した項目に多言語化対応が必要な場合は、アプリケーション作成後に、IM-BloomMakerで作成された「画面」へアクセスし、「多言語を定義する」の方法にて各ロケールの表示名を設定してください。

4. その他情報の指定

作成されるアプリケーションに利用されるリソースのIDやルーティング情報を手動で決定できます。

チェックを入れないことを推奨します。

5. アプリケーション作成開始

アプリケーションの基本情報と、テーブル名を入力したら「アプリケーション作成」ボタンをクリックしてください。

入力項目に不備が無ければ自動でアプリケーションの作成ができます。

## アプリケーション作成

## 6. アプリケーション作成結果

アプリケーション作成が完了すると、ステータスが「COMPLETE」と表示されます。

ビルドジョブID	8gnrx47ers60bc	テンプレート名	自己紹介
ステータス	● COMPLETE	作成者ユーザコード	tenant
作成日時	2023/01/05 11:40:08		

出力日時	メッセージ	詳細
2023/01/05 11:40:09	生成するリソースのIDを自動設定します。	
2023/01/05 11:40:09	一時ディレクトリに IM-LogicDesigner インポート資材を作成しました。	
2023/01/05 11:40:09	一時ディレクトリに IM-BloomMaker インポート資材を作成しました。	
2023/01/05 11:40:09	アプリケーションで利用するテーブルを新規作成しました。	
2023/01/05 11:40:09	CREATE TABLE "test" ( "user_cd" VARCHAR(100), "self_introduction" VARCHAR(1000), "color" VARCHAR(100), "create_user_cd" VARCHAR(100), "create_date" TIMESTAMP, "record_user_cd" VARCHAR(100), "record_date" TIMESTAMP, PRIMARY KEY ( "user_cd" ) )	
2023/01/05 11:40:10	自動生成された IM-LogicDesigner 資材をインポートしました。	
2023/01/05 11:40:11	自動生成された IM-BloomMaker 資材をインポートしました。	
2023/01/05 11:40:11	作成された「自己紹介一覧画面」へはこちらの詳細アイコンから遷移できます。	
2023/01/05 11:40:12	アプリケーションの作成が完了しました。	
2023/01/05 11:40:12	アプリケーション認可設定で テナント管理者 Accel Studio 管理者 にアクセス許可が設定されました。	

### コラム

作成したアプリケーションは、初期設定では「テナント管理者」または「Accel Studio管理者」ロールを持ったユーザのみ利用できます。

任意のユーザに対して、利用を許可したい場合の設定方法は、「[Accel Studio アプリケーション管理機能 仕様書](#)」 - 「[Accel Studio アプリケーション認可設定](#)」をご確認ください。

### アプリケーションのアクセス手順

作成したアプリケーションへアクセスする方法をご紹介します。

「自己紹介」テンプレートから作成されるアプリケーションは、「一覧画面」を起点として操作することを想定しています。

以下では「一覧画面」へのアクセス手順について説明します。

- [「テンプレートビルドジョブ - 詳細」画面から遷移する](#)
- [画面のURLを取得する](#)



「テンプレートビルドジョブ - 詳細」画面から遷移する

「テンプレートビルドジョブ - 詳細」画面はアプリケーション作成完了後に表示されます。

「テンプレートビルドジョブ - 詳細」画面のステータスが「COMPLETE」と表示されたら、「作成された「自己紹介一覧画面」へはこちらの詳細アイコンから遷移できます。」の欄にある をクリックしてください。

アプリケーション作成  
テンプレートビルドジョブ - 詳細

ビルドジョブID	8gnx47ersf6bcb	テンプレート名	自己紹介
ステータス	● COMPLETE	作成者ユーザコード	tenant
作成日時	2023/01/05 11:40:08		

出力日時	メッセージ	詳細
2023/01/05 11:40:09	生成するリソースのIDを自動設定します。	
2023/01/05 11:40:09	一時ディレクトリに IM-LogicDesigner インポート資材を作成しました。	
2023/01/05 11:40:09	一時ディレクトリに IM-BloomMaker インポート資材を作成しました。	
2023/01/05 11:40:09	アプリケーションで利用するテーブルを新規作成しました。	
2023/01/05 11:40:09	CREATE TABLE "test" ("user_cd" VARCHAR(100), "self_introduction" VARCHAR(1000), "color" VARCHAR(100), "create_user_cd" VARCHAR(100), "create_date" TIMESTAMP, "record_user_cd" VARCHAR(100), "record_date" TIMESTAMP, PRIMARY KEY ("user_cd"))	
2023/01/05 11:40:10	自動生成された IM-LogicDesigner 資材をインポートしました。	
2023/01/05 11:40:11	自動生成された IM-BloomMaker 資材をインポートしました。	
2023/01/05 11:40:11	作成された「自己紹介一覧画面」へはこちらの詳細アイコンから遷移できます。	
2023/01/05 11:40:12	アプリケーションの作成が完了しました。	
2023/01/05 11:40:12	アプリケーション認可設定でテナント管理者 Accel Studio 管理者 にアクセス許可が設定されました。	

**i** コラム

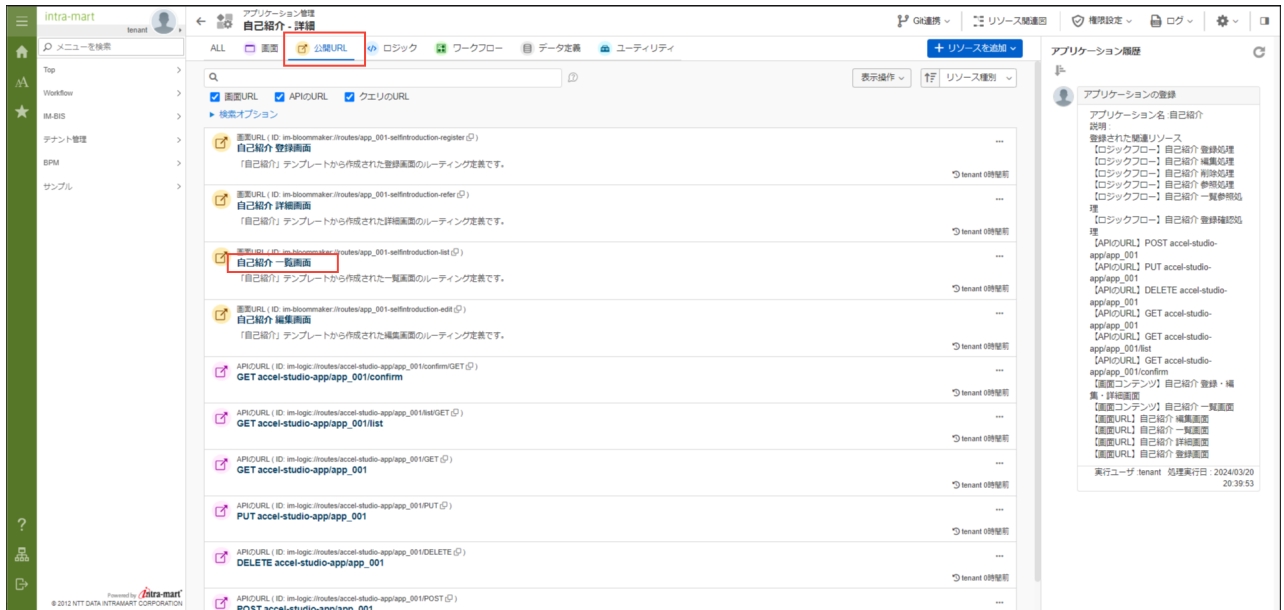
「テンプレートビルドジョブ - 詳細」画面は、「サイトマップ」→「Accel Studio」→「アプリケーション作成」→「テンプレートビルドジョブ」に遷移し、作成したアプリケーションの「詳細」をクリックすることで表示できます。

画面のURLを取得する

「自己紹介」テンプレートから作成したアプリケーションは「登録画面」「一覧画面」「詳細画面」「編集画面」のそれぞれに画面URLが定義されています。

1. 「ルーティング定義編集」画面への遷移

「サイトマップ」→「Accel Studio」→「アプリケーション一覧」で、「自動生成されたアプリケーション」カテゴリを選択します。作成したアプリケーションを選択し、「アプリケーション構成情報」画面が表示されたら、「公開URL」タブをクリックしてください。続いて、URLを取得したい画面のカードをクリックし、「ルーティング定義編集」画面を開きます。



公開URL

画面URL	APIURL	クエリのURL
重要URL (ID: im-bloomaker/routes/app_001/selfintroduction-register)		
自己紹介 登録画面 「自己紹介」テンプレートから作成された登録画面のルーティング定義です。		tenant 0時整期
重要URL (ID: im-bloomaker/routes/app_001/selfintroduction-refer)		
自己紹介 詳細画面 「自己紹介」テンプレートから作成された詳細画面のルーティング定義です。		tenant 0時整期
重要URL (ID: im-bloomaker/routes/app_001/selfintroduction-list)		
自己紹介 一覧画面 「自己紹介」テンプレートから作成された一覧画面のルーティング定義です。		tenant 0時整期
重要URL (ID: im-bloomaker/routes/app_001/selfintroduction-edit)		
自己紹介 編集画面 「自己紹介」テンプレートから作成された編集画面のルーティング定義です。		tenant 0時整期
APIURL (ID: im-logic/routes/accel-studio-app/app_001/confirm)	GET accel-studio-app/app_001/confirm	tenant 0時整期
APIURL (ID: im-logic/routes/accel-studio-app/app_001/list)	GET accel-studio-app/app_001/list	tenant 0時整期
APIURL (ID: im-logic/routes/accel-studio-app/app_001/get)	GET accel-studio-app/app_001	tenant 0時整期
APIURL (ID: im-logic/routes/accel-studio-app/app_001/put)	PUT accel-studio-app/app_001	tenant 0時整期
APIURL (ID: im-logic/routes/accel-studio-app/app_001/delete)	DELETE accel-studio-app/app_001	tenant 0時整期
APIURL (ID: im-logic/routes/accel-studio-app/app_001/post)	POST accel-studio-app/app_001	tenant 0時整期

2. URLを取得

「URL」の  をクリックすることで、URLがクリップボードにコピーされます。

IM-BloomMaker ルーティング定義編集	
ルーティング	前処理
カテゴリ	カテゴリID: im_accel_studio カテゴリ名: 業務テンプレートから作成
ルーティングID	test1-selfintroduction-register
コンテンツ	コンテンツID: test1-selfintroduction-crud コンテンツ名: 自己紹介・登録・編集・参照画面
コンテンツバージョン番号	<input checked="" type="radio"/> 最新バージョンを利用する <input type="radio"/> 利用するバージョンを指定する 利用バージョン: <input type="text"/>
メソッド	GET
URL	/imart/accel-studio-app/test1/register
認可URI	im-bloommaker-content//contents/route/test1-selfintroduction-register
ルーティング名	標準 * 自己紹介 登録画面
備考	標準 「自己紹介アプリ」テンプレートから作成されたルーティング定義です。

### コラム

取得したURLは、初期設定では「テナント管理者」または「Accel Studio管理者」ロールを持ったユーザのみアクセス可能です。

任意のユーザに対して、利用を許可したい場合の設定方法は、「[Accel Studio アプリケーション管理機能 仕様書](#)」 - 「[Accel Studio アプリケーション認可設定](#)」をご確認ください。

### コラム

作成したアプリケーションをグローバルメニューに追加したい場合は、グローバルナビ設定をご利用ください。

グローバルナビの設定方法は、「[ファーストステップガイド](#)」 - 「[管理者が一般ユーザ向けのメニューを作成する](#)」をご確認ください。

## アプリケーションの画面イメージと操作方法

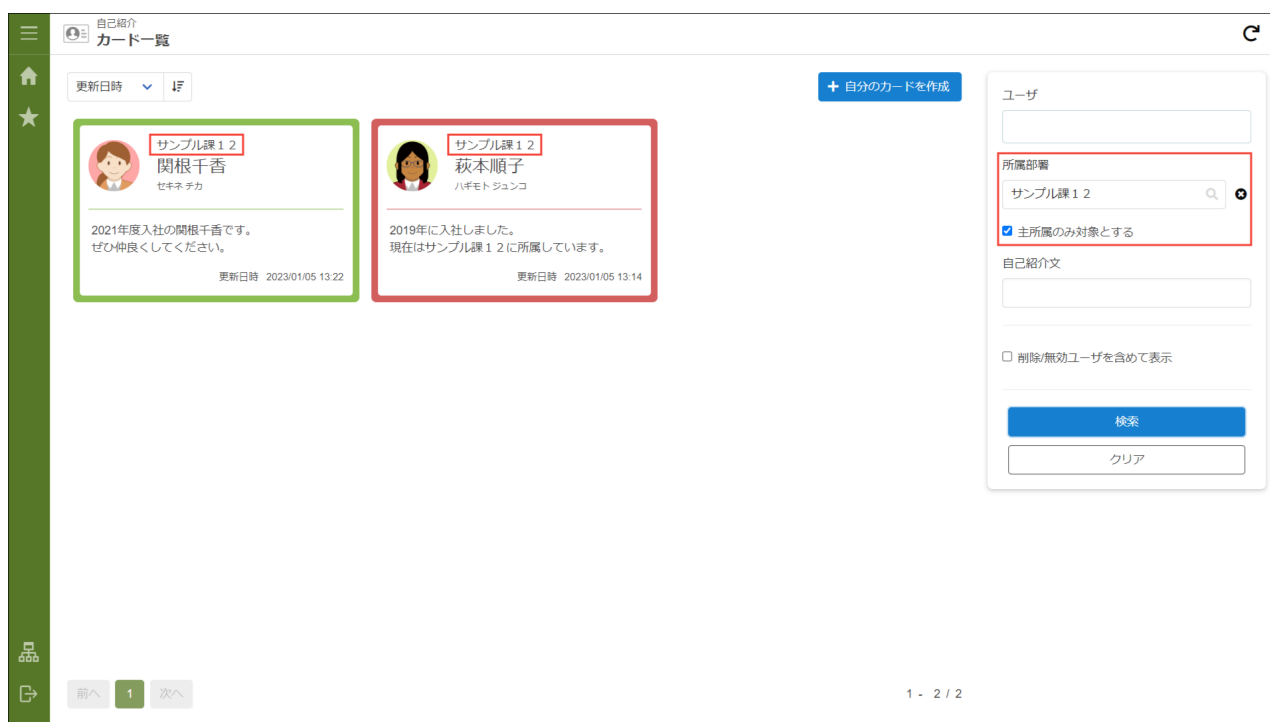
「自己紹介」テンプレートから作成されるアプリケーションは、「一覧画面」を起点として操作することを想定しています。

### 一覧画面

「一覧画面」では、各ユーザが登録した自己紹介カードを閲覧できます。



画面右側の絞り込み条件では、ユーザ、所属組織、自己紹介文から表示カードを絞り込みできます。  
 なお、アプリケーション作成時に任意で追加した項目での絞り込み機能は組み込まれていません。



新規作成画面

「自分のカードを作成」ボタンから「新規作成画面」に遷移します。「新規作成画面」では、「自己紹介文」や「カードの色」の項目を設定できます。  
 アプリケーション作成時に任意で追加した項目は、自己紹介文の下に表示されます。



自己紹介 カード一覧

更新日時 1件

[+ 自分のカードを作成](#)

サンプル課 2 1  
林政義  
ハヤシ マサヨシ

大学では経済学を専攻していました。  
趣味は読書と散歩です。

更新日時 2023/01/05 15:16

サンプル課 1 2  
関根千香  
セキネ テカ

2021年度入社。関根千香です。  
ぜひ仲良くしてください。

更新日時 2023/01/05 13:22

サンプル課 2 2  
上田辰男  
ウエダ タツオ

2018年に入社しました。  
サッカーが好きです。

更新日時 2023/01/05 13:19

サンプル課 1 2  
萩本順子  
ハギモト ジュンコ

2019年に入社しました。  
現在はサンプル課 1 2 に所属しています。

更新日時 2023/01/05 13:14

サンプル部門 0 1  
円山益男  
マルヤマ マサオ

映画鑑賞が好きです。  
お気軽にお声がけください。

更新日時 2023/01/05 13:11

ユーザー

所属部署

主所属のみ対象とする

自己紹介文

削除/無効ユーザを含めて表示

前へ 1 次へ

1 - 5 / 5

自己紹介 カード - 新規作成

**青柳辰巳** (アオヤギ タツミ)

aoyagi

---

所属部署

サンプル課 1 1 主所属  
サンプル課 2 1

メールアドレス

aoyagi@example.com

電話番号

000-0000-0000

内線番号

1234

自己紹介文

2022年度に入社しました青柳辰巳です。  
よろしくお願いたします。

生年月日

2000/01/01

色

カードを作成後は「自分のカードを編集」ボタンに変わり、「編集画面」に遷移します。

自己紹介 カード一覧

更新日時 1件

[自分のカードを編集](#)

サンプル課 1 1  
青柳辰巳  
アオヤギ タツミ

2022年度に入社しました青柳辰巳です。  
よろしくお願いたします。

更新日時 2023/01/05 15:18

サンプル課 2 1  
林政義  
ハヤシ マサヨシ

大学では経済学を専攻していました。  
趣味は読書と散歩です。

更新日時 2023/01/05 15:16

サンプル課 1 2  
関根千香  
セキネ テカ

2021年度入社の関根千香です。  
ぜひ仲良くしてください。

更新日時 2023/01/05 13:22

サンプル課 2 2  
上田辰男  
ウエダ タツオ

2018年に入社しました。  
サッカーが大好きです。

更新日時 2023/01/05 13:19

サンプル課 1 2  
秋本順子  
ハギモト ジュンコ

2019年に入社しました。  
現在はサンプル課 1 2 に所属しています。

更新日時 2023/01/05 13:14

サンプル部門 0 1  
円山益男  
マルヤマ マスオ

映画鑑賞が大好きです。  
お気軽にお声がけください。

更新日時 2023/01/05 13:11

ユーザー

所属部署

主所属のみ対象とする

自己紹介文

削除/無効ユーザを含めて表示

1 - 6 / 6

自己紹介 カード - 編集

**青柳辰巳** (アオヤギ タツミ)

aoyagi

更新日時 : 2023/01/05 13:27

---

所属部署

サンプル課 1 1 主所属  
サンプル課 2 1

メールアドレス

aoyagi@example.com

電話番号

000-0000-0000

内線番号

1234

自己紹介文

2022年度に入社しました青柳辰巳です。趣味はスポーツ観戦です。|  
よろしくお願いたします。

生年月日

色

カード選択画面

自己紹介カードを選択すると、選択したユーザの「詳細画面」に遷移します。

自己紹介  
カード - 詳細

関根千香 (セキネ チカ)  
sekine

更新日時: 2023/01/05 13:22

所属部署  
サンプル課 1 2 全所属  
サンプル課 2 2

メールアドレス  
sekine@example.com

電話番号  
111-1111-1111

内線番号  
5678

自己紹介文  
2021年度入社に関根千香です。  
ぜひ仲良くしてください。

生年月日  
1998/04/05

自身の自己紹介カードを選択した場合は「編集画面」に遷移します。

自己紹介  
カード - 編集

青柳辰巳 (アオヤギ タツミ)  
aoyagi

更新日時: 2023/01/05 13:27

所属部署  
サンプル課 1 1 全所属  
サンプル課 2 1

メールアドレス  
aoyagi@example.com

電話番号  
000-0000-0000

内線番号  
1234

自己紹介文  
2022年度に入社しました青柳辰巳です。趣味はスポーツ観戦です。|  
よろしくお願いたします。

生年月日  
2000/01/01

色  
色選択パレット

更新 削除

## テンプレートの活用例

「自己紹介」テンプレートを活用したアプリケーションの例をご紹介します。

例：スキル管理アプリケーション

自己紹介欄に経歴・スキルを記載することで、組織内の人材を検索できます。

特定の業務に詳しい人材とその連絡先を検索でき、コミュニケーションの活発化を促します。

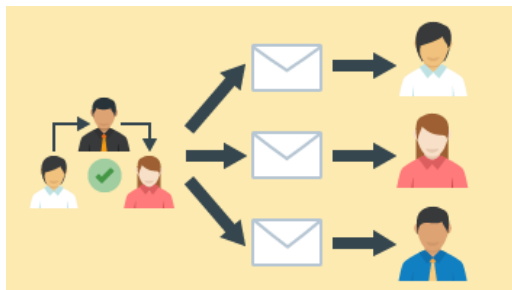
## メール配信ワークフロー

このページでは「メール配信ワークフロー」テンプレートの概要、アプリケーション作成手順、画面イメージと操作方法について解説します。

## 目次

- 「メール配信ワークフロー」テンプレートとは
- 「メール配信ワークフロー」テンプレートの利用方法
  - アプリケーションの作成手順
  - アプリケーションのアクセス手順
  - アプリケーションの画面イメージと操作方法

## 「メール配信ワークフロー」テンプレートとは



「メール配信ワークフロー」テンプレートは、事前に登録した宛先や本文のテンプレートを利用してメールを配信できるアプリケーションです。メールの配信には、ワークフローの承認が必要です。ワークフローの承認によるダブルチェックをすることで、メールの誤送信を防ぎます。

メール配信ワークフロー  
メール配信 - 申請

宛先グループ\*

■社 xx担当 連絡用

送信先ユーザー一覧

宛先 4 CC 2 BCC 0

宛名	メールアドレス
青柳 宗巳	aoyagi@example.com
萩本 陽子	hagimoto@example.com
原田 浩二	harada@example.com
林 政義	hayashi@example.com

テンプレート

〇〇社 xx連絡用

配信元メールアドレス\*

from@example.com

件名\*

xxのお知らせ

本文\* プレビュー

〇〇社 %user\_name% 様

平素より ▲▲ をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。  
 ◇◇ の %aaa% をお知らせいたします。  
 ▼▼▼ よりご確認ください。

どうぞよろしくお願いたします。

本文に置換文字 %user\_name% を配置すると、メール配信時に宛先グループの宛名に置換されます。  
 宛先グループを設定することで、プレビュー画面で置換後の状態を確認できます。  
 例: %user\_name% 様へお知らせ

本文\* プレビュー

〇〇社 青柳宗巳 様

平素より ▲▲ をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。  
 ◇◇ の %aaa% をお知らせいたします。  
 ▼▼▼ よりご確認ください。

どうぞよろしくお願いたします。

申請 一時保存

## i コラム

「メール配信ワークフロー」テンプレートは2022 Spring(Eustoma)から利用できます。

## 「メール配信ワークフロー」テンプレートの利用方法

「メール配信ワークフロー」テンプレートを利用したアプリケーションの作成手順と「メール配信ワークフロー」アプリケーションの操作方法をご紹介します。

## アプリケーションの作成手順

「メール配信ワークフロー」テンプレートを利用してアプリケーションを作成する手順についてご紹介します。

### 1. アプリケーション作成画面への遷移

Accel Studioの「業務テンプレート一覧」から「メール配信ワークフロー」テンプレートを選択します。

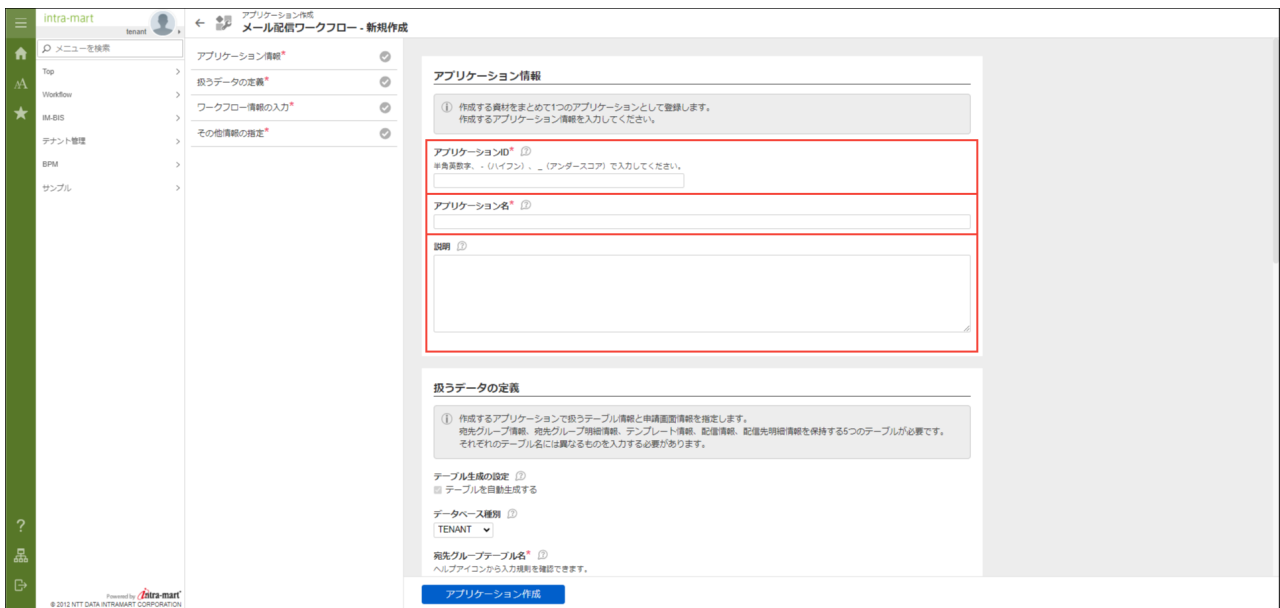
Accel Studioの「業務テンプレート一覧」は、「サイトマップ」→「Accel Studio」→「業務テンプレート一覧」から遷移できます。



### 2. アプリケーションのIDや名称などの設定

「メール配信ワークフロー」テンプレートを選択し、アプリケーション情報の設定画面が表示されたら、アプリケーションのIDや名称などを設定します。

設定した基本情報は、各処理や画面の名称、IDなどに利用されます。



### 3. データベースのテーブルに利用する名称の定義

次に、作成するアプリケーションで扱うデータベースのテーブルに利用する名称を定義します。

「メール配信ワークフロー」テンプレートでは、既存のテーブルはご利用いただけません。

ここでは、5つのテーブルの名称を設定します。

- 宛先グループテーブル名  
メールを配信する宛先グループの情報を保持するテーブルです。
- 宛先グループ明細テーブル名  
宛先グループに含まれる各宛先の明細情報を保持するテーブルです。
- 配信メール用テンプレートテーブル名  
配信するメールのテンプレート情報を保持するテーブルです。
- 配信情報テーブル名

■ 配信先明細テーブル名

メール配信時の各宛先の情報を保持するテーブルです。

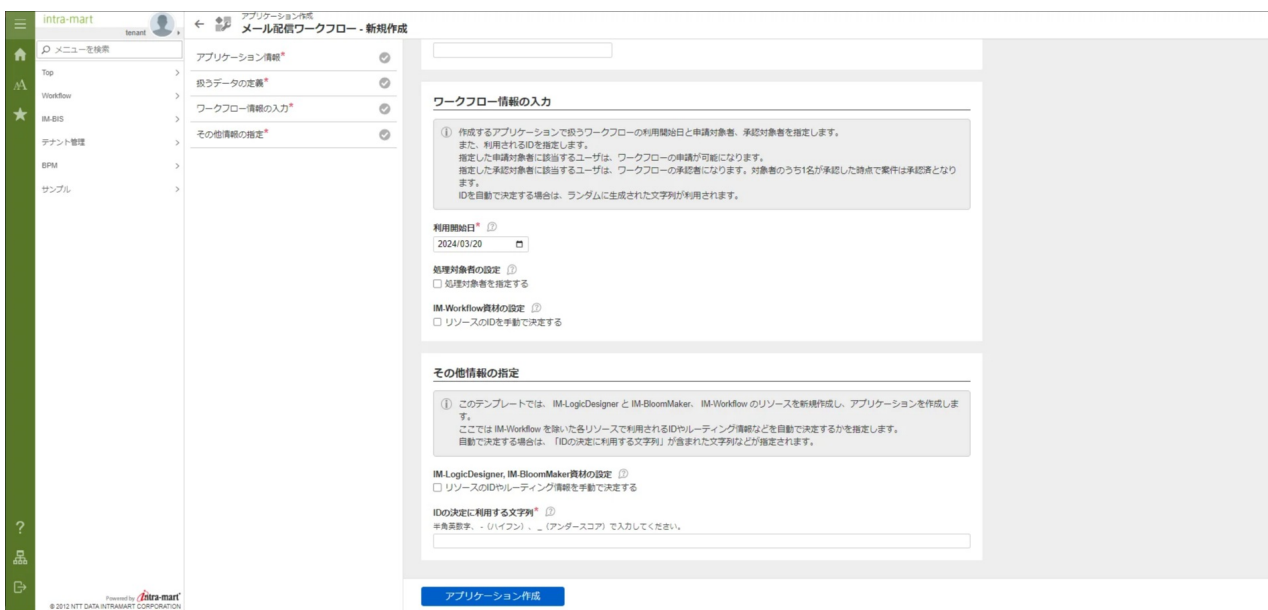


**i** コラム

テーブル情報に標準で設定されている各項目の表示名は、多言語化対応が行われ、各画面に表示されます。新規で追加した項目については、多言語化されずに標準ロケールにのみ設定されます。新規で追加した項目に多言語化対応が必要な場合は、アプリケーション作成後に、IM-BloomMakerで作成された「画面」へアクセスし、「[多言語を定義する](#)」の方法にて各ロケールの表示名を設定してください。

4. ワークフロー情報の入力

作成するアプリケーションで扱うワークフローの利用開始日、処理対象者を指定します。



1. 利用開始日

ワークフローの利用が可能となる日付を指定します。この項目は必須です。

2. 処理対象者の設定

「処理対象者を指定する」を選択すると、申請対象者と承認対象者をユーザまたはロールで指定できます。セレクトボックスから「ユーザ」または「ロール」を選択し、「追加」から任意の処理対象者を指定します。



### コラム

申請対象者に指定されたユーザまたはロールを所持したユーザのワークフロー「申請一覧」画面に作成されたワークフローが表示されます。

アプリケーション作成時に処理対象者を指定していない場合、作成されたワークフローはどのユーザの「申請一覧」画面にも表示されません。

「申請一覧」画面は、「サイトマップ」→「ワークフロー」→「一覧」→「申請一覧」から遷移できます。

「申請一覧」画面については、「IM-Workflow ユーザ操作ガイド」-「申請一覧」をご確認ください。

### 3. IM-Workflow資材の設定

ワークフローのコンテンツ定義、ルート定義、フロー定義の各IDを手動で入力する場合に利用します。

### 5. その他情報の指定

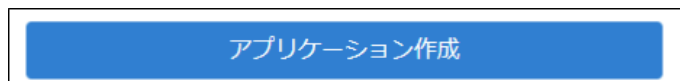
作成されるアプリケーションに利用されるリソースのIDやルーティング情報を手動で決定できます。

チェックを入れないことを推奨します。

### 6. アプリケーション作成開始

アプリケーションの基本情報と、テーブル名を入力したら「アプリケーション作成」ボタンをクリックしてください。




入力項目に不備が無ければ自動でアプリケーションの作成ができます。



### 7. アプリケーション作成結果

アプリケーション作成が完了すると、ステータスが「COMPLETE」と表示されます。



ビルドジョブID	8jpx7eb8e8na9h	テンプレート名	メール配信ワークフロー
ステータス	COMPLETE	作成者ユーザコード	tenant
作成日時	2023/02/28 13:46:12		
出力日時	メッセージ		詳細
2023/02/28 13:46:15	生成するリソースのIDを自動設定します。		
2023/02/28 13:46:15	生成する IM-Workflow リソースのIDを自動設定します。		
2023/02/28 13:46:16	一時ディレクトリに IM-LogicDesigner インポート資材を作成しました。		
2023/02/28 13:46:17	一時ディレクトリに IM-BloomMaker インポート資材を作成しました。		
2023/02/28 13:46:17	一時ディレクトリに IM-Workflow インポート資材を作成しました。		
2023/02/28 13:46:17	アプリケーションで利用するテーブルを新規作成しました。		
2023/02/28 13:46:17	CREATE TABLE "email_delivery_sample_group" ("group_cd" VARCHAR(100), "group_name" VARCHAR(1000), "memo" VARCHAR(1000), "create_user_cd" VARCHAR(100), "create_date" TIMESTAMP, "record_user_cd" VARCHAR(100), "record_date" TIMESTAMP, PRIMARY KEY ("group_cd")); CREATE TABLE "email_delivery_sample_group_d" ("address_id" VARCHAR(100), "group_cd" VARCHAR(100), "address_type" DECIMAL(10), "user_name" VARCHAR(1000), "email_address" VARCHAR(256), PRIMARY KEY ("address_id")); CREATE TABLE "email_delivery_sample_template" ("template_cd" VARCHAR(100), "template_name" VARCHAR(1000), "sender" VARCHAR(256), "subject" VARCHAR(1000), "mail_text" VARCHAR(1000), "memo" VARCHAR(1000), "create_user_cd" VARCHAR(100), "create_date" TIMESTAMP, "record_user_cd" VARCHAR(100), "record_date" TIMESTAMP, PRIMARY KEY ("template_cd")); CREATE TABLE "email_delivery_sample_his" ("user_data_id" VARCHAR(100), "group_cd" VARCHAR(100), "template_cd" VARCHAR(100), "sender" VARCHAR(256), "subject" VARCHAR(1000), "mail_text" VARCHAR(1000), "send_date" TIMESTAMP, PRIMARY KEY ("user_data_id")); CREATE TABLE "email_delivery_sample_d" ("user_data_id" VARCHAR(100), "address_type" DECIMAL(10), "user_name" VARCHAR(1000), "email_address" VARCHAR(256), PRIMARY KEY ("user_data_id", "address_type", "email_address"))		
2023/02/28 13:46:18	自動生成された IM-LogicDesigner 資材をインポートしました。		
2023/02/28 13:46:33	自動生成された IM-BloomMaker 資材をインポートしました。		
2023/02/28 13:46:33	自動生成された IM-Workflow 資材をインポートしました。		
2023/02/28 13:46:33	作成された「宛先グループ一覧画面」へはこちらの詳細アイコンから遷移できます。宛先グループを作成すると配信申請が可能になります。		
2023/02/28 13:46:33	申請権限のあるユーザの「申請一覧」にフローが追加されました。「申請一覧」へはこちらの詳細アイコンから遷移できます。		
2023/02/28 13:46:37	アプリケーションの作成が完了しました。		
2023/02/28 13:46:37	アプリケーション認可設定でテナント管理者 Accel Studio 管理者にアクセス許可が設定されました。		

## コラム

作成したアプリケーションは、初期設定では「テナント管理者」または「Accel Studio管理者」ロールを持ったユーザのみ利用できます。

任意のユーザに対して、利用を許可したい場合の設定方法は、「[Accel Studio アプリケーション管理機能 仕様書](#)」 - 「[Accel Studio アプリケーション認可設定](#)」をご確認ください。

## アプリケーションのアクセス手順

作成したアプリケーションへアクセスする方法をご紹介します。

「メール配信ワークフロー」テンプレートから作成されるアプリケーションは、「宛先グループ一覧画面」を起点として操作することを想定しています。

以下では「宛先グループ一覧画面」へのアクセス手順について説明します。

- 「[テンプレートビルドジョブ - 詳細](#)」画面から遷移する
- [画面のURLを取得する](#)

## コラム

「メール配信ワークフロー」テンプレートから作成されたワークフローは、アプリケーション作成時に指定した処理対象者の「申請一覧」画面に表示されます。


「申請一覧」画面は、「[サイトマップ](#)」→「[ワークフロー](#)」→「[一覧](#)」→「[申請一覧](#)」から遷移できます。

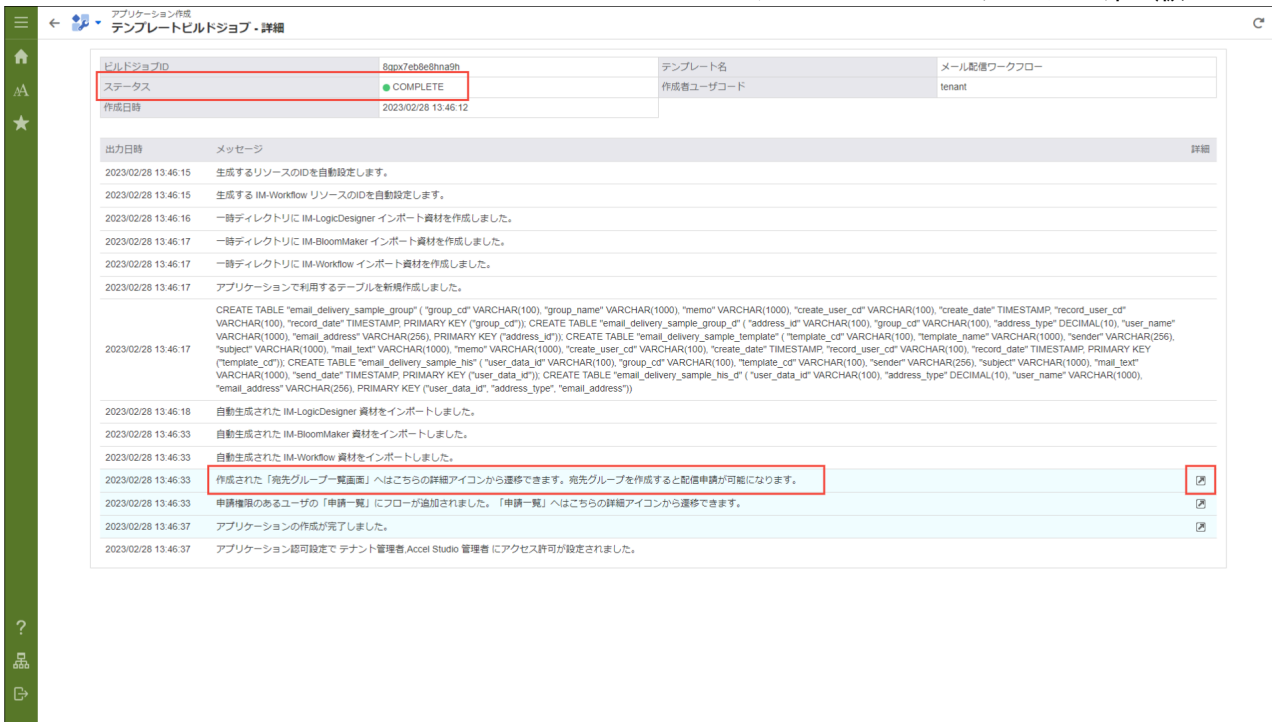
ワークフローのフロー名は、アプリケーション名と同様の文字列で作成されます。

「申請一覧」画面については、「[IM-Workflow ユーザ操作ガイド](#)」 - 「[申請一覧](#)」をご確認ください。

## 「テンプレートビルドジョブ - 詳細」画面から遷移する

「テンプレートビルドジョブ - 詳細」画面はアプリケーション作成完了後に表示されます。

「テンプレートビルドジョブ - 詳細」画面のステータスが「COMPLETE」と表示されたら、「作成された「宛先グループ一覧画面」へはこちらの詳細アイコンから遷移できます。」の欄にある  をクリックしてください。



## コラム

「テンプレートビルドジョブ - 詳細」画面は、「サイトマップ」→「Accel Studio」→「アプリケーション作成」→「テンプレートビルドジョブ」に遷移し、作成したアプリケーションの「詳細」をクリックすることで表示できます。

### 画面のURLを取得する

「メール配信ワークフロー」テンプレートから作成したアプリケーションはすべての画面に画面URLが定義されています。

#### 1. 「ルーティング定義編集」画面への遷移

「サイトマップ」→「Accel Studio」→「アプリケーション一覧」で、「自動生成されたアプリケーション」カテゴリを選択します。作成したアプリケーションを選択し、「アプリケーション構成情報」画面が表示されたら、「公開URL」タブをクリックしてください。続いて、URLを取得したい画面のカードをクリックし、「ルーティング定義編集」画面を開きます。



#### 2. URLを取得

「URL」の  をクリックすることで、URLがクリップボードにコピーされます。

The screenshot shows the 'IM-BloomMaker ルーティング定義編集' (IM-BloomMaker Routing Definition Edit) interface. The 'URL' field is highlighted with a red box and contains the value `/mart/accel-studio-app/accel_delivery_sample/address/list`. The 'Method' is set to 'GET'. The 'Content ID' is 'email\_delivery\_sample-address-list' and the 'Content Name' is 'メール配信ワークフロー 宛先グループ一覧画面'. The 'URL' field is also associated with the 'Route' 'im-bloommaker-content/contents/route/email\_delivery\_sample-address-list'. The 'Routing Name' is 'メール配信ワークフロー 宛先グループ一覧画面' and the 'Description' is '【メール配信ワークフロー】テンプレートから作成されたルーティング定義です。'. Buttons for '更新' (Update) and '削除' (Delete) are visible at the bottom.

### コラム

取得したURLは、初期設定では「テナント管理者」または「Accel Studio管理者」ロールを持ったユーザのみアクセス可能です。

任意のユーザに対して、利用を許可したい場合の設定方法は、「[Accel Studio アプリケーション管理機能 仕様書](#)」 - 「[Accel Studio アプリケーション認可設定](#)」をご確認ください。

### コラム

作成したアプリケーションをグローバルメニューに追加したい場合は、グローバルナビ設定をご利用ください。

グローバルナビの設定方法は、「[ファーストステップガイド](#)」 - 「[管理者が一般ユーザ向けのメニューを作成する](#)」をご確認ください。

## アプリケーションの画面イメージと操作方法

「メール配信ワークフロー」テンプレートから作成されるアプリケーションは、「宛先グループ」「メールテンプレート」を事前に登録し、メール配信時に宛先と本文に利用できます。

宛先グループ情報は [宛先グループ一覧画面](#)、メールテンプレート情報は [テンプレート一覧画面](#) を起点としています。

メールの配信はワークフローから申請し、承認されると指定した宛先にメールが配信されます。

[配信履歴一覧画面](#) から配信された内容を確認できます。

### コラム

メールの設定に関しては、「[設定ファイルリファレンス](#)」 - 「[メール設定](#)」をご確認ください。

## 宛先グループ一覧画面

宛先グループ一覧画面では、登録された宛先グループを閲覧できます。

グループ名	グループコード	備考	更新日時	更新者
■社 xx担当 連絡用	group_016	xx社 xx担当への連絡時に利用するグループ	2023/02/28 15:59	関根千香
xx社 ▼▼担当 連絡用	group_015	xx社 ▼▼担当への連絡時に利用するグループ	2023/02/28 15:52	関根千香
△△社 ▼▼担当 連絡用	group_014	xx社 ▼▼担当への連絡時に利用するグループ	2023/02/28 15:38	青柳景巳
xx社 △△チーム 連絡用	group_013	xx社 △△チームへの連絡時に利用するグループ	2023/02/28 15:36	青柳景巳
xx社 ○○担当 連絡用	group_012	xx社 ○○担当への連絡時に利用するグループ	2023/02/28 15:33	青柳景巳
xx社 ◎◎担当 連絡用	group_011	xx社 ◎◎担当への連絡時に利用するグループ	2023/02/28 15:32	青柳景巳
■ イベント 告知用	group_010	■ イベントの告知用グループ	2023/02/28 15:29	tenant
▽▽チーム	group_009	▽▽チーム連絡用グループ	2023/02/28 15:26	林政義
▼▼チーム	group_008	▼▼チーム連絡用グループ	2023/02/28 15:26	tenant
△△チーム	group_007	△△チーム連絡用グループ	2023/02/28 15:23	上田原男
社内 ▲▲本部 定期連絡	group_006	▲▲本部の定期連絡配信時に利用するグループ	2023/02/28 15:21	青柳景巳
社内 ◎◎本部 定期連絡	group_005	◎◎本部の定期連絡配信時に利用するグループ	2023/02/28 15:21	青柳景巳
社内 ○○本部 定期連絡	group_004	○○本部の定期連絡配信時に利用するグループ	2023/02/28 15:21	tenant
社内 定期連絡	group_003	定期連絡配信時に利用するグループ	2023/02/28 15:16	上田原男
xx社 ▲▲ 連絡用	group_002	▲▲ の連絡時に利用するグループ	2023/02/28 15:14	林政義
○○社 xx 連絡用	group_001	xx 配信用のグループ	2023/02/28 15:13	青柳景巳
sample_group	group_034	sample	2023/02/28 0:00	tenant
esmdia group	group_033	esmdia	2023/02/28 0:00	tenant

画面上部、左側の をマウスホバーすると [テンプレート一覧画面](#)、[配信履歴一覧画面](#) へ遷移するリンクが表示されます。

宛先グループ登録画面

「宛先グループ登録画面」では、宛先グループの登録ができます。

「宛先グループ一覧画面」の「新規作成」ボタンから「宛先グループ登録画面」に遷移できます。

グループ名	グループコード	備考	更新日時	更新者
■社 xx担当 連絡用	group_016	xx社 xx担当への連絡時に利用するグループ	2023/02/28 15:59	関根千香
xx社 ▼▼担当 連絡用	group_015	xx社 ▼▼担当への連絡時に利用するグループ	2023/02/28 15:52	関根千香
△△社 ▼▼担当 連絡用	group_014	xx社 ▼▼担当への連絡時に利用するグループ	2023/02/28 15:38	青柳崇巳
xx社 △△チーム 連絡用	group_013	xx社 △△チームへの連絡時に利用するグループ	2023/02/28 15:36	青柳崇巳
xx社 ○○担当 連絡用	group_012	xx社 ○○担当への連絡時に利用するグループ	2023/02/28 15:33	青柳崇巳
xx社 ◎◎担当 連絡用	group_011	xx社 ◎◎担当への連絡時に利用するグループ	2023/02/28 15:32	青柳崇巳
■ イベント告知用	group_010	■ イベントの告知用グループ	2023/02/28 15:29	tenant
▽▽チーム	group_009	▽▽チーム連絡用グループ	2023/02/28 15:26	林政義
▼▼チーム	group_008	▼▼チーム連絡用グループ	2023/02/28 15:26	tenant
△△チーム	group_007	△△チーム連絡用グループ	2023/02/28 15:23	上田原男
社内 ▲▲本部 定期連絡	group_006	▲▲本部の定期連絡配信時に利用するグループ	2023/02/28 15:21	青柳崇巳
社内 ◎◎本部 定期連絡	group_005	◎◎本部の定期連絡配信時に利用するグループ	2023/02/28 15:21	青柳崇巳
社内 ○○本部 定期連絡	group_004	○○本部の定期連絡配信時に利用するグループ	2023/02/28 15:21	tenant
社内 定期連絡	group_003	定期連絡配信時に利用するグループ	2023/02/28 15:16	上田原男
xx社 ▲▲連絡用	group_002	▲▲の連絡時に利用するグループ	2023/02/28 15:14	林政義
○○社 xx 連絡用	group_001	xx 配用のグループ	2023/02/28 15:13	青柳崇巳
sample_group	group_004	sample	2023/02/28 0:00	tenant

宛先グループは「宛先」「CC」「BCC」を登録できます。  
登録した宛先グループは、ワークフローの申請時に利用します。

宛先グループ編集画面

「宛先グループ編集画面」では、宛先グループの編集ができます。  
「宛先グループ一覧画面」で任意の宛先グループを選択すると、選択した宛先グループの「宛先グループ編集画面」に遷移できます。

グループ名	グループコード	備考	更新日時	更新者
■社 xx担当 連絡用	group_016	xx社 xx担当への連絡時に利用するグループ	2023/02/28 15:59	関根千香
xx社 ▼▼担当 連絡用	group_015	xx社 ▼▼担当への連絡時に利用するグループ	2023/02/28 15:52	関根千香
△△社 ▼▼本部 連絡用	group_014	xx社 ▼▼担当への連絡時に利用するグループ	2023/02/28 15:38	青柳原巳
xx社 △△チーム 連絡用	group_013	xx社 △△チームへの連絡時に利用するグループ	2023/02/28 15:36	青柳原巳
xx社 ○○担当 連絡用	group_012	xx社 ○○担当への連絡時に利用するグループ	2023/02/28 15:33	青柳原巳
xx社 ◎◎担当 連絡用	group_011	xx社 ◎◎担当への連絡時に利用するグループ	2023/02/28 15:32	青柳原巳
■ イベント告知用	group_010	■ イベントの告知用グループ	2023/02/28 15:29	tenant
▽▽チーム	group_009	▽▽チーム連絡用グループ	2023/02/28 15:26	林政義
▼▼チーム	group_008	▼▼チーム連絡用グループ	2023/02/28 15:26	tenant
△△チーム	group_007	△△チーム連絡用グループ	2023/02/28 15:23	上田原男
社内 ▲▲本部 定期連絡	group_006	▲▲本部の定期連絡配信時に利用するグループ	2023/02/28 15:21	青柳原巳
社内 ◎◎本部 定期連絡	group_005	◎◎本部の定期連絡配信時に利用するグループ	2023/02/28 15:21	青柳原巳
社内 ○○本部 定期連絡	group_004	○○本部の定期連絡配信時に利用するグループ	2023/02/28 15:21	tenant
社内 定期連絡	group_003	定期連絡配信時に利用するグループ	2023/02/28 15:16	上田原男
xx社 ▲▲ 連絡用	group_002	▲▲ の連絡時に利用するグループ	2023/02/28 15:14	林政義
○社 xx 連絡用	group_001	xx 配信用のグループ	2023/02/28 15:13	青柳原巳
sample_group	group_034	sample	2023/02/28 0:00	tenant
esamla	group_033	esamla	2023/02/28 0:00	tenant

「宛名」「メールアドレス」欄は絞り込みできます。

グループコード  
group\_016

グループ名  
■社 xx担当 連絡用

備考  
xx社 xx担当への連絡時に利用するグループ

宛先 4 CC 2 BCC 0

宛名\*      メールアドレス\*

▼	▼
青柳原巳	aoyagi@example.com
萩本綾子	hagimoto@example.com
原田浩二	harada@example.com
林政義	hayashi@example.com

更新   削除

テンプレート一覧画面

テンプレート一覧画面では、登録されたテンプレートを閲覧できます。

テンプレート名	テンプレートコード	件名	備考	更新日時
〇〇社 xx連絡用	template_001	xxのお知らせ	〇〇社 xxに関する連絡用のテンプレート	2023/03/02 15:36
共有	template_019	【共有】	共有事項用のテンプレート	2023/02/28 21:00
臨時メンテナンス	template_018	【メンテナンスのお知らせ】	臨時メンテナンスのお知らせ用のテンプレート	2023/02/28 20:50
定期メンテナンス	template_017	【メンテナンスのお知らせ】	定期メンテナンスのお知らせ用のテンプレート	2023/02/28 20:20
〇〇社 xx 用 ▲▲	template_016		〇〇社のxx、▲▲用テンプレート	2023/02/28 20:11
▼▼連絡用	template_015	【連絡】	▼▼連絡用テンプレート	2023/02/28 20:08
○◎連絡用	template_014	【連絡】	○◎連絡用テンプレート	2023/02/28 19:38
■▲チーム連絡	template_013	【共有】	■▲チーム連絡	2023/02/28 19:08
▲▲チーム連絡	template_012	【共有】	▲▲チーム連絡	2023/02/28 18:08
〇〇社 ◎◎担当 通知用	template_011		〇〇社 ◎◎担当連絡用のテンプレート	2023/02/28 17:08
〇〇社 通知用	template_010	【〇〇のご案内】	〇〇社の通知用テンプレート	2023/02/28 16:53
xx	template_009	【xxのご連絡】	xx連絡用	2023/02/28 16:50
▲▲社 ◎◎担当 通知用	template_008		▲▲社 ◎◎担当連絡用のテンプレート	2023/02/28 16:36
xx	template_007	【xxのご連絡】	xx連絡用	2023/02/28 16:26
◇◇	template_006	【◇◇のご案内】	◇◇連絡用	2023/02/28 16:16
▽▽イベント 告知用	template_005	▽▽イベントのご連絡	▽▽イベントの告知用テンプレート	2023/02/28 16:00
▲▲	template_004	【▲▲のご連絡】	▲▲連絡用	2023/02/28 15:58
xxチーム連絡	template_003		xxチーム用	2023/02/28 15:50
全体連絡用	template_002	【全社連絡】	全体連絡用のテンプレート	2023/02/28 15:39
sample_name	template_034	sample	sample_memo	2023/02/28 0:00
sample_name	template_020	sample	sample_memo	2023/02/28 0:00
sample_name	template_033	sample	sample_memo	2023/02/28 0:00
sample_name	template_050	sample	sample_memo	2023/02/28 0:00

画面上部、左側の をマウスホバーすると [配信履歴一覧画面](#)、[宛先グループ一覧画面](#) へ遷移するリンクが表示されます。

### テンプレート登録画面

テンプレート登録画面では、テンプレートの登録ができます。

「テンプレート一覧画面」の「新規作成」ボタンから「テンプレート一覧画面」に遷移できます。

テンプレート名	テンプレートコード	件名	備考	更新日時
〇〇社 xx連絡用	template_001	xxのお知らせ	〇〇社 xxに関する連絡用のテンプレート	2023/03/02 15:36
共有	template_019	【共有】	共有事項用のテンプレート	2023/02/28 21:00
臨時メンテナンス	template_018	【メンテナンスのお知らせ】	臨時メンテナンスのお知らせ用のテンプレート	2023/02/28 20:50
定期メンテナンス	template_017	【メンテナンスのお知らせ】	定期メンテナンスのお知らせ用のテンプレート	2023/02/28 20:20
〇〇社 xx 用 ▲▲	template_016		〇〇社のxx、▲▲用テンプレート	2023/02/28 20:11
▼▼連絡用	template_015	【連絡】	▼▼連絡用テンプレート	2023/02/28 20:08
○ ○ 連絡用	template_014	【連絡】	○ ○ 連絡用テンプレート	2023/02/28 19:38
■ ■ チーム連絡	template_013	【共有】	■ ■ チーム連絡	2023/02/28 19:08
▲ ▲ チーム連絡	template_012	【共有】	▲ ▲ チーム連絡	2023/02/28 18:08
〇〇社 cc担当 通知用	template_011		〇〇社 cc担当連絡用のテンプレート	2023/02/28 17:08
〇〇社 通知用	template_010	【〇〇のご案内】	〇〇社の通知用テンプレート	2023/02/28 16:53
xx	template_009	【xxのご連絡】	xx連絡用	2023/02/28 16:50
▲ ▲ 社 cc担当 通知用	template_008		▲ ▲ 社 cc担当連絡用のテンプレート	2023/02/28 16:36
xx	template_007	【xxのご連絡】	xx連絡用	2023/02/28 16:26
◇◇	template_006	【◇◇のご案内】	◇◇連絡用	2023/02/28 16:16
▽▽イベント 告知用	template_005	▽▽イベントのご連絡	▽▽イベントの告知用テンプレート	2023/02/28 16:00
▲ ▲	template_004	【▲ ▲のご連絡】	▲ ▲ 連絡用	2023/02/28 15:58
xxチーム連絡	template_003		xxチーム用	2023/02/28 15:50
全体連絡用	template_002	【全社連絡】	全体連絡用のテンプレート	2023/02/28 15:39
sample_name	template_034	sample	sample_memo	2023/02/28 0:00
sample_name	template_020	sample	sample_memo	2023/02/28 0:00
sample_name	template_033	sample	sample_memo	2023/02/28 0:00
sample_name	template_050	sample	sample_memo	2023/02/28 0:00

「本文」に置換文字「%user\_name%」を配置すると、メール配信時に「宛名」で置換されます。

### テンプレート編集画面

テンプレート編集画面では、テンプレートの編集ができます。

「テンプレート一覧画面」で任意のテンプレートを選択すると、選択したテンプレートの「テンプレート編集画面」に遷移できます。



テンプレート名	テンプレートコード	件名	備考	更新日時
〇〇社 xx連絡用	template_001	xxのお知らせ	〇〇社 xxに関する連絡用のテンプレート	2023/03/02 15:36
共有	template_019	【共有】	共有事項用のテンプレート	2023/02/28 21:00
臨時メンテナンス	template_018	【メンテナンスのお知らせ】	臨時メンテナンスのお知らせ用のテンプレート	2023/02/28 20:50
定期メンテナンス	template_017	【メンテナンスのお知らせ】	定期メンテナンスのお知らせ用のテンプレート	2023/02/28 20:20
〇〇社 xx 用 ▲▲	template_016		〇〇社のxx、▲▲用テンプレート	2023/02/28 20:11
▼▼連絡用	template_015	【連絡】	▼▼連絡用テンプレート	2023/02/28 20:08
○◇連絡用	template_014	【連絡】	○◇連絡用テンプレート	2023/02/28 19:38
■▲チーム連絡	template_013	【共有】	■▲チーム連絡	2023/02/28 19:08
▲▲チーム連絡	template_012	【共有】	▲▲チーム連絡	2023/02/28 18:08
〇〇社 cc担当 通知用	template_011		〇〇社 cc担当連絡用のテンプレート	2023/02/28 17:08
〇〇社 通知用	template_010	【◇◇のご案内】	〇〇社の通知用テンプレート	2023/02/28 16:53
xx	template_009	【xxのご連絡】	xx連絡用	2023/02/28 16:50
▲▲社 cc担当 通知用	template_008		▲▲社 cc担当連絡用のテンプレート	2023/02/28 16:36
xx	template_007	【xxのご連絡】	xx連絡用	2023/02/28 16:26
◇◇	template_006	【◇◇のご案内】	◇◇連絡用	2023/02/28 16:16
▽▽イベント 告知用	template_005	▽▽イベントのご連絡	▽▽イベントの告知用テンプレート	2023/02/28 16:00
▲▲	template_004	【▲▲のご連絡】	▲▲連絡用	2023/02/28 15:58
xxチーム連絡	template_003		xxチーム用	2023/02/28 15:50
全体連絡用	template_002	【全社連絡】	全体連絡用のテンプレート	2023/02/28 15:39
sample_name	template_034	sample	sample_memo	2023/02/28 0:00
sample_name	template_020	sample	sample_memo	2023/02/28 0:00
sample_name	template_033	sample	sample_memo	2023/02/28 0:00
sample_name	template_050	sample	sample_memo	2023/02/28 0:00

テンプレート名

テンプレートコード

件名

備考

検索  クリア

メール配信ワークフロー  
テンプレート - 編集

テンプレートコード  
template\_001

テンプレート名\*

配信元メールアドレス\*

件名\*

本文\*

〇〇社 %user\_name% 様

平素より ▲▲ をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。

◇◇ の ○○○ をお知らせいたします。

▽▽ よりご確認ください。

どうぞよろしくお願いいたします。

.....

本文に置換文字 %user\_name% を配置すると、メール配信時に宛先グループの宛名に置換されます。  
例、%user\_name% 様へお知らせ

備考

作成日時: 2023/02/28 15:02 作成者: tenant (tenant)  
更新日時: 2023/03/02 15:36 更新者: tenant (tenant)

配信履歴一覧画面

配信履歴一覧画面では、ワークフローを通じて配信されたメールの履歴を閲覧できます。

件名	宛先グループ名	配信日時	配信元メールアドレス	本文
○○のご連絡	■社 xx担当 連絡用	2023/02/28 15:50	from@example.com	○○社 %user_name% 様 平素より ▲▲ をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。 ◇◇ の ○○○○ をお知らせいたします。 ▽▽▽▽ よりご確認ください。 どうぞよろしくお願いいたします。
xxのお知らせ	社内 定期連絡	2023/02/27 15:40	aoiyagi@example.com	xxが更新されました。 下記よりxxをご確認ください。 https://xxxxxxxxxxxx
xxのお知らせ	社内 定期連絡	2023/02/27 14:40	aoiyagi@example.com	xxが更新されました。 下記よりxxをご確認ください。 https://yyyyyyyyyy
【共有】▲▲のご連絡	社内 ○○本部 定期連絡	2023/02/27 14:10	ueda@example.com	▲▲について共有いたします。。 ▲▲をご確認ください。
xxのお知らせ	社内 定期連絡	2023/02/27 14:00	aoiyagi@example.com	xxが更新されました。 下記よりxxをご確認ください。 https://zzzzzzzzzz
▽イベントのご連絡	■ イベント 告知用	2023/02/27 14:00	tenant@example.com	平素より ▲▲ をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。 ◇◇ の ○○○○ をお知らせいたします。
sample	○○社 xx 連絡用	2023/02/20 0:00	from@example.com	sample
sample	○○社 xx 連絡用	2023/02/20 0:00	from@example.com	sample
sample	○○社 xx 連絡用	2023/02/20 0:00	from@example.com	sample

画面上部、左側の をマウスホバーすると [テンプレート一覧画面](#)、[宛先グループ一覧画面](#) へ遷移するリンクが表示されます。

配信履歴詳細画面

配信履歴詳細画面では、ワークフローを通じて配信されたメールの内容を閲覧できます。

「配信履歴一覧画面」で任意の配信履歴を選択すると、選択した配信履歴の「配信履歴編集画面」に遷移できます。

メール配信ワークフロー 配信履歴一覧

件名	宛先グループ名	配信日時	配信元メールアドレス	本文
○○のご連絡	■■社 xx担当 連絡用	2023/02/28 15:50	from@example.com	○○社 %user_name% 様 平素より ▲▲ をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。 ◇◇ の ○○○○ をお知らせいたします。 ▼▼▼ よりご確認ください。 どうぞよろしくお願いいたします。
xxのお知らせ	社内 定期連絡	2023/02/27 15:40	aoiyagi@example.com	xxが更新されました。 下記よりxxをご確認ください。 https://xxxxxxxxxxx よろしくお願いたします。
xxのお知らせ	社内 定期連絡	2023/02/27 14:40	aoiyagi@example.com	xxが更新されました。 下記よりxxをご確認ください。 https://yyyyyyyyyyy よろしくお願いたします。
【共有】▲▲のご連絡	社内 ○○本部 定期連絡	2023/02/27 14:10	ueda@example.com	▲▲について共有いたします。。 ▲▲をご確認ください。 よろしくお願いたします。
xxのお知らせ	社内 定期連絡	2023/02/27 14:00	aoiyagi@example.com	xxが更新されました。 下記よりxxをご確認ください。 https://zzzzzzzzzzz よろしくお願いたします。
▽イベントのご連絡	■■ イベント 告知用	2023/02/27 14:00	tenant@example.com	平素より ▲▲ をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。 ◇◇ の ○○○○ をお知らせいたします。
sample	○○社 xx 連絡用	2023/02/20 0:00	from@example.com	sample
sample	○○社 xx 連絡用	2023/02/20 0:00	from@example.com	sample
sample	○○社 xx 連絡用	2023/02/20 0:00	from@example.com	sample

1 - 50 / 232

配信内容

件名

宛先グループ名

配信日 年/月/日  -  年/月/日

配信元メールアドレス

本文

宛先 (TO/CC/BCC)

メール配信ワークフロー 配信履歴・詳細

xxのお知らせ  
配信元メールアドレス: from@example.com 配信日時: 2023/03/01 14:33

宛先グループ: ■■社 xx担当 連絡用

宛先グループの宛名、メールアドレスは、メール配信時点のものです。

宛先 4 CC 2 BCC 0

宛名	メールアドレス
青柳 啓巴	aoiyagi@example.com
萩本 晴子	hagimoto@example.com
原田 浩二	harada@example.com
林 政義	hayashi@example.com

本文

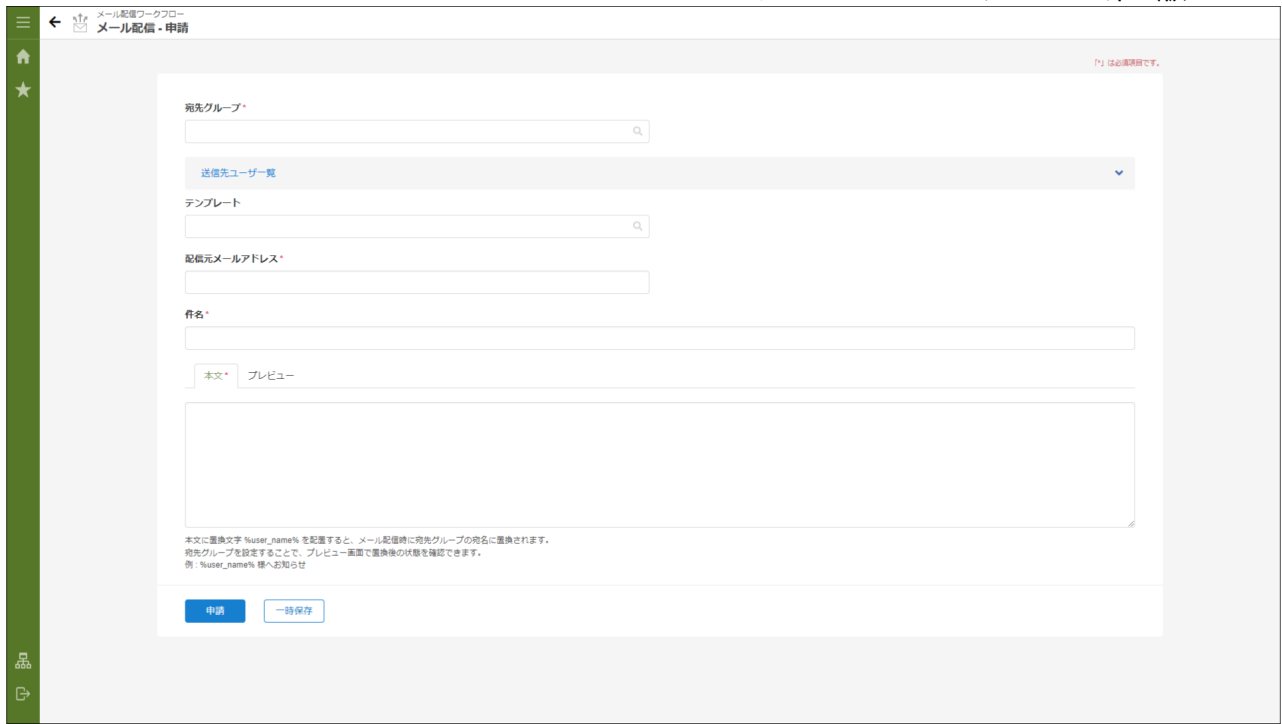
○○社 %user\_name% 様

平素より ▲▲ をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。  
 ◇◇ の ○○○○ をお知らせいたします。  
 ▼▼▼ よりご確認ください。  
 どうぞよろしくお願いいたします。

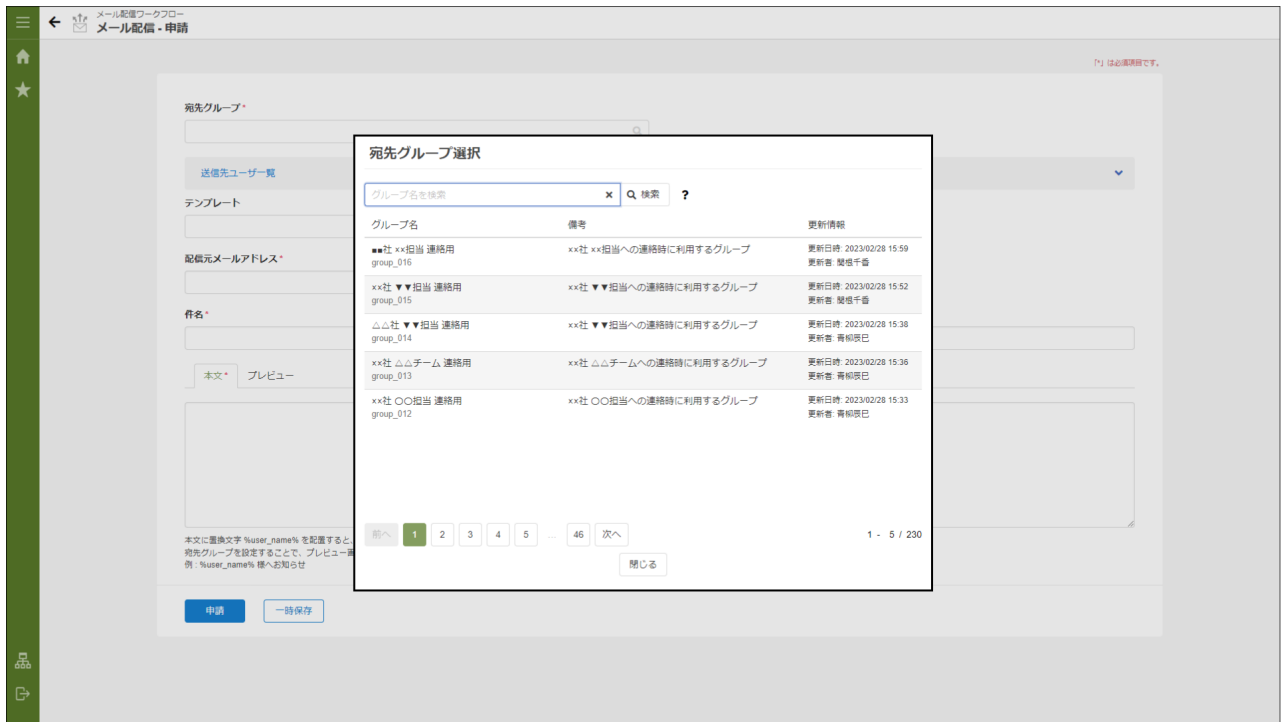
ワークフロー申請画面

「メール配信ワークフロー」テンプレートから作成されるワークフローの申請画面について説明します。

アプリケーション名と同様のフロー名で作成されたワークフローは、「申請一覧」画面から申請できます。「申請一覧」画面は、「サイトマップ」→「ワークフロー」→「一覧」→「申請一覧」から遷移できます。



宛先グループとテンプレートを選択し、配信するメールの内容を記載します。  
 「宛先グループ」「テンプレート」を選択するとダイアログが表示され、登録済みの「宛先グループ」「テンプレート」が選択できます。



「本文」に置換文字「%user\_name%」を配置すると、メール配信時に「宛名」で置換されます。  
 「プレビュー」タブで置換後の文字列を確認できます。  
 プレビュー時には宛先グループ内で一番上の宛先に設定された「宛名」で置換されて表示されます。  
 実際に配信されるメールには、宛先ごとの「宛名」が置換されて配信されます。

メール配信ワークフロー  
メール配信 - 申請

「!」は必須項目です。

宛先グループ\*

■社 xx担当 連絡用

送信先ユーザー一覧

宛先 4 CC 2 BCC 0

宛名	メールアドレス
青柳辰巳	aoyagi@example.com
萩本順子	hagimoto@example.com
原田浩二	harada@example.com
林政義	hayashi@example.com

テンプレート

〇〇社 xx連絡用

配信元メールアドレス\*

from@example.com

件名\*

xxのお知らせ

本文\* プレビュー

本文\* プレビュー

〇〇社 青柳辰巳様

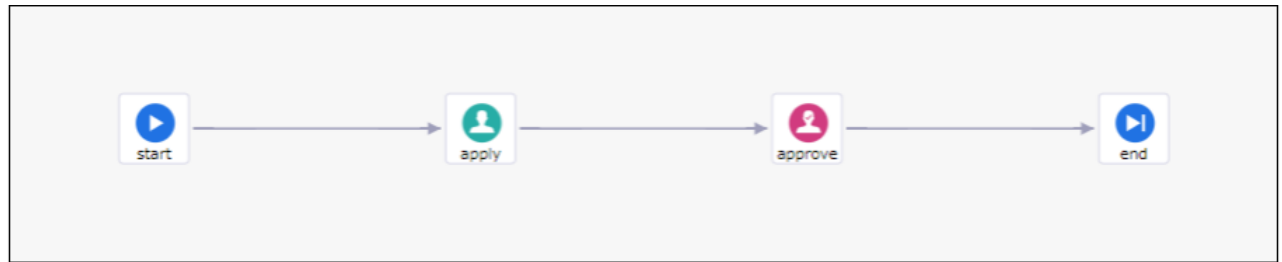
平素より ▲▲ をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。  
◇◇ の □□□□ をお知らせいたします。  
▽▽▽ よりご確認ください。

どうぞよろしくお願いいたします。

本文に置換文字 %user\_name% を配置すると、メール配信時に宛先グループの宛名に置換されます。  
宛先グループを設定することで、プレビュー画面で置換後の状態を確認できます。  
例: %user\_name% 様へお知らせ

申請 一時保存

「メール配信ワークフロー」テンプレートから作成されるフローは「申請」と「承認」が用意されています。  
ワークフローを「承認」すると、メールが配信されます。



## オプションテンプレート

作成したアプリケーションに機能を追加できるテンプレートです。  
このテンプレートからアプリケーションを作成することも可能です。  
※ 基本的な機能を含まないため Accel Studio での開発経験がある方向けのテンプレートです。

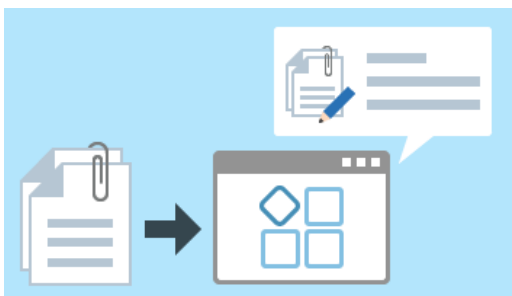
## ファイルアップロード

このページでは「ファイルアップロード」テンプレートの概要、アプリケーションへの追加方法について解説します。

## 目次

- 「ファイルアップロード」テンプレートとは
- チュートリアル
  - 「ファイルアップロード」機能の追加手順
  - IM-BloomMaker資材の編集（単一ファイルアップロードの場合）
  - IM-BloomMaker資材の編集（複数ファイルアップロードの場合）
  - 「ファイルアップロード」機能の使用例
- 「ファイルアップロード」テンプレートから作成される資材
  - ファイル情報登録・更新・削除処理
  - ファイル情報一括削除処理
  - ファイル情報一覧取得処理

## 「ファイルアップロード」テンプレートとは



このテンプレートは、IM-BloomMakerの「ファイルアップロード」エレメントを利用した「ファイルアップロード」処理を提供します。このテンプレートでは、IM-BloomMakerの資材は作成されません。

「ファイルアップロード」機能を利用するためには、このテンプレートから作成された処理を、「ファイルアップロード」機能を追加したいIM-BloomMakerのコンテンツから呼び出す必要があります。

### i コラム

「ファイルアップロード」テンプレートは2022 Winter(Freesia)から利用できます。

「ファイルアップロード」機能を追加した際のイメージは、以下の通りです。

追加手順の詳細については、「チュートリアル」で紹介します。

## チュートリアル

ここでは、「マスタメンテナンス」テンプレートから作成されたアプリケーションへ「ファイルアップロード」機能を追加する手順について紹介しま

す。

**コラム**

紹介した手順通りではなくとも、「ファイルアップロード」機能を追加することは可能です。

「ファイルアップロード」機能の追加手順

1. 「既存アプリケーションの更新」画面への遷移

「アプリケーション管理」画面の「テンプレートからリソースを追加する」をクリックします。



「業務テンプレート一覧」が表示されるので、「ファイルアップロード」テンプレートを選択します。



2. IDの決定に利用する文字列の設定

「既存アプリケーションの更新」画面が表示されたら、「IDの決定に利用する文字列」を設定します。

「IDの決定に利用する文字列」は、各処理やIDなどに利用されます。



### コラム

「既存アプリケーションの更新」画面では、既存アプリケーションの基本情報が自動入力されます。  
 なお、アプリケーションIDとアプリケーション名は変更できません。

### 3. 利用するデータベース種別とテーブルの名称の設定

次に、利用するデータベース種別とテーブルの名称を設定します。

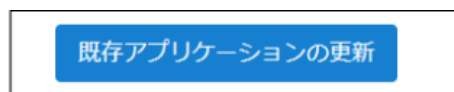
なお、「ファイルアップロード」テンプレートでは、新規にテーブルを作成する必要があります。



### 4. 既存アプリケーションの更新

アプリケーションの基本情報とテーブル情報を設定した後、「既存アプリケーションの更新」ボタンをクリックしてください。

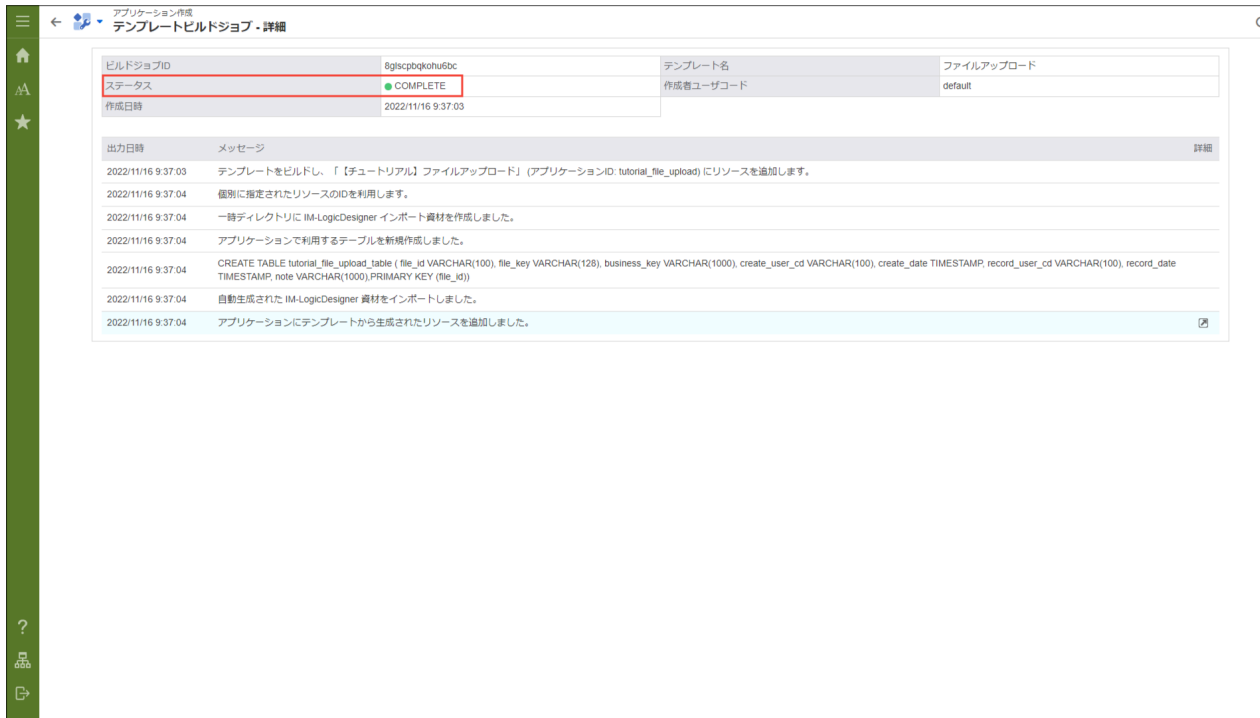
入力項目に不備が無ければ、自動で既存アプリケーションの更新が行われます。



### 5. 既存アプリケーションの更新結果

アプリケーションの更新が完了すると、ステータスが「COMPLETE」と表示されます。





IM-BloomMaker資材の編集（単一ファイルアップロードの場合）

「ファイルアップロード」機能を追加するために、IM-BloomMaker資材の編集を行います。  
 「アプリケーション管理」画面の「【チュートリアル】ファイルアップロード 登録・編集・参照画面」を選択してください。



**注意**  
 画像のアプリケーションは、「マスタメンテナンス」テンプレートのアプリケーション名に「【チュートリアル】ファイルアップロード」と入力して作成されたアプリケーションの例です。

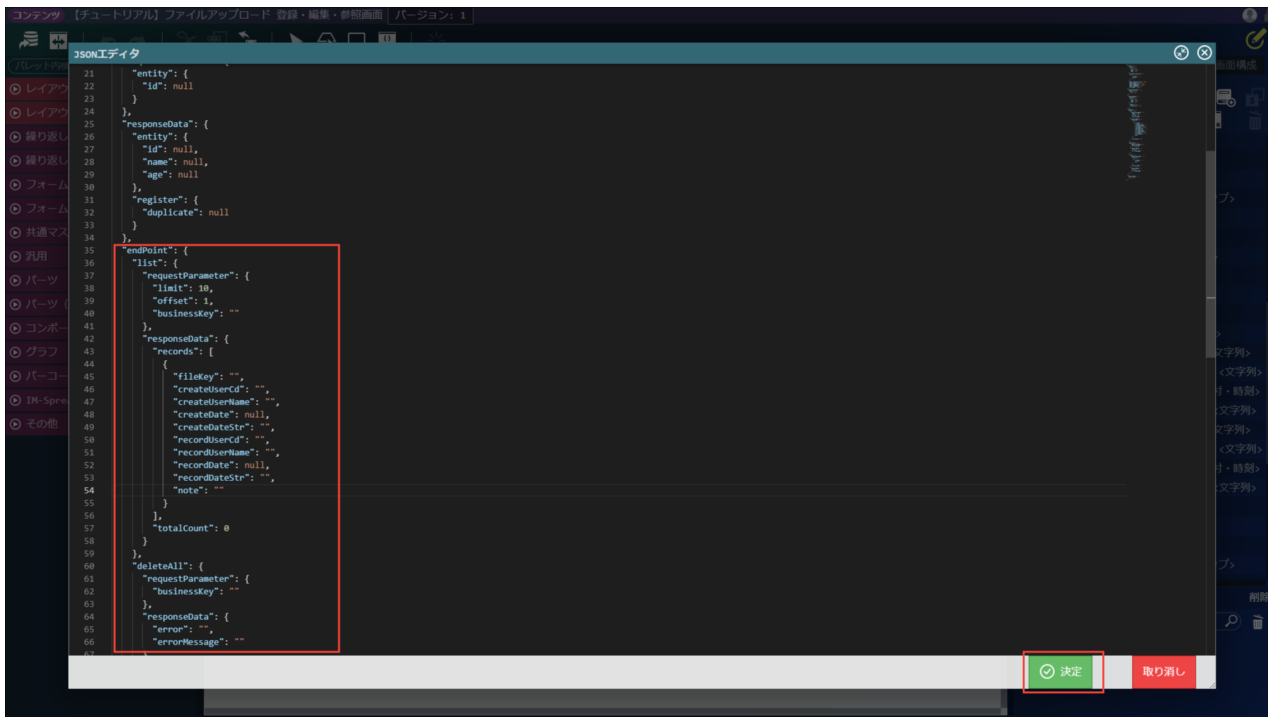
「デザイン編集」画面が表示されたら、以下の手順でコンテンツを編集します。

**コラム**  
 コンテンツの編集作業中は、編集した内容を保存するために、こまめに「デザイン編集」画面左上の「上書き保存」をクリックすることを推奨します。

1. 変数の作成

「変数」タブから「JSON形式で編集」アイコンをクリックして、\$variable 配下に以下の変数を追加してください。

```
"endPoint": {
  "list": {
    "requestParameter": {
      "limit": 10,
      "offset": 1,
      "businessKey": ""
    },
    "responseData": {
      "records": [
        {
          "fileKey": "",
          "createUserCd": "",
          "createUserName": "",
          "createDate": null,
          "createDateStr": "",
          "recordUserCd": "",
          "recordUserName": "",
          "recordDate": null,
          "recordDateStr": "",
          "note": ""
        }
      ],
      "totalCount": 0
    }
  },
  "deleteAll": {
    "requestParameter": {
      "businessKey": ""
    },
    "responseData": {
      "error": "",
      "errorMessage": ""
    }
  },
  "crud": {
    "requestParameter": {
      "records": [
        {
          "fileKey": "",
          "note": ""
        }
      ],
      "businessKey": ""
    },
    "responseData": {
      "error": "",
      "errorMessage": ""
    }
  }
}
```

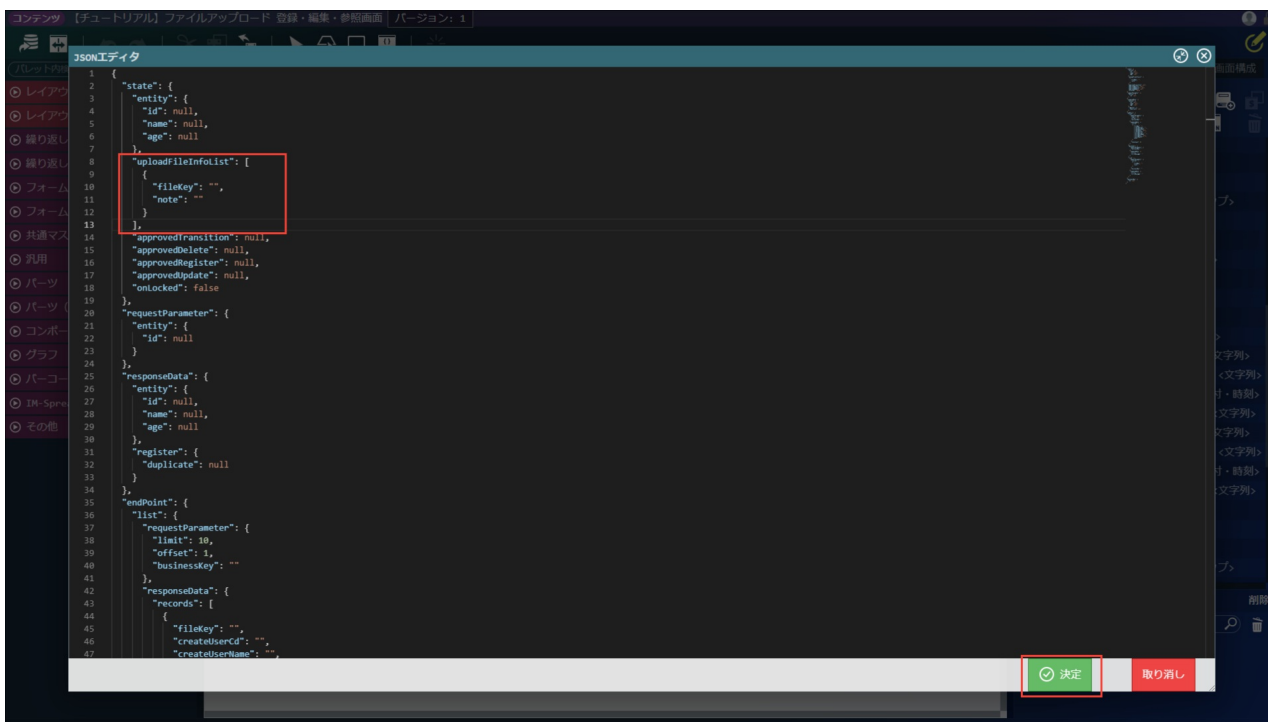


**注意**

追加した変数 createDate と recordDate については、「値の型」を「マップ」から「日付・時刻」に変更してください。

次に、もう一度「JSON形式で編集」アイコンをクリックして、\$variable.state 配下以下の変数を追加してください。

```
"uploadFileInfolist": [
  {
    "fileKey": "",
    "note": ""
  }
]
```



2. 新規アクションの追加

1. Save Upload File アクション

アクション名には「Save Upload File」と入力してください。

「標準」から「変数〇に〇を代入する」アクションアイテムを配置して、以下のように設定してください。

項目	指定する値	備考
変数値1	<code>\$variable.endPoint.crud.requestParameter.records</code>	
変数値2	<code>\$variable.state.uploadFileInfoList</code>	プルダウンから「変数値」を選択してください。

「標準」から「変数〇に〇を代入する」アクションアイテムを配置して、以下のように設定してください。

項目	指定する値	備考
変数値1	<code>\$variable.endPoint.crud.requestParameter.businessKey</code>	
変数値2	<code>\$variable.state.entity. (主キー)</code>	プルダウンから「変数値」を選択してください。



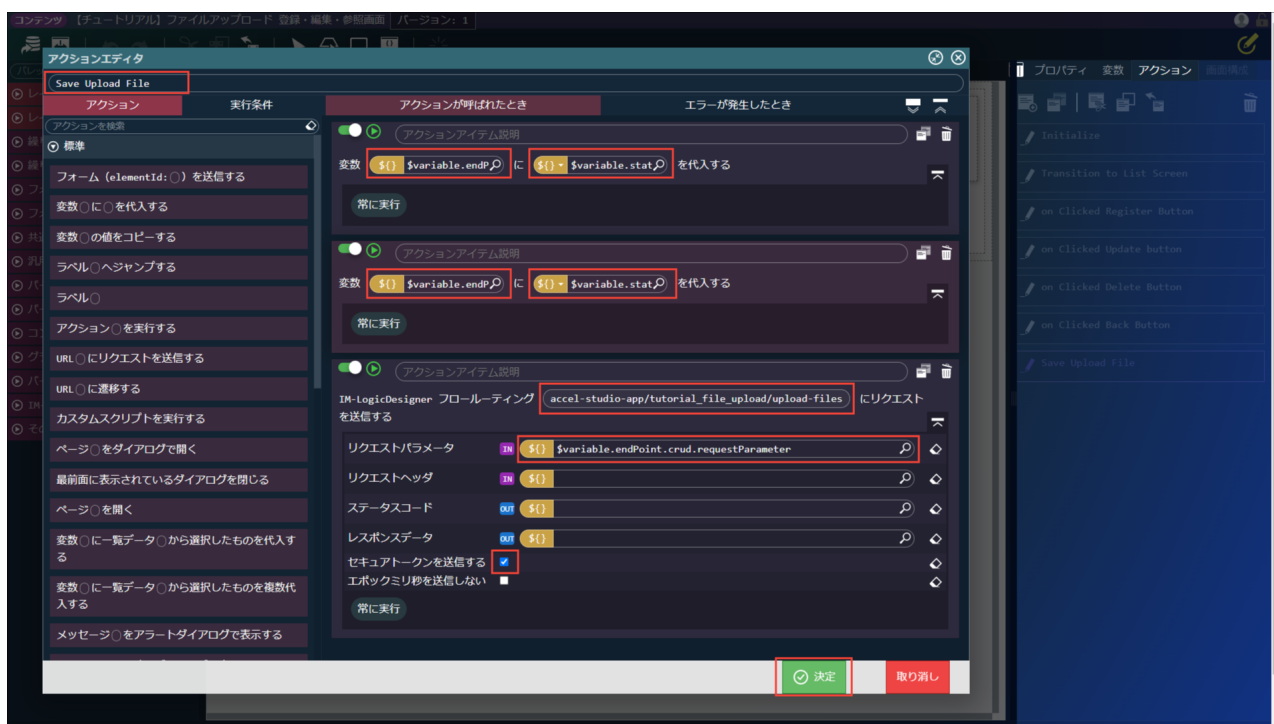
**注意**

主キーが複数ある場合は、「変数〇に〇を代入する」アクションアイテムの代わりに、「カスタムスクリプトを実行する」アクションアイテムを配置して、以下のカスタムスクリプトを入力してください。

```
$variable.endPoint.crud.requestParameter.businessKey = $variable.state.entity. (主キー1) + $variable.state.entity. (主キー2);
```

「IM-LogicDesigner」から「IM-LogicDesigner フロールーティング〇にリクエストを送信する」アクションアイテムを配置して、以下のように設定してください。

項目	指定する値	備考
ルーティング	<code>accel-studio-app/{IDの決定に利用する文字列}/upload-files</code>	「ファイル情報登録・更新・削除処理」で検索してください。
リクエストパラメータ	<code>\$variable.endPoint.crud.requestParameter</code>	
セキュアトークンを送信	チェックを入れる	



アクションアイテムの設定後、「決定」をクリックしてアクションを保存してください。

アクション名には「Load Upload File Table」と入力してください。

「標準」から「変数〇に〇を代入する」アクションアイテムを配置して、以下のように設定してください。

項目	指定する値	備考
変数値1	<code>\$variable.endPoint.list.requestParameter.businessKey</code>	
変数値2	<code>\$variable.state.entity. (主キー)</code>	プルダウンから「変数値」を選択してください。

**注意**

主キーが複数ある場合は、「変数〇に〇を代入する」アクションアイテムの代わりに、「カスタムスクリプトを実行する」アクションアイテムを配置して、以下のカスタムスクリプトを入力してください。

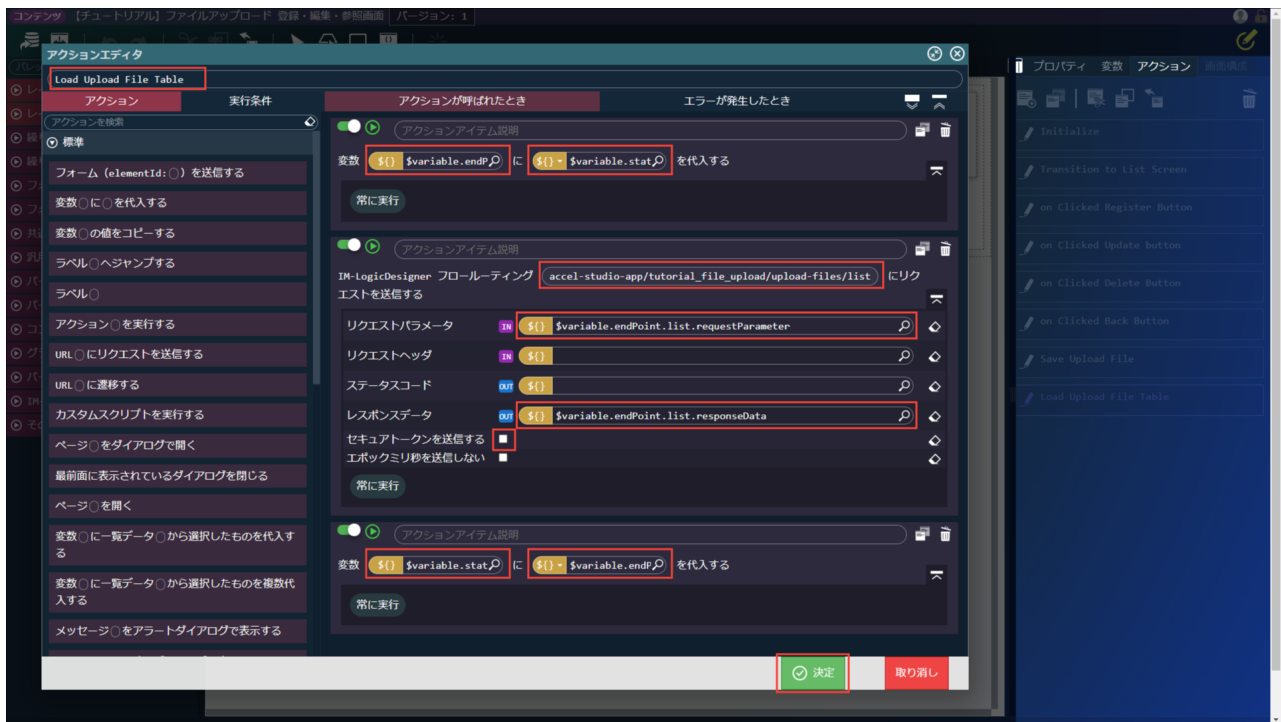
```
$variable.endPoint.list.requestParameter.businessKey = $variable.state.entity. (主キー1) + $variable.state.entity. (主キー2);
```

「IM-LogicDesigner」から「IM-LogicDesigner フロールーティング〇にリクエストを送信する」アクションアイテムを配置して、以下のように設定してください。

項目	指定する値	備考
ルーティング	<code>accel-studio-app/{IDの決定に利用する文字列}/upload-files/list</code>	「ファイル情報一覧取得処理」で検索してください。
リクエストパラメータ	<code>\$variable.endPoint.list.requestParameter</code>	
レスポンスデータ	<code>\$variable.endPoint.list.responseData</code>	
セキュアトークンを送信する	チェックを入れない	

「標準」から「変数〇に〇を代入する」アクションアイテムを配置して、以下のように設定してください。

項目	指定する値	備考
変数値1	<code>\$variable.state.uploadFileInfoList</code>	
変数値2	<code>\$variable.endPoint.list.responseData.records</code>	プルダウンから「変数値」を選択してください。



アクションアイテムの設定後、「決定」をクリックしてアクションを保存してください。

3. Delete All Upload File アクション

アクション名には「Delete All Upload File」と入力してください。

「標準」から「変数〇に〇を代入する」アクションアイテムを配置して、以下のように設定してください。

項目	指定する値	備考
変数値1	<code>\$variable.endPoint.deleteAll.requestParameter.businessKey</code>	
変数値2	<code>\$variable.state.entity. (主キー)</code>	プルダウンから「変数値」を選択してください。

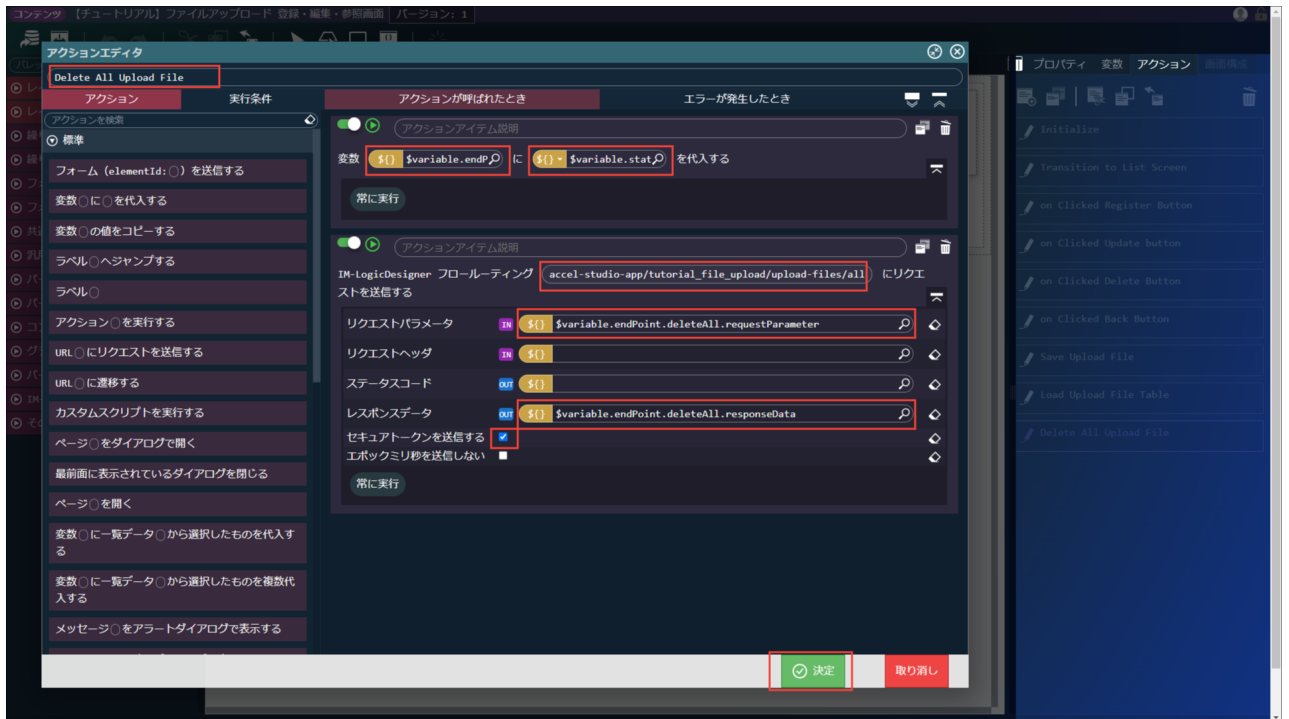
**注意**

主キーが複数ある場合は、「変数〇に〇を代入する」アクションアイテムの代わりに、「カスタムスクリプトを実行する」アクションアイテムを配置して、以下のカスタムスクリプトを入力してください。

```
$variable.endPoint.deleteAll.requestParameter.businessKey = $variable.state.entity. (主キー1) + $variable.state.entity. (主キー2);
```

「IM-LogicDesigner」から「IM-LogicDesigner フロールーティング〇にリクエストを送信する」アクションアイテムを配置して、以下のように設定してください。

項目	指定する値	備考
ルーティング	<code>accel-studio-app/{IDの決定に利用する文字列}/upload-files/all</code>	「ファイル情報一括削除処理」で検索してください。
リクエストパラメータ	<code>\$variable.endPoint.deleteAll.requestParameter</code>	
レスポンスデータ	<code>\$variable.endPoint.deleteAll.responseData</code>	
セキュアトークンを送信する	チェックを入れる	

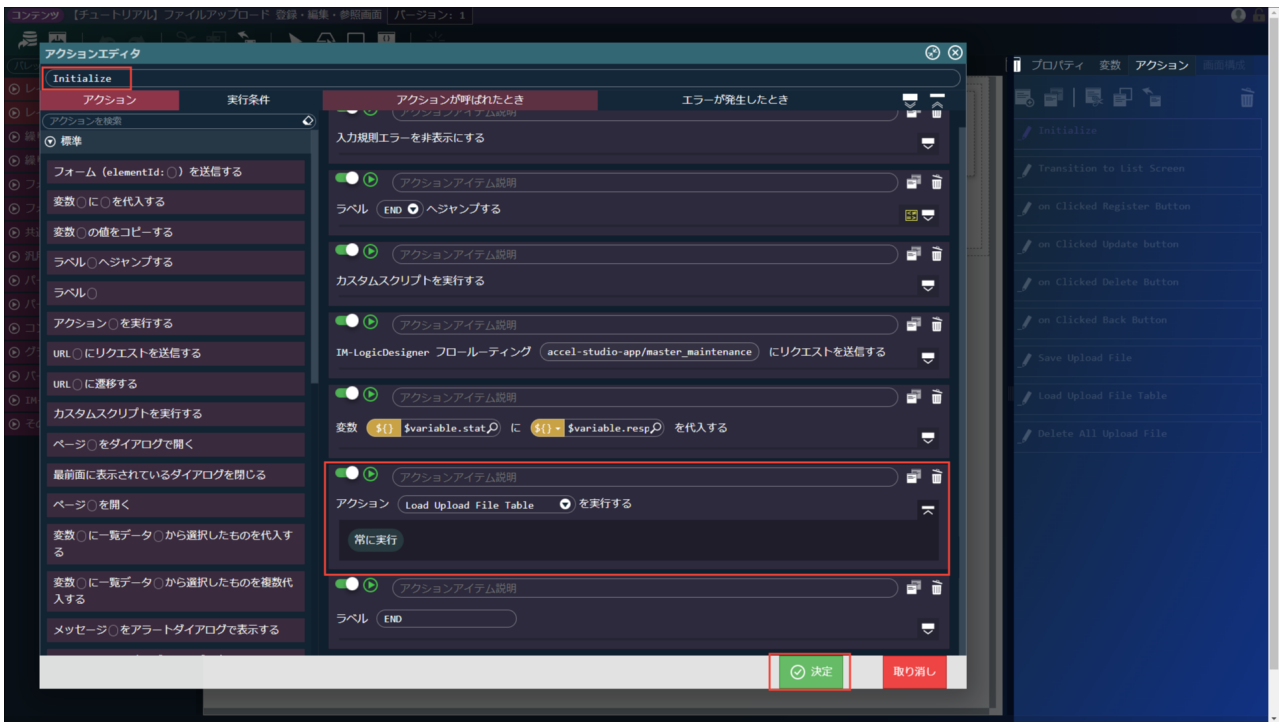


アクションアイテムの設定後、「決定」をクリックしてアクションを保存してください。

3. 既存アクションの編集

1. Initialize アクション

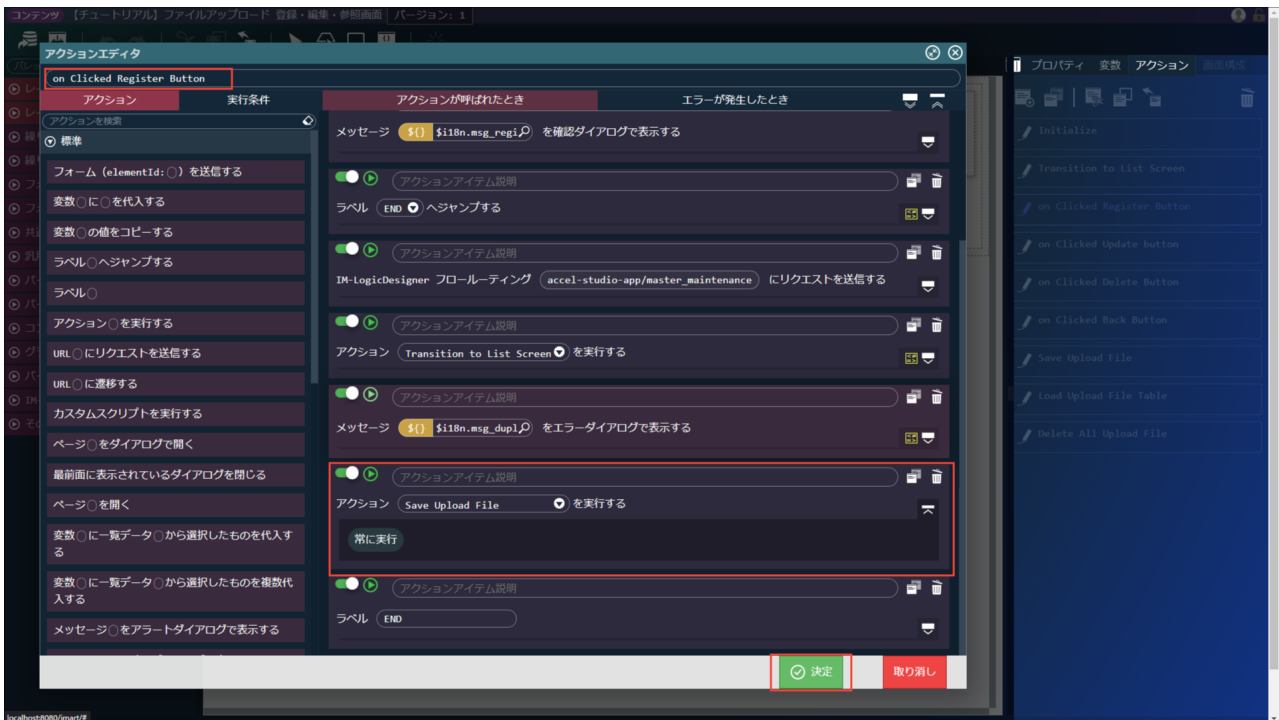
「標準」から「アクション〇を実行する」アクションアイテムを選択し、「ラベル END」のひとつ前に配置します。プルダウンから「Load Upload File Table」を選択してください。



アクションアイテムの設定後、「決定」をクリックしてアクションを保存してください。

## 2. on Clicked Register Button アクション

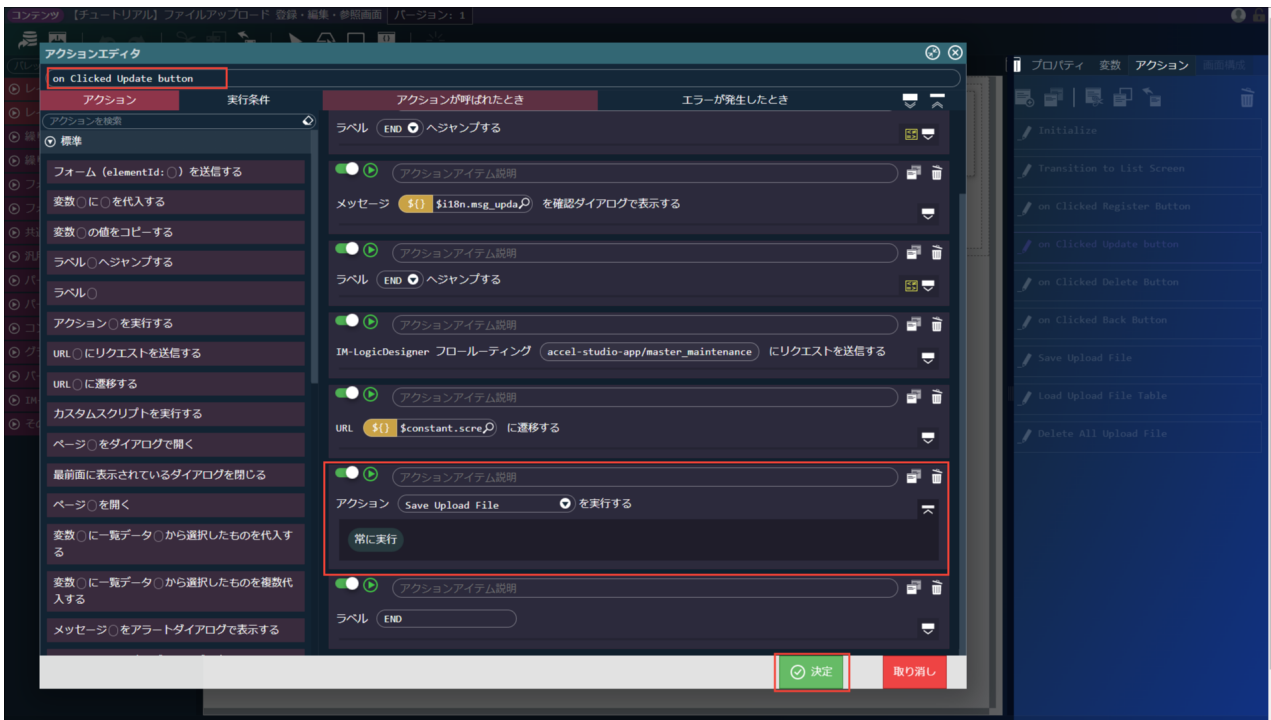
「標準」から「アクション〇を実行する」アクションアイテムを選択し、「ラベル END」のひとつ前に配置します。プルダウンから「Save Upload File」を選択してください。



アクションアイテムの設定後、「決定」をクリックしてアクションを保存してください。

## 3. on Clicked Update button アクション

「標準」から「アクション〇を実行する」アクションアイテムを選択し、「ラベル END」のひとつ前に配置します。プルダウンから「Save Upload File」を選択してください。

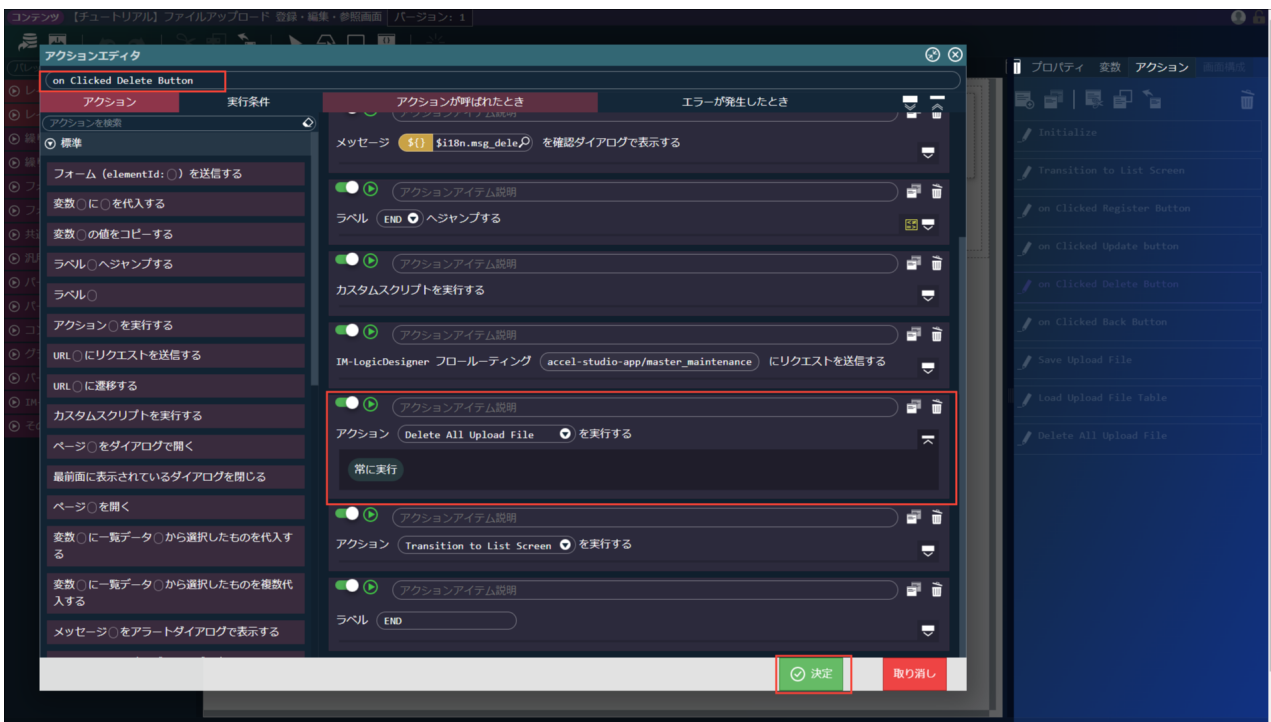


アクションアイテムの設定後、「決定」をクリックしてアクションを保存してください。

#### 4. on Clicked Delete Button アクション

「標準」から「アクション〇を実行する」アクションアイテムを選択し、「アクション Transition to List Screen を実行する」のひとつ前に配置します。

プルダウンから「Delete All Upload File」を選択してください。

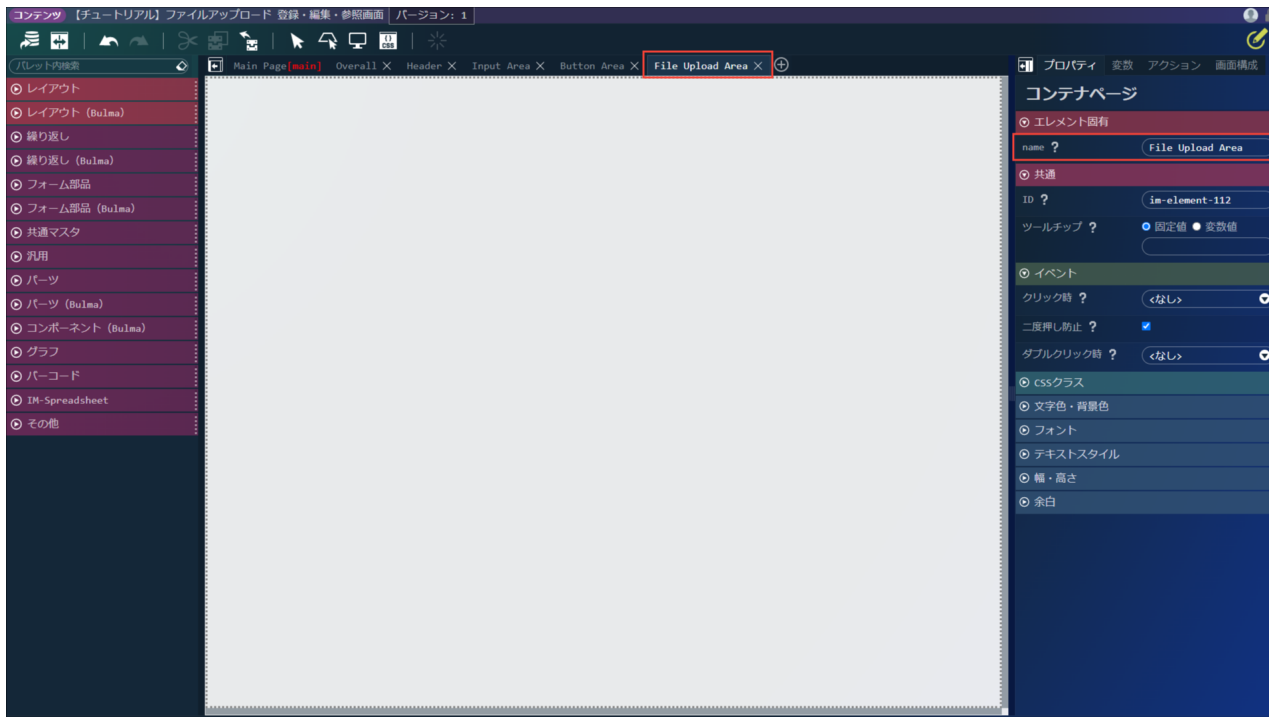


アクションアイテムの設定後、「決定」をクリックしてアクションを保存してください。

#### 4. コンテナページの追加

新規にコンテナページを追加し、「コンテナページ」の要素固有の「name」には「File Upload Area」と入力してください。

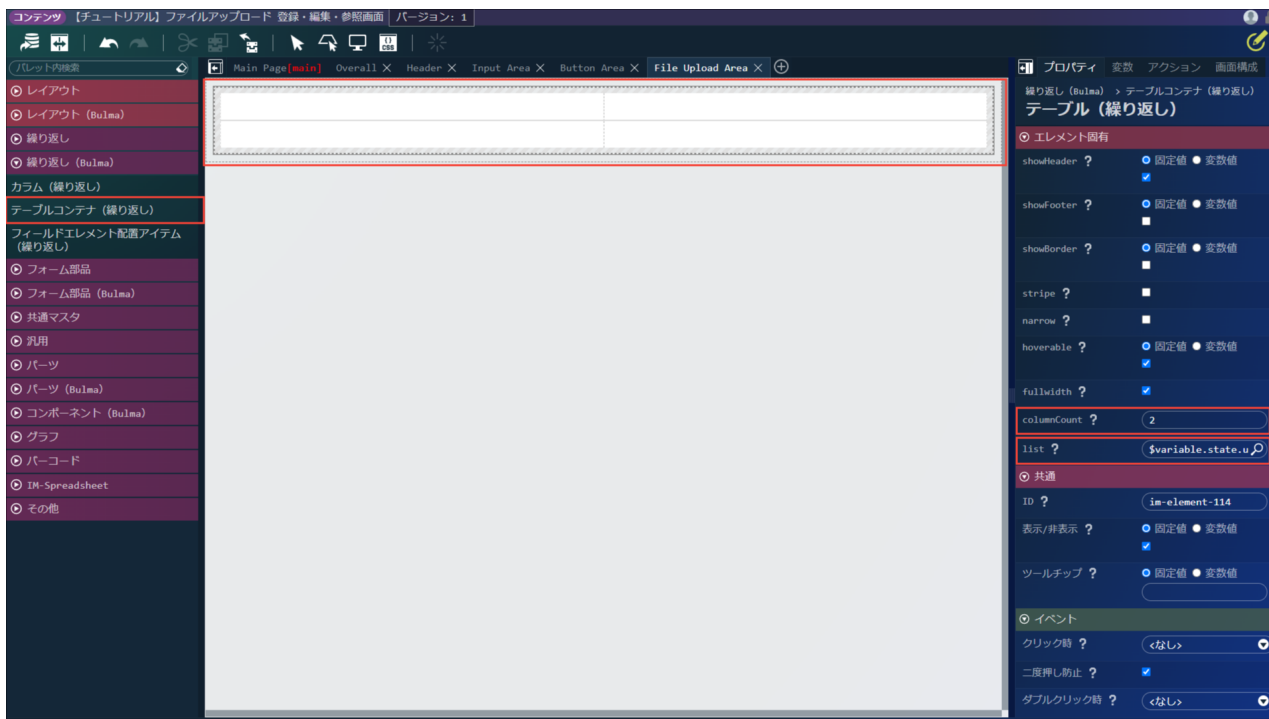




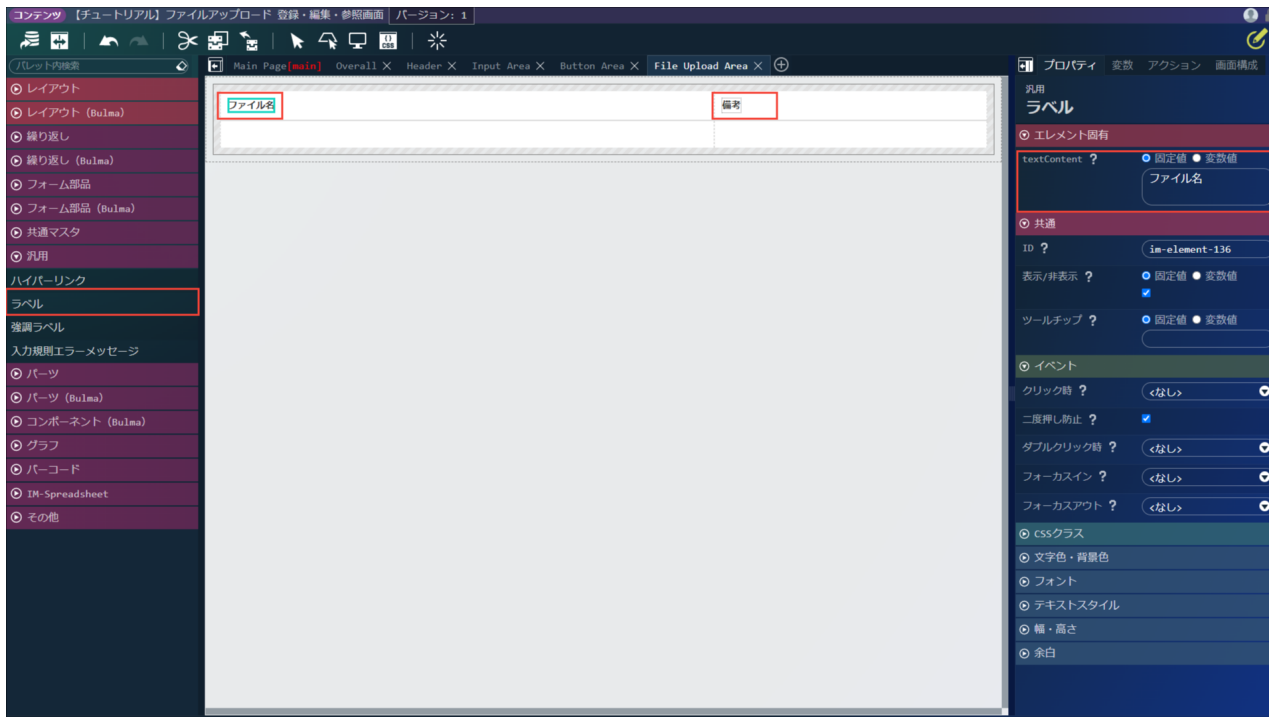
5. テーブルの追加

コンテナページの作成後、「繰り返し (Bulma)」から「テーブルコンテナ (繰り返し)」エレメントを配置してください。「テーブル (繰り返し)」のエレメント固有のプロパティは以下のように設定してください。

プロパティ	指定する値
columnCount	2
list	<code>\$variable.state.uploadFileInfoList</code>

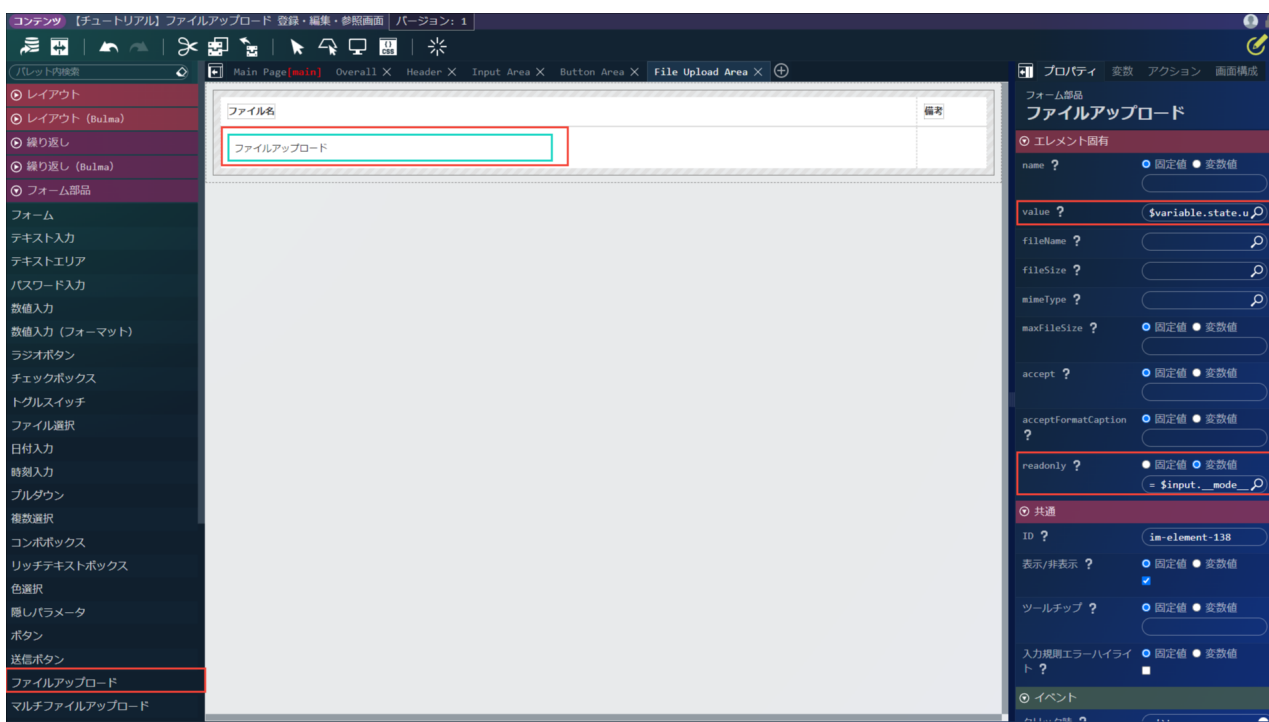


次に、「汎用」から「ラベル」エレメントを選択し、画像のように「テーブルヘッダセル」内に配置してください。「ラベル」のエレメント固有の「textContent」には「固定値」でそれぞれ「ファイル名」と「備考」を入力してください。

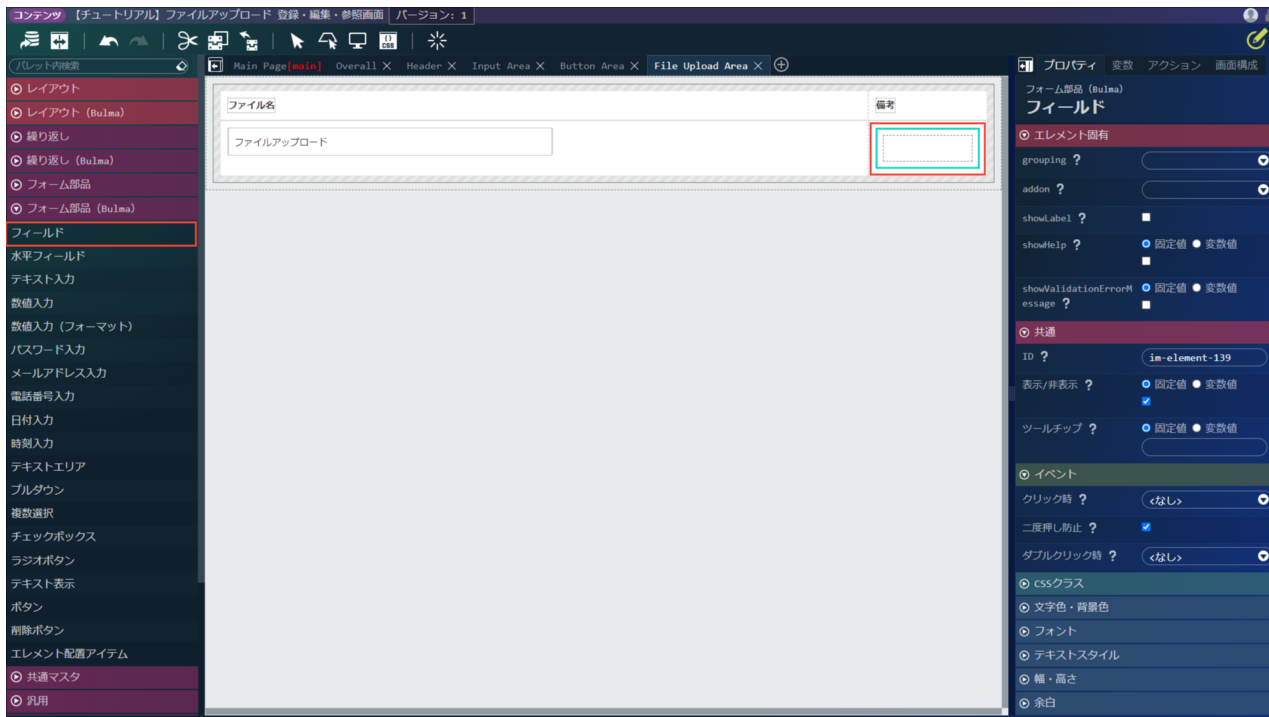


次に、「フォーム部品」から「ファイルアップロード」エレメントを選択し、画像のように「テーブルセル」内に配置してください。「ファイルアップロード」のエレメント固有のプロパティは以下のように設定してください。

プロパティ	指定する値	備考
value	<code>\$variable.state.uploadFileInfolist[\$index].fileKey</code>	
readonly	<code>= \$input.__mode__ == \$constant.mode.refer</code>	変数値を選択してください。



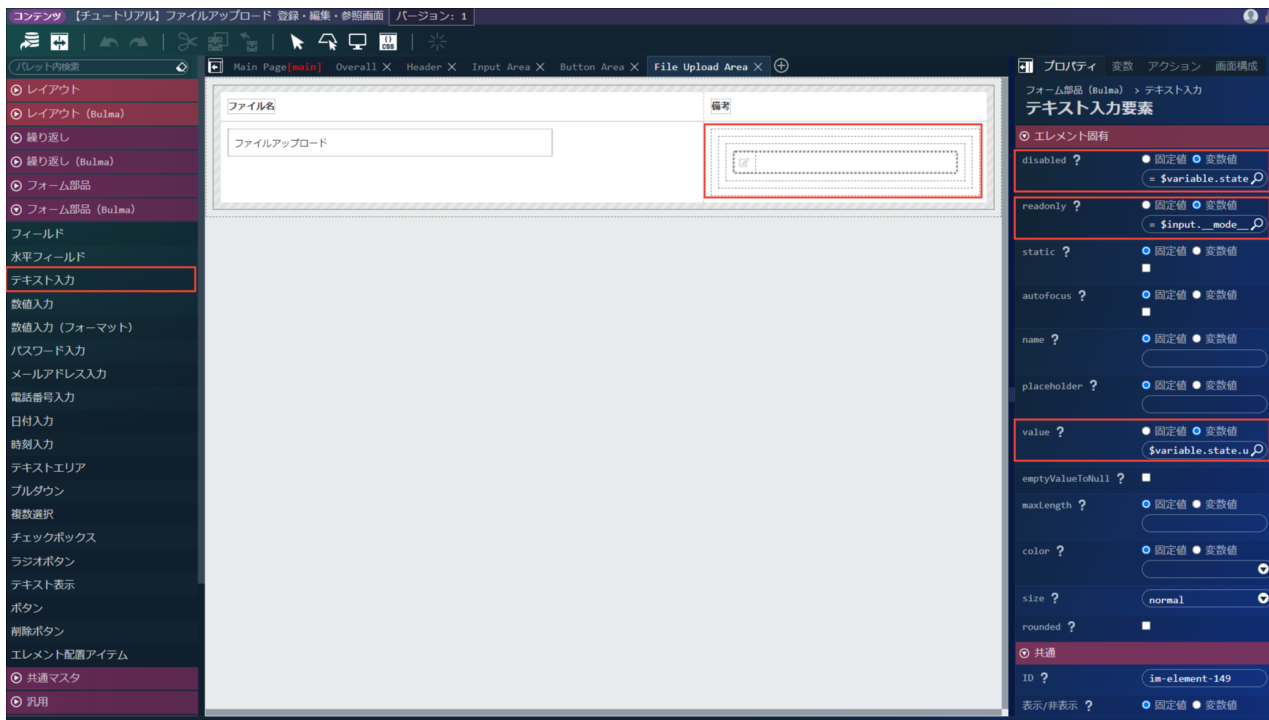
次に、「フォーム部品 (Bulma)」から「フィールド」エレメントを選び、画像のように「テーブルセル」内に配置してください。



「フィールド」エレメントを配置した後、「フォーム部品 (Bulma)」から「テキスト入力」エレメントを選択し、画像のように「フィールド」内に配置してください。

「テキスト入力要素」のエレメント固有のプロパティは以下のように設定してください。

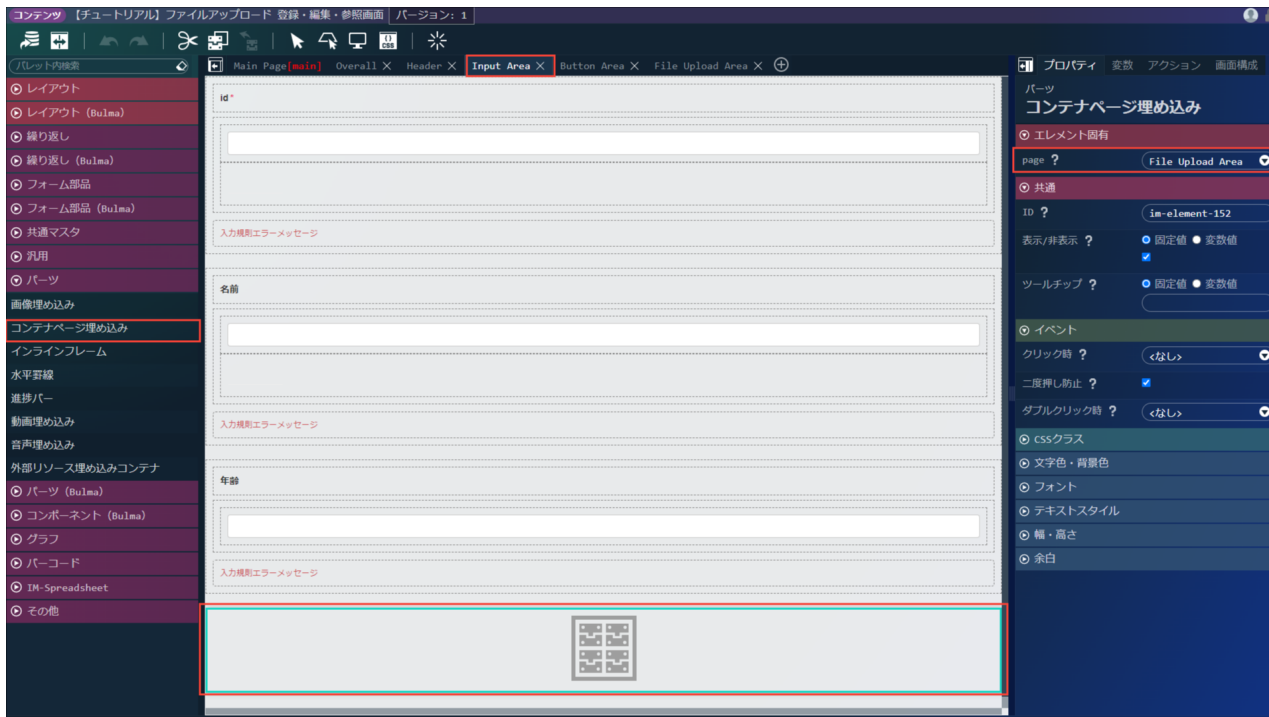
プロパティ	指定する値	備考
disabled	= \$variable.state.uploadFileInfoList[\$index].fileKey == null	変数値を選択してください。
readonly	= \$input.__mode__ == \$constant.mode.refer	変数値を選択してください。
value	\$variable.state.uploadFileInfoList[\$index].note	変数値を選択してください。



#### 6. 追加したコンテナページの配置

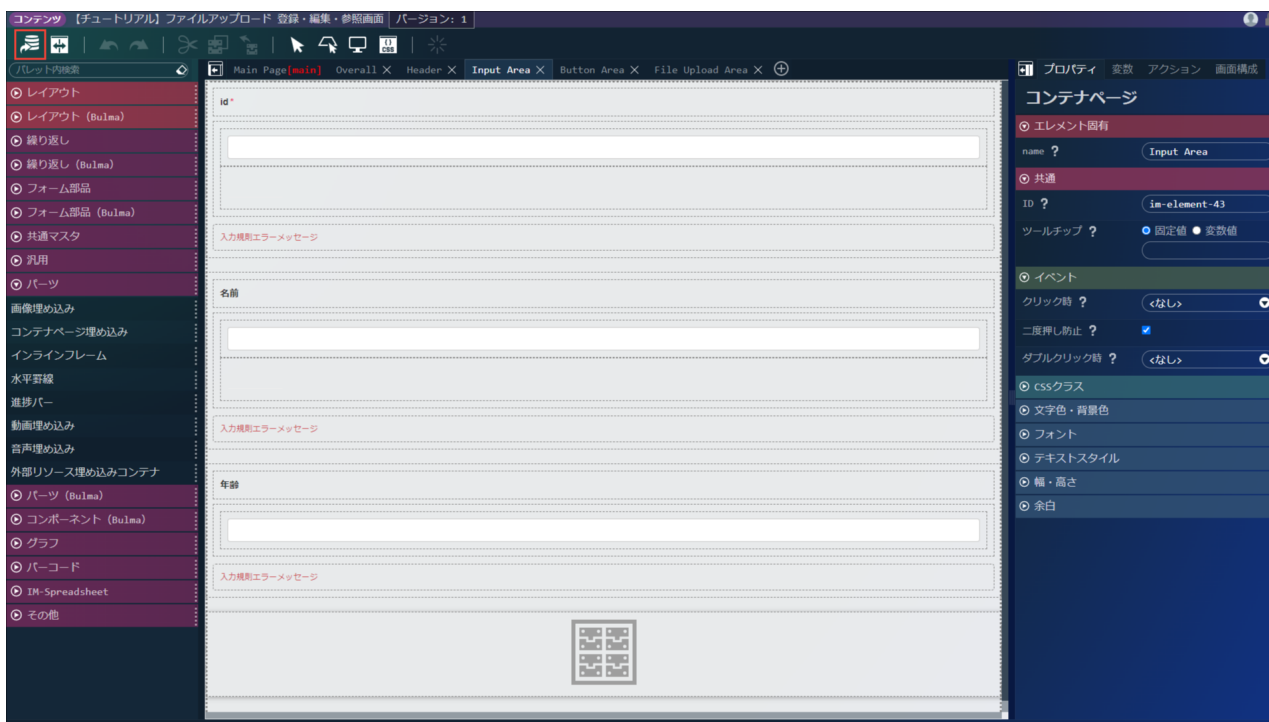
「パーツ」から「コンテナページ埋め込み」エレメントをコンテナ「Input Area」に配置してください。

「コンテナページ埋め込み」エレメントの「page」には、作成した「File Upload Area」を指定してください。



## 7. 編集内容の保存

最後に編集内容の保存を行います。画面左上の「上書き保存」をクリックしてください。



## IM-BloomMaker資材の編集（複数ファイルアップロードの場合）

「ファイルアップロード」テンプレートは、複数ファイルアップロードに対応しています。ファイルごとに備考欄を用意する都合上、「マルチファイルアップロード」元素ではなく、「ファイルアップロード」元素を繰り返し利用することで実装します。

実装例として、「【チュートリアル】ファイルアップロード 登録・編集・参照画面」から、複数ファイルアップロードできるようにする手順を紹介します。

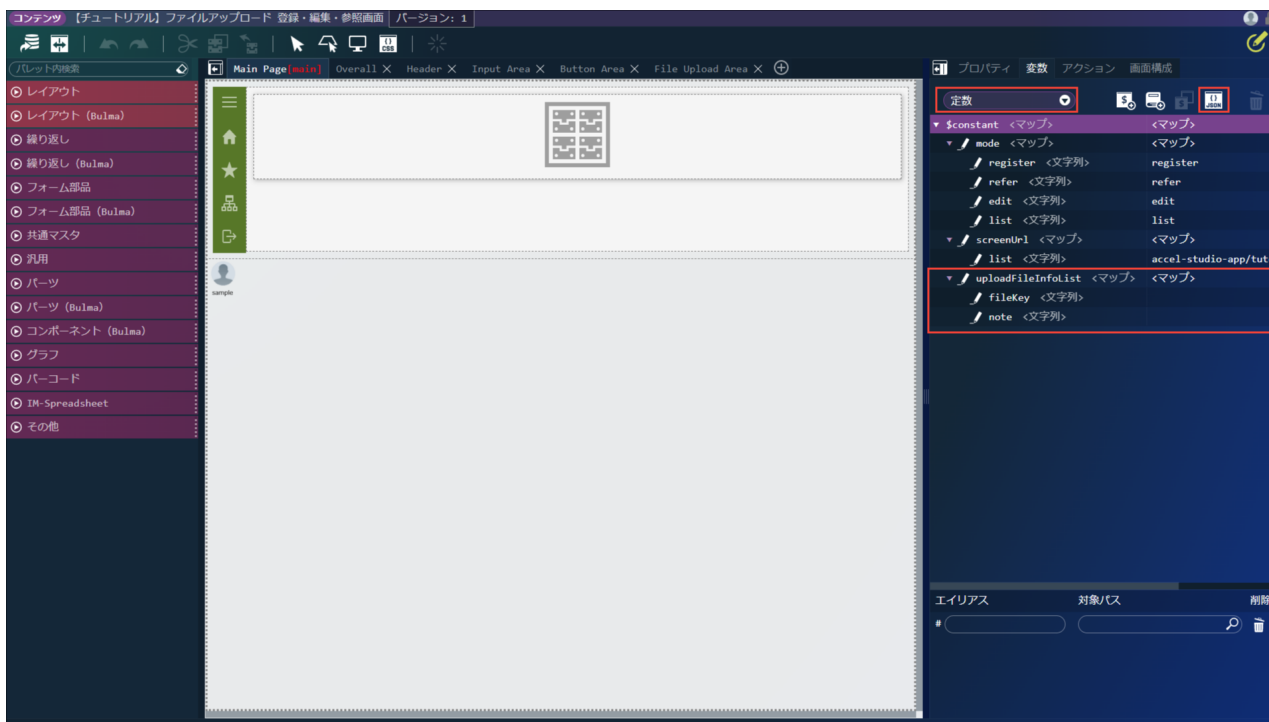
### 1. 事前準備

IM-BloomMaker資材の編集（単一ファイルアップロードの場合）までを完了させてください。

### 2. 定数の作成

「変数」タブからプルダウンで「定数」を選択し、「JSON形式で編集」アイコンから \$constant 配下に以下の定数を追加してください。

```
"uploadFileInfoList": {
  "fileKey": "",
  "note": ""
}
```



### 3. 新規アクションの追加

#### 1. Adjust File Upload Element アクション

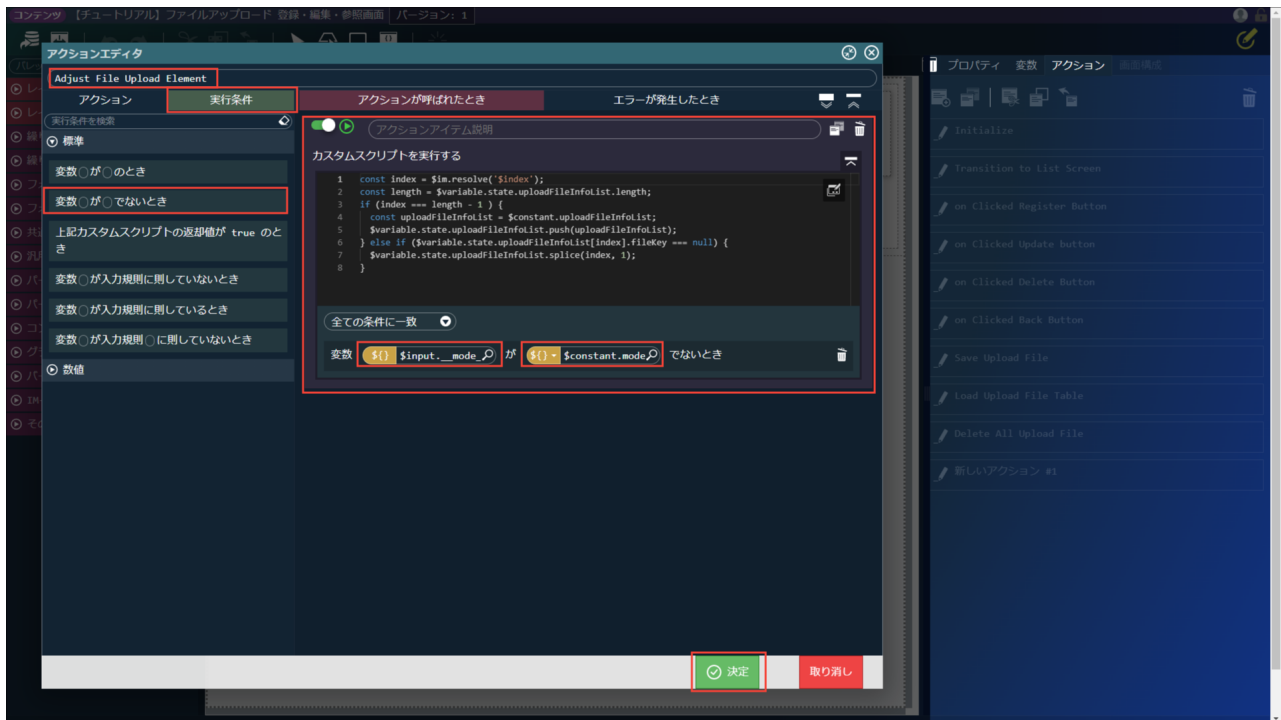
アクション名には「Adjust File Upload Element」と入力してください。

「標準」から「カスタムスクリプトを実行する」アクションアイテムを配置して、以下のカスタムスクリプトを入力してください。

```
const index = $im.resolve('${index}');
const length = $variable.state.uploadFileInfoList.length;
if (index === length - 1) {
  const uploadFileInfoList = $constant.uploadFileInfoList;
  $variable.state.uploadFileInfoList.push(uploadFileInfoList);
} else if ($variable.state.uploadFileInfoList[index].fileKey === null) {
  $variable.state.uploadFileInfoList.splice(index, 1);
}
```

「実行条件」内の「標準」から「変数〇が〇でないとき」を配置して、以下のように設定してください。

項目	指定する値	備考
変数値1	\$input.__mode__	
変数値2	\$constant.mode.refer	プルダウンから「変数値」を選択してください。



アクションアイテムの設定後、「決定」をクリックしてアクションを保存してください。

#### 4. 既存アクションの編集

##### 1. Load Upload File Table アクション

「標準」から「カスタムスクリプトを実行する」アクションアイテムを配置して、以下のカスタムスクリプトを入力してください。配置する位置は「Load Upload File Table」アクション内の最後です。

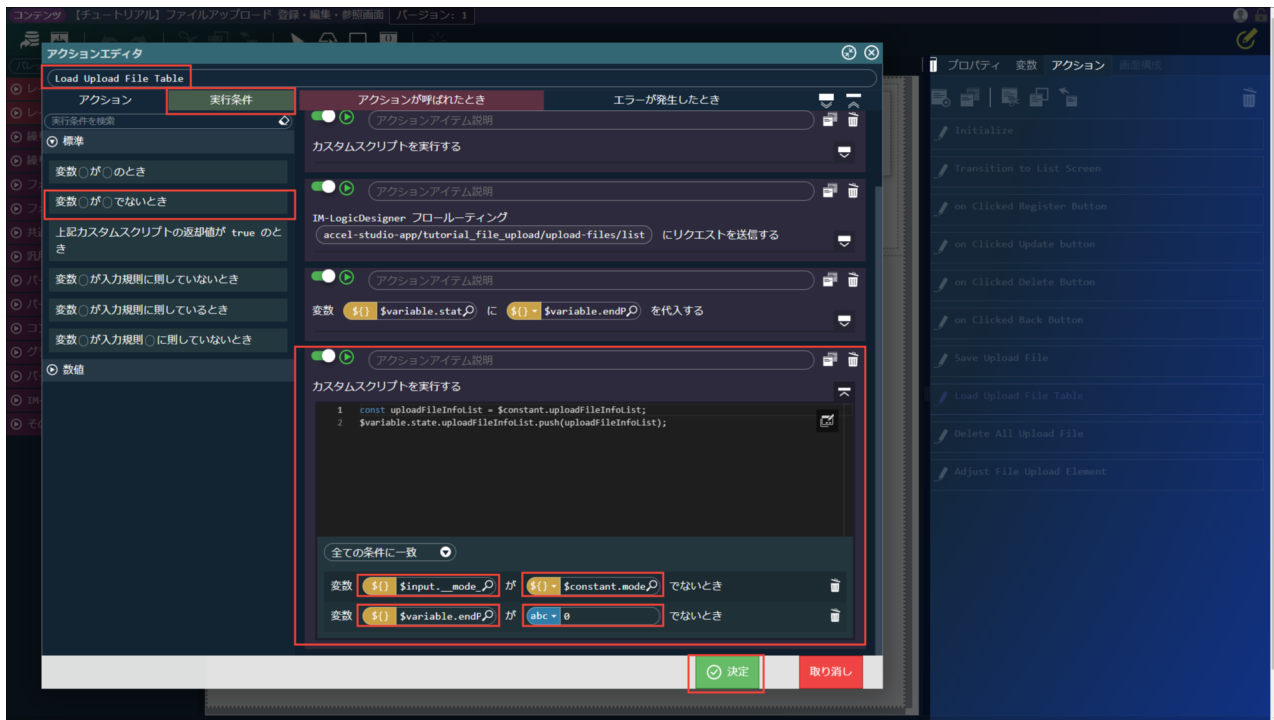
```
const uploadFileInfoList = $constant.uploadFileInfoList;
$variable.state.uploadFileInfoList.push(uploadFileInfoList);
```

「実行条件」内の「標準」から「変数〇が〇でないとき」を配置して、以下のように設定してください。

項目	指定する値	備考
変数値1	\$input.__mode__	
変数値2	\$constant.mode.refer	プルダウンから「変数値」を選択してください。

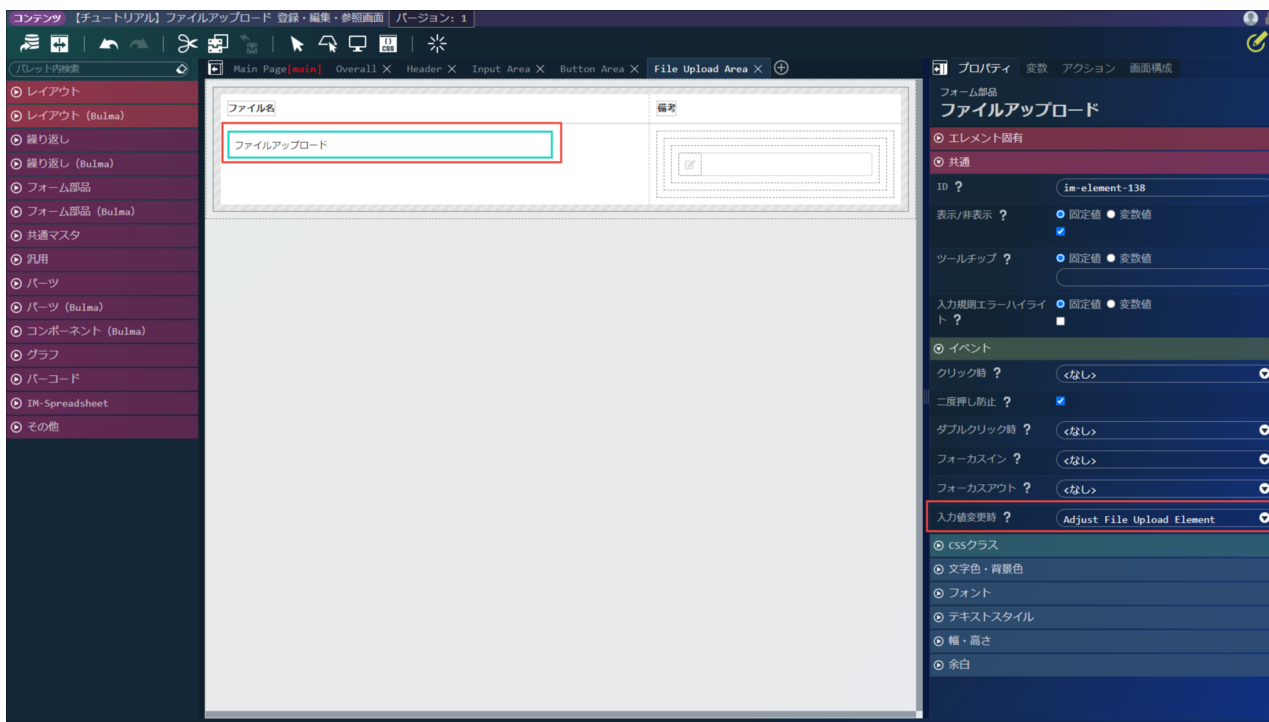
「実行条件」内の「標準」から「変数〇が〇でないとき」を配置して、以下のように設定してください。

項目	指定する値	備考
変数値1	\$variable.endPoint.list.responseData.totalCount	
変数値2	0	プルダウンから「固定値」を選択してください。



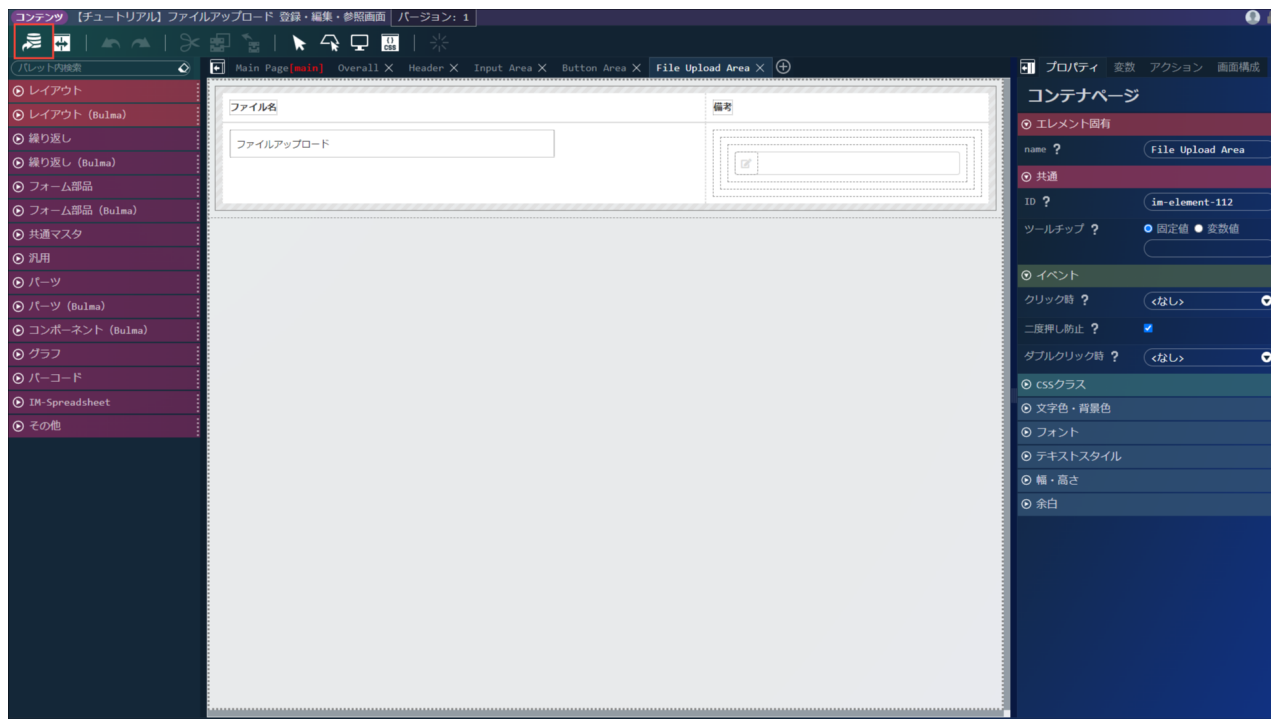
5. アクションの紐付け

「ファイルアップロード」のイベントの「入力値変更時」に、先ほど作成したアクション「Adjust File Upload Element」を設定してください。



6. 編集内容の保存

最後に編集内容の保存を行います。画面左上の「上書き保存」をクリックしてください。



### 「ファイルアップロード」機能の使用例

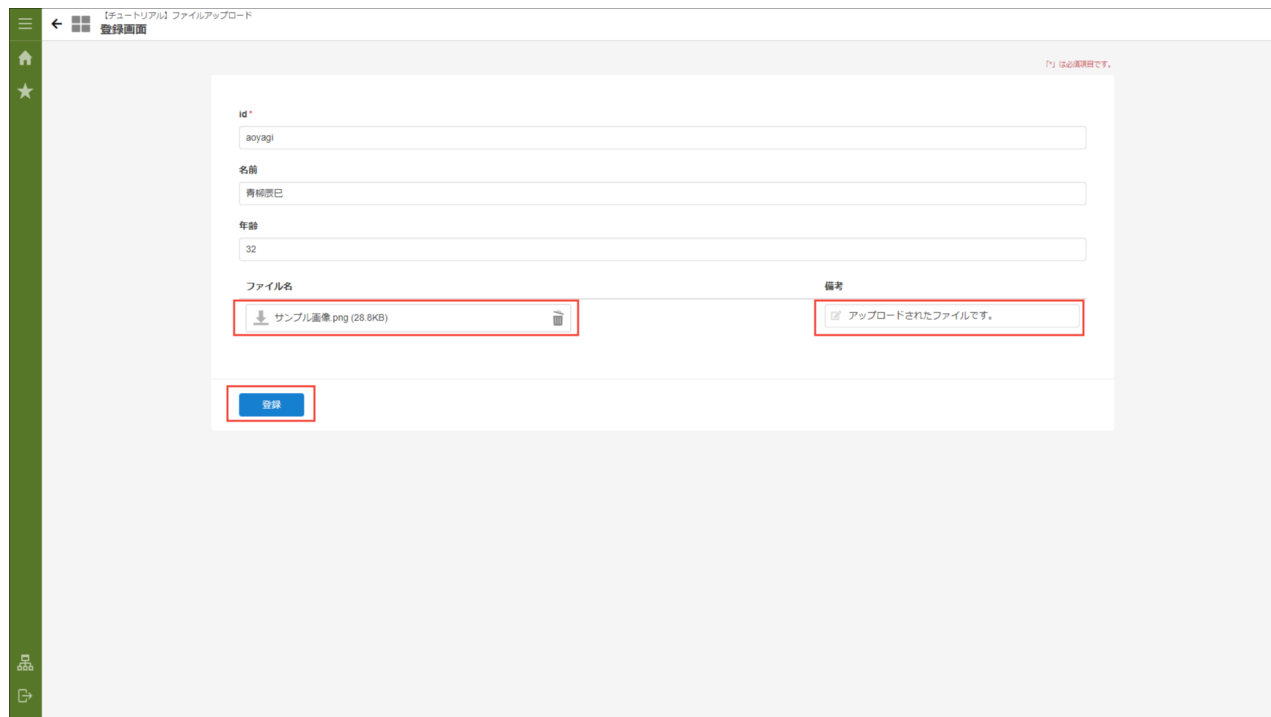
チュートリアルで追加した「ファイルアップロード」機能の使用例を紹介します。

#### **i** コラム

アプリケーションの認可設定については、「[Accel Studioのテンプレート](#)」を参照してください。

#### 登録画面

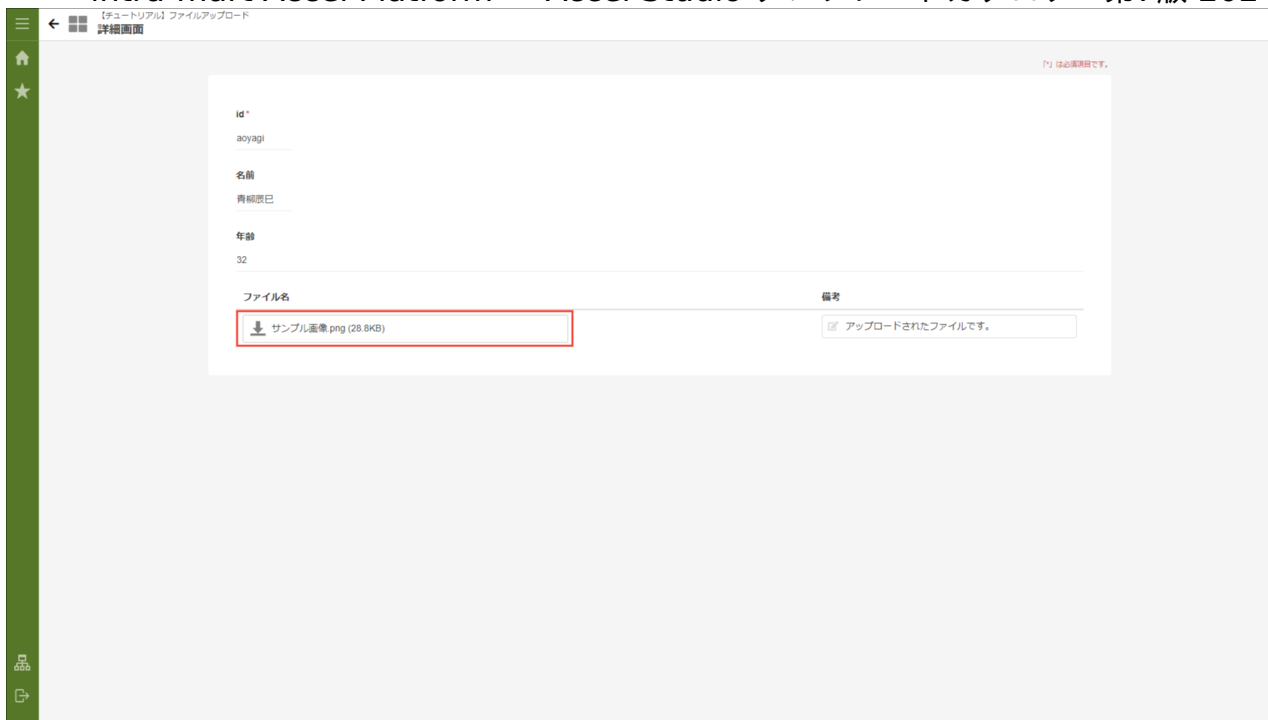
「登録画面」では、ファイルをアップロードし、備考に任意の文字列を入力できます。  
「登録」ボタンをクリックすると、ファイルの情報が登録されます。



#### 詳細画面

「詳細画面」では、アップロードされたファイルの情報を確認できます。  
アップロードされたファイルをクリックすると、ファイルをダウンロードできます。



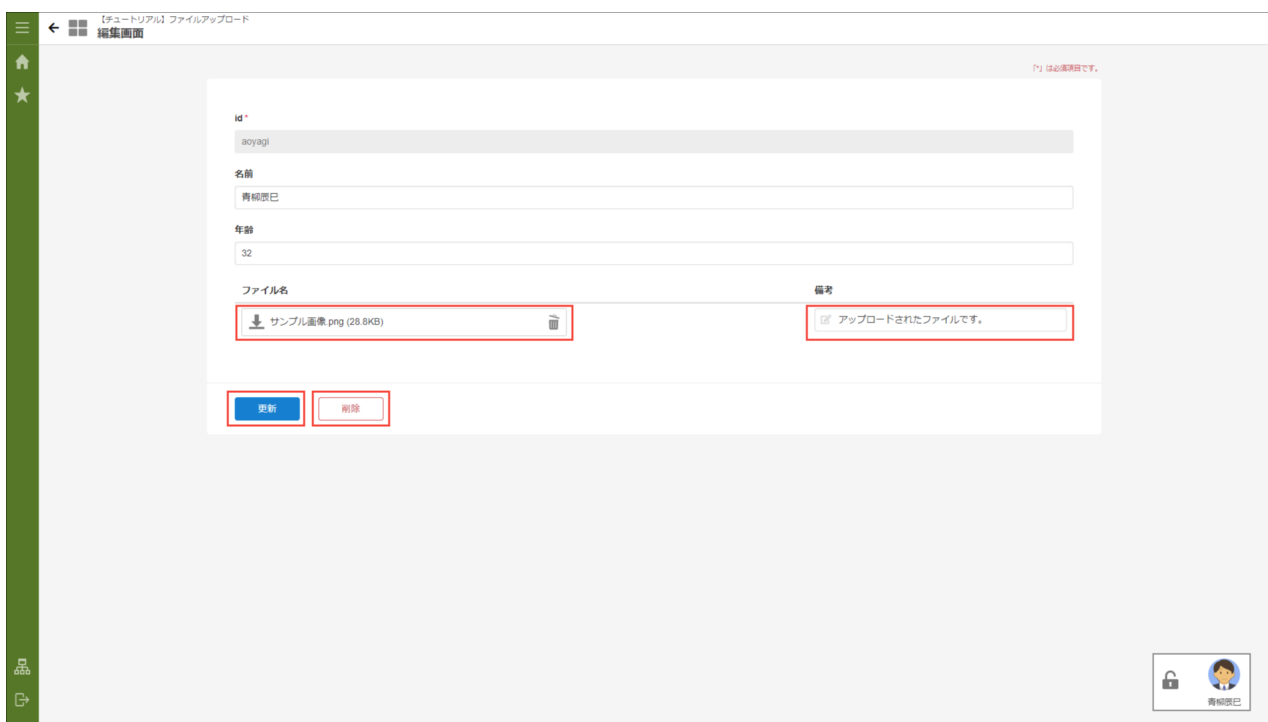


編集画面

「編集画面」では、登録されているファイルの情報を編集できます。

「更新」ボタンをクリックすると、編集したファイルの情報で更新されます。

「削除」ボタンをクリックすると、画面に登録されている情報と一緒にアップロードされたファイルの情報も削除されます。



### 「ファイルアップロード」テンプレートから作成される資材

「ファイルアップロード」テンプレートからは、アップロードするファイルに関する処理が作成されます。処理はIM-LogicDesignerで作成されます。

### ファイル情報登録・更新・削除処理

入力に指定した businessKey に紐づくファイル情報をこの入力値で上書き登録をします。

そのため、businessKey に既にアップロードしたファイルが登録されており、同一の businessKey に対して追加登録（登録済みの情報を維持）したい場合は登録済みの fileKey も入力値に含めてリクエストに送信してください。

逆にファイルを削除したい場合は、削除したいファイルの fileKey を削除した入力値でリクエストを送信してください。

ルーティングURL

accel-studio-app/{IDの決定に利用する文字列}/upload\_files

**i** コラム

REST APIとして利用するためのURLについては、「IM-LogicDesigner仕様書」 - 「ルート・HTTPメソッドに一致するフロールーティング情報の取得」を参照してください。

メソッド

PUT

入力値

```
{
  "records": [
    {
      "fileKey": "",
      "note": ""
    }
  ],
  "businessKey": ""
}
```

変数名	型	説明
records	map	登録・更新・削除するファイル情報を格納する配列です。
fileKey	string	登録・更新・削除するファイルを一意に特定するキーを指定します。
note	string	備考です。
businessKey	string	登録・更新・削除するときに利用される値です。添付ファイルを利用する画面毎に一意の値となるように指定することを推奨します。

**i** コラム

fileKey にはIM-BloomMakerの「ファイルアップロード」のエレメント固有の value に指定した値を設定してください。詳細については、「IM-BloomMaker for Accel Platform ユーザ操作ガイド」 - 「ファイルアップロード」を参照してください。

出力値

```
{
  "error": false,
  "errorMessage": ""
}
```

変数名	型	説明
error	boolean	エラーが発生した場合、true が格納されます。
errorMessage	string	エラーが発生した場合、エラー内容のメッセージが格納されます。

**i** コラム

このロジックフローには出力値は存在しませんが、エラー終了タスクを使用しているため、エラーが発生した場合には、error と errorMessage が返却されます。エラーハンドリングの詳細については、「IM-LogicDesigner チュートリアルガイド」 - 「処理結果情報の詳細」を参照してください。

## ファイル情報一括削除処理

指定した businessKey に紐付けられているファイル情報を全て削除します。

ルーティングURL

accel-studio-app/{IDの決定に利用する文字列}/upload\_files

**i** コラム

REST APIとして利用するためのURLについては、「IM-LogicDesigner仕様書」 - 「ルート・HTTPメソッドに一致するフロールーティング情報の取得」を参照してください。

## メソッド

DELETE

## 入力値

```
{
  "businessKey": ""
}
```

変数名	型	説明
businessKey	string	一括削除するとき利用される値です。添付ファイルを利用する画面毎に一意の値となるように指定することを推奨します。

## 出力値

```
{
  "error": false,
  "errorMessage": ""
}
```

変数名	型	説明
error	boolean	エラーが発生した場合、true が格納されます。
errorMessage	string	エラーが発生した場合、エラー内容のメッセージが格納されます。

**i** コラム

このロジックフローには出力値は存在しませんが、エラー終了タスクを使用しているため、エラーが発生した場合には、error と errorMessage が返却されます。  
エラーハンドリングの詳細については、「IM-LogicDesigner チュートリアルガイド」 - 「処理結果情報の詳細」を参照してください。

## ファイル情報一覧取得処理

指定した businessKey に紐付けられているファイル情報を取得します。

## ルーティングURL

```
accel-studio-app/{IDの決定に利用する文字列}/upload_files/list
```

**i** コラム

REST APIとして利用するためのURLについては、「IM-LogicDesigner仕様書」 - 「ルート・HTTPメソッドに一致するフロールーティング情報の取得」を参照してください。

## メソッド

GET

## 入力値

```
{
  "businessKey": "",
  "limit": 0,
  "offset": 1
}
```

変数名	型	説明
businessKey	string	一覧取得するときに利用される値です。添付ファイルを利用する画面毎に一意の値となるように指定することを推奨します。
limit	integer	取得するデータの最大件数です。(0以上。0の場合、offset以降の全件)
offset	integer	取得するデータの開始位置です。(1以上)

出力値

```
{
  "records": [
    {
      "fileKey": "",
      "createUserCd": "",
      "createUserName": "",
      "createDate": null,
      "createDateStr": "",
      "recordUserCd": "",
      "recordUserName": "",
      "recordDate": null,
      "recordDateStr": "",
      "note": ""
    }
  ],
  "totalCount": 0
}
```

変数名	型	説明
records	map	取得したファイル情報を格納する配列です。
fileKey	string	登録済みのファイルを一意に特定するキーを指定します。
createUserCd	string	作成者ユーザコードです。
createUserName	string	作成者ユーザ名です。
createDate	date	作成日(日付型)です。
createDateStr	string	作成日(文字列型)です。
recordUserCd	string	更新者ユーザコードです。
recordUserName	string	更新者ユーザ名です。
recordDate	date	更新日(日付型)です。
recordDateStr	string	更新日(文字列型)です。
note	string	備考です。
totalCount	integer	総件数です。

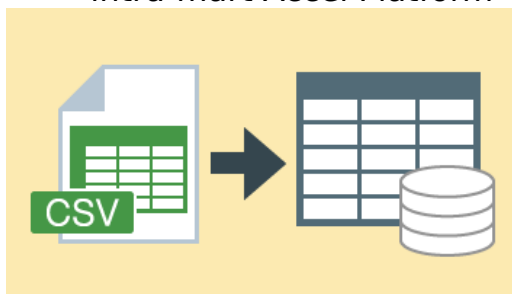
## CSVインポート

このページでは「CSVインポート」テンプレートの概要、アプリケーションへの追加方法について解説します。

### 目次

- 「CSVインポート」テンプレートとは
- チュートリアル
  - 「CSVインポート」機能の追加手順
  - IM-BloomMaker資材の編集
  - 「CSVインポート」機能の使用例
- 「CSVインポート」テンプレートから作成される資材
  - CSVインポート処理
  - 「CSVインポート」テンプレートから作成される処理について

[「CSVインポート」テンプレートとは](#)



このテンプレートは、CSV形式のファイルをインポートする処理を提供します。

このテンプレートでは、IM-BloomMakerの資材は作成されません。

このテンプレートから作成された処理をIM-BloomMaker等の画面資材と組み合わせて、活用していただくことができます。

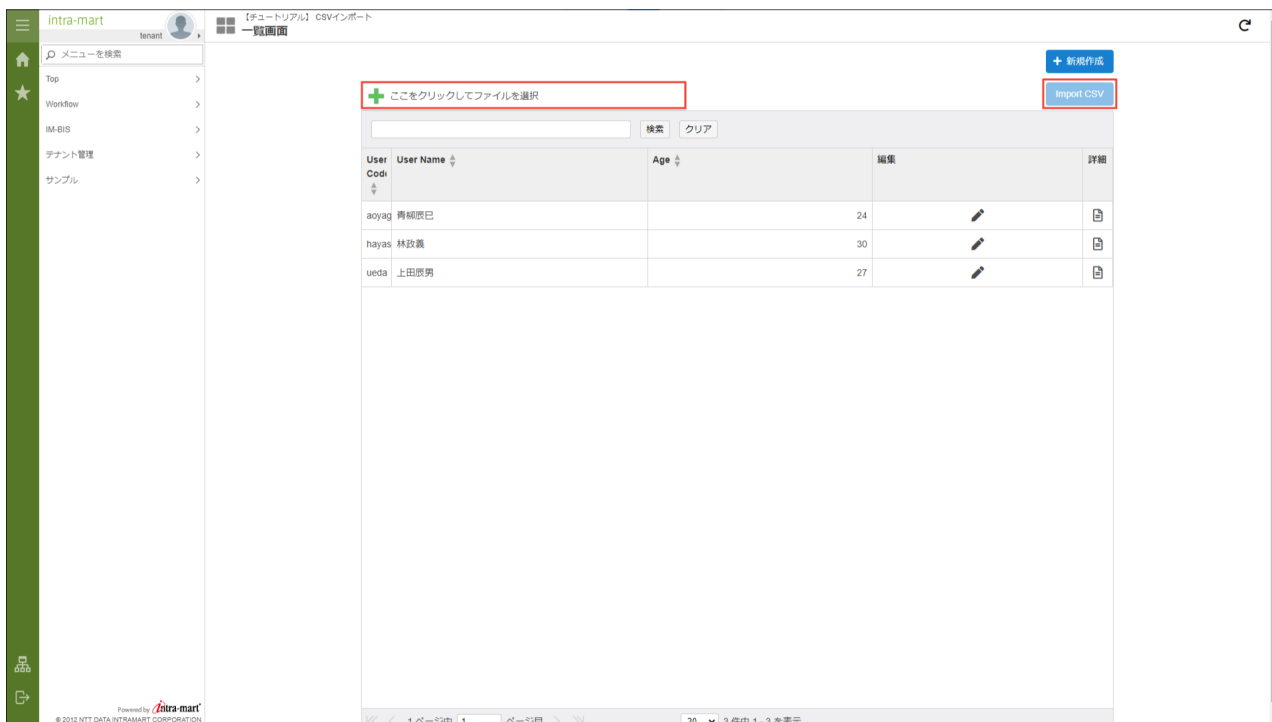
### i コラム

「CSVインポート」テンプレートは2022 Winter(Freesia)から利用可能です。

### i コラム

「CSVインポート」テンプレートから作成された処理は、単一のテーブルにのみ対応しています。

「CSVインポート」機能を追加した際のイメージは、以下の通りです。



追加手順の詳細については、「チュートリアル」で紹介します。

## チュートリアル

ここでは、「マスタメンテナンス」テンプレートから作成されたアプリケーションへ「CSVインポート」機能を追加する手順について紹介します。

### i コラム

紹介した手順通りではなくとも、「CSVインポート」機能を追加することは可能です。

## 「CSVインポート」機能の追加手順

1. 「既存アプリケーションの更新」画面への遷移  
「アプリケーション管理」画面の「テンプレートからリソースを追加する」をクリックします。



「業務テンプレート一覧」が表示されるので、「CSVインポート」テンプレートを選択します。



2. IDの決定に利用する文字列の設定

「既存アプリケーションの更新」画面が表示されたら、「IDの決定に利用する文字列」を設定します。

「IDの決定に利用する文字列」は、各処理やIDなどに利用されます。

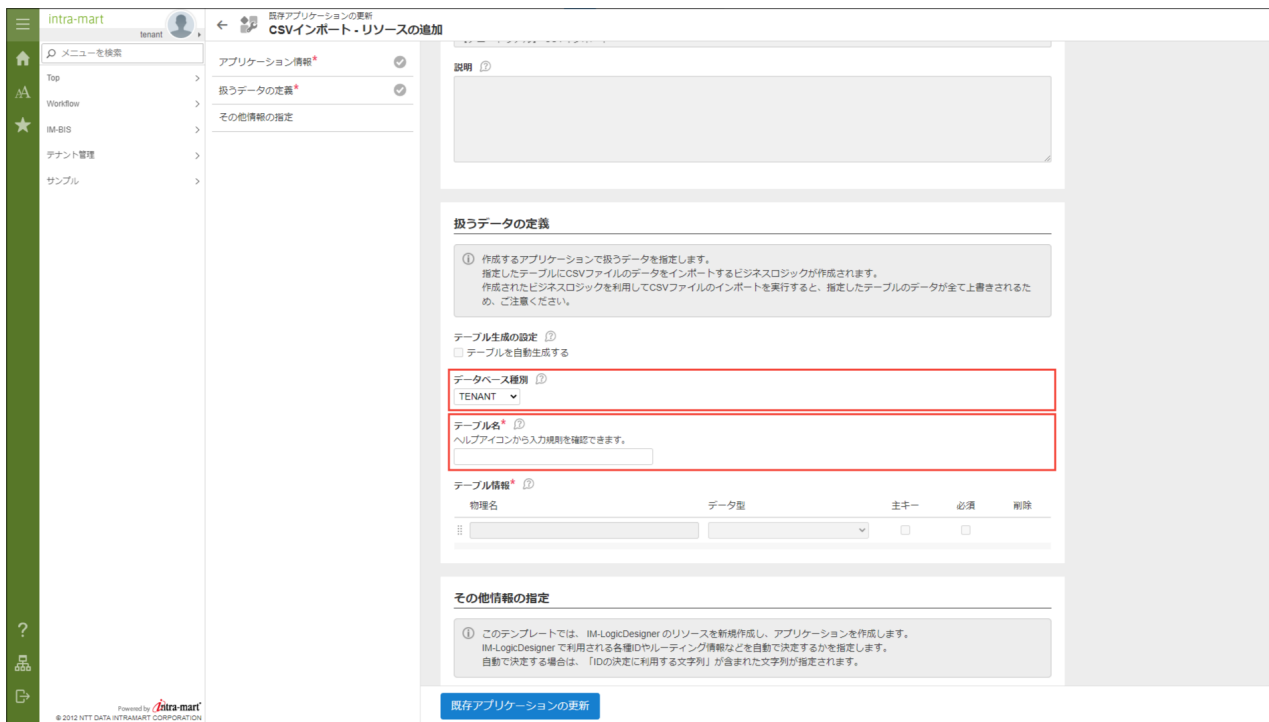


**i** コラム

「既存アプリケーションの更新」画面では、既存アプリケーションの基本情報が自動入力されます。  
 なお、アプリケーションIDとアプリケーション名は変更できません。

3. 利用するデータベース種別とテーブルの名称の設定

次に、利用するデータベース種別とテーブルの名称を設定します。  
 なお、「CSVインポート」テンプレートでは、既存のテーブルを利用します。



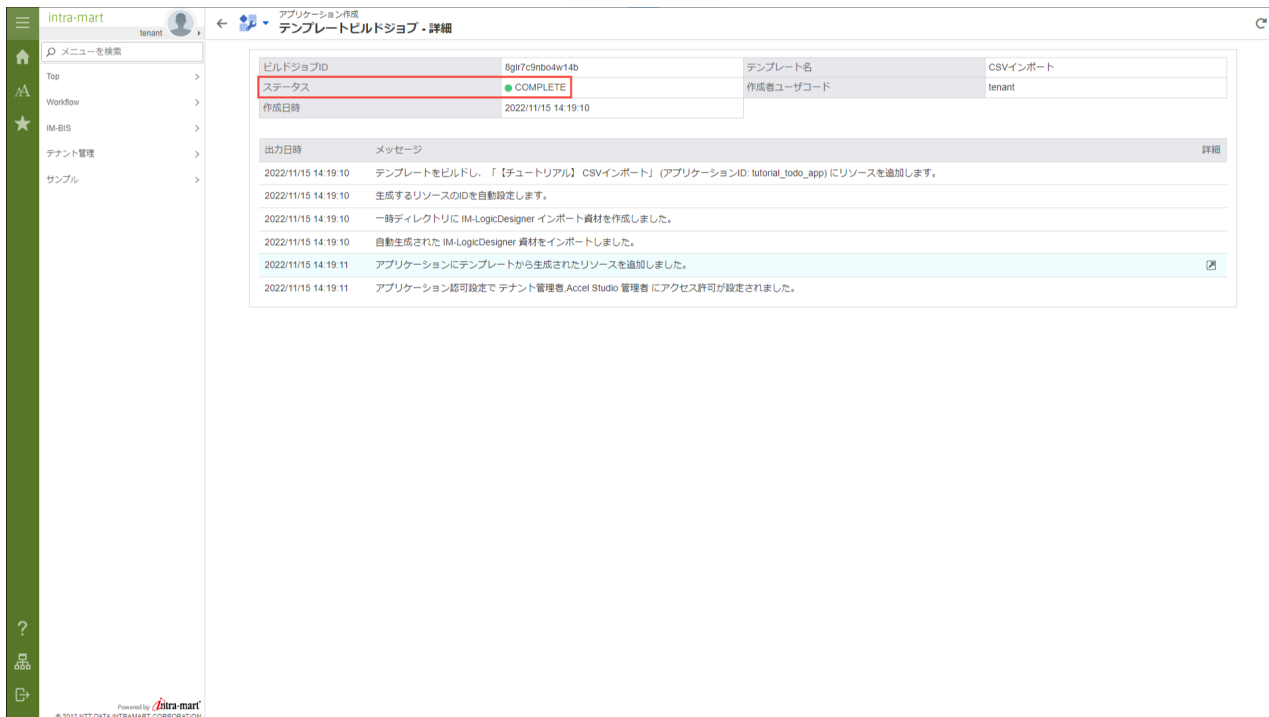
4. 既存アプリケーションの更新

アプリケーションの基本情報とテーブル情報を設定した後、「既存アプリケーションの更新」ボタンをクリックしてください。  
 入力項目に不備が無ければ、自動で既存アプリケーションの更新が行われます。



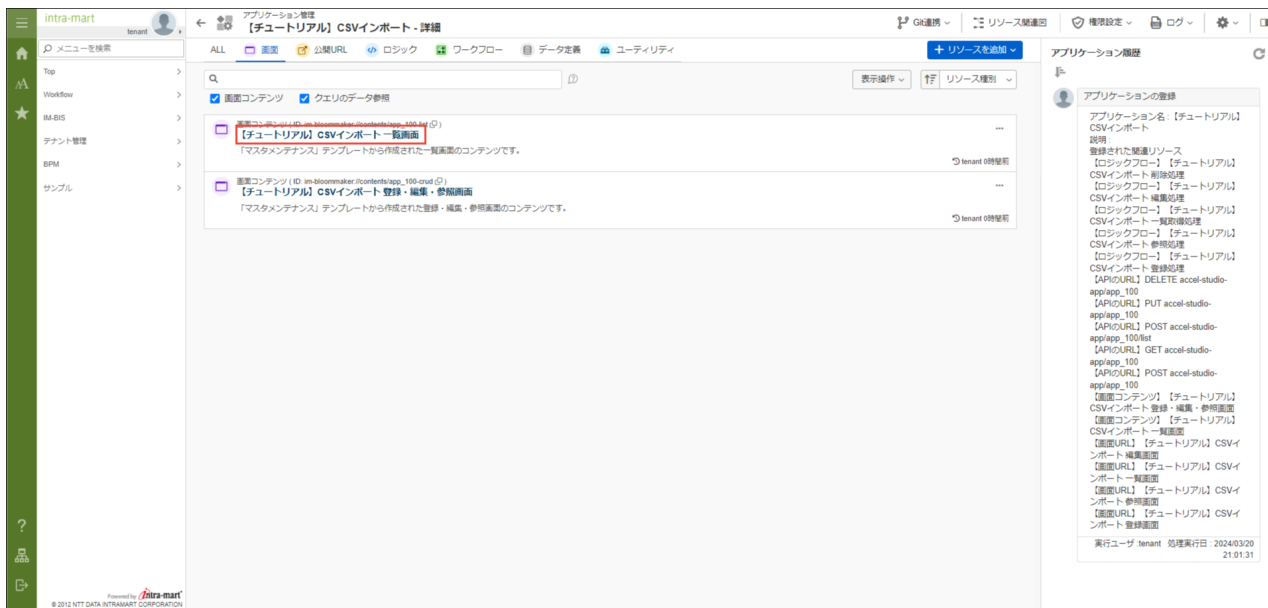
5. 既存アプリケーションの更新結果

アプリケーションの更新が完了すると、ステータスが「COMPLETE」と表示されます。



### IM-BloomMaker資料の編集

「CSVインポート」機能を追加するために、IM-BloomMaker資料の編集を行います。  
「アプリケーション管理」画面の「【チュートリアル】 CSVインポート 一覧画面」を選択してください。



### 注意

画像のアプリケーションは、「マスタメンテナンス」テンプレートのアプリケーション名に「【チュートリアル】 CSVインポート」と入力して作成されたアプリケーションの例です。

「デザイン編集」画面が表示されたら、以下の手順でコンテンツを編集します。

### コラム

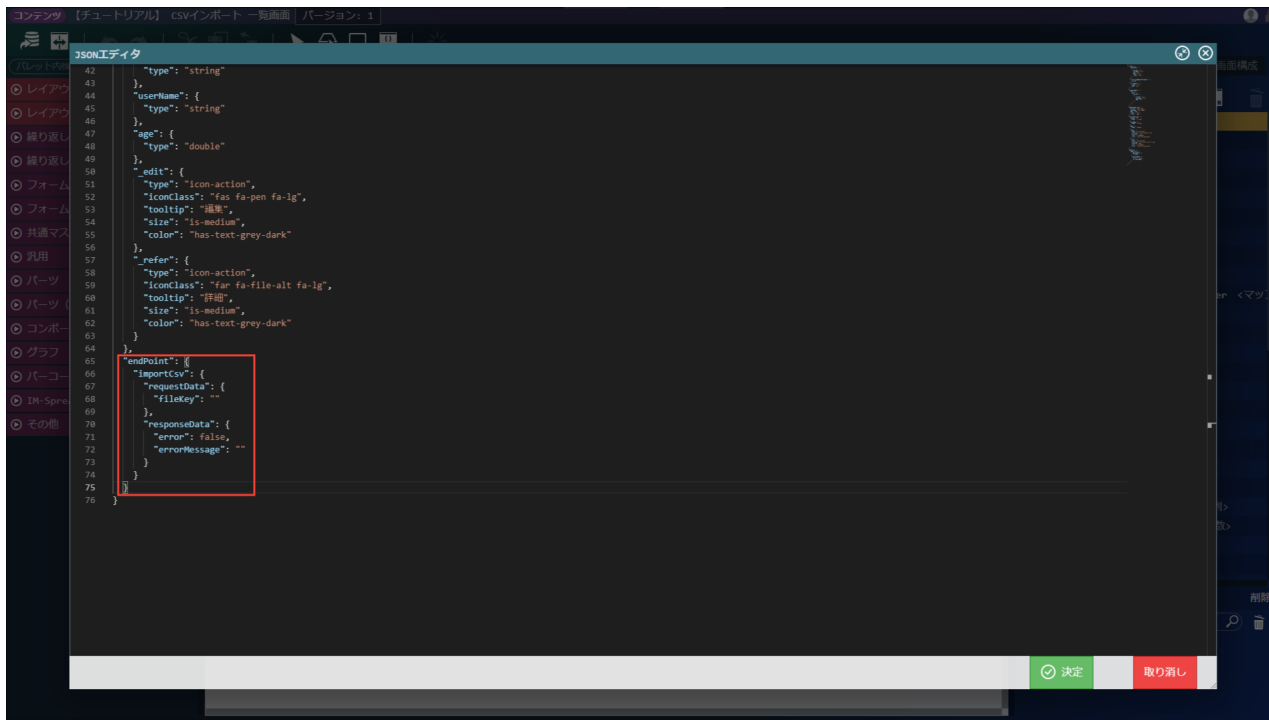
コンテンツの編集作業中は、編集した内容を保存するために、こまめに「デザイン編集」画面左上の「上書き保存」をクリックすることを推奨します。

#### 1. 変数・定数の作成

「変数」タブから「JSON形式で編集」アイコンをクリックして、\$variable 配下に以下の変数を追加してください。

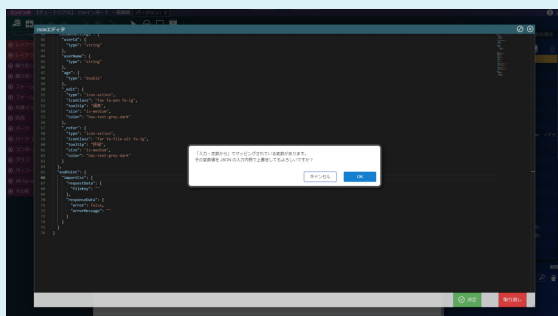


```
"endPoint": {
  "importCsv": {
    "requestData": {
      "fileKey": ""
    },
  },
  "responseData": {
    "error": false,
    "errorMessage": ""
  }
}
}
```



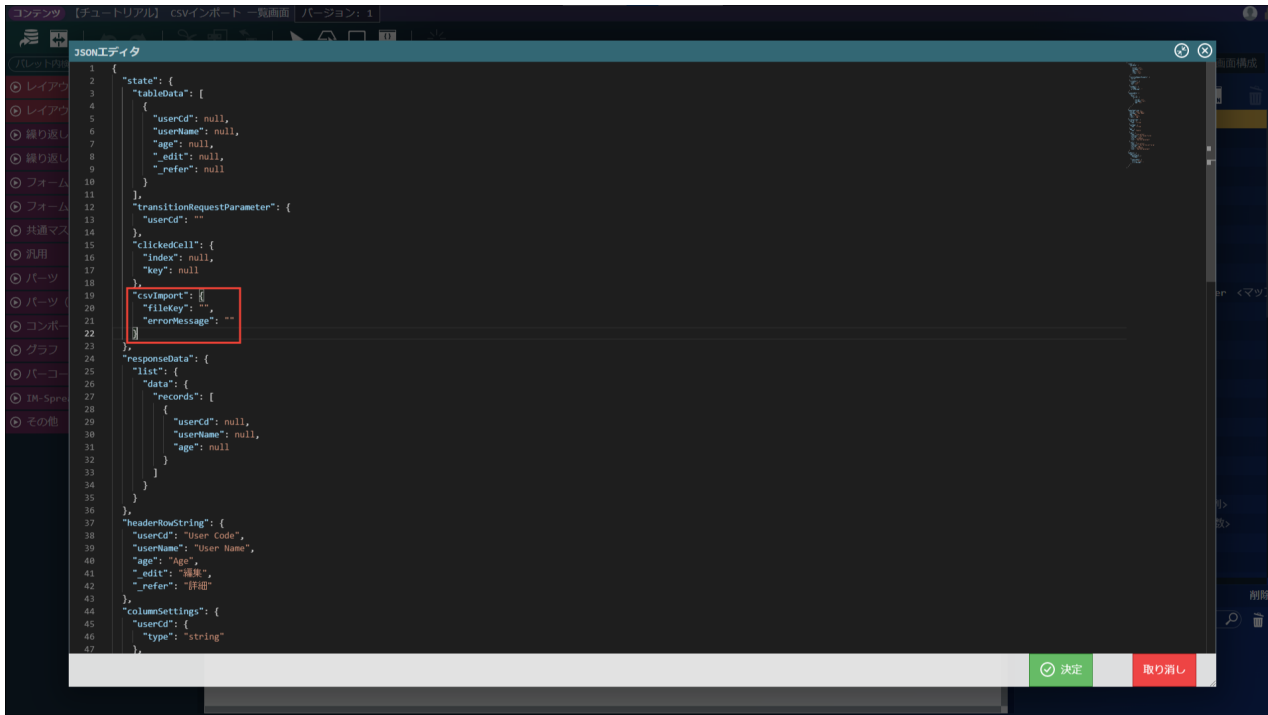
**i** コラム

本チュートリアルでは実装の簡易化のために、JSONエディタでの変数の追加方法を紹介しています。JSONエディタ上から変数を追加する場合、確認ダイアログが表示され「OK」をクリックすると、テーブルヘッダ用の多言語変数の紐付けが外れます。多言語変数の紐付けを維持したい場合は、JSONエディタではなく、変数タブの「新規作成」ボタンから変数を追加してください。



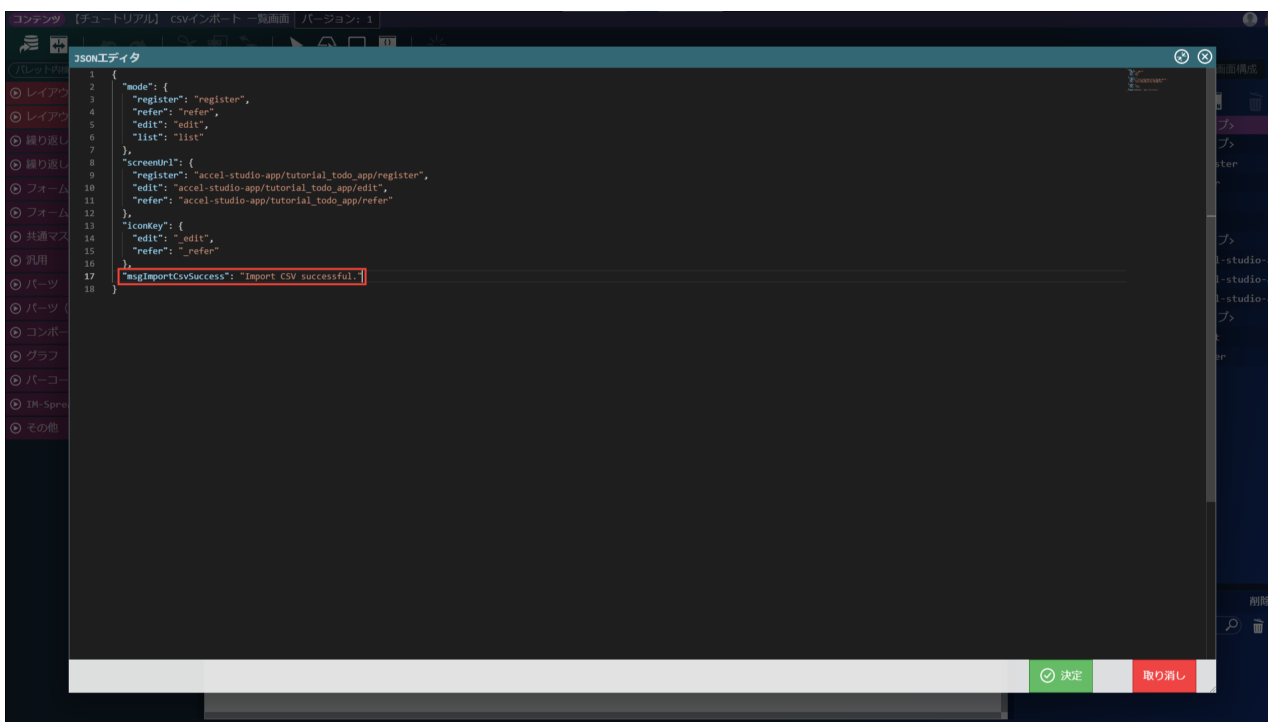
次に、もう一度「JSON形式で編集」アイコンをクリックして、\$variable.state 配下以下の変数を追加してください。

```
"csvImport": {
  "fileKey": "",
  "errorMessage": ""
}
```



次に、「変数」タブからプルダウンで「定数」を選択し、「JSON形式で編集」アイコンから \$constant 配下に以下の定数を追加してください。

"msgImportCsvSuccess": "Import CSV successful."



### コラム

本チュートリアルでは実装の簡易化のために、定数で用意していますが、作成されたアプリケーションを複数のロケールで利用される場合は、多言語変数を使用してください。

## 2. 新規アクションの追加

### 1. Import CSV アクション

アクション名には「Import CSV」と入力してください。

「標準」から「変数〇に〇を代入する」アクションアイテムを配置して、以下のように設定してください。

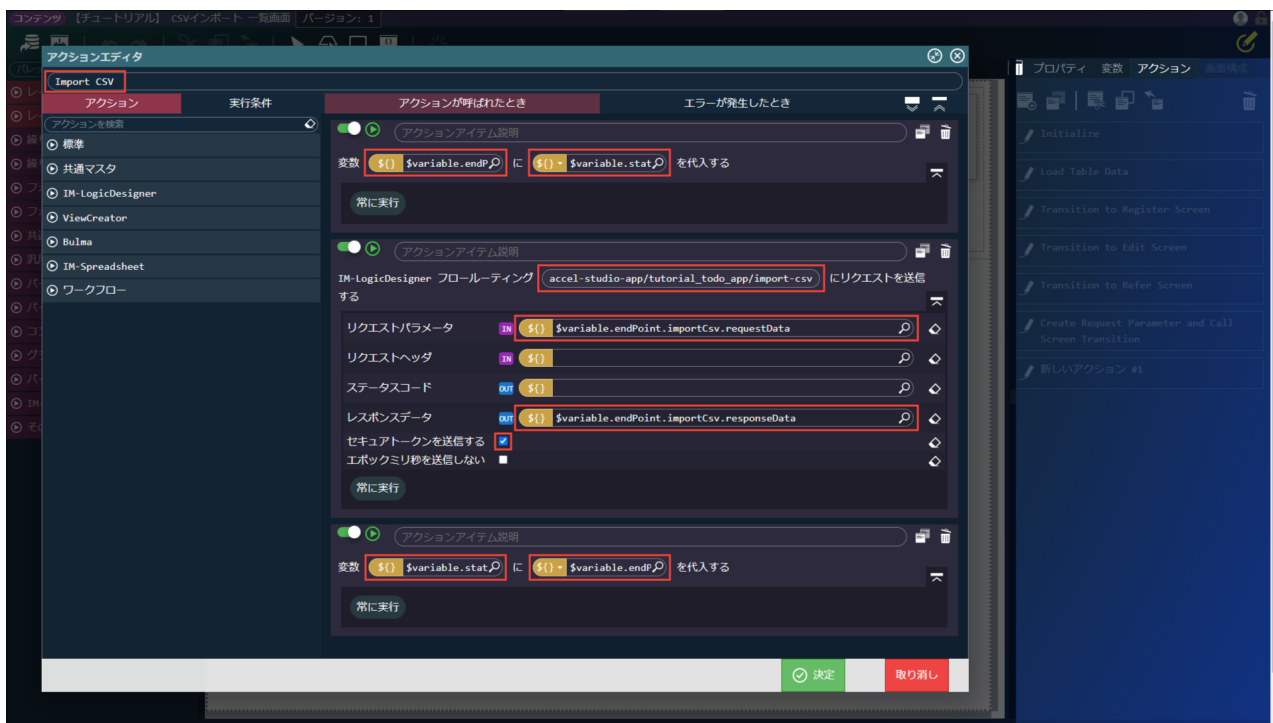
項目	指定する値	備考
変数値1	<code>\$variable.endPoint.importCsv.requestData.fileKey</code>	
変数値2	<code>\$variable.state.csvImport.fileKey</code>	プルダウンから「変数値」を選択してください。

「IM-LogicDesigner」から「IM-LogicDesigner フロールーティング〇にリクエストを送信する」アクションアイテムを配置して、以下のように設定してください。

項目	指定する値	備考
ルーティング	<code>accel-studio-app/{IDの決定に利用する文字列}/import-csv</code>	「CSVインポート処理」で検索してください。
リクエストパラメータ	<code>\$variable.endPoint.importCsv.requestData</code>	
レスポンスデータ	<code>\$variable.endPoint.importCsv.responseData</code>	
セキュアトークンを送信する	チェックを入れる	

「標準」から「変数〇に〇を代入する」アクションアイテムを配置して、以下のように設定してください。

項目	指定する値	備考
変数値1	<code>\$variable.state.csvImport.errorMessage</code>	
変数値2	<code>\$variable.endPoint.importCsv.responseData.errorMessage</code>	プルダウンから「変数値」を選択してください。



「標準」から「メッセージをエラーダイアログで表示する」アクションアイテムを配置して、以下のように設定してください。

項目	指定する値
変数値	<code>\$variable.state.csvImport.errorMessage</code>

「実行条件」内の「標準」から「変数〇が〇でないとき」を配置して、以下のように設定してください。

項目	指定する値	備考
変数値1	<code>\$variable.state.csvImport.errorMessage</code>	
変数値2	<code>\$env.const.null</code>	プルダウンから「変数値」を選択してください。

「標準」から「アクション〇を実行する」アクションアイテムを配置して、プルダウンから「Load Table Data」を選択してください。

「実行条件」内の「標準」から「変数〇が〇のとき」を配置して、以下のように設定してください。

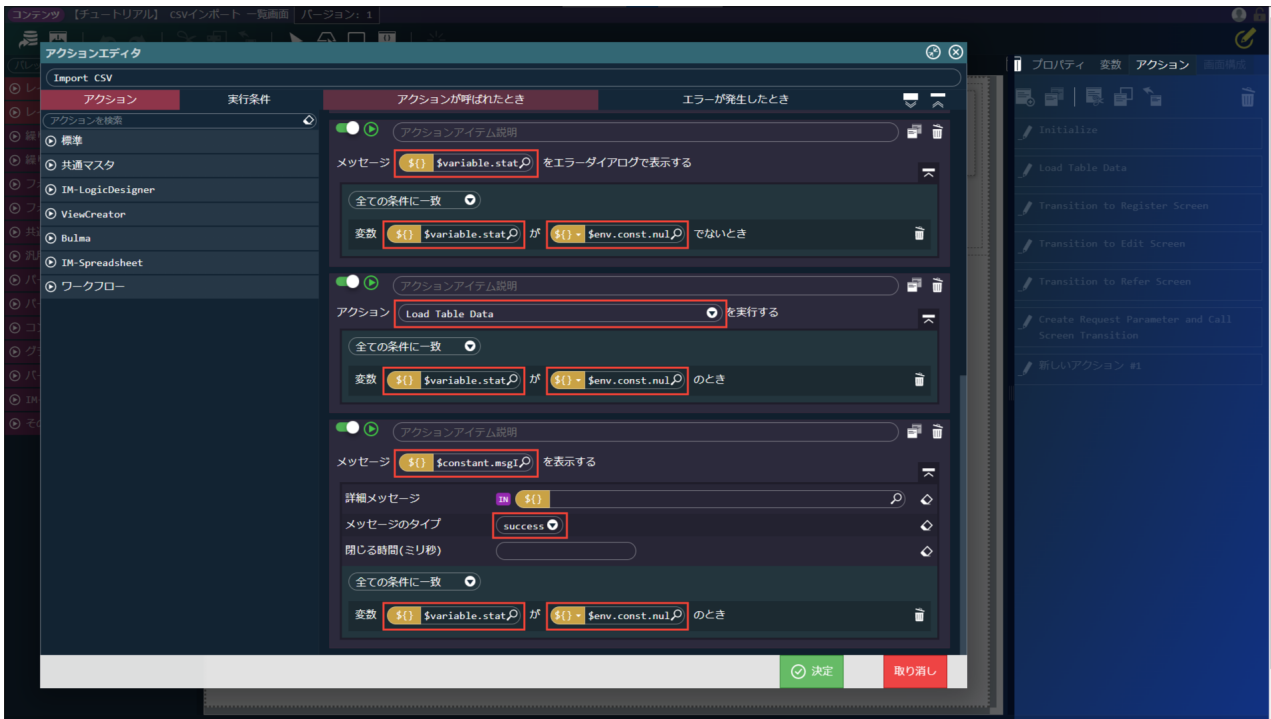
項目	指定する値	備考
変数値1	<code>\$variable.state.csvImport.errorMessage</code>	
変数値2	<code>\$env.const.null</code>	プルダウンから「変数値」を選択してください。

「Bulma」から「メッセージ〇を表示する」アクションアイテムを配置して、以下のように設定してください。

項目	指定する値
変数値	<code>\$constant.msgImportCsvSuccess</code>
メッセージのタイプ	success

「実行条件」内の「標準」から「変数〇が〇のとき」を配置して、以下のように設定してください。

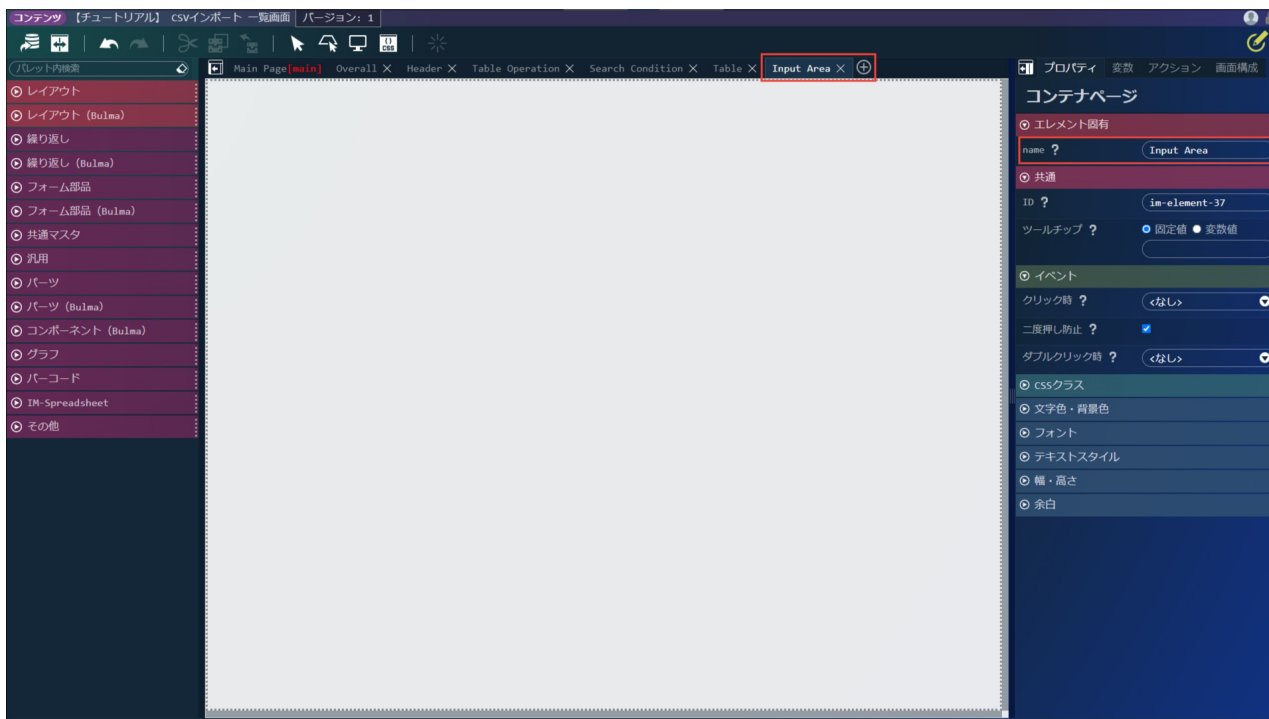
項目	指定する値	備考
変数値1	<code>\$variable.state.csvImport.errorMessage</code>	
変数値2	<code>\$env.const.null</code>	プルダウンから「変数値」を選択してください。



アクションアイテムの設定後、「決定」をクリックしてアクションを保存してください。

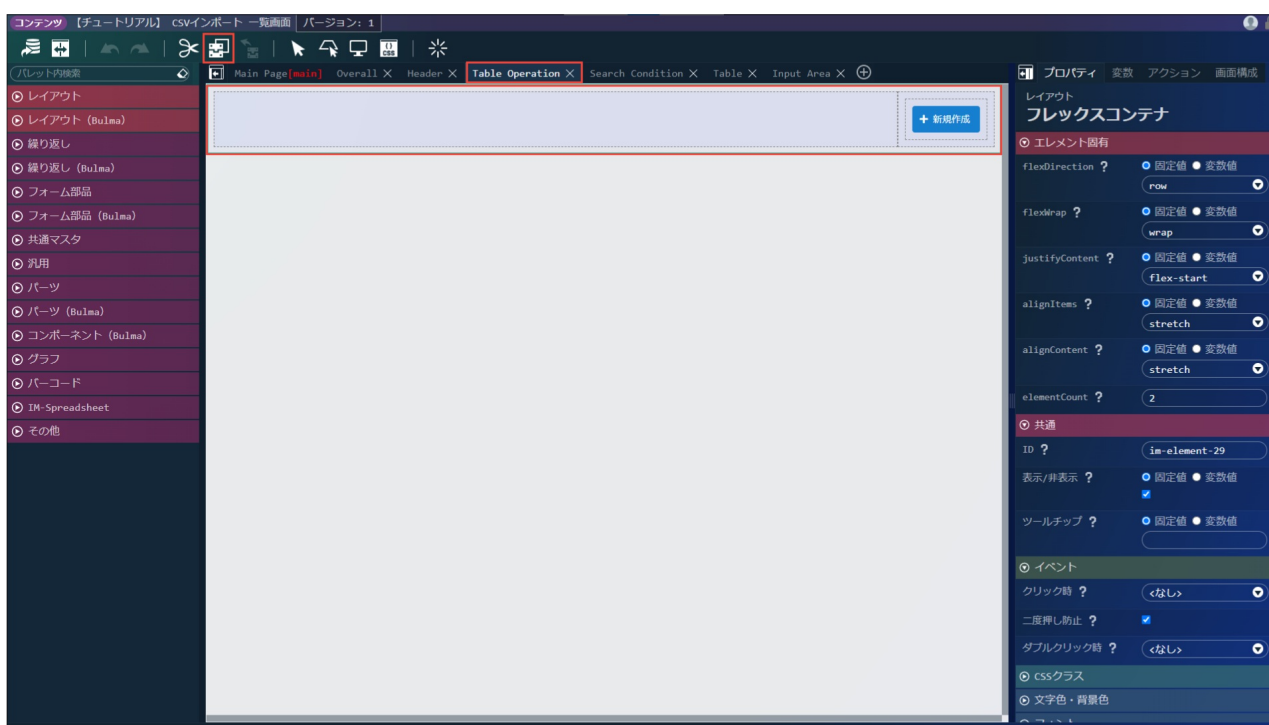
### 3. コンテナページの追加

新規にコンテナページを追加し、「コンテナページ」の要素固有の「name」には「Input Area」と入力してください。

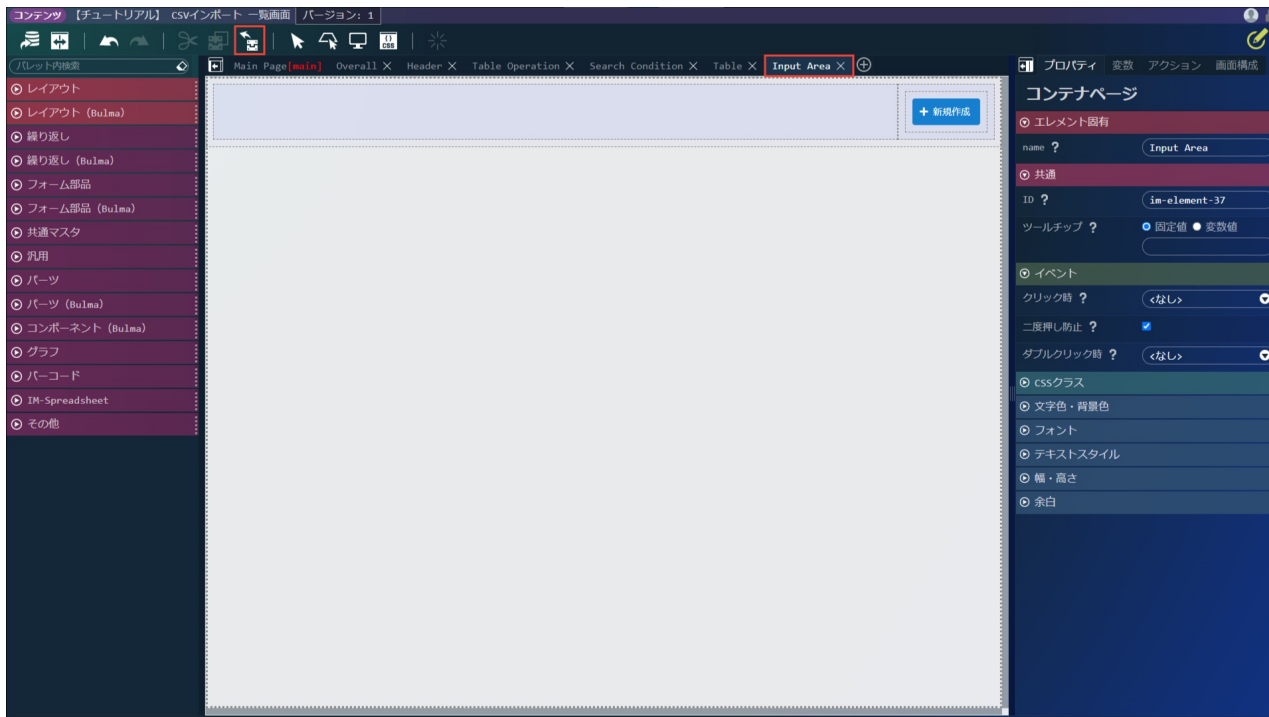


#### 4. 既存エレメントのコピー

コンテナ「Table Operation」の「フレックスコンテナ」を選択した状態で、「コピー」をクリックしてください。



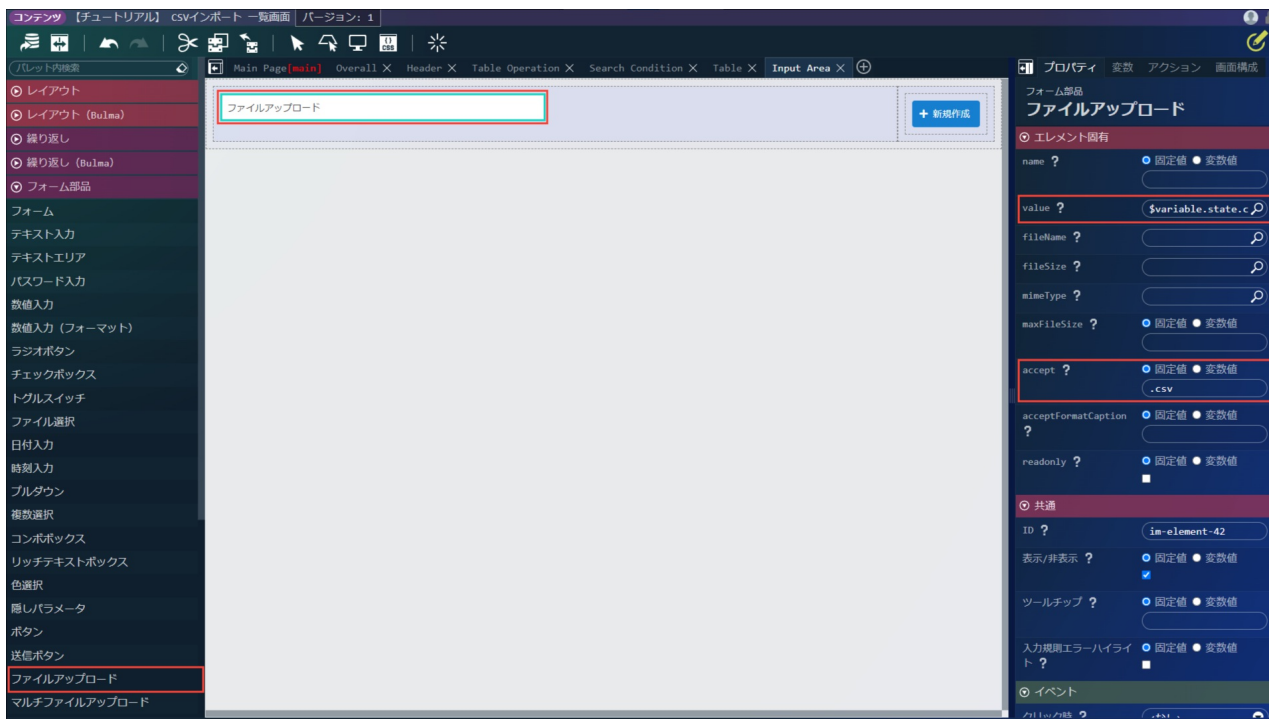
その後、先ほど作成したコンテナ「Input Area」に、コピーしたエレメントを貼り付けてください。



5. コピーしたエレメントの編集

左の「フレックスアイテム」に、「フォーム部品」から「ファイルアップロード」エレメントを配置してください。  
「ファイルアップロード」のエレメント固有には以下を設定してください。

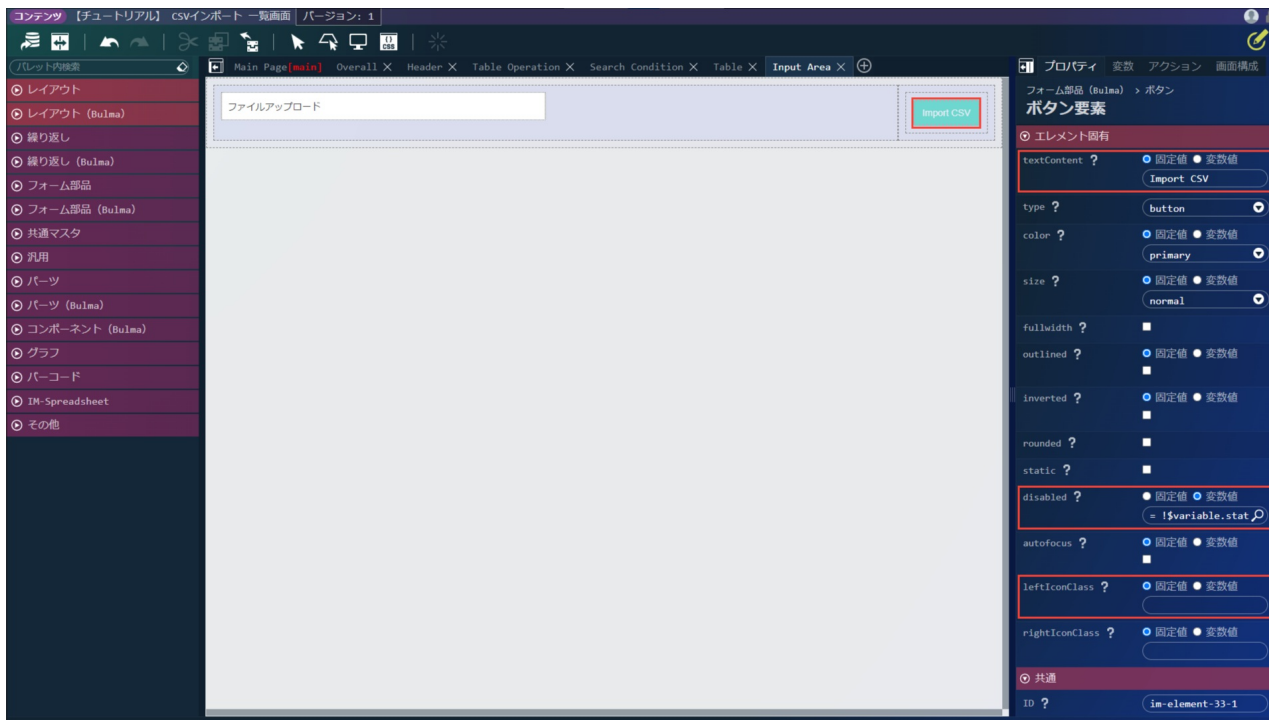
プロパティ	指定する値
value	<code>\$variable.state.csvImport.fileKey</code>
accept	<code>.csv</code>



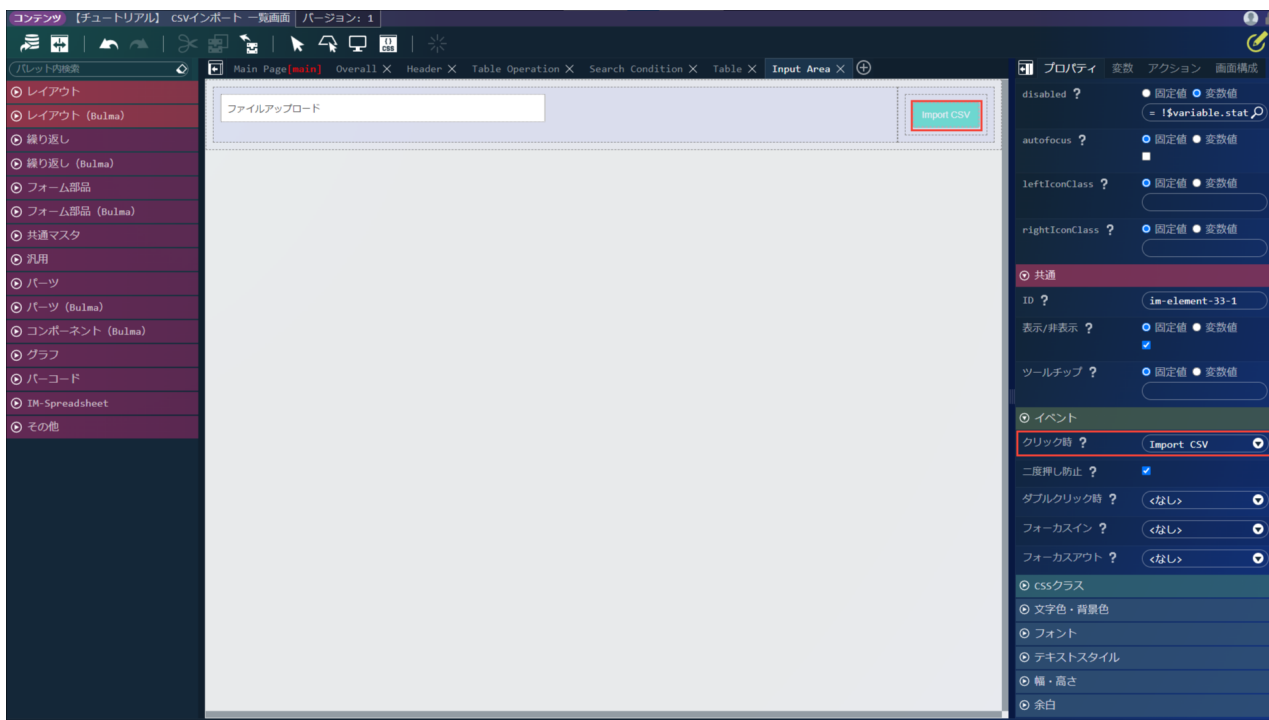
右の「フレックスアイテム」内の「ボタン要素」のエレメント固有には以下を設定してください。

プロパティ	指定する値	備考
textContent	Import CSV	固定値を選択してください。
disabled	<code>= !\$variable.state.csvImport.fileKey</code>	変数値を選択してください。

プロパティ	指定する値	備考
leftIconClass	空欄	元々設定されていた「fas fa-plus」を削除してください。

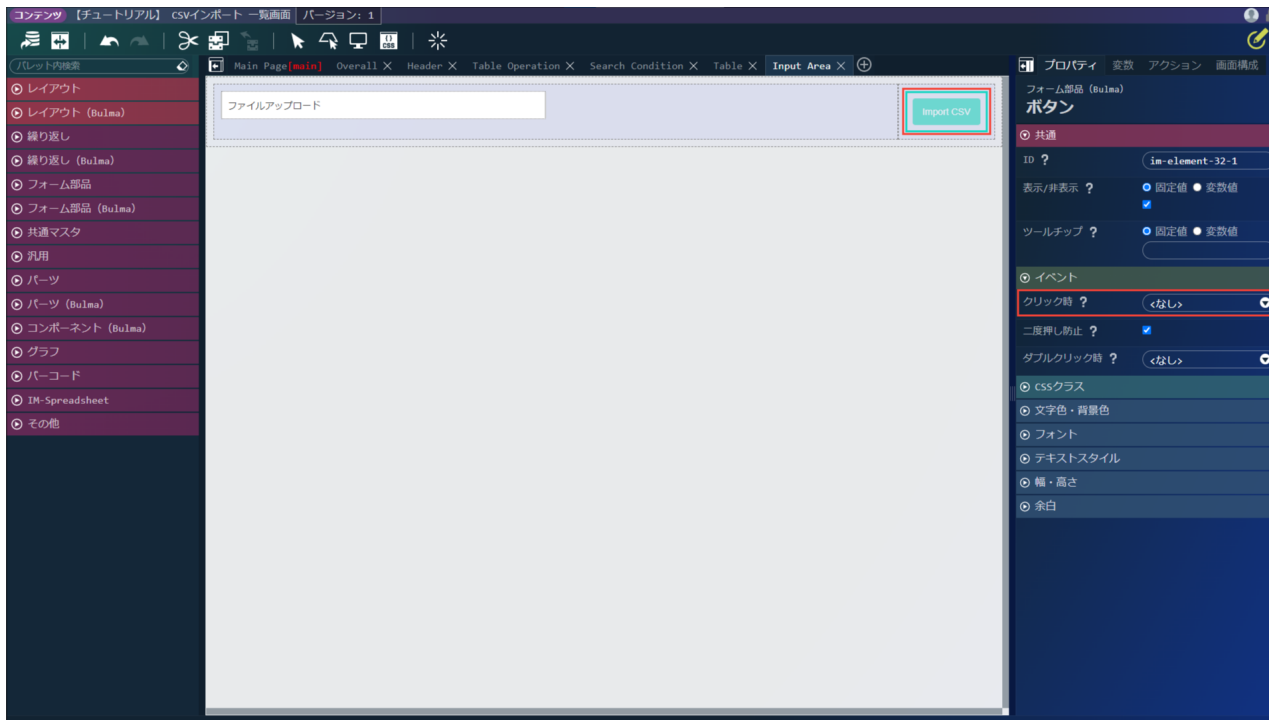


「ボタン要素」のイベントの「クリック時」には先ほど作成したアクション「Import CSV」を設定してください。



「ボタン」のイベントの「クリック時」に設定されている「Transition to Register Screen」アクションを「なし」に変更してください。

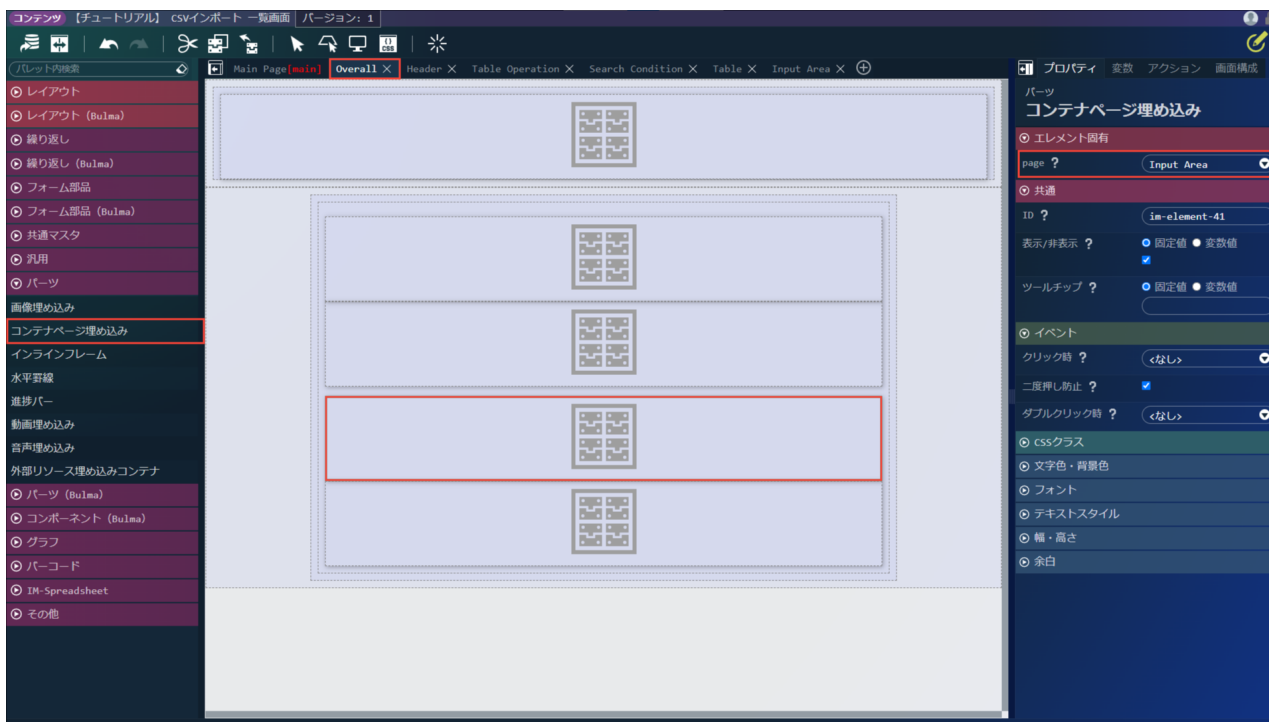




6. 追加したコンテナページの配置

「パーツ」から「コンテナページ埋め込み」エレメントをコンテナ「Overall」に配置してください。

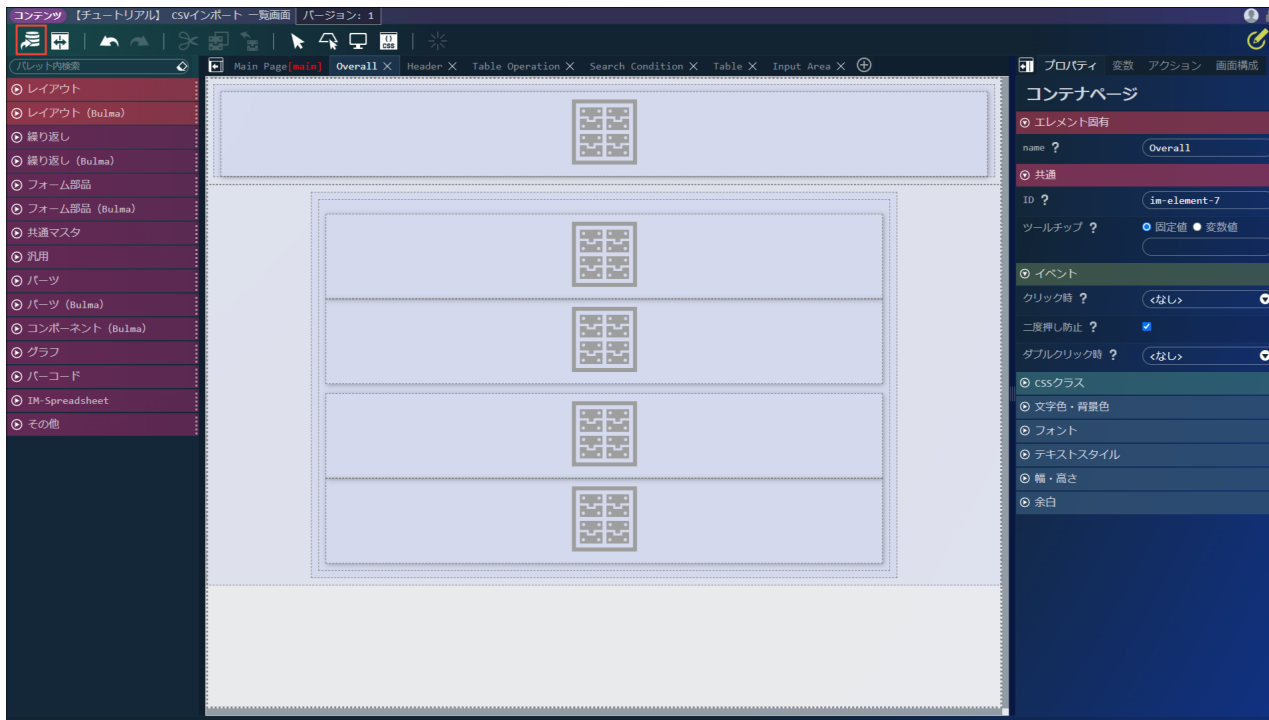
「コンテナページ埋め込み」エレメントの「page」には、作成した「Input Area」を指定してください。



7. 編集内容の保存

最後に編集内容の保存を行います。画面左上の「上書き保存」をクリックしてください。





### 「CSVインポート」機能の使用例

チュートリアルで追加した「CSVインポート」機能の使用例を紹介します。

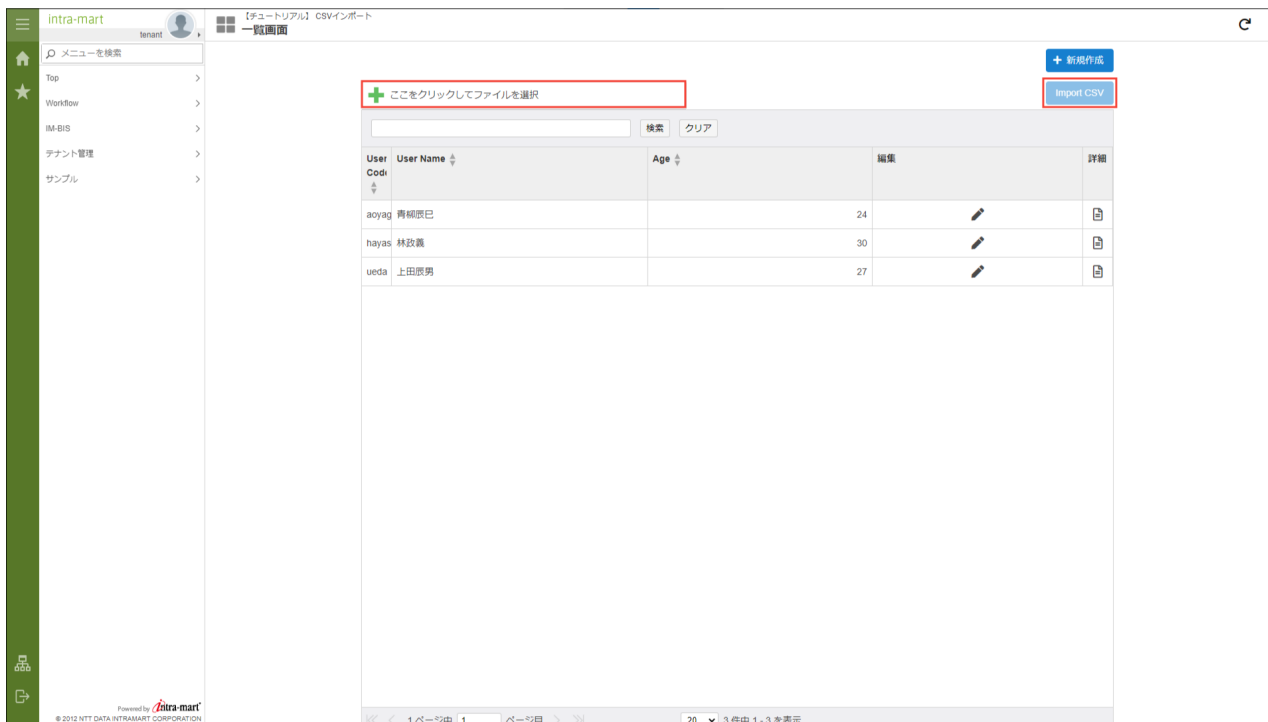
#### **i** コラム

アプリケーションの認可設定については、「[Accel Studioのテンプレート](#)」を参照してください。

### 一覧画面

「一覧画面」では、CSVファイルをインポートできます。

「ファイルアップロード」エレメントをクリックし、CSVファイルを選択した後、「Import CSV」ボタンをクリックするとインポートが実行されます。



### 「CSVインポート」テンプレートから作成される資材

「CSVインポート」テンプレートは、CSVファイルをインポートし アプリケーション作成時に指定したテーブルヘデータを登録する処理が作成されます。

処理はIM-LogicDesignerで作成されます。

ルーティングURL

accel-studio-app/{IDの決定に利用する文字列}/import-csv

**i** コラム

REST APIとして利用するためのURLについては、「IM-LogicDesigner仕様書」 - 「ルート・HTTPメソッドに一致するフロールーティング情報の取得」を参照してください。

メソッド

POST

入力値

```
{
  "fileKey": ""
}
```

変数名	型	説明
fileKey	string	インポートするCSVファイルを一意に特定するキーを指定します。

**i** コラム

fileKey にはIM-BloomMakerの「ファイルアップロード」の要素固有の value に指定した値を設定してください。詳細については、「IM-BloomMaker for Accel Platform ユーザ操作ガイド」 - 「ファイルアップロード」を参照してください。

出力値

```
{
  "error": false,
  "errorMessage": ""
}
```

変数名	型	説明
error	boolean	エラーが発生した場合、true が格納されます。
errorMessage	string	エラーが発生した場合、エラー内容のメッセージが格納されます。

**i** コラム

エラーハンドリングの詳細については、「IM-LogicDesigner チュートリアルガイド」 - 「処理結果情報の詳細」を参照してください。

## 「CSVインポート」テンプレートから作成される処理について

「CSVインポート」テンプレートではユーザ定義（CSV Fetch）を利用しています。

ユーザ定義（CSV Fetch）の詳細については、下記を参照してください。

「IM-LogicDesigner仕様書」 - 「ユーザ定義（CSV Fetch）の詳細」

「IM-LogicDesigner チュートリアルガイド」 - 「CSV Fetch 入力値/出力値」

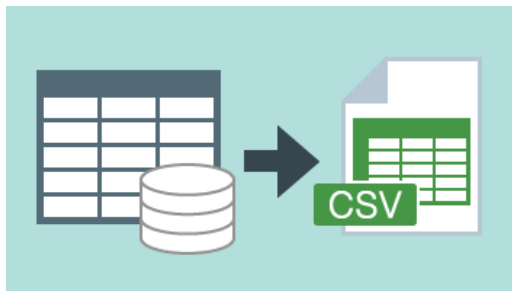
## CSVエクスポート

このページでは「CSVエクスポート」テンプレートの概要、アプリケーションへの追加方法について解説します。

## 目次

- 「CSVエクスポート」テンプレートとは
- チュートリアル
  - 「CSVエクスポート」機能の追加手順
  - IM-BloomMaker資材の編集
  - 「CSVエクスポート」機能の使用例
- 「CSVエクスポート」テンプレートから作成される資材
  - CSVエクスポート処理

## 「CSVエクスポート」テンプレートとは



このテンプレートは、CSV形式のファイルでエクスポートする処理を提供します。

このテンプレートでは、IM-BloomMakerの資材は作成されません。

このテンプレートから作成された処理をIM-BloomMaker等の画面資材と組み合わせて、活用していただくことができます。

### i コラム

「CSVエクスポート」テンプレートは2022 Winter(Freesia)から利用可能です。

### i コラム

「CSVエクスポート」テンプレートから作成された処理は、単一のテーブルにのみ対応しています。

「CSVエクスポート」機能を追加した際のイメージは、以下の通りです。

編集	User Code	User Name	Age	詳細
	aoyagi	青柳辰巳	24	
	hayashi	林政義	30	
	ueda	上田辰男	27	

追加手順の詳細については、「チュートリアル」で紹介します。

## チュートリアル

ここでは「マスタメンテナンス」テンプレートから作成されたアプリケーションへ「CSVエクスポート」機能を追加する手順について紹介します。

**i コラム**

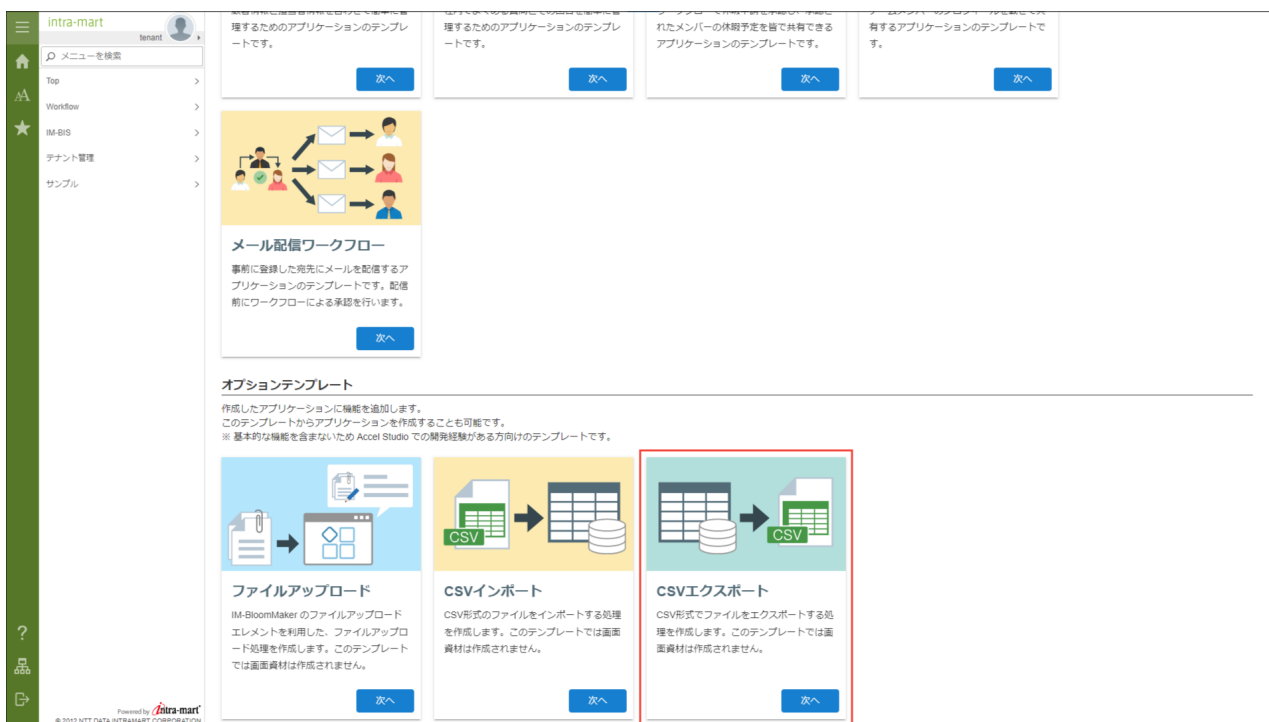
紹介した手順通りではなくても、「CSVエクスポート」機能を追加することは可能です。

「CSVエクスポート」機能の追加手順

1. 「既存アプリケーションの更新」画面への遷移  
「アプリケーション管理」画面の「テンプレートからリソースを追加する」をクリックします。



「業務テンプレート一覧」が表示されるので、「CSVエクスポート」テンプレートを選択します。



2. IDの決定に利用する文字列の設定  
「既存アプリケーションの更新」画面が表示されたら、「IDの決定に利用する文字列」を設定します。  
「IDの決定に利用する文字列」は、各処理やIDなどに利用されます。

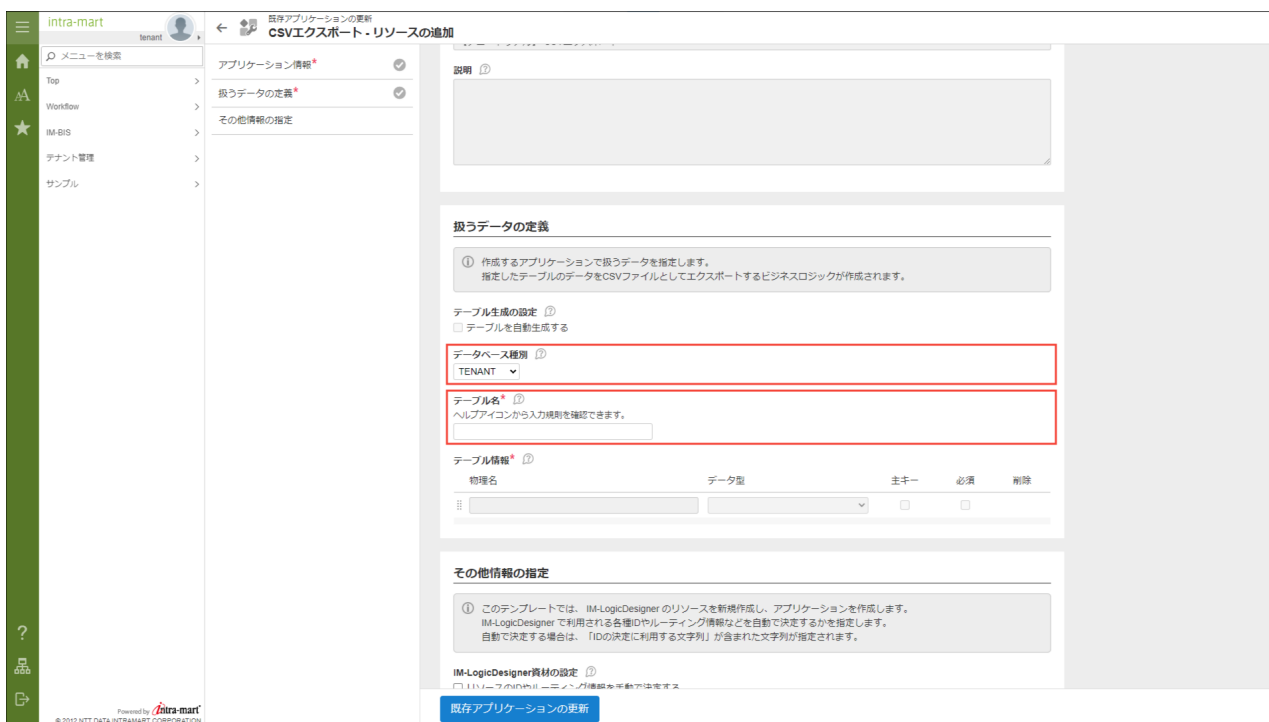


**i** コラム

「既存アプリケーションの更新」画面では、既存アプリケーションの基本情報が自動入力されます。  
 なお、アプリケーションIDとアプリケーション名は変更できません。

3. 利用するデータベース種別とテーブルの名称の設定

次に、利用するデータベース種別とテーブルの名称を設定します。  
 なお、「CSVエクスポート」テンプレートでは、既存のテーブルを利用します。



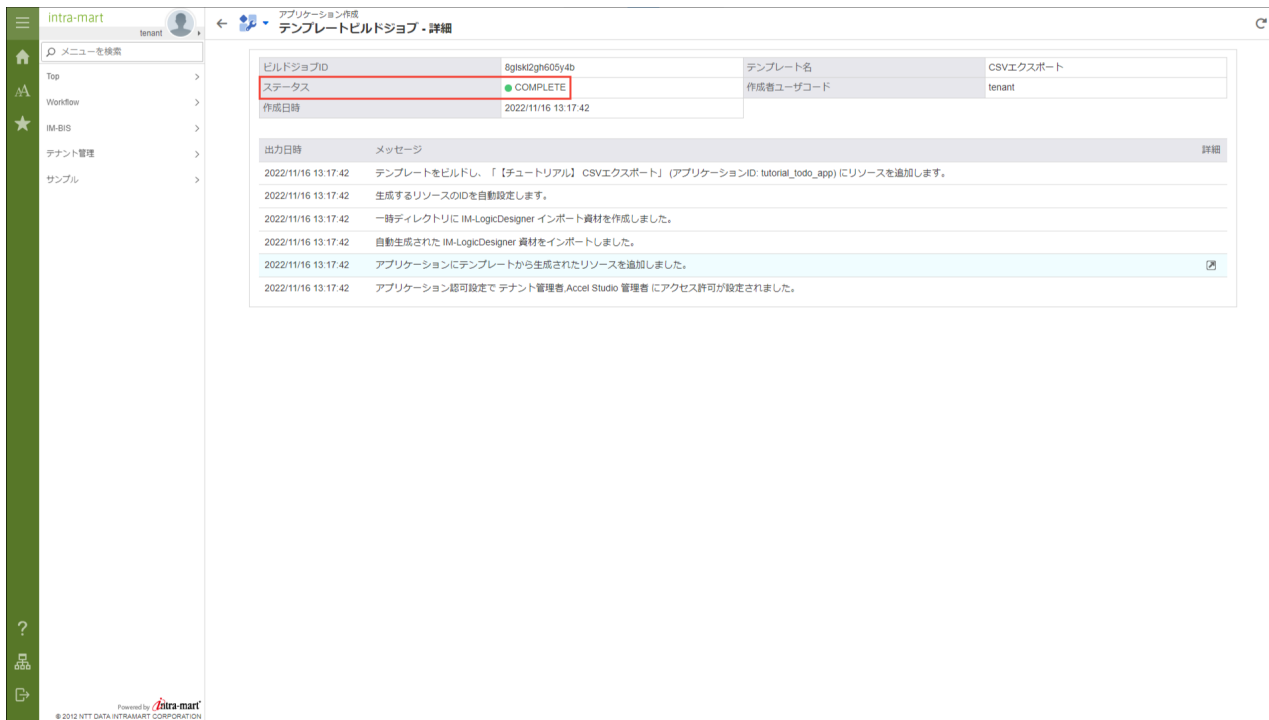
4. 既存アプリケーションの更新

アプリケーションの基本情報とテーブル情報を設定した後、「既存アプリケーションの更新」ボタンをクリックしてください。  
 入力項目に不備が無ければ、自動で既存アプリケーションの更新が行われます。



5. 既存アプリケーションの更新結果

アプリケーションの更新が完了すると、ステータスが「COMPLETE」と表示されます。



### IM-BloomMaker 資材の編集

「CSVエクスポート」機能を追加するために、IM-BloomMaker 資材の編集を行います。  
「アプリケーション管理」画面の「【チュートリアル】 CSVエクスポート 一覧画面」を選択してください。



### 注意

画像のアプリケーションは、「マスタメンテナンス」テンプレートのアプリケーション名に「【チュートリアル】 CSVエクスポート」と入力して作成されたアプリケーションの例です。

「デザイン編集」画面が表示されたら、以下の手順でコンテンツを編集します。

### コラム

コンテンツの編集作業中は、編集した内容を保存するために、こまめに「デザイン編集」画面左上の「上書き保存」をクリックすることを推奨します。

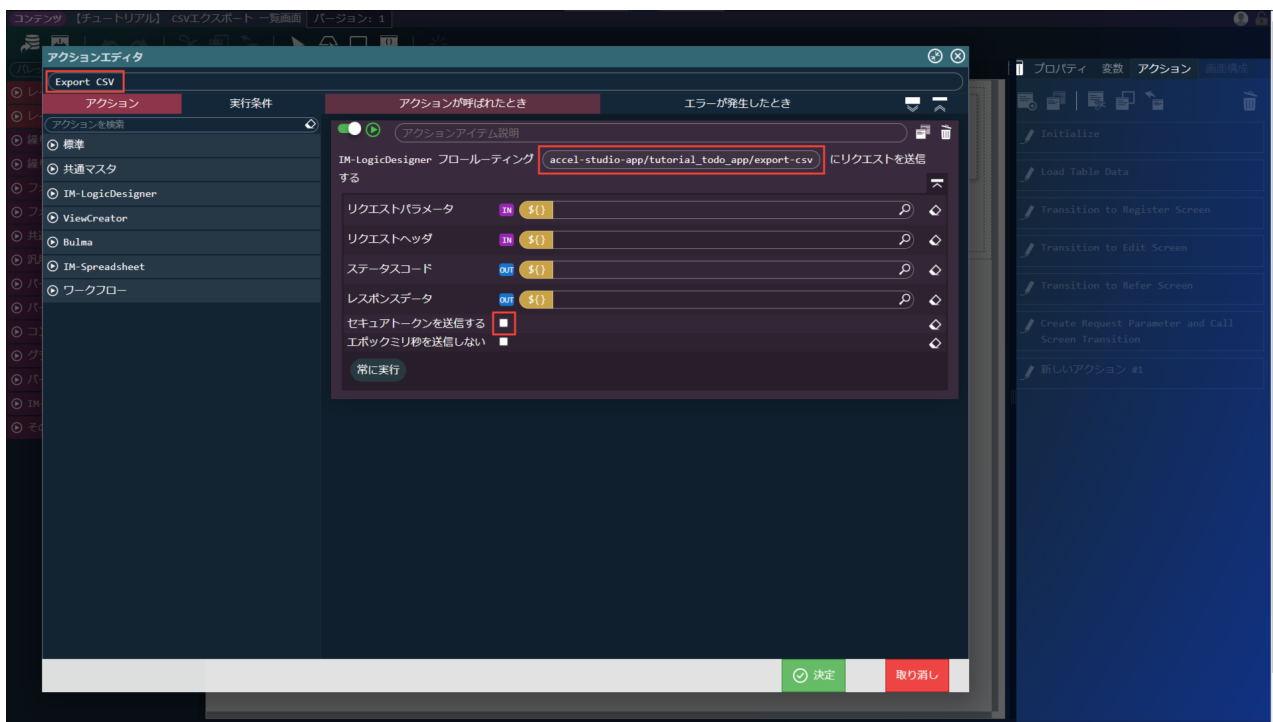
#### 1. 新規アクションの追加

##### 1. Export CSV アクション

アクション名には「Export CSV」と入力してください。

「IM-LogicDesigner」から「IM-LogicDesigner フォールーティング〇」にリクエストを送信する」アクションアイテムを配置して、以下

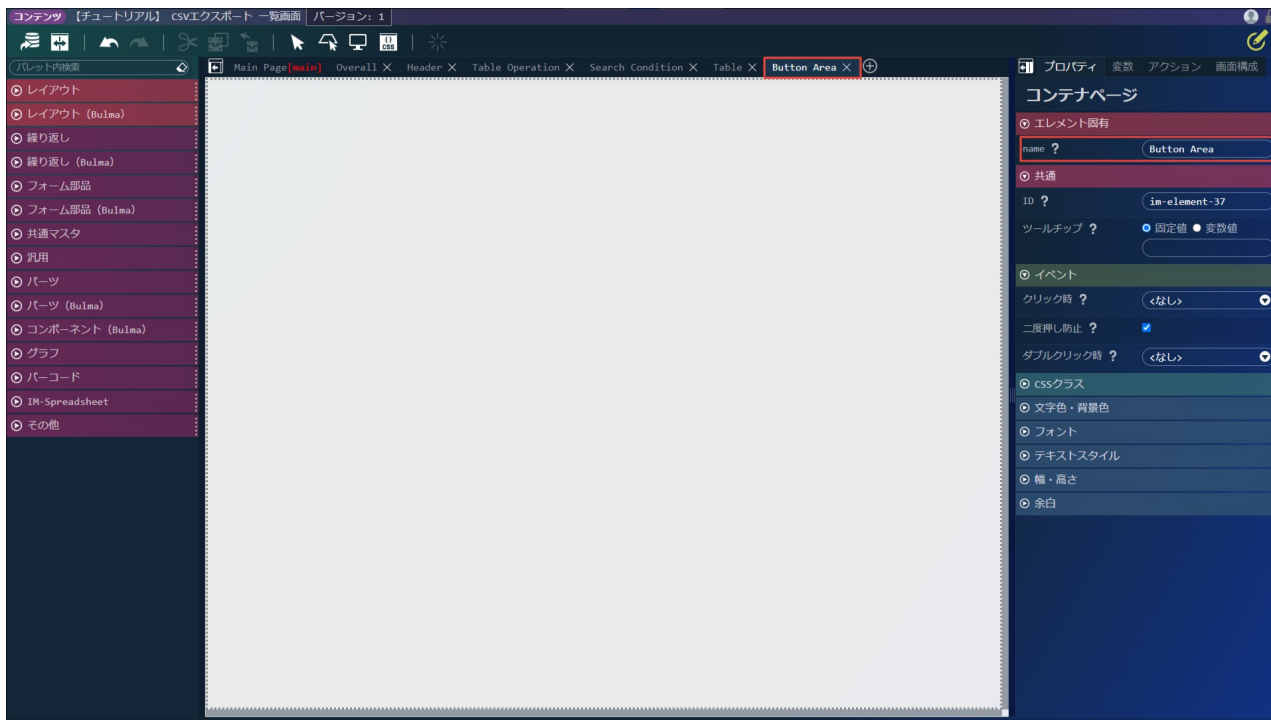
項目	指定する値	備考
ルーティング	accel-studio-app/{IDの決定に利用する文字列}/export-csv	「CSVエクスポート処理」で検索してください。
セキュアトークンを送信する	チェックを入れない	



アクションアイテムの設定後、「決定」をクリックしてアクションを保存してください。

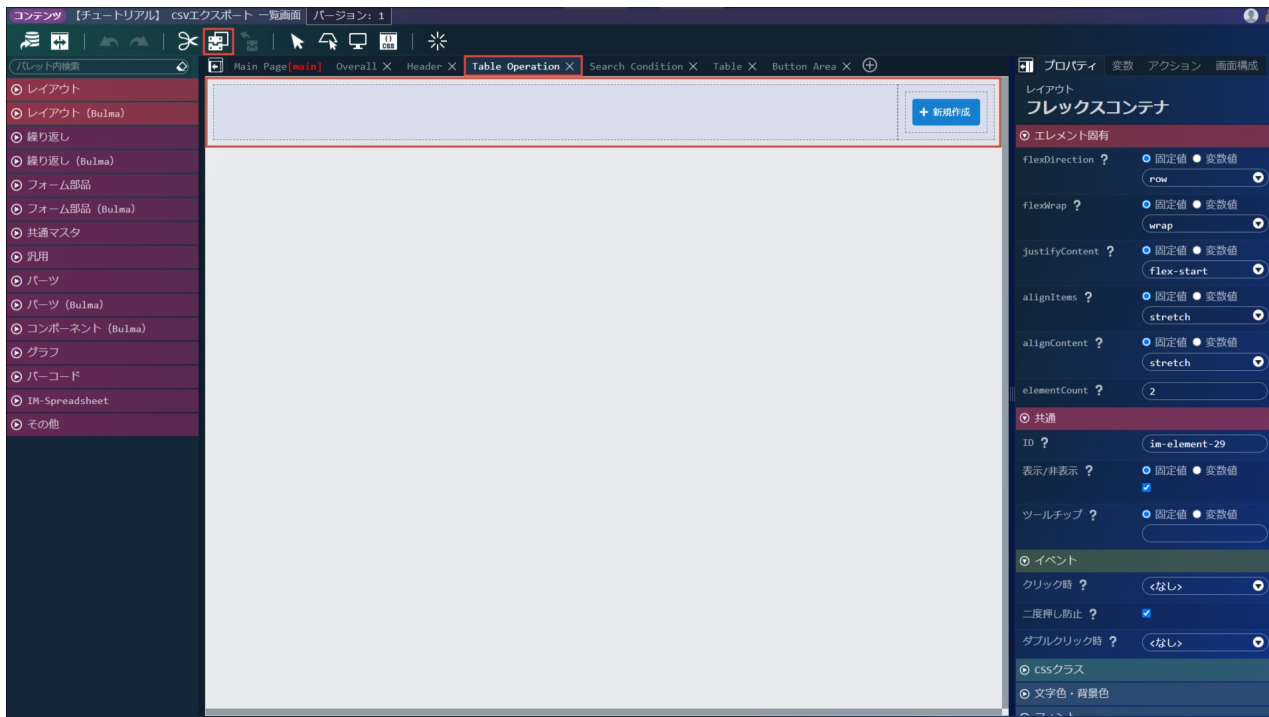
## 2. コンテナページの追加

新規にコンテナページを追加し、「フレックスコンテナ」の元素固有の「name」には「Button Area」と入力してください。

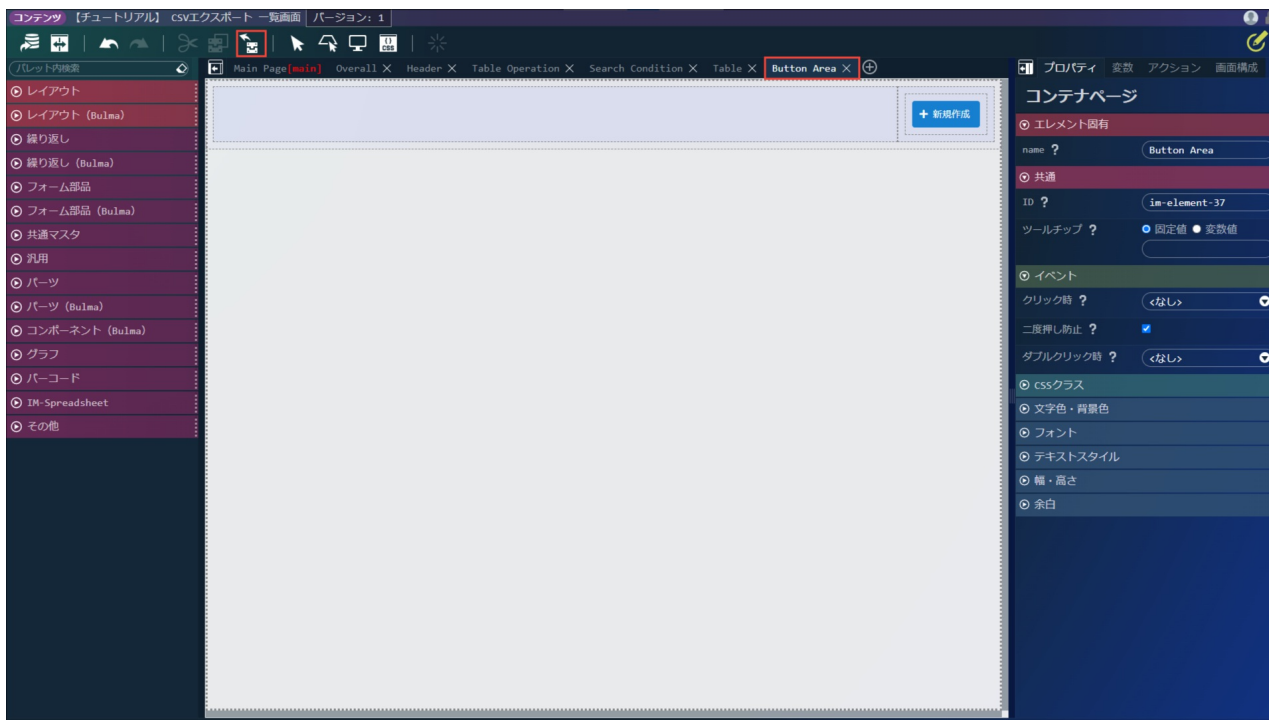


## 3. 既存元素のコピー

コンテナ「Table Operation」の「フレックスコンテナ」を選択した状態で、「コピー」をクリックしてください。



その後、先ほど作成したコンテナ「Button Area」に、コピーしたエレメントを貼り付けてください。

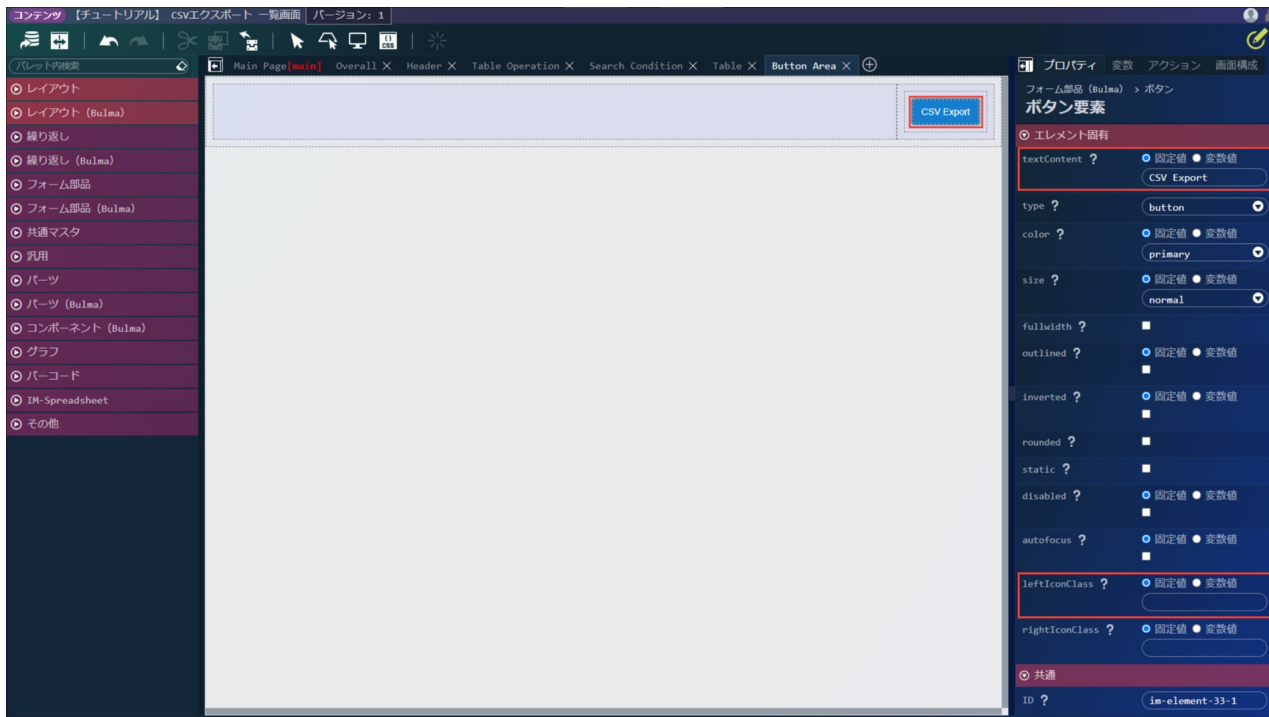


#### 4. コピーしたエレメントの編集

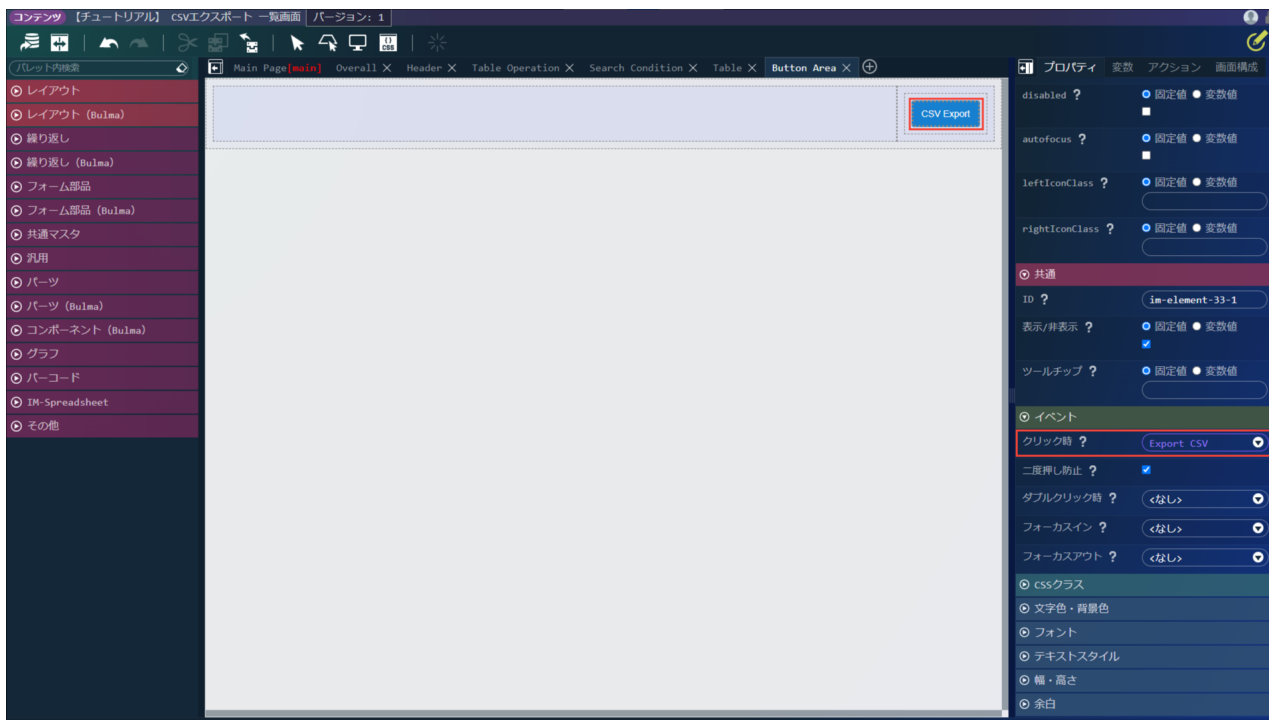
右の「フレックスアイテム」内の「ボタン要素」のエレメント固有には以下を設定してください。

プロパティ	指定する値	備考
textContent	CSV Export	
leftIconClass	空欄	元々設定されていた「fas fa-plus」を削除してください。

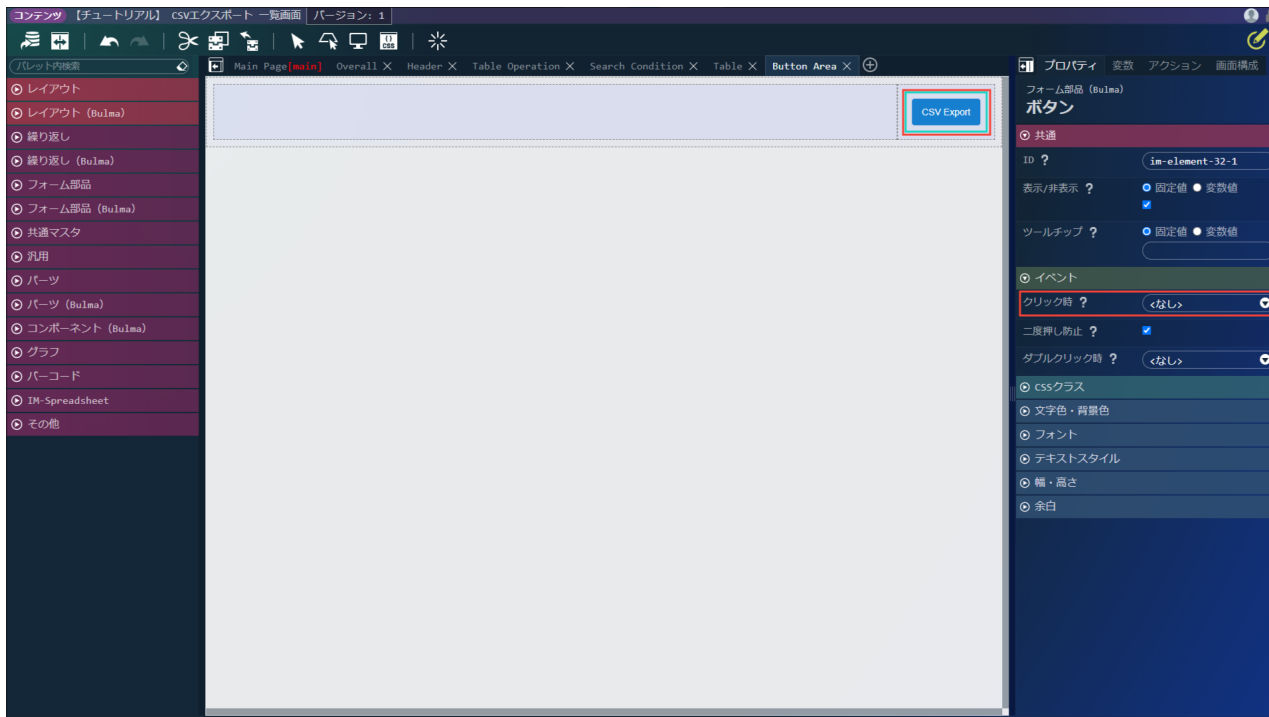




「ボタン要素」のイベントの「クリック時」には先ほど作成した「Export CSV」を設定してください。



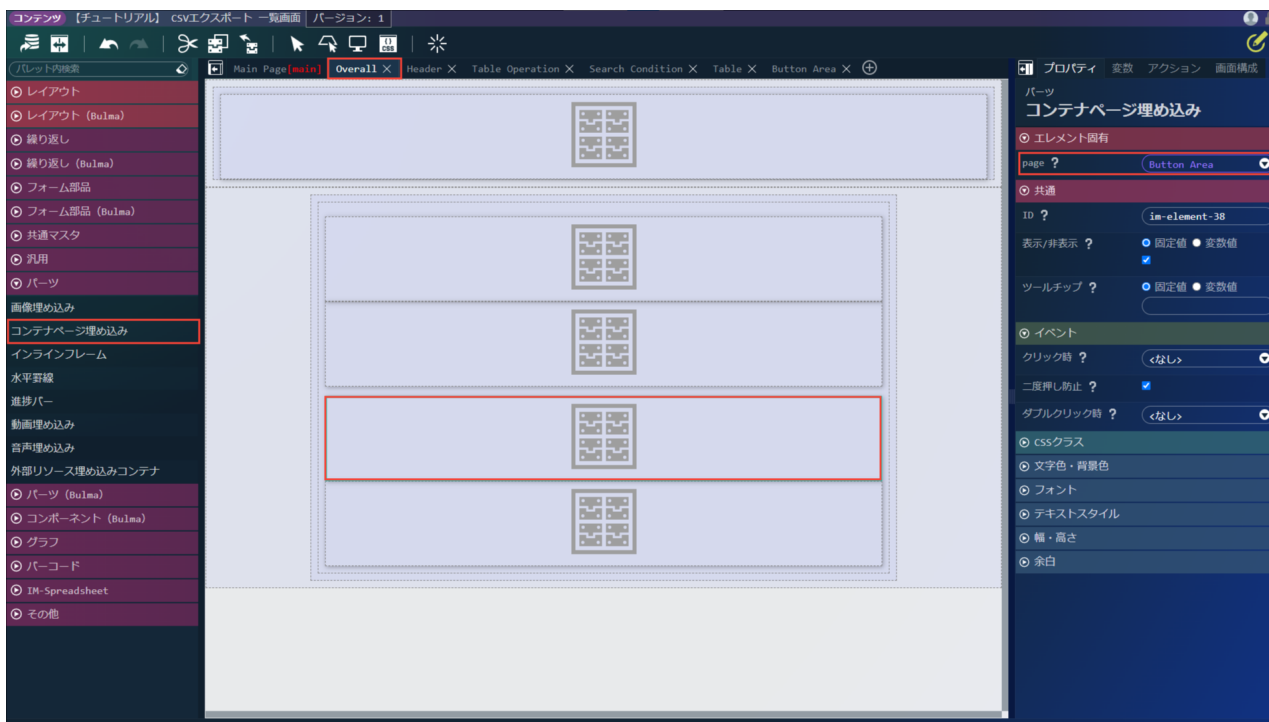
「ボタン」のイベントの「クリック時」に設定されている「Transition to Register Screen」アクションを「なし」に変更してください。



5. 追加したコンテナページの配置

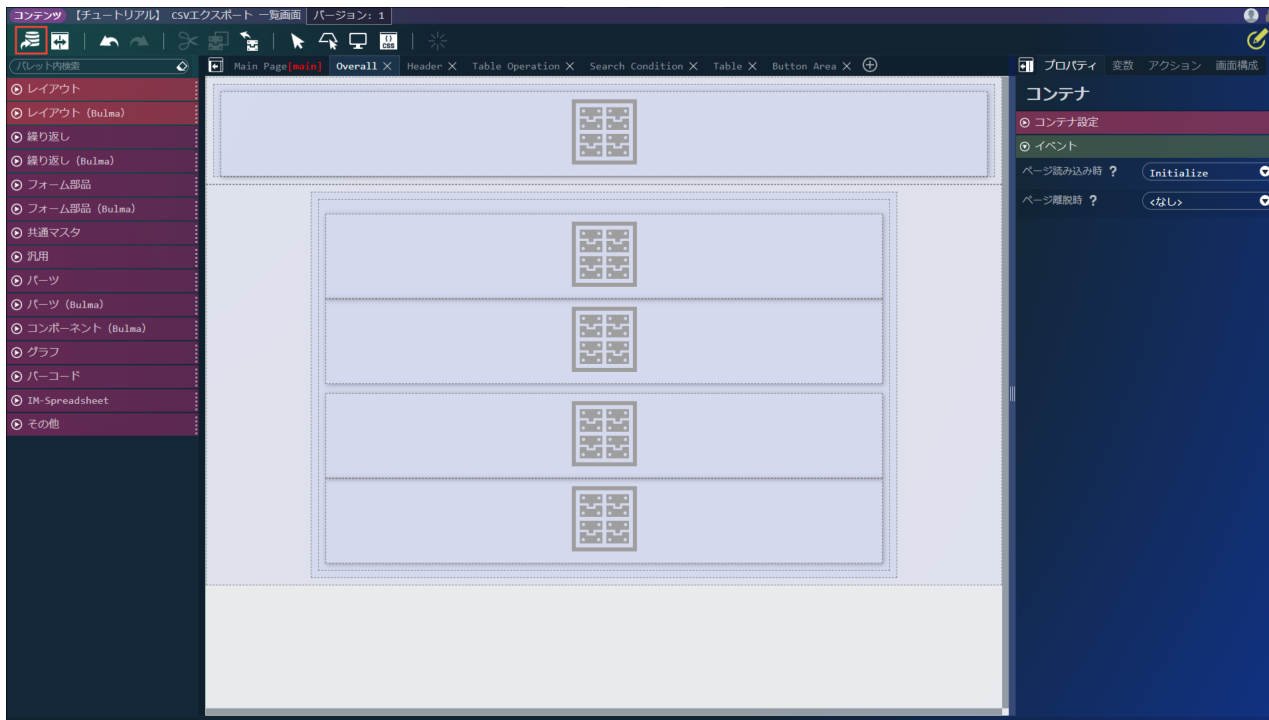
「パーツ」から「コンテナページ埋め込み」エレメントをコンテナ「Overall」に配置してください。

「コンテナ埋め込みページ」のエレメント固有の「page」には、作成した「Button Area」を指定してください。



6. 編集内容の保存

最後に編集内容の保存を行います。画面左上の「上書き保存」をクリックしてください。



### 「CSVエクスポート」機能の使用例

チュートリアルで追加した「CSVエクスポート」機能の使用例をご紹介します。

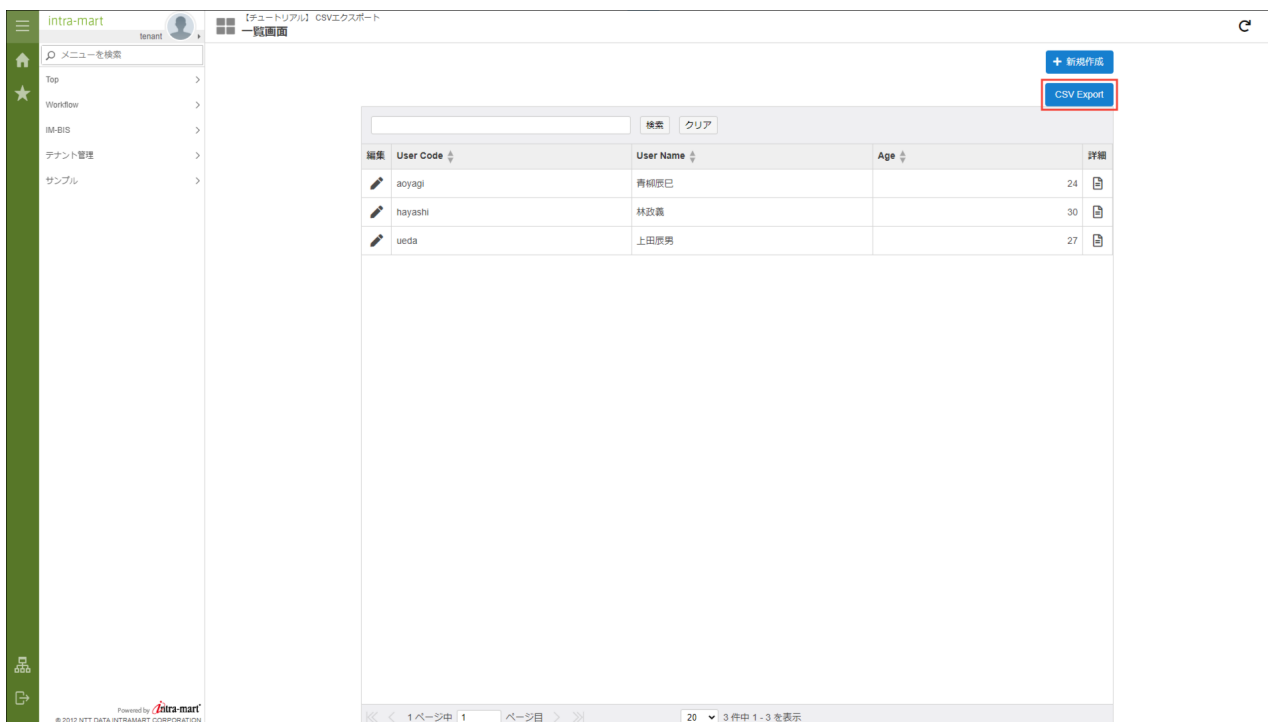
#### **i** コラム

アプリケーションの認可設定については、「[Accel Studioのテンプレート](#)」を参照してください。

#### 一覧画面

「一覧画面」では、CSVファイルをエクスポートできます。

「CSV Export」ボタンをクリックすると、CSVファイルがダウンロードされます。



### 「CSVエクスポート」テンプレートから作成される資料

「CSVエクスポート」テンプレートは、アプリケーション作成時に指定したテーブルのデータをCSVファイルとしてエクスポートする処理が作成されます。

処理はIM-LogicDesignerで作成されます。

ルーティングURL

accel-studio-app/{IDの決定に利用する文字列}/export-csv

**i** コラム

REST APIとして利用するためのURLについては、「IM-LogicDesigner仕様書」 - 「ルート・HTTPメソッドに一致するフロールーティング情報の取得」を参照してください。

メソッド

GET

入力値

無し

出力値

```
{
  "body": ""
}
```

変数名	型	説明
body	binary	エクスポートされるCSVファイルのデータです。

**i** コラム

CSVエクスポート処理のレスポンス種別は「ファイルダウンロード」です。  
レスポンス種別「ファイルダウンロード」の詳細は「IM-LogicDesigner仕様書」 - 「ロジックフローの出力データの返却 ファイルダウンロード」を参照してください。

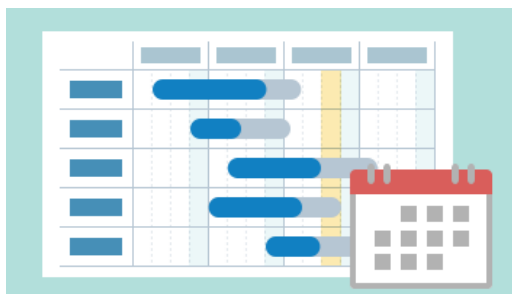
## ガントチャート

このページでは「ガントチャート」テンプレートの概要、アプリケーション作成手順、画面イメージ、操作方法と活用例について解説します。

## 目次

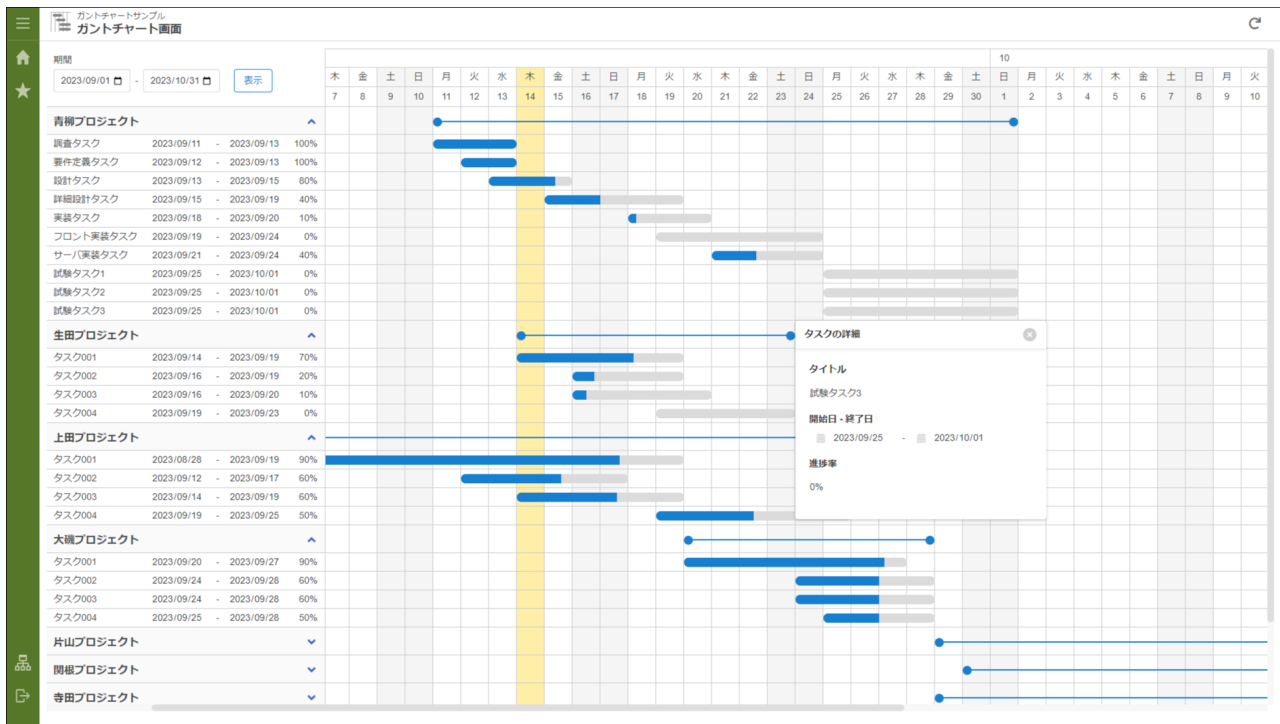
- 「ガントチャート」テンプレートとは
- 「ガントチャート」テンプレートの利用方法
  - アプリケーションの作成手順
  - アプリケーションのアクセス手順
  - アプリケーションの画面イメージと操作方法
- 「ガントチャート」テンプレートから作成される資材
  - ガントチャート画面
  - 一覧取得処理

## 「ガントチャート」テンプレートとは



「ガントチャート」テンプレートは、指定した開始日・終了日をもとにガントチャートを表示するテンプレートです。タスク管理ツールなどで作成したデータに、このテンプレートから作成したアプリケーションを併せる形で利用できます。テーブルからデータを取得したり、外部APIを実行してデータを取得するなど、状況に合わせてIM-LogicDesignerのフロー定義を編集してください。

アプリケーション作成時点ではサンプルデータを生成するIM-LogicDesignerのユーザ定義が配置されています。



**i コラム**  
表示するデータの作成、編集を行う処理は「ガントチャート」テンプレートに含まれていません。

**i コラム**  
「ガントチャート」テンプレートは2023 Autumn(Hollyhock) から利用できます。

### 「ガントチャート」テンプレートの利用方法

「ガントチャート」テンプレートを利用したアプリケーションの作成手順と「ガントチャート」画面の操作方法をご紹介します。

#### アプリケーションの作成手順

「ガントチャート」テンプレートを利用してアプリケーションを作成する手順についてをご紹介します。

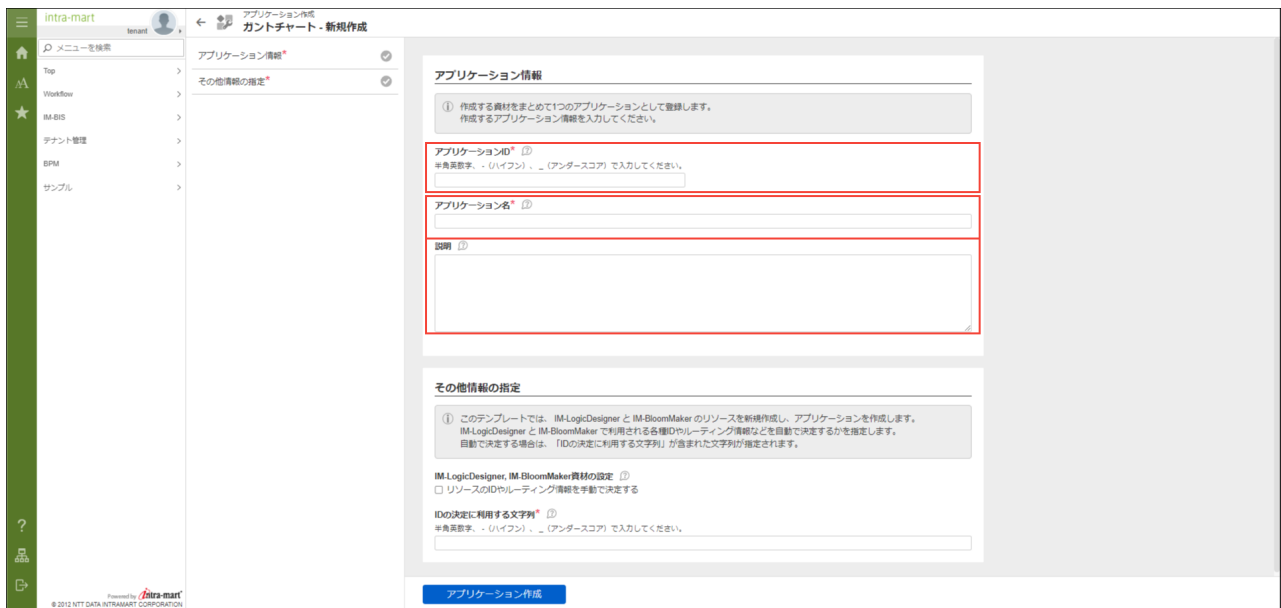
1. アプリケーション作成画面への遷移  
Accel Studioの「業務テンプレート一覧」から「ガントチャート」テンプレートを選択します。  
Accel Studioの「業務テンプレート一覧」は、「サイトマップ」→「Accel Studio」→「業務テンプレート一覧」から遷移できます。



2. アプリケーションのIDや名称などの設定

「ガントチャート」テンプレートを選択し、アプリケーション情報の設定画面が表示されたら、アプリケーションのIDや名称などを設定します。

設定した基本情報は、各処理や画面の名称、IDなどに利用されます。

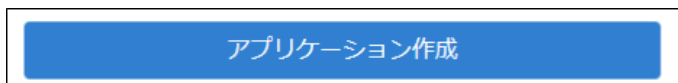


3. その他情報の指定

作成されるアプリケーションに利用されるリソースのIDやルーティング情報を手動で決定できます。チェックを入れないことを推奨します。

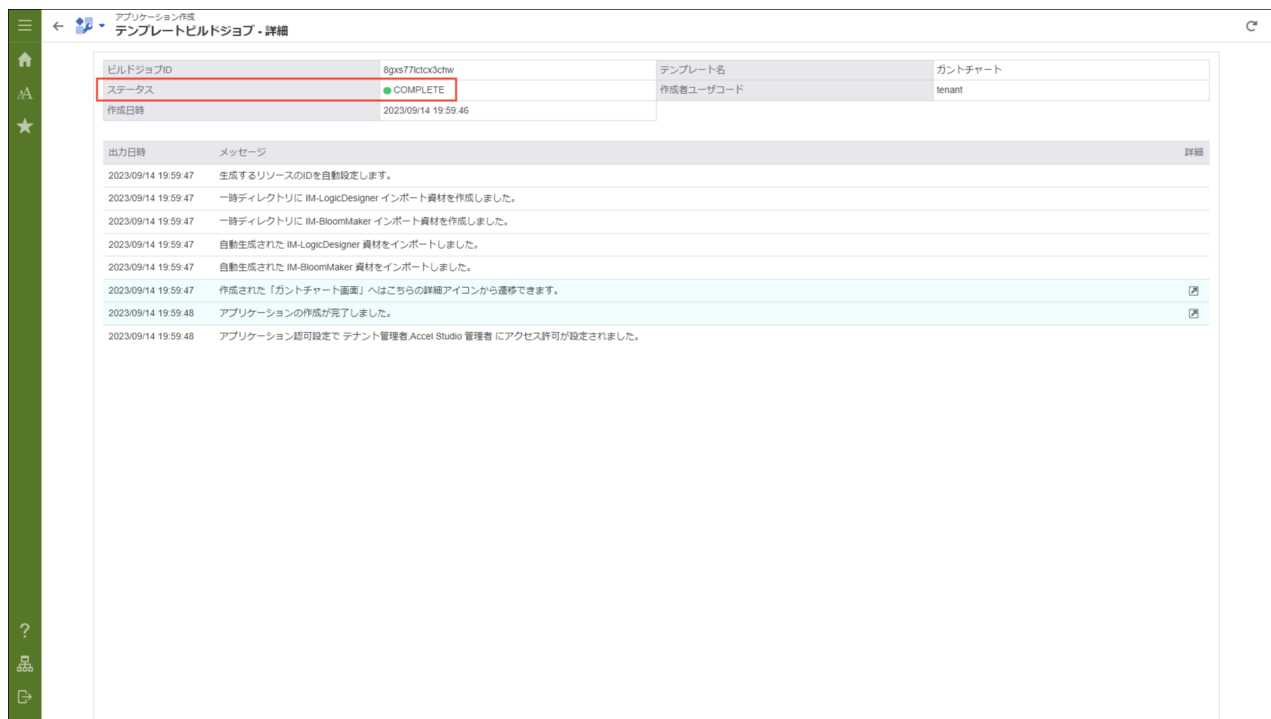
4. アプリケーション作成開始

アプリケーションの基本情報を入力したら「アプリケーション作成」ボタンをクリックしてください。入力項目に不備が無ければ自動でアプリケーションの作成ができます。



5. アプリケーション作成結果

アプリケーション作成が完了すると、ステータスが「COMPLETE」と表示されます。



### コラム

作成したアプリケーションは、初期設定では「テナント管理者」または「Accel Studio管理者」ロールを持ったユーザのみ利用できます。

任意のユーザに対して、利用を許可したい場合の設定方法は、「Accel Studio アプリケーション管理機能 仕様書」 - 「Accel Studio アプリケーション認可設定」をご確認ください。

### アプリケーションのアクセス手順

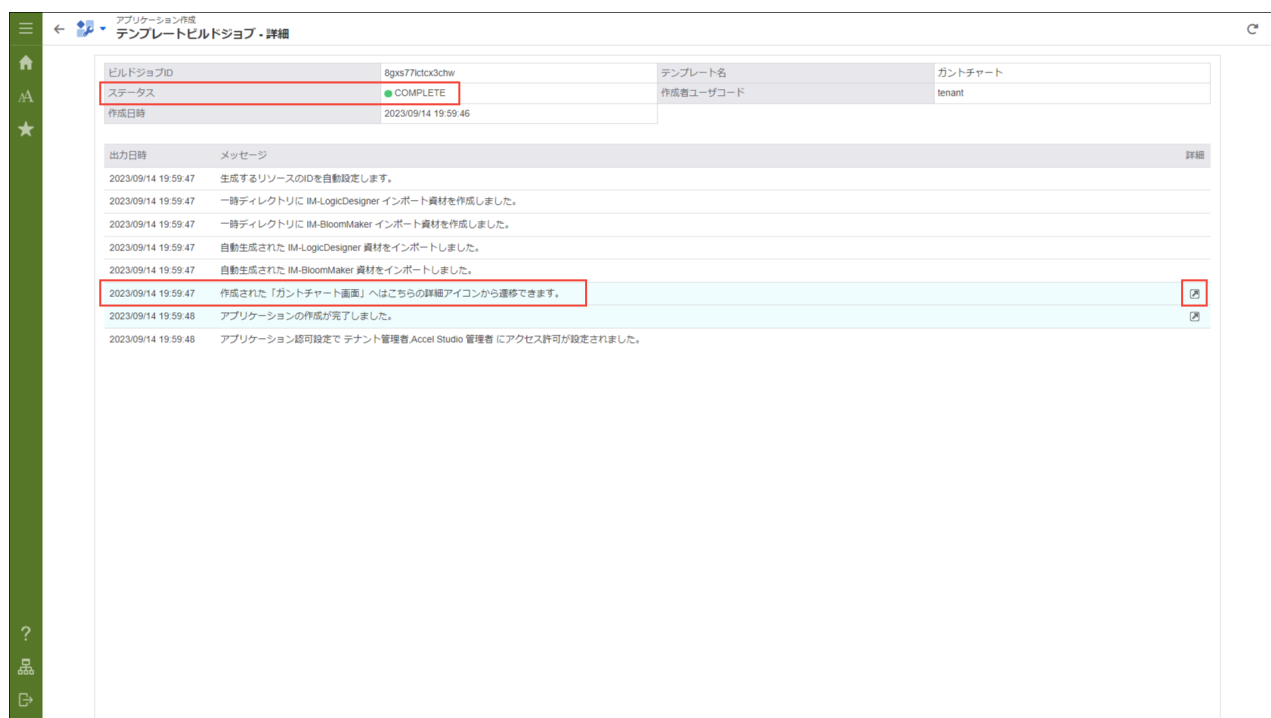
作成したガントチャート画面へアクセスする方法をご紹介します。

- 「テンプレートビルドジョブ - 詳細」画面から遷移する
- [画面のURLを取得する](#)

「テンプレートビルドジョブ - 詳細」画面から遷移する

「テンプレートビルドジョブ - 詳細」画面はアプリケーション作成完了後に表示されます。

「テンプレートビルドジョブ - 詳細」画面のステータスが「COMPLETE」と表示されたら、「作成された「ガントチャート画面」へはこちらの詳細アイコンから遷移できます。」の欄にある をクリックしてください。



**i** コラム

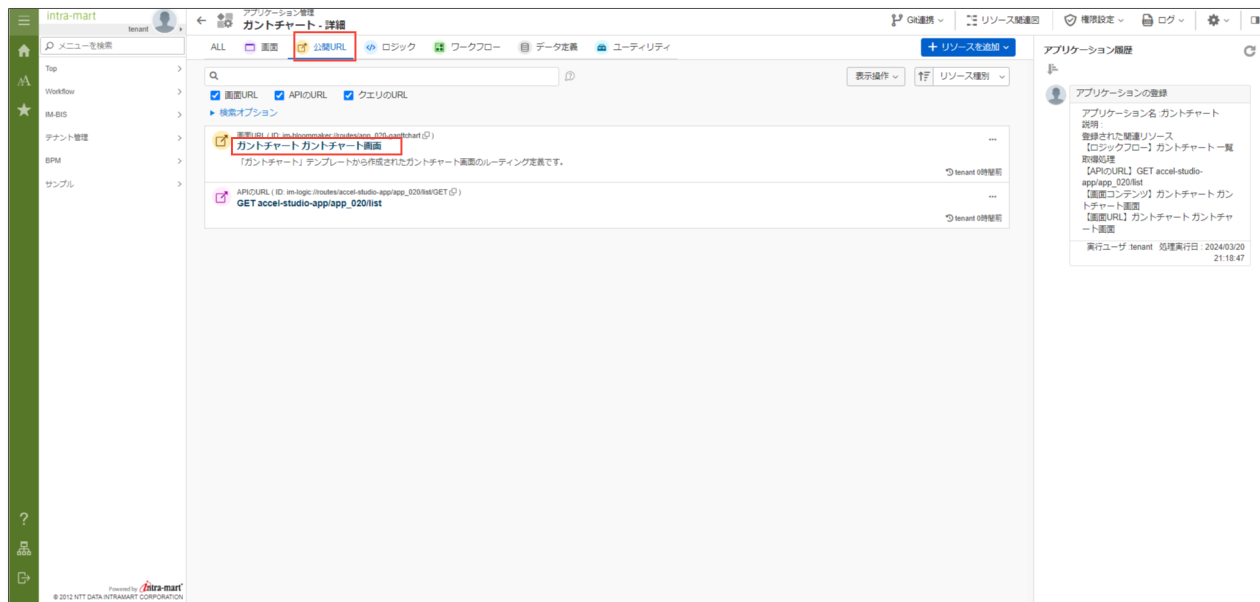
「テンプレートビルドジョブ - 詳細」画面は、「サイトマップ」→「Accel Studio」→「アプリケーション作成」→「テンプレートビルドジョブ」に遷移し、作成したアプリケーションの「詳細」をクリックすることで表示できます。

画面のURLを取得する

「ガントチャート」テンプレートから作成したガントチャート画面は画面URLが定義されています。

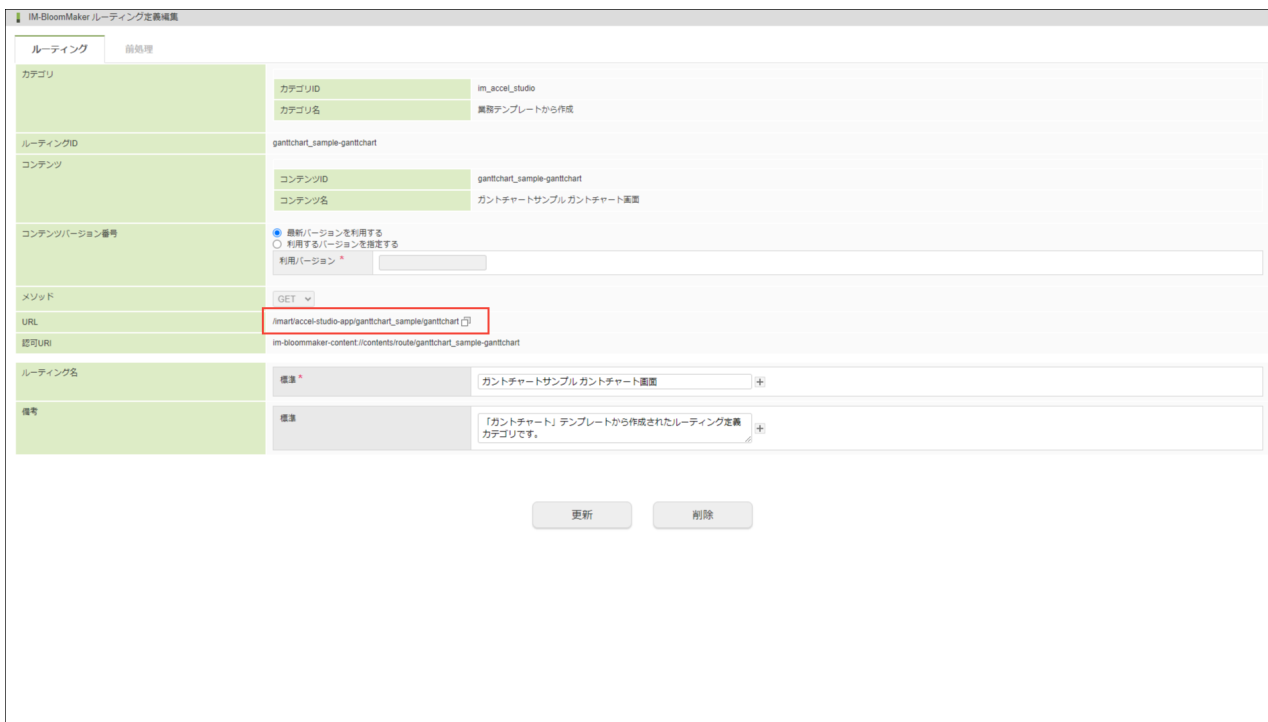
1. 「ルーティング定義編集」画面への遷移

「サイトマップ」→「Accel Studio」→「アプリケーション一覧」で、「自動生成されたアプリケーション」カテゴリを選択します。作成したアプリケーションを選択し、「アプリケーション構成情報」画面が表示されたら、「公開URL」タブをクリックしてください。続いて、URLを取得したい画面のカードをクリックし、「ルーティング定義編集」画面を開きます。



2. URLを取得

「URL」の  をクリックすることで、URLがクリップボードにコピーされます。



**i** コラム

取得したURLは、初期設定では「テナント管理者」または「Accel Studio管理者」ロールを持ったユーザのみアクセス可能です。

任意のユーザに対して、利用を許可したい場合の設定方法は、「Accel Studio アプリケーション管理機能 仕様書」 - 「Accel Studio アプリケーション認可設定」をご確認ください。



**i** コラム

作成したアプリケーションをグローバルメニューに追加したい場合は、グローバルナビ設定をご利用ください。  
 グローバルナビの設定方法は、「ファーストステップガイド」 - 「管理者が一般ユーザー向けのメニューを作成する」をご確認ください。

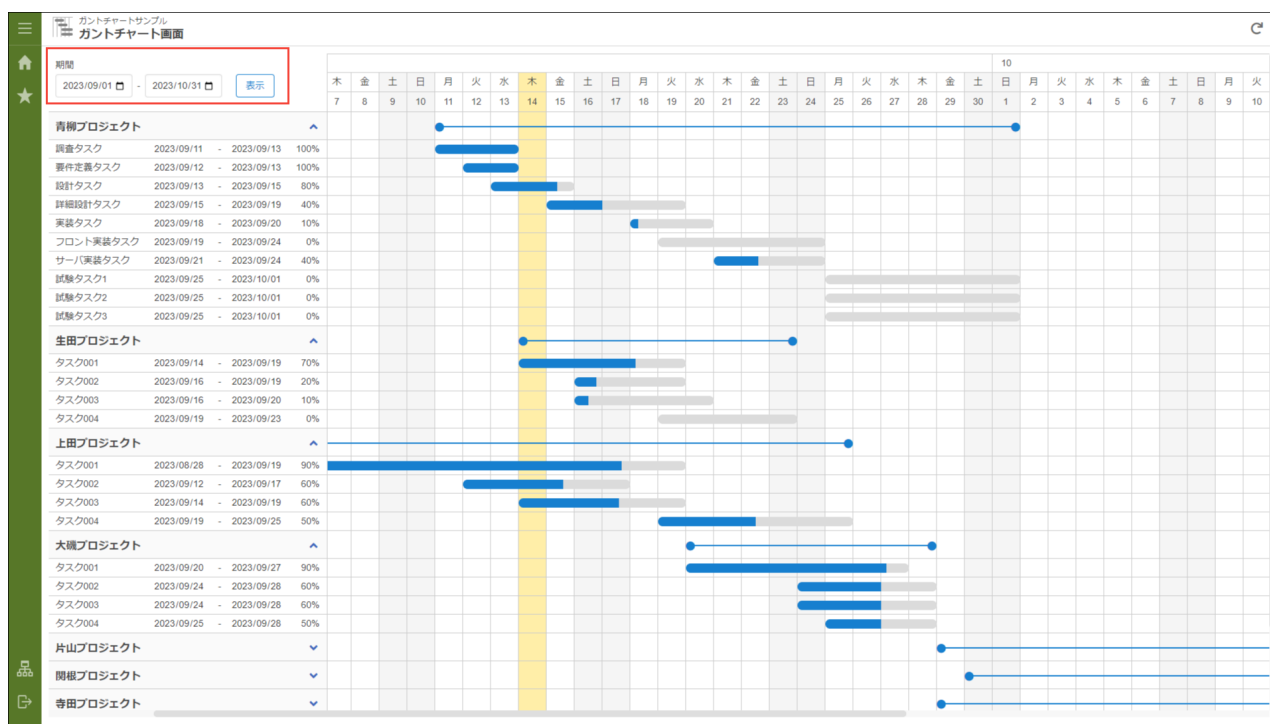
アプリケーションの画面イメージと操作方法

ガントチャート画面の要素について説明します。

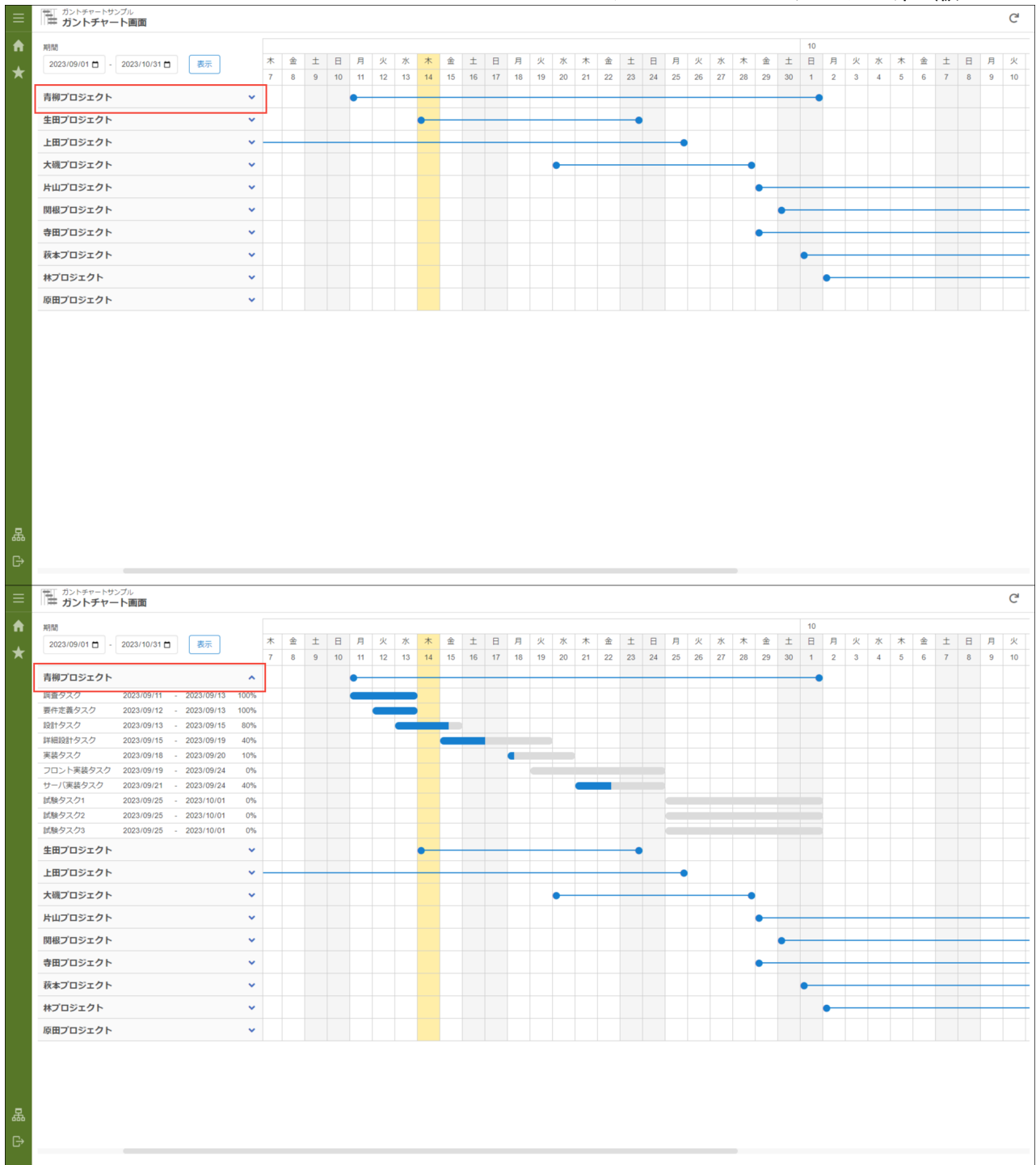
- タスク
  - 作業単位を表します。タスクID、タスク名、開始日、終了日、進捗率を持ちます。開始日、終了日を元にガントチャート画面にタスクのバーが表示されます。タスクのバーは進捗率の表現をしており、青色の割合で表現されます。
- グループ
  - タスクをまとめるカテゴリです。グループの中にグループを含めることはできません。

ガントチャート画面

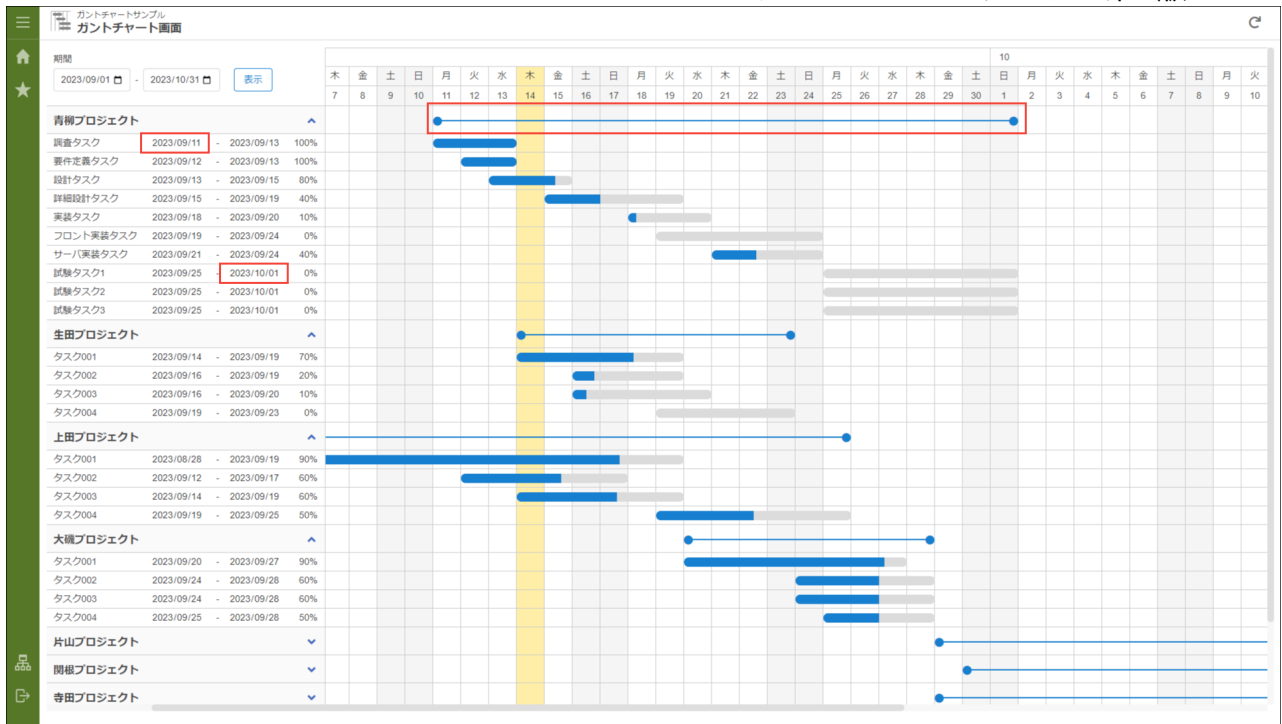
「ガントチャート画面」は表示期間に指定した開始日から終了日の期間を表示します。



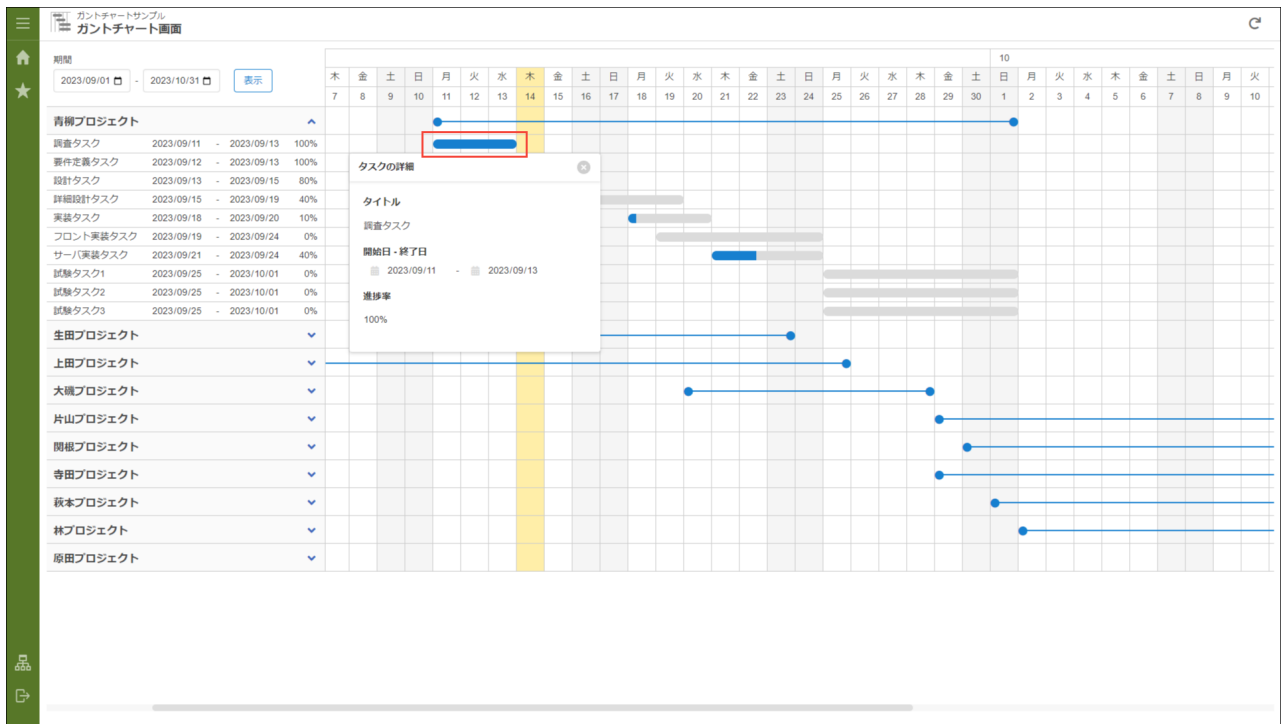
グループ名をクリックするとタスクの一覧が表示されます。



グループの行に表示されている線は、グループ内のタスクの最も早い開始日と最も遅い終了日を表示しています。



タスクのバーをクリックすると詳細を確認できます。



### 「ガントチャート」テンプレートから作成される資材

「ガントチャート」テンプレートからは、ガントチャートを表示する画面と、タスク情報を取得する処理が作成されます。画面はIM-BloomMaker、処理はIM-LogicDesignerで作成されます。

#### ガントチャート画面

ガントチャート画面の IM-BloomMaker画面コンテンツです。

画面のURL

- ルーティング

```
{ベースURL}/accel-studio-app/{IDの決定に利用する文字列}/ganttchart
```

**i** コラム

ベースURLは環境に合わせて適宜変更してください。

**i** コラム

画面のURLは [画面のURLを取得する](#) から取得できます。

- メソッド

GET

## 画面コンテンツ

クエリパラメータを使用できます。

表示期間を指定して画面にアクセスできます。

クエリパラメータの指定がない場合、現在日時の月初めから1ヶ月後の月末までの期間が表示されます。

以下は2023年1月1日から2023年9月30日を指定して画面にアクセスするクエリパラメータの例です。

```
{ベースURL}/accel-studio-app/{IDの決定に利用する文字列}/gantchart?startDate=2023-01-01&endDate=2023-09-30
```

変数名	型	説明
startDate	string	表示開始日です。 yyyy-MM-dd形式の文字列を指定してください。
endDate	string	表示終了日です。 yyyy-MM-dd形式の文字列を指定してください。

**i** コラム

ベースURLは環境に合わせて適宜変更してください。

## 一覧取得処理

ガントチャート表示するタスクの一覧を取得する処理です。

ユーザ定義「ガントチャート サンプルデータ生成」はサンプルデータを生成しています。

このユーザ定義を削除して、用途に合ったフローを作成してください。

データは出力値に合わせて整形し、「終了」タスクにマッピングしてください。

出力値の詳細は「[出力値](#)」をご確認ください。

## APIのURL

- ルーティング

```
accel-studio-app/{IDの決定に利用する文字列}/list
```

**i** コラム

REST APIとして利用するためのURLについては、「[IM-LogicDesigner仕様書](#)」 - 「[ルート・HTTPメソッドに一致するフロールーティング情報の取得](#)」をご確認ください。

- メソッド

GET

## 入力値

なし

## 出力値

```
{
  "ganttdataList": [
    {
      "groupName": "",
      "taskList": [
        {
          "id": "",
          "name": "",
          "startDate": null,
          "endDate": null,
          "progress": 0
        }
      ]
    }
  ]
}
```

変数名	型	説明
ganttdataList	object[]	ガントチャート表示するデータを持つオブジェクトの配列です。
groupName	string	グループに表示される名前です。
taskList	object[]	グループに表示されるタスクの配列です。
id	string	タスクのIDです。
name	string	タスクの名前です。
startDate	date	タスクの開始日です。
endDate	date	タスクの終了日です。
progress	integer	タスクの進捗率です。

## IM-BloomMaker前処理

Accel Studioのテンプレートで利用しているIM-BloomMaker画面では、以下のようなJava前処理プログラムを利用しています。

### ユーザコンテンツの権限確認

IM-Workflowを利用したテンプレートの画面では、Java前処理プログラムを利用してユーザの権限を確認しています。  
詳細については、「[IM-Workflow 仕様書](#)」 - 「[ユーザコンテンツの権限チェック](#)」を参照してください。

#### コラム

このJava前処理プログラムは、以下のテンプレートの画面で利用されています。

- ベーステンプレート
  - シンプルなワークフロー
- サンプルアプリケーション
  - スプレッドシート型一覧
  - 休暇申請ワークフロー
  - メール配信ワークフロー
  - SharePoint回覧ワークフロー
  - Adobe Acrobat Sign連携標準テンプレート

### 画面種別の判別処理

登録・編集・参照画面といった画面種別が存在するテンプレートでは、Java前処理プログラムを利用して、画面種別を判別しています。  
判別した結果は、IM-BloomMakerの入力値 `$input.__mode__` に対して以下のような値で設定されます。

画面種別	<code>\$input.__mode__</code> の値
登録画面	register
編集画面	edit
参照画面	refer

#### コラム

このJava前処理プログラムは、以下のテンプレートの画面で利用されています。

- ベーステンプレート
  - マスタメンテナンス
- サンプルアプリケーション
  - メール配信ワークフロー
  - 在庫管理
  - タスク管理
  - 顧客管理
  - 社内FAQ管理
  - 自己紹介
  - メール配信ワークフロー
  - 伝言メモ
  - 安否確認

